

2025年度 履修の手引

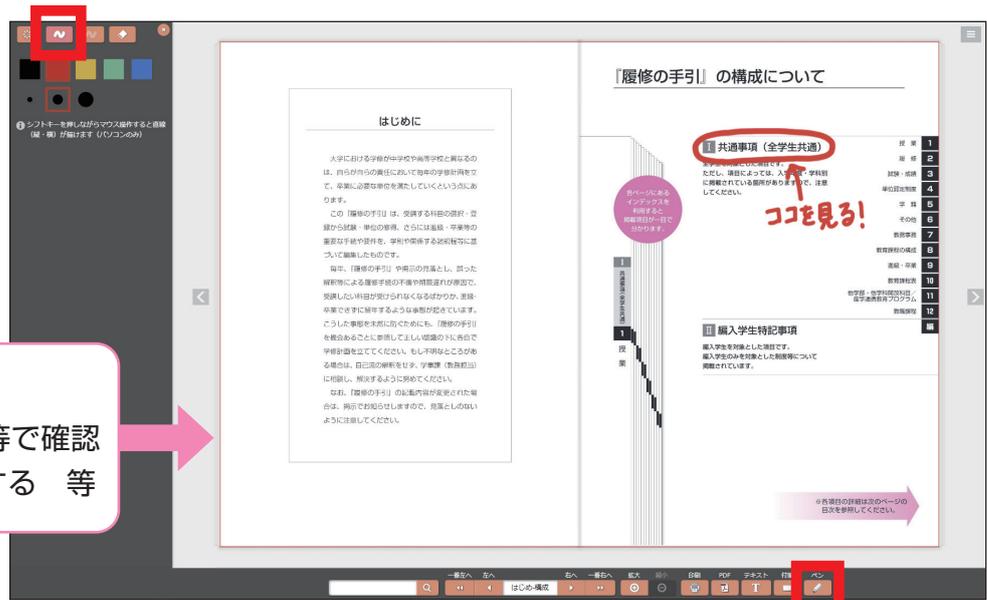
外国語学部



デジタルブックの便利な機能について

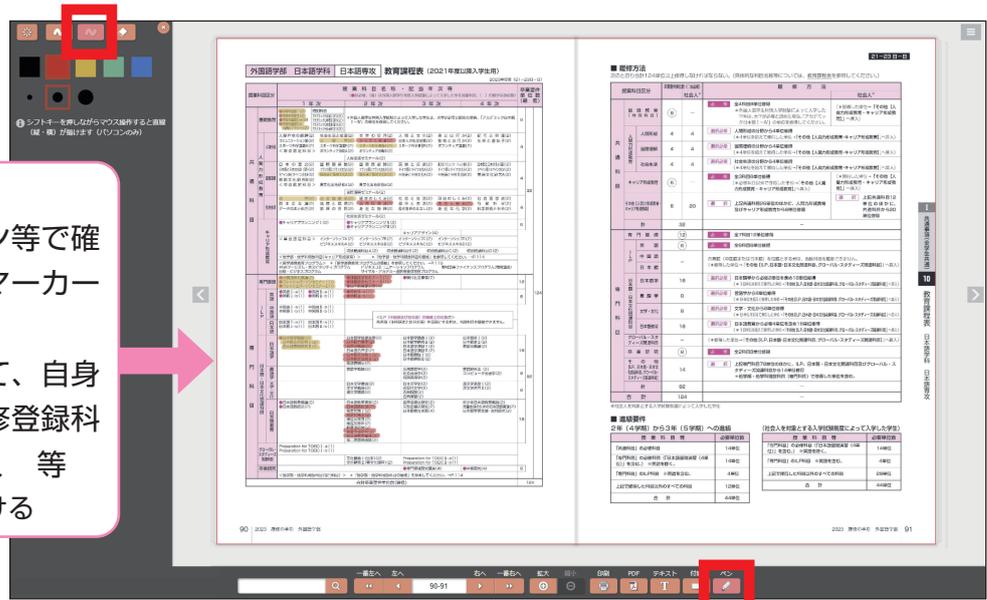
手書き機能

使用例)
オリエンテーション等で確認
した重要事項をメモする 等



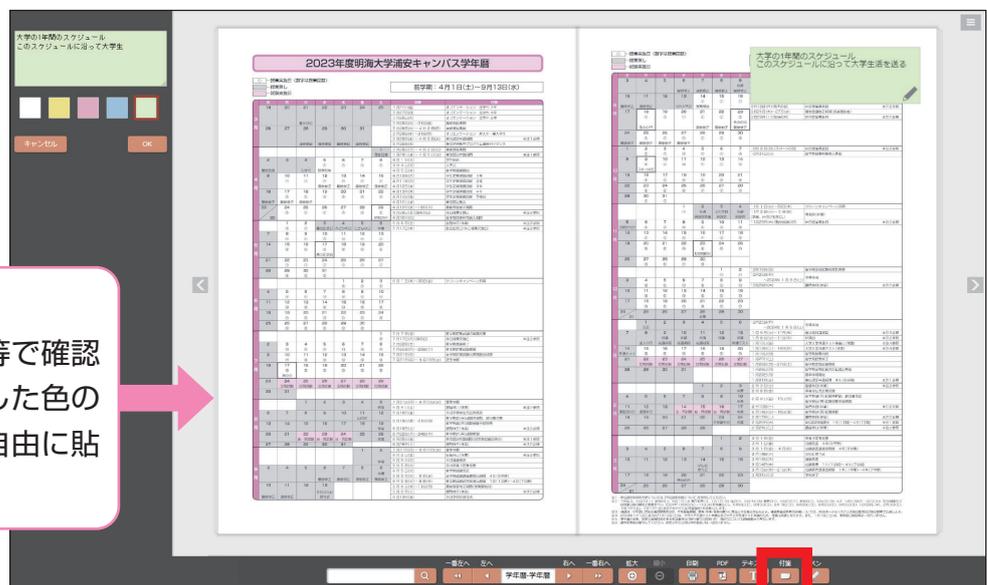
マーカー機能

使用例)
・オリエンテーション等で確
認した重要事項をマーカー
する
・教育課程表において、自身
の既修得科目や履修登録科
目にマーカーを引く 等
※直線は PC 版のみ引ける

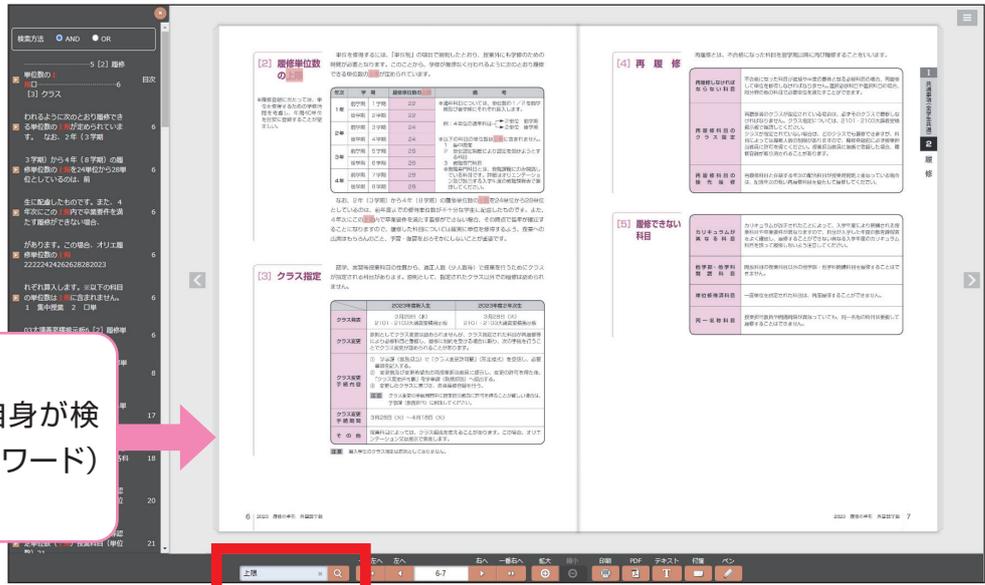


付箋機能

使用例)
オリエンテーション等で確認
した重要事項を選択した色の
付箋にメモを記入し自由に貼
り付ける



ワード検索機能



使用例)
履修の手引の中で、自身が検索したい事項を単語（ワード）で検索する

辞書検索機能



使用例)
意味が不明な用語が出てきた場合にその場で辞書検索ができる
※ PC 版のみ使用可能

デジタルブックはスマートフォンでも利用できます
基本的な機能はPC版と同等のものが使用できますが、一部機能はPC版のみとなります。

【スマートフォン画面】



注意 「履修の手引」に書き込む、マーカーを引く、付箋を貼る等の作業を行った場合、その情報が保存されるのは同じデバイス（PC、スマートフォン、タブレット等）、かつ、同じブラウザ（Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Chrome、Safari等）で開く場合のみですのでご注意ください。

はじめに

大学における学修が中学校や高等学校と異なるのは、自らが自らの責任において毎年の学修計画を立て、卒業に必要な単位を満たしていくという点にあります。

この『履修の手引』は、受講する科目の選択・登録から試験・単位の修得、さらには進級・卒業等の重要な手続や要件を、学則や関係する諸規程等に基づいて編集したものです。

毎年、『履修の手引』や掲示の見落とし、誤った解釈等による履修手続の不備や期限遅れが原因で、受講したい科目が受けられなくなるばかりか、進級・卒業できずに留年するような事態が起きています。こうした事態を未然に防ぐためにも、『履修の手引』を機会あるごとに参照して正しい認識の下に各自で学修計画を立ててください。もし不明なところがある場合は、自己流の解釈をせず、学事課（教務担当）に相談し、解決するように努めてください。

なお、『履修の手引』の記載内容が変更された場合は、掲示でお知らせしますので、見落としのないように注意してください。

『履修の手引』の構成について

各ページにある
インデックスを
利用すると
掲載項目が一目で
分かります。

I
共通事項（全学生共通）

1
授業

I 共通事項（全学生共通）

全学生を対象とした項目です。

ただし、項目によっては、入学年度・学科別に掲載されている箇所がありますので、注意してください。

授業

1

履修

2

試験・成績

3

単位認定制度

4

学籍

5

その他

6

教務事務

7

教育課程の構成

8

進級・卒業

9

教育課程表

10

他学部・他学科開放科目／
産学連携教育プログラム

11

教職課程

12

II 編入学生・学士入学生特記事項

編入学生・学士入学生を対象とした項目です。

編入学生・学士入学生のみを対象とした制度等について掲載されています。

編・学

※各項目の詳細は次のページの
目次を参照してください。

目次

2025年度学年暦／建学の精神／明海大学の教育のポリシー／三つのポリシー／学部長メッセージ／学科概要

I 共通事項

1 授業

1 授業	1
[1] 学期	1
[2] 授業時間	1
[3] 授業の出席	1
[4] 授業の欠席	2
[5] 休講	3
[6] 補講	3
2 授業科目	3
[1] 開講期	3
[2] 配当年次	3
[3] 授業科目の種類	3
3 単位制	4
[1] 単位制とは	4
[2] 単位を修得するための学修時間	4
[3] 各授業科目の単位数	4
[4] 単位の認定	4

2 履修

1 履修のルール	5
[1] 履修登録とは	5
[2] 履修単位数の上限	6
[3] クラス指定	7
[4] 再履修	7
[5] 履修できない科目	7
2 履修登録方法	8

3 試験・成績

1 試験	11
[1] 試験の種類	11
[2] 定期試験の欠席	12
[3] 試験日程・受験手続	12
[4] 試験時間	13
[5] 受験資格・受験上の注意 (学年暦に定められた期間に行われる試験)	13
2 成績	14
[1] 成績評価・成績表記	14
[2] GPA(成績平均点数制)	15
[3] 成績発表	16
[4] 成績調査	16

4 単位認定制度

1 単位認定制度について	17
2 各制度の内容及び申請方法等	18
[1] 既修得単位	18
[2] 知識及び技能に係る審査の成果	20
[3] 派遣留学生(約半年~1年間の海外留学)	26
[4] 派遣留学生(短期海外研修)	27
[5] 派遣学生(国内)	27
[6] インターンシップ	28
[7] GSMインターンシップ	28
[8] ボランティア活動	29
[9] GSMボランティア	29

5 学籍

1 修業年限と在学期間	30
2 学籍の異動	31
[1] 休学	31
[2] 復学	32
[3] 退学	32
[4] 除籍	32
[5] 復籍	32
[6] 転学部・転学科	32

6 その他

1 明海多言語コミュニケーションcommons(MLACC)	33
2 コンピュータ・コンサルティング・サロン(CCS)	33
3 科目等履修生	34
4 研究生	34

7 教務事務

1 証明書	35
2 事務取扱時間	36
3 問い合わせ	36
4 学生への連絡	37
[1] Webポータルシステムによる掲示配信	37
[2] 掲示板の場所と掲示内容	37
5 メールアカウントの付与	37
6 シラバス	38
7 manaba	39
8 学修ポートフォリオ	39
9 交通機関の運休又は自然災害等による休講措置	39

8 教育課程の構成

1 授業科目の構成	41
2 専門科目	43
[1] 専攻概要	43
[2] 専攻登録	44
[3] 専攻変更	45
[4] 日本語教員養成課程修了証明書	45
3 履修のガイドライン	47
4 カリキュラムマップ(履修系統図)	52
5 クラス担任制	62

9 進級・卒業

1 進級	63
[1] 進級要件	63
[2] 進級発表	65
2 卒業	66
[1] 卒業要件	66
[2] 卒業単位充足者・卒業予定者発表	74
[3] 学位	74
3 年次(学期)別基準単位数	75

10 教育課程表

教育課程表	85
-------	----

11 他学部・他学科開放科目/産学連携教育プログラム

他学部・他学科開放科目の履修	106
産学連携教育プログラムの履修	111

12 教職課程

1 趣旨	113
2 取得できる免許状の種類	113
3 免許状の授与条件	113
4 教職課程の履修	113
5 教職課程の履修開始から教育職員免許状取得まで	114
6 教職課程表	115

II 編入学生・学士入学生特記事項

1 修業年限と在学期間	123
2 2年間の学修計画	123
3 既修得単位の認定	123
[1] 包括・弾力認定	123
[2] 個別認定(α)	
- 英米語学科2025年度編入学生・学士入学生 -	123

4 専攻選択 (2025年度編入学生・学士入学生)	124
5 卒業要件	125
6 その他	126
[1] クラス指定	126
[2] 修得(認定)済科目の履修	126
7 教育課程表(編入学生・学士入学生用)	127

2025年度明海大学浦安キャンパス学年暦(学部)

- ① …授業実施日(数字は授業回数)
- …授業無し
- …試験実施日
- …休日授業実施日

前学期: 4月1日(火)～9月12日(金)

	日 月 火 水 木 金 土							日程	行事
	日	月	火	水	木	金	土		
3月	16	17	18	19	20 春分の日	21	22	3月25日(火)	オリエンテーション 全学科 3年
								3月26日(水)	オリエンテーション 全学科 4年
	23	24	25	26	27 履修登録	28 履修登録	29 履修登録	3月27日(木)	オリエンテーション 全学科 2年
	30 履修登録	31 履修登録						3月27日(木)～4月2日(水)	履修登録期間・履修相談期間
4月			1	2	3	4	5 ①	3月28日(金)～4月1日(火)	オリエンテーション 新入生・編入学生・学士入学生
			履修登録	履修登録		入学式	授業開始	3月28日(金)～4月2日(水)	履修登録期間・履修相談期間
	6	7 ①	8 ①	9 ①	10 ①	11 ①	12 ②	3月28日(金)～4月1日(火)	オリエンテーション 新入生・編入学生・学士入学生
						履修修正	履修修正	3月28日(金)～4月5日(土)	単位認定申請期間 ※注1参照
	13	14 ②	15 ②	16 ②	17 ②	18 ②	19 ③	4月1日(火)	学年始め
								4月1日(火)	産学連携教育プログラム履修ガイダンス
	20	21 ③	22 ③	23 ③	24 ③	25 ③	26 ④	4月4日(金)	入学式
								4月5日(土)	前学期授業開始
	27	28 ④	29 ④	30 ④				4月7日(月)	学生定期健康診断 1年
								4月8日(火)	学生定期健康診断 2年
5月					1 ④	2 ④	3 ⑤	4月9日(水)	学生定期健康診断 3年
	4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7 ⑤	8 ⑤	9 ⑤	10 ⑤	4月10日(木)	学生定期健康診断 4年
	11	12 ⑤	13 ⑤	14 ⑥	15 ⑥	16 ⑥	17 ⑥	4月11日(金)	学生定期健康診断 予備日
								4月11日(金)	単位認定発表
	18	19 ⑥	20 ⑥	21 ⑦	22 ⑦	23 ⑦	24 ⑦	4月11日(金)～17日(木)	履修登録修正期間
	25	26 ⑦	27 ⑦	28 ⑧	29 ⑧	30 ⑧	31 ⑧	4月29日(火)[昭和の日]	休日授業実施日 ※注2参照
6月								4月30日(水)	前学期授業料等納入期限
	1	2 ⑧	3 ⑧	4 ⑨	5 ⑨	6 ⑨	7 ⑨	5月17日(土)	創立記念日(休日授業実施日) ※注2参照
	8	9 ⑨	10 ⑨	11 ⑩	12 ⑩	13 ⑩	14 ⑩		
	15	16 ⑩	17 ⑩	18 ⑪	19 ⑪	20 ⑪	21 ⑪		
	22	23 ⑪	24 ⑪	25 ⑫	26 ⑫	27 ⑫	28 ⑫		
7月			1 ⑫	2 ⑬	3 ⑬	4 ⑬	5 ⑬	6月1日(日)～30日(月)	クリーンキャンペーン月間
	6	7 ⑬	8 ⑬	9 ⑭	10 ⑭	11 ⑭	12 ⑭	7月4日(金)	前学期定期試験時間割発表
	13	14 ⑭	15 ⑭	16 ⑮	17 ⑮	18 ⑮	19 ⑮	7月21日(月)[海の日]	休日授業実施日 ※注2参照
	20	21 ⑮	22 ⑮	23 ⑯	24 ⑯	25 ⑯	26 ⑯	7月22日(火)	前学期授業終了
				休講 補講日	定期試験	定期試験	定期試験	7月23日(水)	前学期補講日 ※注3参照
	27	28 ⑯	29 ⑯	30 ⑰	31 ⑰			7月23日(水)	休講日 ※注2参照
8月						1	2 休業	7月24日(木)～30日(水)	前学期定期試験期間
	3	4	5	6	7	8	9 休業	7月31日(木)	前学期定期試験欠席届提出期限
	10	11 山の日	12	13	14	15	16	7月31日(木)～9月12日(金)	夏季休暇
	17	18	19	20 追(再)試験	21 追(再)試験	22 追(再)試験	23 休業	8月2日(土)・9日(土)	振替休日(休業) ※注2参照
	24	25	26	27	28	29	30	8月18日(月)	9月卒業単位充足者発表
9月		1	2	3	4	5	6 休業	8月18日(月)・19日(火)	前学期追(再)試験時間割、該当者発表
								8月20日(水)～22日(金)	前学期追(再)試験受験手続期間
								8月22日(金)	前学期追(再)試験期間
								8月22日(金)	単位認定申請期限(前学期成績反映分) ※注1参照
								8月23日(土)・30日(土)	振替休日(休業) ※注2参照
								7月31日(木)～9月12日(金)	夏季休暇

① …授業実施日(数字は授業回数)
 …授業無し
 …試験実施日
 …休日授業実施日

後学期:9月13日(土)~3月31日(火)

日	月	火	水	木	金	土	日程	行事	
9月	1	2	3	4	5 履修修正	6 履修修正	7月31日(木)~9月12日(金)	夏季休暇	
	7	8	9	10	11	12 履修修正	9月5日(金)~10日(水)	履修登録修正期間(授業開始前)	
	14	15 ① 敬老の日	16 ①	17 ①	18 ①	19 ① 履修修正	9月8日(月)	オリエンテーション(9月進級者・復学者)	
	21	22 ②	23 ② 秋分の日	24 ②	25 ②	26 ② 履修修正	9月12日(金)	9月入学式	
	28	29 ③	30 ③				9月13日(土)	後学期授業開始	
							9月15日(月)[敬老の日] 9月19日(金)~25日(木) 9月23日(火)[秋分の日]	休日授業実施日 ※注2参照 履修登録修正期間(授業開始後) 休日授業実施日 ※注2参照	
10月			1 ③	2 ③	3 ③	4 ④	10月13日(月)[スポーツの日] 10月31日(金)	休日授業実施日 ※注2参照 後学期授業料等納入期限	
	5	6 ④	7 ④	8 ④	9 ④	10 ⑤			
	12	13 ⑤	14 ⑤	15 ⑤	16 ⑤	17 ⑥	18 ⑥		
	19	20 ⑥	21 ⑥	22 ⑥	23 ⑥	24 ⑥	25 ⑦		
	26	27 ⑦	28 ⑦	29 ⑦	30 ⑦	31 ⑦			
11月						1 休講 明海祭準備	11月1日(土)~30日(日) 11月1日(土)~4日(火) (準備、片付けを含む。)	クリーンキャンペーン月間 明海祭(休講)	
	2	3 文化の日 明海祭	4 休講 明海祭片付け	5 ⑧	6 ⑧	7 ⑧	8 ⑧	11月24日(月)[振替休日]	休日授業実施日 ※注2参照
	9	10 ⑧	11 ⑧	12 ⑨	13 ⑨	14 ⑨	15 ⑨		
	16	17 ⑨	18 ⑨	19 ⑩	20 ⑩	21 ⑩	22 ⑩		
	23	24 ⑩	25 ⑩	26 ⑪	27 ⑪	28 ⑪	29 ⑪		
	30								
12月		1 ⑪	2 ⑪	3 ⑫	4 ⑫	5 ⑫	6 ⑫	12月12日(金) 12月24日(水) ~2026年1月7日(水)	後学期定期試験時間割発表 冬季休暇
	7	8 ⑫	9 ⑫	10 ⑬	11 ⑬	12 ⑬	13 ⑬	12月27日(土)	振替休日(休業) ※注2参照
	14	15 ⑬	16 ⑬	17 ⑭	18 ⑭	19 ⑭	20 ⑭		
	21	22 ⑭	23 ⑭	24 ⑮	25 ⑮	26 ⑮	27 ⑮		
	28	29	30	31					
1月				1 元日	2	3	2025年12月24日(水) ~1月7日(水)	冬季休暇	
	4	5	6	7	8 休講 補講期間	9 ⑮	10 ⑮	1月8日(木)・20日(火) 1月8日(木)・20日(火) 1月9日(金)	後学期補講期間 ※注3参照 休講日 ※注2参照 後学期授業再開
	11	12 成人の日	13 ⑮	14 ⑮	15 ⑮	16 休講	17 休業 共通テスト	1月16日(金) 1月17日(土)・18日(日) 1月19日(月)	大学入学共通テスト準備日(休講) ※注4参照 大学入学共通テスト(休業) ※注4参照 後学期授業終了
	18	19 ⑮	20 休講	21 定期試験	22 定期試験	23 定期試験	24 定期試験	1月21日(水)~27日(火) 1月28日(水)	後学期定期試験期間 後学期定期試験欠席届提出期限
	25	26 定期試験	27 定期試験	28	29	30	31 休業	1月28日(水) 1月29日(木) 1月31日(土)	春季休暇開始 単位認定申請期限 4年(8学期) ※注1参照 振替休日(休業) ※注2参照
2月	1	2	3	4	5	6	7	2月7日(土) 2月9日(月)	振替休日(休業) ※注2参照 卒業単位充足者発表
	8	9	10	11	12	13	14 休業	2月9日(月)・10日(火) 2月12日(木)・13日(金)・ 16日(月)	後学期追(再)試験時間割、該当者発表 後学期追(再)試験受験手続期間 後学期追(再)試験期間
	15	16 追(再)試験	17	18	19	20	21 休業	2月14日(土) 2月20日(金) 2月21日(土)	振替休日(休業) ※注2参照 単位認定申請期限 1年(1学期)~4年(7学期) ※注1参照 振替休日(休業) ※注2参照
	22	23 天皇誕生日	24	25	26	27	28 休業	2月26日(木) 2月26日(木)・27日(金)	卒業予定者発表 成績発表 4年(8学期) 成績調査願提出期間 4年(8学期)
								2月28日(土)	振替休日(休業) ※注2参照
								3月7日(土)	振替休日(休業) ※注2参照
3月	1	2	3	4	5	6	7 休業	3月10日(火)	卒業式・学位記授与式
	8	9	10 卒業式・ 学位記授与式	11	12	13	14 休業	3月12日(木) 3月12日(木) 3月14日(土)	進級発表 成績発表 1年(1学期)~4年(7学期) 振替休日(休業) ※注2参照
	15	16	17	18	19	20 春分の日	21 休業	3月16日(月)~19日(木) 3月21日(土)	成績調査願提出期間 1年(1学期)~4年(7学期) 振替休日(休業) ※注2参照
	22	23	24	25	26	27	28	3月31日(火)	学年終了
	29	30	31						

注1: 単位認定申請の手続については、「単位認定制度について」を参照してください。
 注2: 今年度は、4月29日(火・昭和の日)、5月17日(土・創立記念日)、7月21日(月・海の日)、9月15日(月・敬老の日)、9月23日(火・秋分の日)、10月13日(月・スポーツの日)及び11月24日(月・振替休日)は授業日数の関係上授業を行い、7月23日(水)、2026年1月8日(木)及び1月20日(火)を休講日とし、8月2日(土)、8月9日(土)、8月23日(土)、8月30日(土)、12月27日(土)、2026年1月31日(土)、2月7日(土)、2月14日(土)、2月21日(土)、2月28日(土)、3月7日(土)、3月14日(土)及び3月21日(土)を振替休日(休業)とします。
 注3: 補講は、学年層に定める補講期間のほか、平常授業期間、夏季・冬季・春季休暇中に実施される場合があります。補講実施日時等の詳細については、Webポータルシステムの掲示配信及び掲示板等で告知します。
 注4: 2026年1月16日(金)及び1月17日(土)は、大学入学共通テスト準備日及び大学入学共通テスト実施のため、授業は休講となります。また、1月17日(土)は、事務窓口取扱等は一切行いません。
 注5: 学年層の変更、授業に直接関係のある緊急事項及び諸行事等の詳細日程・場所等については随時掲示で告知します。
 注6: 諸手続期限は厳守してください。指定された日時以外の取扱いは一切行いません。

建学の精神

社会性・創造性・合理性を身につけ、
広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす

社会性

今や、人類共存の理念は、地球の資源問題、環境問題を抜きに考えられない時代を迎えました。地球規模で進行しつつある高齢化社会に伴う労働社会問題、低迷を続ける国際経済問題、発展途上国における社会経済問題等々、解決すべき問題は山積しています。これら全人類の課題と取り組み、人類の繁栄と幸福を推進するため、和を重んじ、心豊かな社会性に富む人間を育成し、学際領域にも及ぶ総合的教育研究を行います。

創造性

今日、科学技術・学術研究の先端が次々に新しい展開をしており、大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しています。しかし、大切なことは、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければなりません。人類の生き方について、未来からの挑戦を受けていると言われる今日において、学問の世界は、まさに自然科学はもとより人文・社会科学などの分野においても激動の時代を迎え、学際的な領域から価値の見直しが迫られています。知の継承、創造の拠点である大学はより国際競争力を強化し、大学の多様性を発揮して、このような時代において、総合的見地から、国際未来社会を切り拓く創造性豊かな教育研究を行います。

合理性

高度情報化社会を迎え、情報量は増大し、情報なくして個々の人間は、自己の意思決定すら出来ない感を呈しています。科学技術の発達、人々の生活様式を変え、価値観にも大きな影響を及ぼすことから、科学技術の独り歩きは許されることはありません。従って、科学技術のコントロールの完全を期するとともに人間性の発揚に心がけ、未来社会を切り拓く信念が重要となります。このため、合理性ある教育研究の場を醸成します。

このように本学の建学の精神は、社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざすものであります。

明海大学の教育のポリシー

本学では、「建学の精神」に基づき、大学全体としての
ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、
アドミッション・ポリシーを定めている。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

明海大学は、厳格な成績評価の下、建学の精神にある国際未来社会で活躍するための資質として、社会性（社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断できる資質）、創造性（夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現できる資質）、合理性（知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用できる資質）が認められる人材を学位授与の基礎とし、各学部学科および研究科にて基準を定めている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

明海大学は、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たすという創造性を建学の精神の一つとしている。大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しながらも、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければならない。その意味において、1) 大学生としての学修を通じて社会性、創造性、そして合理性を身につけ明海大学の人間力を形成するための基盤を形成する基礎教育、自らの知識技能を高める人間力形成科目、そして培った力を社会で発揮するためのキャリア教育を共通科目に置き、2) 各学部学科および研究科のディプロマ・ポリシーに到達するためのカリキュラムを専門科目として配置している。

*ディプロマ・ポリシーとは…各大学、学部、学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標となるもの。

*カリキュラム・ポリシーとは…ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方針を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

明海大学は、建学の精神「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成」をめざして、豊かな人間力を基盤とした高度専門職業人養成を含む幅広い職業人養成を教育の目的としている。そのため、入学予定者には、学業、技術・技能、文化、芸術、スポーツなどの分野で活躍した体験を活かし、入学後、本学での学修を通して、これからの国際社会で通用する実力を身につけ、将来、各分野で活躍したいという強い意志を持つ学生を求めている。さらに、生涯学習社会の到来に対し、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していく資質を有する人材の育成を目途として、生涯学習型学修に意欲的に取り組み、自己の更なる確立をめざす者を求めている。

*アドミッション・ポリシーとは…各大学、学部、学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学修成果（「学力の3要素」についてどのような成果を求めるのか）を示すもの。

・「学力の3要素」…①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

三つのポリシー

—日本語学科—

2021年度以降入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

日本語学科では、主体的に判断・行動する教養をもち、グローバル時代のさまざまな問題に向き合える人物を育てることを目標としており、次の要件を満たした者に学士（日本語学）の学位を授与する。

【日本語専攻】

- ①日本と世界の文化・社会・歴史の多面性を把握することができる。
- ②日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力が身についている。
- ③日本語（国語）、日本語教育、国語教育を理解し、応用できる。

【グローバル・スタディーズ専攻】

- ①日本語、英語、中国語を用い、適切に情報を集約・分析し、表現することができる。
- ②自己の主張をグローバル的視野で的確に表現できる。
- ③多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる。
- ④対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

日本語学科のカリキュラムの最大の特徴は「日本語教育ができる国語教員」を育成できるという点にある。日本語と日本文化を深く理解した上で「国語（母語としての日本語）」や「日本語（外国語としての日本語）」を教え、海外に日本文化を伝える能力を育成することを目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 少人数編成のクラスにおいて、基礎学力の育成（1年次）、専門分野における課題探求能力の涵養（2年次）、専門領域別研究の推進（3年次）、卒業研究による学修の集大成（4年次）を段階的に指導し、職業人としての総合力の育成を図る。
- 2 3年次進級要件に日本語検定3級を課し、確かな日本語運用能力を育成する。
- 3 各専攻の概要
 - (1) 日本語専攻では、国語科教員・日本語教員、または編集者等日本語を専門とする職業人として活躍するために必要な高度な日本語運用能力や指導力を涵養する。
 - (2) グローバル・スタディーズ専攻では、日本語、英語、中国語を身につけ、さらに日本及び周辺諸国・地域の文化、社会、経済、ビジネスを幅広く学び、国際的なセンスと人間力を養う。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

日本語学科では、日本語と日本文化、外国語と外国文化の深い造詣を求め、学ぼうとする意欲を持ち、さらに身に付けた言語力、言語教育力、教養力を生かして国際社会で活躍することを志望する次のような人材を求めている。

1 入学前に身に付けておくことが望ましい資質・能力

① 知識・技能

高等学校卒業相当と認められる国語の基礎学力。特に日本語の語彙・文法・表記等についての基本的な構造について説明することができることが望ましい。

② 思考力・判断力・表現力

日本語の構造についての知識を英語等の他の言語の理解に応用することができる。

レポートや発表では複数の資料を統合、分析し、根拠のある判断、評価、意思決定ができる。

③ 主体性・協働性

自分で課題を設定し、客観的合理的な判断に基づき、自律的に解決するための行動をとることができる。

文化の差異に敬意を持ち、多様な背景を持つ人々と目標に向けて協力して行動することができる。

2 意欲・関心

次に掲げる項目のいずれかに該当していること。

- 幅広い教養と国語・日本語・文学・国語教育・日本語教育などの専門的知識を体系的に学び、身に付けたいという意欲を持つ人
- 将来、国語教員、日本語教員として活躍するために必要とされる言語力、基礎的な知識と技能を身に付ける意欲を持つ人
- 日本語を通してひろく言語一般に関する関心を持ち、専門的な知識を得たいという意欲を持つ人
- 国語科の科目、文章表現、古典、漢文に興味関心がある人
- 日本語教育に関心を持ち、国内・海外における日本語教育の現場を体験し、何らかの形で日本語教育にかかわる仕事に就きたいという意欲を持つ人
- 外国人等児童・生徒に対する学校における日本語教育の問題を解決するために協力する意欲を持つ人
- 中学校・高等学校などで国語科教員となり、自分が得意とするスポーツ・文化活動の指導に関わりたいという意欲を持つ人
- 日本語コミュニケーションの力を必要とする職業に就くことを希望し、日本語の言語技術を向上させることに強い関心がある人

3 評価方法・評価する能力

評価方法 (試験科目等)	評価する能力	知識 ・ 技能	思考力 ・ 判断力 ・ 表現力	主体性 ・ 協働性
分析力テスト	図表やグラフを読む力、文章読解力、思考力を評価し、また、全て記述式で解答することから、文章表現力も評価する。	✓	✓	
面接	相手に聞かれたことに適切に答えること、自分の考えを適切に表現できることを評価する。		✓	✓
プレゼンテーション	論理的な思考力、情報的的確に伝達する能力、コミュニケーション能力を評価する。	✓	✓	
小論文	日本語学修への意欲、主体性・協働して学ぶ態度、論理的思考力等を評価する。		✓	✓
出願申請書	これまでの自己を振り返り、相対化する思考力と判断力を評価する。 日本語学科の教育内容の理解度、学科への熱意や意欲等を評価する。 また、適切な文体や表現が使用されているかなど、文章表現力を評価する。	✓	✓	
調査書	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価する。			✓
英語	高等学校卒業相当の文法・語彙力・会話表現の知識、英文読解能力、リスニング能力を評価する。	✓		
国語	高等学校卒業相当の語彙力（慣用表現・四字熟語などの知識）・文章読解力・文章表現力を評価する。	✓	✓	
数学	高等学校卒業相当の計算能力・思考力を確認することで、論理的思考力を評価する。	✓		
日本語	本学の授業を受講するために必要な日本語の語彙力、文法の知識、読解力を評価する。	✓		
日本語運用力診断	日本語の短文を音読し、その内容について質疑応答を行うことで、日本語の発音の正確さ、語彙力、理解力等を評価する。	✓	✓	
大学入学共通テスト 各科目	学習指導要領において育成することを目指す資質・能力を評価する。	✓	✓	

《評価する能力と入試区分の対応》

評価方法 (試験科目等)	評価する能力			対応する入試区分													
	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体性・協働性	総合型選抜						学校推薦型選抜			一般選抜		外国人留学生入試		
				AO	なりたいじぶん	クリエイティブ	スポーツ・文化	企業推薦	社会人	指定校・全商	沖縄特別	SDGs	一般選抜	共通テスト利用			
分析力テスト	✓	✓		○	◎												
思考力・判断力テスト	✓	✓		○													
英語力確認テスト	✓	✓		○													
面接		✓	✓	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
英語力診断テスト	✓	✓		○	○												
小論文		✓	✓				◎	◎	◎	◎	◎						
プレゼンテーション	✓	✓			○	◎											
出願申請書		✓	✓							◎	◎						
調査書			✓			◎								○			
英語	✓													◎			
国語	✓	✓												○			
数学	✓													○			
生物	✓													○			
総合教養	✓	✓												○			
日本語	✓																○
日本語運用力診断	✓	✓															○
英語運用力診断	✓	✓															○
講義理解力判定テスト	✓	✓															○
大学入学共通テスト各科目	✓	✓														◎	

◎：全学科共通で実施するもの

○：学科や日程により実施の有無が異なるもの

三つのポリシー

—日本語学科—

2020年度以前入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

日本語学科では、主体的に判断・行動する教養を持ち、グローバル時代のさまざまな問題に向き合える人物を育てることを目標としており、次の要件を満たした者に学士（日本語学）の学位を授与する。

【日本語専攻】

①日本と世界の文化・社会・歴史に多面的な関心を持ち、②日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力を身につけ、③日本語（国語）、日本語教育、国語教育の問題解決に寄与できる。

【グローバル・スタディーズ専攻】

①日本語、英語、中国語を用い、情報を適切に集約・分析・表現ができる、②自己の主張を的確に表現できる、③多様な文化を理解し自らの文化を発信できる、④対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

日本語学科のカリキュラムの最大の特徴は「日本語教育ができる国語教員」を育成できるという点にある。日本語と日本文化を深く理解した上で「国語（母語としての日本語）」や「日本語（外国語としての日本語）」を教え、海外に日本文化を伝える能力を育成することを目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 少人数編成のクラスにおいて、基礎学力の育成（1年次）、専門分野における課題探求能力の涵養（2年次）、専門領域別研究の推進（3年次）、卒業研究による学修の集大成（4年次）を段階的に指導し、職業人としての総合力の育成を図る。
- 2 3年次進級要件に日本語検定3級を課し、確かな日本語運用能力を育成する。
- 3 各専攻の概要
 - (1) 日本語専攻では、国語科教員・日本語教員、または編集者等日本語を専門とする職業人として活躍するために必要な高度な日本語運用能力や指導力を涵養する。
 - (2) グローバル・スタディーズ専攻では、日本語、英語、中国語を身につけ、さらに日本及び周辺諸国・地域の文化、社会、経済、ビジネスを幅広く学び、国際的なセンスと人間力を養う。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

日本語学科では、日本語と日本文化、外国語と外国文化の深い造詣を求め、学ぼうとする意欲を持ち、さらに身につけた言語力、言語教育力、教養力を生かして国際社会で活躍することを志望する次のような人材を求めている。

- 1 日本語専攻では、学校教育における国語科教員やスポーツ指導者、国内外の機関での日本語教員、言語教育に関わる仕事、言語や言語教育の研究を志望する人
- 2 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、多文化に対する柔軟な思考力を身につけ、国際社会で活躍しようとする人

対応する入試【AO入試】【スポーツ・文化活動特別入試】

- 3 日本語専攻では、学校教育における国語科教員、国内外の機関で言語教育に関わる仕事を志望する人
- 4 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、多文化に対する柔軟な思考力を身につけ、国際社会で活躍する意欲のある人（日本語検定3級以上が望ましい）

対応する入試【推薦入試】

- 5 日本語専攻では、母国での日本語教員、日本語教育に関わる仕事を志望する人で、基礎的な日本語運用能力を有し、入学後の日本語運用能力と日本文化の知識を高めようと努力する強い意志のある人
- 6 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力を身につけ、日本と母国との発展に貢献する強い意志を持ち、国際社会で活躍する意欲のある人

対応する入試【外国人留学生特別入試】

- 7 日本語専攻では、国語科教員、日本語教員、その他言語教育に関わる仕事、言語や言語教育の研究者、また編集者など日本語についての見識を生かす職業を志望する人
- 8 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、異文化適応力を身につけ、日本社会と国際社会に貢献する意欲を持つ人

対応する入試【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】

三つのポリシー

—英米語学科—

2021年度以降入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

英米語学科では、次の要件を満たした者に、学士（英米語学）を授与する。

- 1 国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力が身につけている。
- 2 言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力が身につけている。
- 3 社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格が身につけている。
- 4 教育・研究の分野で活躍できる能力が身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

英米語学科は、英語による実践的なコミュニケーション能力の修得とその基盤となる文化的背景の理解を深めることを目指すと共に、グローバル社会の進展を見据え、多言語能力（英語＋中国語等）と国際教養（諸外国の文化・社会・ビジネスに関する基礎知識）の涵養も目指し、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 1、2年次の必修英語プログラム「Intensive English Program (IEP)」を中心に、週6コマのレベル別少人数クラスで、英語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）の育成を図る。
- 2 2年次からは、英米語専攻（English Language Major, ELM）とグローバル・スタディーズ専攻（Global Studies Major, GSM）からなる2専攻制に移行し、目標進路の達成に必要な基礎力及び専門能力の養成を図る。
- 3 各専攻の概要
 - (1) 英米語専攻では、言語や文化や教育についての理解やスキルの向上を目指す「英米語・英米文化関連科目」を中心に履修することにより、高度で実践的な英語力と幅広い教養を身につける。
 - (2) グローバル・スタディーズ専攻では、「グローバル・スタディーズ関連科目」（コア科目、地域研究科目等）を中心に履修することにより、グローバル人材に必要なとされる素養（実務的語学力、ビジネス思考等）を身につける。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

英米語学科では、英語コミュニケーション能力と、多言語・多文化・歴史・ビジネス等についての幅広い教養や資格を武器に、社会の様々な分野で活躍することのできる力を育てることを目指している。そのため、英語を学ぶことに対して強い意欲を持つと同時に、次に示すような資質、興味・関心、目標を持つ人材を求めている。

1 入学前に身に付けておくことが望ましい資質・能力

① 知識・技能

高等学校卒業相当と認められる英語、国語、社会の基礎学力。

英語4技能がバランスよく身に付いており、CEFR A2 レベル以上と認められる英語運用能力を持つことが望ましい。

② 思考力・判断力・表現力

情報を処理・統合する能力、さらにそれに論理的分析を加え、自分の意見として論述する能力や、口頭で発表する能力が身に付いていることが望ましい。

③ 主体性・協働性

立場・考え方・価値観の多様性を尊重し、問題解決に向け、他者と協働するためのコミュニケーション能力が備わっていることが望ましい。

また、これまでにボランティア活動体験があることが望ましい。

2 意欲・関心

次に掲げる項目のいずれかに該当していること。

- 健全な倫理観と責任感を持ち、目標実現のために粘り強く、自律的に努力することができる人
- 継続的な活動を通じて成果を上げた経験をもとに、英語を学ぶことに対して不断の努力をする強い意欲を持つ人
- 世界の言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネスなどについて学び、深く理解することに意欲を持つとともに、学校で提供される諸科目に真摯に取り組み、幅広く学んできた人
- 豊かな教養と実社会で通用する知識・技能や資格を身に付け、英語を通して持続可能な国際未来社会創造に貢献する意欲を持つ人
- 身近な地域や国際社会の諸問題について、その問題解決のための知識を身に付け、グローバル人材として社会貢献活動に参加する強い意思を持つ人
- これまで合格・取得した検定試験・認定試験・資格などについて、さらにその上を目指す努力を重ね、自ら進路・就職先を開拓しようという強い意思を持つ人

3 評価方法・評価する能力

評価方法 (試験科目等)	評価する能力	知識 ・ 技能	思考力 ・ 判断力 ・ 表現力	主体性 ・ 協働性
分析力テスト	図表やグラフを読む力、文章読解力、思考力を評価し、また、全て記述式で解答することから、文章表現力も評価する。	✓	✓	
面接	質疑応答を通じて、論理的思考に基づく意見表明や対話を行う能力等を評価する。		✓	✓
プレゼンテーション	論理的な思考力、情報的的確に伝達する能力、コミュニケーション能力を評価する。	✓	✓	
英語力診断テスト	英語短文を音読し、その内容について質疑応答を行うことで、英語によるコミュニケーション能力を評価する。	✓	✓	
小論文	英米語学学修への意欲、主体性・協働して学ぶ態度、論理的思考力等を評価する。		✓	✓
出願申請書	これまでの自己を振り返り、相対化する思考力と判断力を評価する。 英米語学科の教育内容の理解度、学科への熱意や意欲等を評価する。 また、適切な文体や表現が使用されているかなど、文章表現力を評価する。	✓	✓	
調査書	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価する。			✓
英語	高等学校卒業相当の文法・語彙力・会話表現の知識、英文読解能力、リスニング能力を評価する。	✓		
国語	高等学校卒業相当の語彙力（慣用表現・四字熟語などの知識）・文章読解力・文章表現力を評価する。	✓	✓	
数学	高等学校卒業相当の計算能力・思考力を確認することで、論理的思考力を評価する。	✓		
日本語	本学の授業を受講するために必要な日本語の語彙力、文法の知識、読解力を評価する。	✓		
日本語運用力診断	日本語の短文を音読し、その内容について質疑応答を行うことで、日本語の発音の正確さ、語彙力、理解力等を評価する。	✓	✓	
英語運用力診断	英語の短文を音読し、その内容について質疑応答を行うことで、英語の発音の正確さ、語彙力、理解力等を評価する。	✓	✓	
大学入学共通テスト 各科目	学習指導要領において育成することを旨とする資質・能力を評価する。	✓	✓	

《評価する能力と入試区分の対応》

評価方法 (試験科目等)	評価する能力			対応する入試区分													
	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体性・協働性	総合型選抜						学校推薦型選抜			一般選抜		外国人留学生入試		
				AO	なりたいじぶん	クリエイティブ	スポーツ・文化	企業推薦	社会人	指定校・全商	沖縄特別	SDGs	一般選抜	共通テスト利用			
分析力テスト	✓	✓		○	◎												
思考力・判断力テスト	✓	✓		○													
英語力確認テスト	✓	✓		○													
面接		✓	✓	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
英語力診断テスト	✓	✓		○	○												
小論文		✓	✓				◎	◎	◎	◎	◎						
プレゼンテーション	✓	✓			○	◎											
出願申請書		✓	✓							◎	◎						
調査書			✓			◎								○			
英語	✓													◎			
国語	✓	✓												○			
数学	✓													○			
生物	✓													○			
総合教養	✓	✓												○			
日本語	✓																○
日本語運用力診断	✓	✓															○
英語運用力診断	✓	✓															○
講義理解力判定テスト	✓	✓															○
大学入学共通テスト各科目	✓	✓														◎	

◎：全学科共通で実施するもの

○：学科や日程により実施の有無が異なるもの

三つのポリシー

—英米語学科—

2020年度以前入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

英米語学科では、次の要件を満たした者に、学士（英米語学）を授与する。

- 1 国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力を身につけていると判断できる。
- 2 言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力を身につけていると判断できる。
- 3 社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格を身につけていると判断できる。
- 4 教育・研究の分野で活躍できる能力を身につけていると判断できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

英米語学科は、英語による実践的なコミュニケーション能力の修得とその基盤となる文化的背景の理解を深めることを目指すと共に、グローバル社会の進展を見据え、複言語能力（英語＋中国語等）と国際教養（諸外国の文化・社会・ビジネスに関する基礎知識）の涵養も目指し、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 1、2年次の必修英語プログラム「Intensive English Program (IEP)」を中心に、週6コマのレベル別少人数クラスで、英語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）の育成の徹底を図る。
- 2 2年次からは、英米語専攻（English Language Major,ELM）とグローバル・スタディーズ専攻（Global Studies Major,GSM）からなる2専攻制に移行し、目標進路の達成に必要な基礎力及び専門能力の養成を図る。
- 3 各専攻の概要
 - (1) 英米語専攻では、言語や文化や教育についての理解やスキルの向上を目指す「英米語・英米文化関連科目」を中心に履修することにより、高度で実践的な英語力と幅広い教養を身につける。
 - (2) グローバル・スタディーズ専攻では、「グローバル・スタディーズ関連科目」（コア科目、フィールドワーク科目等）を中心に履修することにより、グローバル人材に必要なとされる素養（実務的語学力、ビジネス思考等）を身につける。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

英米語学科では、英語コミュニケーション能力と、複言語・複文化・歴史・ビジネス等についての幅広い教養や資格を武器に、社会のさまざまな分野で活躍することのできる力を育てることを目指している。

そのため、英語を学ぶことに対して強い意欲を持つと同時に、次に示すような資質、興味・関心、目標を持つ人材を求めている。

健全な倫理観と責任感（他者への思いやり、協働の精神、時間や約束を守る強い意志など）を持ち、目標実現のために粘り強く、自律的に努力することができる人
対応する入試【AO入試】

継続的な活動を通じて成果をあげた経験をもとに、英語を学ぶことに対して不断の努力をする強い意欲を持つ人
対応する入試【スポーツ・文化活動特別入試】

世界の言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について学び、深く理解することに意欲を持つとともに、学校で提供される諸科目に真摯に取り組み、幅広く学んでいる人
対応する入試【推薦入試】

豊かな教養と実社会で通用する能力（知識・技能）や資格を身につけて、国際未来社会で活躍することに意欲を持つとともに、一定レベルの英語力（できれば英検2級以上、少なくとも英検準2級以上の英語力）を身につけている人
対応する入試【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】

なお、英米語学科では、主として英語と日本語の基礎学力をベースに入学者選抜を行っている。特に、英語については、高等学校の学習指導要領に基づく基本的な英語の知識とスキルを修得しておくことが必要である。また、一定の文章力と口頭表現力が必要となるため、日本語の基礎学力も求められる。入学後には多分野にわたる科目の履修が要求されるため、得意・不得意の違いはあれ、学校で提供される諸科目に真摯に取り組み、幅広く学んでいることが期待される。

三つのポリシー

—中国語学科—

2021年度以降入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中国語学科では、次の要件を満たした者に学士（中国語学）の学位を授与する。

- 1 中国語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく修得し、中国語による情報収集ができ、中国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
- 2 アジアにおけるグローバル社会に適応する能力として、中国の歴史・文化・経済・社会についての体系的知識を有し、これらの分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論することができる。
- 3 多様な文化的背景を持つ人々と協働していくために、コミュニケーションに必要な実践的言語力（中国語・英語・日本語）を有するとともに、主体的に異文化コミュニケーションを実践することができる。
- 4 中国語専攻学生は、通訳・翻訳に通じる高度な中国語能力を持ち、中国の文化・社会に対する知識を有し、中国語を必要とする仕事において活躍できる。
- 5 グローバル・スタディーズ専攻学生は、経済・経営・会計・統計などビジネスに必要となる知識を持ち、グローバル社会で活躍できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

中国語学科は、実践的な中国語力を涵養し、各専攻に特化した中国語運用能力、専門知識の修得を目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 1、2年次には、独自の教授法により、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を育成するとともに、中国の社会、歴史、文学、思想についての基本的知識の修得を図る。
- 2 2年次からは、二つの専攻ごとにその特色を生かした専門科目を段階的に学ぶことにより、それぞれの専攻分野の基礎力及び進路に応じた高度な能力の養成を図る。
- 3 各専攻の概要
 - (1) 中国語専攻では、教員、通訳、出版、広く社会での一般職の職業を目指す者に、中国語学・中国文化を体系的に学んで、中国語教授力及びことばの高度な運用力の育成を図ると同時に、豊かな感受性、自己表現能力、抽象的思考力を身につける。
 - (2) グローバル・スタディーズ専攻（GSM）では、中国語による実践的語学力を養成した上で、現代社会についての幅広い知識を身につけ、現代のビジネス社会が求める社会学的教養を修得して、21世紀社会に脚光を浴びるであろう東アジア、東南アジア社会を中心に、国際ビジネス社会で活躍できる能力を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

中国語学科では、世界有数の経済大国である中国の重要性を認識し、国際未来社会で活躍するひとつの方法として、中国語を核とする言語運用能力、関連する歴史・文化・社会などの教養を身に付け、実践的コミュニケーション能力を涵養していくことに強い意欲のある次のような人材を求めている。

1 入学前に身に付けておくことが望ましい資質・能力

① 知識・技能

高等学校卒業程度の国語の基礎学力。

学修が一定の水準に達するまで努力を重ねることができる資質・能力。

② 思考力・判断力・表現力

高等学校卒業程度の基礎学力に基づき、自分の考えと判断を適切に表現することができる資質・能力。

③ 主体性・協働性

異文化コミュニケーションの現場に主体的、積極的に関わり、円滑に異文化コミュニケーションを行うことができる資質・能力。

2 意欲・関心

次に掲げる項目のいずれかに該当していること。

- 中国語を身に付け、関連する歴史・文化・経済・社会など幅広い教養を修得し、国際未来社会で活躍しようとする強い意欲のある人
- 中国語力の向上と、関連する歴史・文化・経済・社会など幅広い教養の拡充に向けて不断に努力し、国際未来社会で活躍しようとする強い意欲のある人

3 評価方法・評価する能力

評価方法 (試験科目等)	評価する能力	知識 ・ 技能	思考力 ・ 判断力 ・ 表現力	主体性 ・ 協働性
分析力テスト	図表やグラフを読む力、文章読解力、思考力を評価し、また、全て記述式で解答することから、文章表現力も評価する。	✓	✓	
面接	質疑応答を通じて、努力して学修する資質、異文化を理解する能力、論理的思考に基づいてコミュニケーションを行う能力等を評価する。		✓	✓
プレゼンテーション	論理的な思考力、情報を的確に伝達する能力、コミュニケーション能力を評価する。	✓	✓	
小論文	中国語学修への意欲、中国社会への関心、主体性・協働して学ぶ態度、論理的思考力等を評価する。		✓	✓
出願申請書	これまでの自己を振り返り、相対化する思考力と判断力を評価する。 中国語学科の教育内容の理解度、学科への熱意や意欲等を評価する。 また、適切な文体や表現が使用されているかなど、文章表現力を評価する。	✓	✓	
調査書	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価する。			✓
英語	高等学校卒業相当の文法・語彙力・会話表現の知識、英文読解能力、リスニング能力を評価する。	✓		
国語	高等学校卒業相当の語彙力（慣用表現・四字熟語などの知識）・文章読解力・文章表現力を評価する。	✓	✓	
数学	高等学校卒業相当の計算能力・思考力を確認することで、論理的思考力を評価する。	✓		
日本語	本学の授業を受講するために必要な日本語の語彙力、文法の知識、読解力を評価する。	✓		
日本語運用力診断	日本語の短文を音読し、その内容について質疑応答を行うことで、日本語の発音の正確さ、語彙力、理解力等を評価する。	✓	✓	
大学入学共通テスト 各科目	学習指導要領において育成することを目指す資質・能力を評価する。	✓	✓	

《評価する能力と入試区分の対応》

評価方法 (試験科目等)	評価する能力			対応する入試区分													
	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体性・協働性	総合型選抜						学校推薦型選抜			一般選抜		外国人留学生入試		
				AO	なりたいじぶん	クリエイティブ	スポーツ・文化	企業推薦	社会人	指定校・全商	沖縄特別	SDGs	一般選抜	共通テスト利用			
分析力テスト	✓	✓		○	◎												
思考力・判断力テスト	✓	✓		○													
英語力確認テスト	✓	✓		○													
面接		✓	✓	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
英語力診断テスト	✓	✓		○	○												
小論文		✓	✓				◎	◎	◎	◎	◎						
プレゼンテーション	✓	✓			○	◎											
出願申請書		✓	✓							◎	◎						
調査書			✓			◎								○			
英語	✓													◎			
国語	✓	✓												○			
数学	✓													○			
生物	✓													○			
総合教養	✓	✓												○			
日本語	✓																○
日本語運用力診断	✓	✓															○
英語運用力診断	✓	✓															○
講義理解力判定テスト	✓	✓															○
大学入学共通テスト各科目	✓	✓														◎	

◎：全学科共通で実施するもの

○：学科や日程により実施の有無が異なるもの

三つのポリシー

—中国語学科—

2020年度以前入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中国語学科では、次の要件を満たした者に学士（中国語学）の学位を授与する。

- 1 中国語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく修得し、中国語による情報収集ができ、中国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
- 2 アジアにおけるグローバル社会に適応する能力として、中国の歴史・文化・経済・社会についての体系的知識を有し、これらの分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論する力を修得していると判断できる。
- 3 多様な文化的背景を持つ人々と協働していくために、コミュニケーションに必要な実践的言語力（中国語・英語・日本語）を有するとともに、主体的に異文化コミュニケーションを実践する能力を修得していると判断できる。
- 4 中国語専攻学生は、通訳・翻訳に通じる高度な中国語能力を持ち、中国の文化・社会に対する知識を有し、中国語を必要とする仕事において活躍し得る能力を修得していると判断できる。
- 5 グローバル・スタディーズ専攻学生は、経済・経営・会計・統計などビジネスに必要となる知識を持ち、グローバル社会で実践的に活躍し得る能力を修得していると判断できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

中国語学科は、実践的な中国語力を涵養し、各専攻に特化した中国語運用能力、専門知識の修得を目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 1、2年次には、独自の教授法により、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を育成するとともに、中国の社会、歴史、文学、思想についての基本的知識の修得を図る。
- 2 2年次からは、二つの専攻ごとにその特色を生かした専門科目を段階的に学ぶことにより、それぞれの専攻分野の基礎力及び進路に応じた高度な能力の養成を図る。
- 3 各専攻の概要
 - (1) 中国語専攻では、教員、通訳、出版、広く社会での一般職の職業を目指す者に、中国語学・中国文化を体系的に学んで、中国語教授力及びことばの高度な運用力の育成を図ると同時に、豊かな感受性、自己表現能力、抽象的思考力を身につける。
 - (2) グローバル・スタディーズ専攻（GSM）では、中国語による実践的語学力を養成した上で、現代社会についての幅広い知識を身につけ、現代のビジネス社会が求める社会的教養を修得して、21世紀社会に脚光を浴びるであろう東アジア、東南アジア社会を中心に、国際ビジネス社会で活躍できる能力を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

中国語学科では、物や情報がグローバルに行き交う社会において、コミュニケーション手段としての言語の重要性は明らかなため、日本語、英語の基礎力を持ち、中国語と合わせて、それらを発展させていく意欲のある次のような人材を求めている。

- 1 中国語習得に対して強い意欲を持ち、進級に必要な一定の語学力に達するまで努力を厭わない積極的な人
- 2 異文化コミュニケーションに主体的に関わる意欲のある人

対応する入試【AO入試】

- 3 高等学校における授業内容を着実に理解し、継続的に努力する強い意欲のある人
- 4 経済・社会・歴史・文化など幅広い教養の修得に対し、継続的に努力する強い意思を持った人

対応する入試【推薦入試】

- 5 自らの考えを客観的に整理・要約し、的確な表現で合理的に説明していきたいと考える人
- 6 語学学習だけでなく、経済・社会・文化など幅広い教養の修得に向けて、不断の努力を続ける強い意欲を持つ人

対応する入試【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】

外国語学部で学ぶ学生諸君へ

外国語学部長 中川 仁

外国語学部へようこそ。新入生の学生諸君には、大学生になったという実感が、この「履修の手引」を開いた瞬間にうまれたのではないのでしょうか。また在学生諸君には、コロナ禍も落ちつきをみせ、学修環境は正常化し、継続的な学修に臨んでいることと思います。

外国語学部における学びは、それぞれの学生諸君の「母語」の運用能力を磨き、外国語学修に必要な読む、書く、話す、聞くの四技能を身に付けていくことを主眼とし、その外国語との相関関係にある学問的な分野（人文科学、社会科学、自然科学）をも網羅し、理解することから始まります。つまり外国語を理解するためには、「言葉」を学ぶ或いは、習得していくということのみならず、文化的な背景（その人々が歩んできた歴史的な背景、その人々が育んできた文学的な背景、その人々を形成してきた社会的な仕組み、その人々が生活してきたなかで育まれた慣習）を含めそれを理解し、これらの諸要因が存在してこそ、その「言葉」が成り立っているということ、あらためて理解していただきたい。またそれぞれの「言葉」（日本語、英米語、中国語）には、これらのことがらが潜んでいるということ、その「言葉」が、どのように生成されてきたのかということ、外国語学部で探究して欲しいと思っています。そして「言葉」を運用するための専門的な知識も涵養し、「論理的な思考」を実践していける要素を身に付けていくことを心がけていくことを望みます。大学での学びを基礎とし、社会で実践できる能力をこの外国語学部で養ってください。

外国語学部での4年間の学びを提示します。

1年次は初年次教育として、「学修の基礎」の科目をはじめとし、本学の特色を知り、基礎知識を定着させます。そして外国語研究概論、フレッシュパーソンセミナーⅠ・Ⅱ（1年次ゼミクラス）を中心に、各学科の基礎専門科目を学修し、それぞれの言葉における基礎知識を培養します。

2年次は各学科の特色ある基礎専門科目の始まりです。そして言語専攻とグローバル・スタディーズ専攻に分けられ、専攻別による基礎専門科目を学修していきます。言語専攻では、主に言語の本質を知り、言語文化の探究をしていきます。グローバル・スタディーズ専攻では、経済学及び経営学をはじめとするビジネススキルの基礎を学び、実践的な語学力を培養していきます。これらは課題探求セミナーⅠ・Ⅱ（2年次ゼミクラス）で実践されていくこととなります。

3年次は各学科の専門領域研究講座（3年次ゼミクラス）を通して、専門的な分野に言及していきます。そして将来を視野に入れた活動も開始し、就職活動セミナーにも参加していきます。

4年次は各学科の卒業研究指導が開始され、各ゼミによる指導、論文の執筆、論文発表会などを含め4年間の集大成をしていきます。また同時に就職活動も進めていきます。

この4年間で「言葉」を学びつつ、そして「論理的な思考」を実践していき、「知」を身に付け、グローバル社会で活躍できる行動力をも養っていくことに力を注いでいきましょう。

学科概要

日本語学科

言葉力 人間は「言葉」を使って考えます。人間は、家族、友だち、配偶者、先生、先輩・後輩、同僚・上司・部下など、多くの人と接し、自分の考えや意思や感情を伝え、相手の意図を理解して生きています。「言葉」はコミュニケーションに不可欠のものです。将来どの道を歩もうとも、あなたの国語力・日本語力が求められます。

情報力 現代社会には大量の情報が流れています。どの情報が価値があり、どのように情報を使いこなすか。正確な情報、役立つ情報を見分ける力、正確でわかりやすく情報を発信する力であなたの人生は変わります。

教養力 確かな知識と経験をもとに、論理的に考え、わかりやすく述べる力、自分の考えを他の人に理解してもらう力、その場の雰囲気を読む力、人に好かれる態度や行動などの総合力が社会では必要です。

日本語学科は、生きる力の源＝**学ぶ力**、それを支える**言葉力**、**情報力**、**教養力**を身に付ける学科です。国語力・日本語力と、日本や世界についての豊かな知識と経験を身につけるところです。将来、中学校・高等学校の国語教員及び国内外の非母語話者に日本語を教える日本語教員〔日本語専攻 (JLM: Japanese Language Major)〕、国内外のホテル・観光業、金融業、商業、販売業、製造業、出版業、広告業などでの仕事に就く人材〔グローバル・スタディーズ専攻 (GSM: Global Studies Major)〕を少人数制、担任制、特別対策指導を通じて育てます。

英米語学科

英語による実践的なコミュニケーション能力の習得とその能力の基盤となる文化的背景の理解—これが、本学科の基本的な教育目標です。さらに、グローバル社会の進展を見据え、多言語能力（英語＋中国語）＋ α と国際教養（諸外国の文化・社会・ビジネスに関する基礎知識）の涵養を目指します。

21世紀のグローバル社会で活躍するためには、英語に関するコミュニケーション能力や文化的背景の理解は言うに及ばず、英語以外の外国語についての理解と様々な地域の文化・社会・経済・ビジネスに

ついての教養を深める必要があります。そのため、本学科では、英米語専攻 (ELM: English Language Major) とグローバル・スタディーズ専攻 (GSM: Global Studies Major) の2専攻を設け、学生それぞれの希望や資質を踏まえて、専門性を高めていきます。ELMに所属する学生は、言語や文化や教育についての理解やスキルの向上を目指す科目を中心に履修することにより、将来の進路達成を目指します。GSMに所属する学生は、ビジネス関連のコア科目、世界の政治・経済を学ぶグローバル科目、フィールドワーク科目等の履修を通して、グローバルな人材に必要なとされる素養を身につけ、卒業後の進路の実現を目指します。

中国語学科

グローバル時代に必要な能力とは何でしょうか。それは、外国語をその社会的背景を含めて理解・運用できる「異文化コミュニケーション能力」と、時代や状況の変化に柔軟に対応し得る「教養力」であると考えています。

世界で第二位と第三位のGDPを誇る中国と日本、そして急成長を続けるASEANを視野に入れるとき、21世紀のグローバル社会の主役の一つがアジアであることは明らかです。この地域で最も話されている言語が中国語と英語であることを考えれば、いま中国語を学ぶ意義も明らかでしょう。本学科では、これまで少し学んだ経験のある人も、全くのゼロからはじめる人も、実用的で「使える」中国語が修得で

きます。たった4年間で実用的な中国語が修得できる理由は、明海大学独自の「明海メソッド」にあります。週8コマの少人数クラスの中国語の授業は、すべての講義が相互に関連を持っており、無理なく文法をマスターし、話せるようになっていきます。

中国語専攻 (CLM: Chinese Language Major) では、中国語を訓練し、さらに中国の歴史・社会・文化を理解して、中国に精通した人材の育成を目指しています。

グローバル・スタディーズ専攻 (GSM: Global Studies Major) では、経済や会計などビジネスに直結する講義や、グローバルに活躍する先人たちの話を聞く授業も用意されています。

いずれの専攻も、一人ひとりの「学び」をサポートする、しっかりとしたカリキュラムが用意されています。

I

共通事項

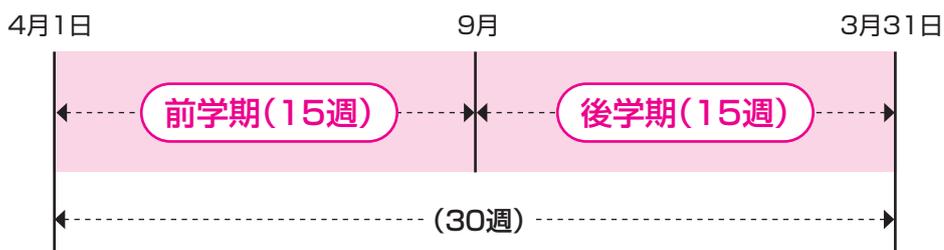
全学生に共通する項目です。

1 授業

1 授業

[1] 学期

1年間は前学期と後学期の2学期で構成され、授業はおおむね前学期が15週、後学期が15週、年間30週にわたり開講されます。



参照→「学年暦」

[2] 授業時間

授業は1時限当たり90分で行われ、原則として、月曜日から金曜日の1時限から5時限となります。

ただし、月曜日から金曜日の6時限及び土曜日の1・2時限に、集中授業、特別授業、補講及び就職等各種ガイダンス等が行われることがあります。

曜日 時限	月	火	水	木	金	土
1	9:00 ~ 10:30					
2	10:40 ~ 12:10					
3	13:00 ~ 14:30					
4	14:40 ~ 16:10					
5	16:20 ~ 17:50					
6	18:00 ~ 19:30					

参照→P.3「補講」

[3] 授業の出席

授業にはすべて出席しなければなりません。

原則として、実授業回数の5分の4以上の出席がなければ試験を受けることができません。

[4] 授業の欠席

やむを得ない事由により授業を欠席する（した）場合、次のとおり手続を行ってください。

※1
「授業欠席届」（所定様式）は学事課（教務担当）で受領してください。

※2
「欠席届（体育クラブ活動）」（所定様式）は学生支援課（学生支援担当）で受領してください。

※3
以下のいずれかに該当する場合の取扱いは、保健管理センターの判断によります。
①連続した7日間を超える欠席期間
②第3種「その他の感染症」

参照→P.12
「定期試験の欠席」

欠席の事由	提出書類		提出先	取扱い
	届出書類	添付書類		
父母、祖父母、兄弟、姉妹に不幸があった場合	授業欠席届（所定様式）※1	会葬礼状等	学事課（教務担当）	次の期間については、欠席の扱いをしません。 父母： 連続した7日間と往復の日数 祖父母、兄弟、姉妹： 連続した5日間と往復の日数
学校保健安全法施行規則第18条に定められた感染症にかかった場合		感染症名、発症日及び治癒までにかかった期間が判断できる診断書		原則、当該期間中は欠席の扱いをしません。 ※3
教育実習・介護等の体験（事前打合せを含む。）		裁判所が発行する証明書類		当該期間中は欠席の扱いをしません。
裁判員等に選任され、裁判所に出向いた場合				
体育会所属クラブと学生会体育会連盟会所属のスポーツ・文化活動特別入学試験指定クラブの学生が公式試合等に参加した場合	欠席届（体育クラブ活動）（所定様式）※2		学生支援課（学生支援担当）	欠席の扱いをしません。
上記以外の事由 例：病気、ケガ、事故など	欠席事由を証明できるもの		授業担当教員（事務窓口での取扱いは一切行いません。）	授業担当教員の判断によりますので、各自で確認してください。

注意 1 欠席した授業の内容は、後日必ず授業担当教員に確認してください。

注意 2 授業科目によっては、授業担当教員から出席の代わりに課題（レポート等）が課されることがあります。

注意 3 平常授業時に実施される試験の欠席については、欠席の事由を証明する書類を**授業期間内**に授業担当教員に直接提出し、その取扱いについて授業担当教員の指示を受けてください。学事課（教務担当）での取次ぎ等は一切行いません。

注意 4 添付書類は原本を提出してください。

なお、原本の返却が必要な場合は、提出時に学事課（教務担当）に申し出てください。

参考：学校保健安全法施行規則第18条に定められた感染症の種類

種別	病名
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARSコロナウイルス）、中東呼吸器症候群（MERSコロナウイルス）、特定鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症、新感染症
第2種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風しん、水痘（みずぼうそう）、咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症、結核、髄膜炎菌性髄膜炎
第3種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症

[5] 休 講

参照→『Webポータルシステム利用マニュアル』

参照→P.37「学生への連絡」

やむを得ず授業が休講となることがあります。原則として授業の休講はWebポータルシステムの掲示配信及び掲示板で告知しますので、始業前に必ず確認してください。

なお、休講の掲示配信等がなく、授業開始時刻から30分以上経過しても授業担当教員が出講しない場合は、学事課（教務担当）で指示を受けてください。

[6] 補 講

参照→『Webポータルシステム利用マニュアル』

参照→P.37「学生への連絡」

やむを得ず授業が休講となった場合、補講が実施されます。

また、授業の進捗等により、授業担当教員の判断で補講を実施することがあります。

補講は、学年暦に定める補講期間のほか、平常授業期間、夏季・冬季・春季休暇中に実施される場合もあります。日時等の詳細については、Webポータルシステムの掲示配信及び掲示板で告知します。

2 授業科目

授業科目は、開講される期間別に次のとおり分けられます。

[1] 開講期

セメスター科目 (15週)	前学期又は後学期のいずれかの学期で授業が完結し、成績が評価される科目 注意 セメスター科目には、1週間に1回授業を行う科目と、1週間に2回授業を行う科目の2種類があります。
通 年 科 目 (30週)	前学期と後学期の1年間で授業が完結し、成績が評価される科目
集 中 科 目	ある一定の期間に集中的に授業が行われ、成績が評価される科目

[2] 配当年次

授業科目には、それぞれ配当年次が定められています。これは、各授業科目を系統的に学修するために履修できる年次の配当を定めているものです。

自分の在籍年次より下位年次に配当されている科目の履修は認められますが、上位年次に配当されている科目の履修は認められません。

なお、『授業時間割』及び『シラバス』には、配当年次のうち履修可能な最低年次が記載されています。

※同一名称科目でも入学年度によって配当年次が異なる場合があります。履修登録の際は、必ず教育課程表を確認してください。

参照→「教育課程表」

[3] 授業科目の種類

授業科目には、次のとおり3つの種類があります。

科目の種類	定 義
必 修	卒業するために必ず単位を修得しなければならない科目
選 択 必 修	必修科目以外で特定の分野又は科目の中から所定の単位数を修得しなければならない科目
選 択	必修科目及び選択必修科目以外の科目

3 単位制

[1] 単位制とは

大学における学修は単位制により行われています。単位制とは、所定の授業科目を一定の基準に従い履修（受講）し、試験に合格することで、その科目ごとに定められている単位を修得していく制度をいいます。

[2] 単位を修得するための学修時間

単位の算定は、大学設置基準により、1単位の授業科目を45時間の学修（各自が行う自習時間を含む。）を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業外に必要な学修等を考慮して、各大学において定めるとされています。

本学においては、原則として講義及び演習の科目については15時間の授業と授業外の学修30時間をもって1単位、実験、実習、実技及び外国語の科目については30時間の授業と授業外の学修15時間をもって1単位としており、1単位を修得するための授業時間数と授業外の学修時間数の割合は次のとおりです。

講義・演習		実験・実習・実技・外国語	
授業 15時間	授業外(事前・事後)の学修 30時間	授業 30時間	授業外(事前・事後)の学修 15時間
45時間 1単位		45時間 1単位	

単位を修得するためには、授業だけでなく、毎回の授業に対する事前の準備及び事後の展開などの主体的な学びに要する十分な学修時間が必要です。主体的な学修の仕方を身に付けてください。

なお、各授業科目の授業外（事前・事後）の学修内容及び学修目安時間については、『シラバス』等で確認してください。

[3] 各授業科目の単位数

本学における授業の方法・開講期ごとの学修時間数及び単位数は、次のとおりです。

授業の方法	開講期	学 修 時 間 数	単位数
講 義 演 習	Semester (週1回)	$[2 \text{ 時間(授業)} + 4 \text{ 時間(授業外)}] \times 15 \text{ 週} = 90 \text{ 時間}$	2
	Semester (週2回)	$[4 \text{ 時間(授業)} + 8 \text{ 時間(授業外)}] \times 15 \text{ 週} = 180 \text{ 時間}$	4
	通 年	$[2 \text{ 時間(授業)} + 4 \text{ 時間(授業外)}] \times 30 \text{ 週} = 180 \text{ 時間}$	4
実 験 実 習 外 国 語	Semester (週1回)	$[2 \text{ 時間(授業)} + 1 \text{ 時間(授業外)}] \times 15 \text{ 週} = 45 \text{ 時間}$	1
	Semester (週2回)	$[4 \text{ 時間(授業)} + 2 \text{ 時間(授業外)}] \times 15 \text{ 週} = 90 \text{ 時間}$	2
	通 年	$[2 \text{ 時間(授業)} + 1 \text{ 時間(授業外)}] \times 30 \text{ 週} = 90 \text{ 時間}$	2

※1 授業（90分）は、2時間として換算します。

[4] 単位の認定

履修した科目の単位は、原則として、試験に合格したときに初めて認定されます。試験の方法は、筆記試験、レポート・論文・作品の提出、実技、実習等がありますが、授業科目によっては、平常の成績をもって試験の成績に代えることがあります。

なお、単位の認定に際し、出席数が不足していたり、あるいは途中で受講を放棄したような場合は、その科目の単位は認定されません。

2 履修

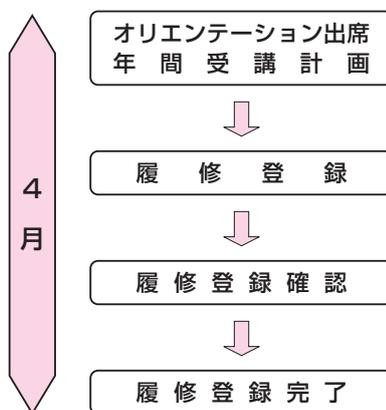
履修とは、各学部・学科で定めている授業科目を一定の規則に従い習い修めることです。

授業科目を履修するに当たっては、進級・卒業要件はもちろんのこと、次に掲げる規則を十分踏まえて、履修計画を立てなければなりません。

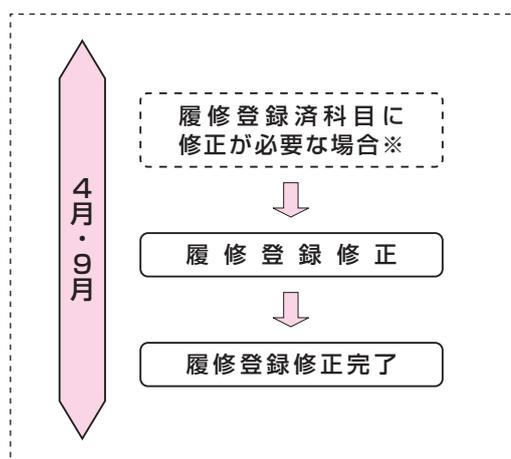
1 履修のルール

[1] 履修登録とは

履修登録とは、学年の始めに年間受講計画を立て、履修するすべての授業科目を登録する手続のことです。その流れはおおむね次のとおりです。



※履修登録修正は、やむを得ず修正が必要な場合のみ行うことができます。



履修登録は、1年間の学修を始めるために欠かすことのできない大学生活で最も重要な手続です。

しかし、履修登録時の単純なミスや、履修登録期間に登録を忘れたことなどが原因で単位を修得できなくなったり、留年するような事態が毎年起きています。

このような事態を未然に防ぐためにも、この『履修の手引』をよく読み、自己の責任において正しい履修登録手続を行ってください。

[2] 履修単位数 の上限

※履修登録に当たっては、単位を修得するための学修時間を考慮し、年間40単位を目安に登録することが望ましい。

単位を修得するには、「単位制」の項目で説明したとおり、授業外にも学修のための時間が必要となります。このことから、学修が無理なく行われるように次のとおり履修できる単位数の上限が定められています。

2025年度入学生

年次	学 期	履修単位数の上限	備 考
1年 ┆ 4年	前学期	24	※通年科目については、単位数の1/2を前学期及び後学期にそれぞれ算入します。 例：4単位の通年科目 $\begin{cases} \rightarrow 2単位 & \text{前学期} \\ \rightarrow 2単位 & \text{後学期} \end{cases}$ ※以下の科目の単位数は上限に含まれません。 1 集中授業 2 単位認定制度により認定を受けようとする科目 3 教職専門科目 ※教職専門科目とは、教職課程にのみ開講している科目です。詳細はオリエンテーション及び該当する入学年度の教職課程表で確認してください。
	後学期	24	

2024年度以前入学生

年次	学 期		履修単位数の上限	備 考
1年	前学期	1学期	22	※通年科目については、単位数の1/2を前学期及び後学期にそれぞれ算入します。 例：4単位の通年科目 $\begin{cases} \rightarrow 2単位 & \text{前学期} \\ \rightarrow 2単位 & \text{後学期} \end{cases}$
	後学期	2学期	22	
2年	前学期	3学期	24	※以下の科目の単位数は上限に含まれません。 1 集中授業 2 単位認定制度により認定を受けようとする科目 3 教職専門科目 ※教職専門科目とは、教職課程にのみ開講している科目です。詳細はオリエンテーション及び該当する入学年度の教職課程表で確認してください。
	後学期	4学期	24	
3年	前学期	5学期	26	※以下の科目の単位数は上限に含まれません。 1 集中授業 2 単位認定制度により認定を受けようとする科目 3 教職専門科目 ※教職専門科目とは、教職課程にのみ開講している科目です。詳細はオリエンテーション及び該当する入学年度の教職課程表で確認してください。
	後学期	6学期	26	
4年	前学期	7学期	28	※以下の科目の単位数は上限に含まれません。 1 集中授業 2 単位認定制度により認定を受けようとする科目 3 教職専門科目 ※教職専門科目とは、教職課程にのみ開講している科目です。詳細はオリエンテーション及び該当する入学年度の教職課程表で確認してください。
	後学期	8学期	28	

なお、2年（3学期）から4年（8学期）の履修単位数の上限を24単位から28単位としているのは、前年度までの修得単位数が不十分な学生に配慮したものです。また、4年次にこの上限内で卒業要件を満たす履修ができない場合、その時点で留年が確定することになりますので、履修した科目については確実に単位を修得するよう、授業への出席はもちろんのこと、予習・復習をおろそかにしないことが重要です。

[3] クラス指定

語学、実習等授業科目の性質から、適正人数(少人数等)で授業を行うためにクラスが指定される科目があります。原則として、指定されたクラス以外での履修は認められません。

	2025年度新入生	2025年度2年次生
クラス発表	3月28日(金) 2101・2103大講義室横掲示板	3月27日(木) 2101・2103大講義室横掲示板
クラス変更	原則としてクラス変更は認められませんが、クラス指定された科目が再履修等により必修科目と重複し、履修に制約を受ける場合に限り、次の手続を行うことでクラス変更が認められることがあります。	
クラス変更手続内容	① 学事課(教務担当)で「クラス変更許可願」(所定様式)を受領し、必要事項を記入する。 ② 変更前及び変更希望先の両授業担当教員に提示し、変更の許可を得た後、「クラス変更許可願」を学事課(教務担当)へ提出する。 ③ 変更したクラスに基づき、各自履修登録を行う。 注意 クラス変更の手続期間中に授業担当教員に許可を得ることが難しい場合は、学事課(教務担当)に相談してください。	
クラス変更手続期間	3月27日(木)～4月17日(木)	
その他	授業科目によっては、クラス編成を変えることがあります。この場合、オリエンテーション又は掲示で発表します。	

注意 編入学生・学士入学生のクラス指定は原則としてありません。

[4] 再履修

再履修とは、不合格になった科目を翌学期以降に再び履修することをいいます。

再履修しなければならない科目	不合格になった科目が進級や卒業の要件となる必修科目の場合、再履修して単位を修得しなければなりません。選択必修科目や選択科目の場合、同分野の他の科目で必要単位を満たすことができます。
再履修科目のクラス指定	再履修者のクラスが指定されている場合は、必ずそのクラスで履修しなければなりません。クラス指定については、2101・2103大講義室横掲示板で確認してください。 クラスが指定されていない場合は、どのクラスでも履修できますが、科目によっては履修人数の制限がありますので、履修登録前に必ず授業担当教員に許可を得てください。授業担当教員に無断で登録した場合、履修登録が取り消されることがあります。
再履修科目の優先履修	再履修科目と在籍する年次の配当科目が授業時間割上重なっている場合は、配当年次の低い再履修科目を優先して履修してください。

[5] 履修できない科目

カリキュラムが異なる科目	カリキュラムが改正されたことによって、入学年度により開講される授業科目や卒業要件が異なりますので、自分が入学した年度の教育課程表をよく確認し、履修することができない異なる入学年度のカリキュラム科目を誤って履修しないよう注意してください。
他学部・他学科開講科目	他学部・他学科開放科目を除く他学部・他学科が開講している専門科目を履修することはできません。
単位修得済科目	一度単位を認定された科目は、再度履修することができません。
同一名称科目	授業担当教員や開講時限が異なっても、同一名称の科目は重複して履修することはできません。

2 履修登録方法

履修登録は、Webポータルシステムで行います。詳細については、『Webポータルシステム利用マニュアル』を参照し、正しい登録を行ってください。

(前学期)

1 オリエンテーション・資料配布・時間割組立 3月25日(火)～4月2日(水)

チェックポイント

- (1・2年生) 自分のクラスを確認する。
- (2～4年生) 前年度の成績表をもとに、教育課程表で修得済及び未修得科目を確認する。
- (2～4年生) 再履修が必要な必修科目がある場合、クラスが指定されていないか掲示等で確認する。
- (1～4年生) 以下の要件等を踏まえて、履修する科目を選択し、4月2日(水)までに時間割を組み立て、巻末の『時間割(控)』を印刷の上、記入する。
 - 進級要件 → P.63参照
 - 卒業要件 → P.66参照
 - 履修単位数の上限 → P.6参照
 - 履修できない科目 → P.7参照
 - クラス指定 → P.6参照

2 履修相談期間 3月27日(木)～4月2日(水)
時間・場所：9:00～17:00
学事課(教務担当)

チェックポイント

- (1～4年生) 相談するときは、『履修の手引』や掲示等をもう一度よく確認し、疑問点を明確にしておくこと。

3 履修登録期間
(Webポータルシステム「履修登録」) 3月27日(木)9:00～4月2日(水)23:59

チェックポイント

- (1～4年生) 1年間分(通年・前学期・後学期)の科目を登録する。
 - *『Webポータルシステム利用マニュアル』で履修登録方法をよく確認する。
 - *期間内であれば、何度でも登録・修正可能
 - *学内・学外から利用可能
- (1・2年生) あらかじめ登録されている必修科目の曜日・時限・クラス等を確認する。
 - *登録されていない必修科目については、各自で登録する。
- (2年生) 進級見込判定を行い、進級要件を満たしているか確認し、必要に応じて登録内容を修正する。
- (4年生) 卒業見込判定を行い、卒業要件を満たしているか確認し、必要に応じて登録内容を修正する。
- (1～4年生) 通年・前学期・後学期とも登録が終了した後は、必ず学生時間割表を出力し、正しく登録されているか確認し、各自で保管すること。

履修登録完了・履修登録内容の確認 4 (Webポータルシステム「時間割照会」) manaba利用開始	4月3日(木) 17:00以降
5 前学期授業開始	4月5日(土)
チェックポイント	
<input type="checkbox"/> (1~4年生) 初回授業から必ず出席すること。(履修者の選抜を行う場合があります。) <input type="checkbox"/> (1~4年生) 以下の手続きが必要な場合は、『履修の手引』や掲示等を確認し、必ず所定の期限までに手続きを行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> ● (新入生) 既修得単位認定申請 → P.18参照 ● (新入生) 本学入学前に行った知識及び技能に係る審査の成果(資格取得等)に対する単位認定申請 → P.20参照 ● (2~4年生) クラス変更手続 → P.6参照 	

(やむを得ない事由で履修登録済科目に修正が必要な場合)

6 履修登録修正期間 (Webポータルシステム「履修登録」)	4月11日(金) 9:00 ~ 4月17日(木) 23:59
注意 履修登録修正もWebポータルシステム「履修登録」で行います。操作方法等は、履修登録と同じです。	
7 履修登録内容の確認 (Webポータルシステム「時間割照会」) manabaへ履修登録修正内容反映	4月18日(金) 13:00以降
(後学期)	
履修登録修正期間 (Webポータルシステム「履修登録」)	授業開始前 9月5日(金) 9:00 ~ 9月10日(水) 23:59 授業開始後 9月19日(金) 9:00 ~ 9月25日(木) 23:59
履修登録内容の確認 (Webポータルシステム「時間割照会」) manabaへ履修登録修正内容反映	授業開始前 9月11日(木) 17:00以降 授業開始後 9月26日(金) 13:00以降

! 必ず1年間分(通年・前学期・後学期)の授業科目を4月の履修登録期間中に登録してください。

! 今年度履修する科目がない学生は、履修登録期間内に学事課(教務担当)で所定の用紙を受領し、履修する科目がない旨を必ず届け出てください。(Webポータルシステムでの届出はできません。)

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

3 試験・成績

1 試験

履修した科目について単位の認定を受けるためには、試験を受けなければなりません。

試験の方法は、筆記試験、レポート・論文・作品の提出、実技、実習等がありますが、平常授業時の成績等を試験に代えることもあります。

注意 レポート・論文・作品の提出に当たっては、その提出方法等を授業担当教員に確認してください。学事課（教務担当）での取次ぎ等は一切行いません。

[1] 試験の種類

試験には、学年暦に定められた期間に行われる以下に掲げる種類の試験があります。ただし、授業科目によっては平常授業時に試験が行われることがあります。

区分	試験の種類等	概要
学年暦に定められた期間に行われる試験	定期試験	前学期又は後学期に終了する科目について定期試験時間割に基づき実施されます。 通年科目は、必要に応じて前学期にも行われる場合もあります。
	追試験	定期試験当日にやむを得ない事由（忌服、傷病、感染症、交通機関の遅れ、就職採用試験、出張等）のため受験できなかった者に対し、その欠席事由が正当と判断された場合に実施されます。
	再試験	定期試験等の結果、不合格（D評価）となった4年生に対し、授業担当教員が必要と認めた場合に実施されます。 なお、再試験の成績評価は「C」が最高となります。
平常授業時に行われる試験	授業担当教員が学修上必要と認めた場合、平常授業時に随時試験が行われます。 <ul style="list-style-type: none">● 試験の方法、時期等については、授業担当教員から指示があります。● 追試験の対象となりません。やむを得ない事由により受験できなかった場合の措置は、事前に授業担当教員に確認をしておいてください。● 学事課（教務担当）での取次ぎ等は一切行いません。	

参照→P.12
「試験日程・受験手続」



追試験・再試験を受験する場合は、所定の手続が必要です。
所定の手続を行わなかった場合、受験（レポートを含む。）することができません。

[2] 定期試験の欠席

やむを得ない事由により、学年暦に定められた期間に行われる定期試験を欠席した場合、次のとおり手続を行ってください。

※1
学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症の種類についてはP.2を参照してください。

※2
「定期試験欠席届」(所定様式)は学事課(教務担当)で受領してください。

欠席の事由	提出書類		提出先	取扱い
	届出書類	添付書類		
父母、祖父母、兄弟、姉妹に不幸があった場合	定期試験欠席届(所定様式)※2	会葬礼状等	学事課(教務担当)	欠席事由が正当であると判断される場合に追試験を実施します。
傷病		診断書又は医療機関の発行する領収書		
学校保健安全法施行規則第18条に定められた感染症にかかった場合※1		感染症名、発症日及び治癒までにかかった期間が判断できる診断書		
交通機関の遅れ		交通機関の発行する遅延証明書		
就職採用試験(会社訪問、説明会を除く。)		採用試験通知		
社会人学生の出張		出張証明書(社印又は公印が必要)		
裁判員等に選任され裁判所に向いた場合		裁判所が発行する証明書類		

注意1 上記の取扱いは、平常授業時に行われる試験は除きます。

注意2 平常授業時に行われる試験の欠席については、欠席の事由を証明する書類を**授業期間内**に授業担当教員に直接提出し、その取扱いについて授業担当教員の指示を受けてください。学事課(教務担当)での取次ぎ等は一切行いません。

注意3 添付書類は原本を提出してください。

なお、原本の返却が必要な場合は、提出時に学事課(教務担当)に申し出てください。

[3] 試験日程・受験手続

		前 学 期	後 学 期
定期試験	試験時間割発表	7月4日(金) 2101・2103大講義室横掲示板	12月12日(金) 2101・2103大講義室横掲示板
	試験期間	7月24日(木)～30日(水)	1月21日(水)～27日(火)
追試験	定期試験欠席届の提出	定期試験欠席届に欠席事由を証明するものを添付して提出してください。	
	提出期限	7月31日(木)	1月28日(水)
	該当者発表 試験時間割発表 受験手続期間	8月18日(月)・19日(火) 2101・2103大講義室横掲示板	2月9日(月)・10日(火) 2101・2103大講義室横掲示板
	受験手続方法	1科目ごとに「追・再試験受験願」(受験料として1,000円の証紙を貼付)を提出し、受験票の交付を受けてください。 注意 受験票は受験の際に学生証とともに提示してください。	
	試験期間	8月20日(水)～22日(金)	2月12日(木)・13日(金)・16日(月)
再試験	該当者発表 試験時間割発表 受験手続期間	8月18日(月)・19日(火) 2101・2103大講義室横掲示板	2月9日(月)・10日(火) 2101・2103大講義室横掲示板
	受験手続方法	1科目ごとに「追・再試験受験願」(受験料として2,000円の証紙を貼付)を提出し、受験票の交付を受けてください。 注意 受験票は受験の際に学生証とともに提示してください。	
	試験期間	8月20日(水)～22日(金)	2月12日(木)・13日(金)・16日(月)
書類提出・受験手続		学事課(教務担当)	

注意 追試験及び再試験は、所定の手続を行わなかった場合、受験(レポートを含む)することができません。

学年暦に定められた期間に行われる試験は1時限当たり60分で行われます。

[4] 試験時間

時限 \ 曜日	月	火	水	木	金	土
1	9:30 ~ 10:30					
2	11:00 ~ 12:00					
3	13:00 ~ 14:00					
4	14:30 ~ 15:30					
5	16:00 ~ 17:00					

注意 学生への定期試験及び追・再試験時間割発表は学年暦に定める日程で行います。その際、時間割は平常授業の曜日・時限・教室とは異なる場合がありますので、必ずWebポータルシステムの掲示配信及び2101・2103大講義室横掲示板で確認してください。

[5] 受験資格・ 受験上の注意 (学年暦に定められた 期間に行われる試験)

受験資格

次に該当する者は、受験資格がありません。

- 履修登録をしていない者
- 学生証を所持していない者
- 追・再試験については、所定の受験料の納入及び手続きを行っていない者

受験上の注意

- 試験場では、試験監督者の指示に従ってください。
- 試験科目によっては、試験室の座席が1人置きに指定されていますので、試験監督者の指示に従って適宜着席してください。
- 試験開始後20分以上遅刻した者は、受験することができません。
- 試験開始後30分間は、試験室から退室することができません。
- 学生証を必ず持参し、机上の見やすいところに置いてください。
なお、忘れた場合は、学生支援課(学生支援担当)で仮学生証の発行を受けてください。
- 学生証、筆記用具(ペンケースを除く。)、その他試験で使用を許可された物以外は、すべてカバン等の中に入れ、椅子の下に置いてください。携帯電話・スマートフォン等は、電源を切ってカバン等の中に入れてください。また、試験中の物の貸し借りは認めません。
- 試験中に不正行為を行った者は、事情のいかんを問わず直ちに受験停止となり、以後、学則等に基づき処分されます。
- 原則として、実授業回数の5分の4以上の出席がなければ試験を受けることができません。



平常授業時に行われる試験の受験資格・受験上の注意については、授業担当教員の指示に従ってください。

不正行為者の懲戒処分

受験停止・退場

試験場において試験監督者の指示に従わなかった者は、受験停止となり、退場となる。

訓告処分

次のいずれかに該当する者は、訓告処分とし、当該学期の全履修科目の成績を0点とする。

- ①カンニングペーパー等を使用した者
- ②所持品、身体、机及び壁等に書込みをした者
- ③答案を見せた者及び見て書き写した者
- ④私語及び動作等で連絡した者及び連絡を受けて答案を書いた者
- ⑤使用が許可されていない物を使用した者
- ⑥試験場において試験監督者の指示に従わなかった者
- ⑦①～⑥に準ずる不正行為を行った者

停学処分

次のいずれかに該当する者は、停学処分とし、当該年度の全履修科目の成績を0点とする。

- ①受験を依頼した者及び依頼されて受験した者
- ②答案を交換した者
- ③訓告処分に該当する不正行為を再度行った者
- ④①～③に準ずる不正行為を行った者



携帯電話・スマートフォン等を時計の代わりとして使用するケースがみられます。

この行為は、不正行為者の懲戒処分に該当し、訓告又は停学処分の対象となりますので、試験時は必ず電源を切り、カバン等の中へ入れてください。

2 成績

[1] 成績評価・成績表記

成績評価及び成績表記は、次のとおりです。

判定	合格				不合格		認定	編入学・ 学士入学 時認定
	100 ～90	89～ 80	79～ 70	69～ 60	59～ 0	評価 対象外		
成績表に表記される評価	S	A	B	C	D	*	N	H
成績証明書に表記される評価	A		B	C	表記されない		N	H
成績評価の標準分布	10% 程度	20% 程度	—	—	20% 以内	—	—	—

- 評価対象外とは、授業期間を通じ出席不良、試験の未受験又はレポート未提出等のため、成績評価ができないものを指します。
- 「N」（認定）は、単位認定制度等により認定を受けた授業科目について表記されます。
- 「H」（編入学・学士入学時認定）は、3年次への編入学生・学士入学生が入学時に包括・弾力的に認定を受けた科目等について表記されます。
- 成績評価の標準分布は、S 評価、A 評価及びD 評価の標準的な分布を表したものです。各授業科目の評価方法等については、『シラバス』で確認してください。

[2] GPA (成績平均点数制)

本学では、一定期間の履修及び学修状況をより明確に把握するために、GPA (Grade Point Average : 成績平均点数制) による成績・単位修得状況評価を行っています。

GPAは、それぞれの評価に設定されたグレード・ポイント (GP) に単位数を乗じた成績点数の和を、総履修単位数で除することによって算出されますので、一旦履修した科目については、途中で放棄することなく、確実に単位を修得するようにしてください。

なお、GPAは、学生への個別指導、奨学金の給付対象者の選考、宮田賞及び学長賞 (学業成績優秀者への表彰) 授与選考の基準となる他、派遣留学生の選抜及び履修者数の制限等に使用されます。

GPAの算出方法等

GPAの具体的な算出方法等は、次のとおりです。

判定	合格				不合格		認定	編入学・ 学士入学 時認定
	S	A	B	C	D	*		
成績評価	S	A	B	C	D	*	N	H
グレード・ポイント (GP)	4	3	2	1	0	0	除く	除く

①GPAの算出方法

※総履修単位数には、成績評価がN又はHの単位数は含まれません。

$$GPA = \frac{(\text{単位} \times \text{グレード・ポイント}) \text{ の和}}{\text{総履修単位数}^*}$$

[GPAの算出例]

授業科目名	単位数	評価	単位数×グレード・ポイント
日本の歴史	2	B	2×2=4
日本国憲法	2	D	2×0=0
英語 I - a	1	C	1×1=1
日本語表現研究 I	2	S	2×4=8
日本語学講義 II	2	A	2×3=6
漢文学講義	2	*	2×0=0
合計	11		19

$$GPA = \frac{19}{11} = 1.73 \quad \text{※小数点第3位を四捨五入}$$

②総合評価

前記の方法により算出されたGPA によって、次のとおり評価を行います。

GPA	総合評価
3.50 ~ 4.00	特に優れている
3.00 ~ 3.49	優れている
2.00 ~ 2.99	良好
1.00 ~ 1.99	努力が必要
0 ~ 0.99	より一層の努力が必要

注意 総合評価は、履修科目全体の学修成果について評価したものであり、進級又は卒業要件単位の充足状況について評価したものではありません。

成績発表は、次のとおり行います。

[3] 成績発表

成績発表スケジュール

区分	対象年次等	発表日	
前学期 終了科目	1年(1学期) }	学 生	9月4日(木)
	4年(8学期)	保証人	9月上旬
後学期 終了科目	1年(1学期) }	学 生	3月12日(木)
	4年(7学期)	保証人	3月中旬
	4年(8学期)	学 生	2月26日(木)
		保証人	2月下旬

※住所変更等がある場合は、速やかにWebポータルシステムで変更の手続きを行ってください。

参照→[Webポータルシステム
利用マニュアル]

確認方法

学 生	Webポータルシステム「成績照会」で確認
保証人	成績表を郵送(ただし、学費を自己負担している学生の保証人を除きます。)

[4] 成績調査

成績評価について疑問があり、授業担当教員に成績評価の調査を依頼する場合は、所定の期間内に手続きを行ってください。期間外の問い合わせには一切応じません。

※成績調査願(所定様式)は、
手続期間内に学事課(教務
担当)で受領してください。

区分	対象年次等	手続期間	提出書類	提出先	調査結果発表	
前学期 終了科目	1年(1学期) }	9月4日(木) ~9日(火)	成績調査願 (所定様式)※	学事課 (教務担当)	学事課 (教務担当)	
	9月卒業 対象者 4年(8学期) 注意3 参照	9月4日(木) ・5日(金)			Webポータル システム及び 掲示で呼び出 しますので、 必ず本人が学 生証を持参の 上、直接学事 課(教務担当) で確認してく ださい。	
後学期 終了科目	1年(1学期) }	3月16日(月) ~19日(木)				
	4年(7学期)	2月26日(木) ・27日(金)				

注意1 成績調査願には、調査を依頼する理由を具体的に記入してください。

注意2 成績調査願は、受けた評価に対して疑問がある場合に成績評価の再確認を依頼するためのものであり、成績評価の変更を依頼したり、具体的な評価内容・点数等を確認するためのものではありません。

注意3 前学期に4年(8学期)に在籍している者の成績調査手続期間は、9月4日(木)・5日(金)です。この期間以外に手続を行うことはできません。

4

単位認定制度

1 単位認定制度について

本学では他の大学等における学修や知識及び技能に係る審査の成果に対して、単位を認定する制度があります。

学修の種類等	概要	対象となる学修の時期		認定される 単位数の上限	
		入学前	入学後		
入学前の既修得単位等の認定	[1]既修得単位 → P.18 本学入学前に他の大学又は短期大学で修得した単位の認定 (外国の大学若しくは短期大学で修得した単位又は科目等履修生として修得した単位を含む。)	○	—	30	
大学以外の教育施設等における学修	[2]知識及び技能に係る審査の成果 → P.20 本学入学前及び入学後に行った知識及び技能に係る審査の成果(資格取得等)に対する単位の認定	○	○	8～20 注:学科により異なります。	
他の大学又は短期大学における授業科目の履修等	[3]派遣留学生(約半年～1年間の海外留学) → P.26 海外の協定校等に派遣留学生として約半年～1年間留学し、所定の互換科目を修得したことによる単位の認定	—	○	20～40 注:学科・留学先により異なります。	
	[4]派遣留学生(短期海外研修) → P.27 海外の協定校等に派遣留学生として学生の休暇期間中に短期間研修留学し、所定のプログラムを修めたことによる単位の認定	—	○	2～6 注:学科・研修先により異なります。	
	[5]派遣学生(国内) → P.27 単位互換に関する包括協定を締結している千葉県内の25私立大学、8短期大学及び放送大学の34校において修得した単位の認定	—	○	8	
その他	[6]インターンシップ → P.28 企業等における実習・研修的な就業体験の成果に対して行う単位の認定	—	○	8	
	[7]GSMインターンシップ → P.28 外国語学部グローバル・スタディーズ専攻が実施する企業等における実習・研修的な就業体験の成果に対して行う単位の認定	—	○	4	
	[8]ボランティア活動 → P.29 社会貢献活動の成果に対して行う単位の認定	—	○	4	
	[9]GSMボランティア → P.29 外国語学部グローバル・スタディーズ専攻が実施するボランティア活動の成果に対して行う単位の認定	—	○	4	
				合計 60 単位	

2 各制度の内容及び申請方法等

前頁に記載されているそれぞれの単位認定制度の内容及び申請方法等は、次のとおりです。

[1] 既修得単位

認定申請できる科目と単位数

科目区分等			認定単位数 (上限)		備考
共通科目	基礎教育	学修の基礎Ⅲ－a	2	30	各科目区分単位数の合計30単位まで申請することができます。
		学修の基礎Ⅲ－b (情報リテラシー)	2		
	人間力形成教育	人間形成	4		
		国際理解	4		
		社会生活	4		
	キャリア形成教育	インターンシップA	2		
		インターンシップB	2		
	専門科目				

対象・申請方法等

対象	2025年度入学の1年
申請期間	3月28日(金)～4月5日(土)
申請書類	① 単位認定申請書兼単位認定通知書(本学所定様式) ② 成績証明書又は単位修得証明書 ③ 認定申請する科目の授業内容を明らかにする文書で、次のa又はbのいずれかのもの a 出身校が発行した授業内容の証明書 b シラバス(写)
所定様式配布及び申請書類提出先	学事課(教務担当)
単位認定発表	4月11日(金) 学事課(教務担当)で、単位認定通知書を直接本人へ交付します。

注意1 申請書類②及び③について、英語以外の外国語で記載されている場合は、日本語又は英語の訳文を添付してください。

注意2 外国の大学又は短期大学で修得した単位の認定を希望する場合及び申請書類③のa又はbのいずれの書類も用意できない場合は、事前に学事課(教務担当)で相談してください。

認定申請の留意点

認定申請を行うに当たり、次に掲げる要件を満たしていることが認定の目安となりますので留意してください。

- ① 申請する科目は、本学の認定を受けようとする科目と単位数又は総授業時間数（実授業時間数）が同じ又はそれ以上であること。

注意 外国の大学等で修得した科目は、単位制によらない場合や、単位の換算基準が異なることがありますので、本学所定様式により総授業時間数等を申告してください。（成績証明書等に時間数の記載がない場合は、出身校に問い合わせの上、申告してください。）

- ② 申請する科目の授業内容を『シラバス』で確認し、本学で認定を受けようとする科目の内容に相当したものであること。

—申請例—

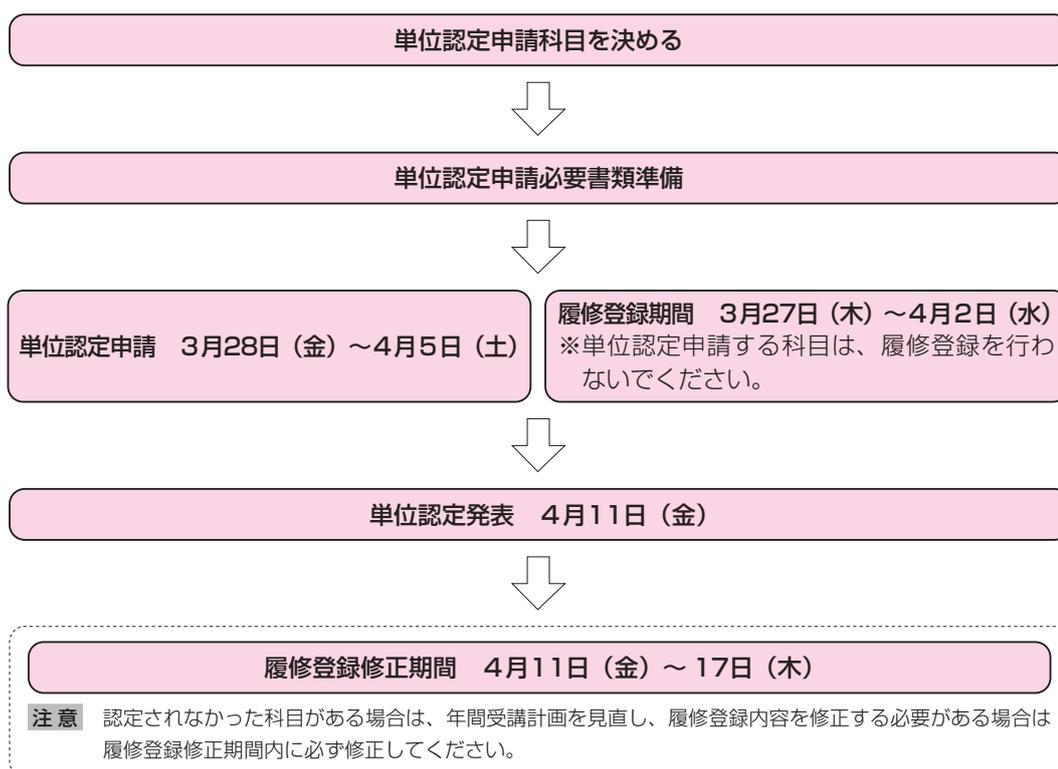
	他大学等開設科目	単位数（時間数）の比較	本学開設科目	備考
○ (申請可)	日本史 ----- (2単位 30時間)	\geq	日本の歴史 ----- (2単位 30時間)	
× (申請不可)	日本国憲法 ----- (1単位 15時間)	$<$	日本国憲法 ----- (2単位 30時間)	授業内容が本学開設科目に相当しても、単位数（時間数）が少ないので、認定されません。

既修得単位認定申請と履修登録

既修得単位認定申請と履修登録手続の流れは、次のとおりです。

年間の受講計画を立てる際は、**申請する科目がすべて認定されることを前提に検討し、履修登録は行わないでください。**

なお、履修登録修正期間は、授業開始から数日が経過しており、学修に支障をきたすことがあるので、認定申請に当たっては、十分に検討し、安易な申請は慎んでください。



[2] 知識及び技能に係る審査の成果

認定申請できる科目と単位数

日本語学科

学修の種類等	認定単位数 (上限)		授業科目 (単位数)	
TOEFL iBT 52点以上63点未満	2	合計8単位	英語Ⅰ-a (1) 英語Ⅰ-b (1) 英語Ⅱ-a (1) 英語Ⅱ-b (1) 英語Ⅲ-a (1) 英語Ⅲ-b (1) ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)	
TOEIC Listening & Reading Test 500点以上600点未満				
実用英語技能検定準1級	4			
TOEFL iBT 63点以上76点未満	4			
TOEIC Listening & Reading Test 600点以上700点未満				
TOEFL iBT 76点以上89点未満	6			
TOEIC Listening & Reading Test 700点以上800点未満				
実用英語技能検定1級	8			
TOEFL iBT 89点以上				
TOEIC Listening & Reading Test 800点以上				
日本語検定 2級	4	合計6単位	日本語基礎演習 (4) ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)	
日本語検定 準1級	6			
日本語検定 1級	8			
日本漢字能力検定 (漢検) 2級・準1級	2	4	合計14単位	
日本漢字能力検定 (漢検) 1級	4			
日本語教師検定C・B	2	6		
日本語教師検定A	6			
BJTビジネス日本語能力テスト J2	2	8		
BJTビジネス日本語能力テスト J1・J1+	8			
実践日本語コミュニケーション検定 B+	2	4		
実践日本語コミュニケーション検定 A-	4			
実践日本語コミュニケーション検定 A+	6			
日商PC検定 (文書作成) 2級	2	4		
日商PC検定 (文書作成) 1級	4			
日商PC検定 (データ活用) 2級	2	4		
日商PC検定 (データ活用) 1級	4			
日本語文章能力検定 (文検) 準2級・2級・準1級 (2009年7月まで)	2	4		
日本語文章能力検定 (文検) 1級 (2009年7月まで)	4			
漢語水平考試 (HSK) 4級 (2010年6月から)	2	4		
漢語水平考試 (HSK) 5級 (2010年6月から)	4			
漢語水平考試 (HSK) 6級 (2010年6月から)	8			
中国語コミュニケーション能力検定 (TECC) 500点以上700点未満	2	4		
中国語コミュニケーション能力検定 (TECC) 700点以上800点未満	4			
中国語コミュニケーション能力検定 (TECC) 800点以上	8			
中国語検定試験3級・2級	2	4		
中国語検定試験準1級	4			
中国語検定試験1級	8			
ファイナンシャル・プランニング技能士3級	2	4		
ファイナンシャル・プランニング技能士2級	4			
ファイナンシャル・プランニング技能士1級	8			
2次元CAD利用技術者試験2級 [旧: CAD利用技術者2級]	2	4		
2次元CAD利用技術者試験1級 [旧: CAD利用技術者1級]	4			
ビジネス能力検定 (B検) ジョブパス2級	2	4		
ビジネス能力検定 (B検) ジョブパス1級	4			
文部科学省後援 色彩検定2級	2	4		
文部科学省後援 色彩検定1級	4			
建設業経理事務士検定3級	2	4		
建設業経理事務士検定2級	2			
建設業経理事務士検定1級	4			
情報活用試験1級	2	4		
情報システム試験プログラマ認定	2			
情報システム試験システムエンジニア認定	4			

学修の種類等	認定単位数 (上限)		授業科目(単位数)
販売士検定2級	2		
販売士検定1級	4	4	
秘書技能検定2級・準1級	2		
秘書技能検定1級	4	4	
簿記検定(日商)3級・2級	2		
簿記検定(日商)1級	4	4	
法学検定スタンダード<中級>コース	2		
法学検定アドバンスト<上級>コース	4	4	
経済学検定「EREミクロ・マクロ」Bランク	2		
経済学検定「EREミクロ・マクロ」B+ランク	4	4	6
経済学検定「EREミクロ・マクロ」Aランク	6		
経済学検定「EREミクロ・マクロ」A+Sランク	8		
通訳技能検定(通検)2級(2008年10月まで)	6		
通訳技能検定(通検)準1級・1級(2008年10月まで)	8	8	
世界遺産検定2級	2		
世界遺産検定準1級	4	4	6
世界遺産検定1級	6		
世界遺産検定マイスター	8		
管理業務主任者試験			
不動産コンサルティング技能試験			
国内旅行業務取扱管理者試験			
初級システムアドミニストレータ試験(AD)(2009年5月まで)			
税務会計能力検定2級(2012年2月まで)			
所得税法能力検定1級	各2		
法人税法能力検定1級			
消費税法能力検定1級			
相続税法能力検定1級			
福祉住環境コーディネーター3級・2級			
東京シティガイド検定			
ボランティア通訳検定(V通検)A級(2008年10月まで)			
総合旅行業務取扱管理者試験			
基本情報技術者試験			
行政書士	各4		
宅地建物取引士			
通関士			
測量士補			
ITパスポート試験			
マンション管理士			
司法書士			
社会保険労務士			
税理士(科目合格を含む。)			
測量士	各6		
中小企業診断士			
土地家屋調査士			
福祉住環境コーディネーター1級			
証券アナリスト			
日本語教育能力検定			
会計士補(2005年12月まで)			
公認会計士試験(論文試験合格)(科目合格を含む。)(2006年1月から)			
公認会計士	各8		
司法試験			
不動産鑑定士補(2006年3月まで)			
不動産鑑定士			
全国通訳案内士試験【日:通訳案内士(ガイド)試験】			
備考	<p>1 資格取得に係る学修については、当該資格を得るための所要資格(試験の合格及び実務経験等)を有する者を含みます。</p> <p>2 申請時において修得済み及び履修中の授業科目については、認定を受けることができません。</p> <p>3 学修の種類等(資格)の名称等が変更されている場合でも、認定を受けられることがありますので、学事課(教務担当)で確認してください。</p> <p>4 英語科目の単位認定は、低年次に開講されている授業科目を優先します。</p> <p>5 実用英語技能検定は、(公財)日本英語検定協会が実施するものとします。</p> <p>6 簿記検定は、日本商工会議所が実施するものとします。</p> <p>7 情報活用試験及び情報システム試験は、(一財)職業教育・キャリア教育財団【日:(財)専修学校教育振興会】が実施するものとします。</p> <p>8 中国語検定試験は、(一財)日本中国語検定協会が実施するものとします。</p> <p>9 次の語学等試験については、当該言語を母語とする学生は申請できません。</p> <p>(1) TOEFL iBT</p> <p>(2) TOEIC Listening & Reading Test</p> <p>(3) 実用英語技能検定</p> <p>(4) 中国語検定試験</p> <p>(5) 漢語水平考試(HSK)</p> <p>(6) 中国語コミュニケーション能力検定(TECC)</p> <p>(7) BJT ビジネス日本語能力テスト</p> <p>(8) 実践日本語コミュニケーション検定</p>		

(合計8単位)

(合計14単位)

ビジネススキルA(2)
ビジネススキルB(2)
ビジネススキルC(2)
ビジネススキルD(2)

認定申請できる科目と単位数

英米語学科

学修の種類等	認定単位数 (上限)		授業科目 (単位数)		
TOEFL iBT 64点以上70点未満	2		ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)		
TOEIC Listening & Reading Test 650点以上700点未満					
実用英語技能検定準1級	4		英米語基礎演習 (4) ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)		
TOEFL iBT 70点以上76点未満					
TOEIC Listening & Reading Test 700点以上800点未満					
TOEFL iBT 76点以上89点未満	6	8			
TOEIC Listening & Reading Test 800点以上945点未満					
実用英語技能検定1級	8				
TOEFL iBT 89点以上					
TOEIC Listening & Reading Test 945点以上					
漢語水平考試 (HSK) 4級 (2010年6月から)	2	4		8	
漢語水平考試 (HSK) 5級 (2010年6月から)	4				
漢語水平考試 (HSK) 6級 (2010年6月から)	8				
中国語コミュニケーション能力検定 (TECC) 500点以上700点未満	2	4	8		
中国語コミュニケーション能力検定 (TECC) 700点以上800点未満	4				
中国語コミュニケーション能力検定 (TECC) 800点以上	8				
中国語検定試験3級・2級	2	4	8		
中国語検定試験準1級	4				
中国語検定試験1級	8				
日本漢字能力検定 (漢検) 2級・準1級	2	4	合計8単位		
日本漢字能力検定 (漢検) 1級	4				
日本語教師検定C・B	2	6			
日本語教師検定A	6				
BJTビジネス日本語能力テスト J2	2	8			
BJTビジネス日本語能力テスト J1・J1+	8				
実践日本語コミュニケーション検定 B+	2	4		6	
実践日本語コミュニケーション検定 A-	4				
実践日本語コミュニケーション検定 A+	6				
日本語検定 3級	2	4		6	
日本語検定 準2級	4				
日本語検定 2級・準1級	6				
日本語検定 1級	8				
日商PC検定 (文書作成) 2級	2			4	
日商PC検定 (文書作成) 1級	4				
日商PC検定 (データ活用) 2級	2			4	
日商PC検定 (データ活用) 1級	4				
日本語文章能力検定 (文検) 準2級・2級 (2009年7月まで)	2			8	
日本語文章能力検定 (文検) 準1級・1級 (2009年7月まで)	8				
ファイナンシャル・プランニング技能士3級	2			4	8
ファイナンシャル・プランニング技能士2級	4				
ファイナンシャル・プランニング技能士1級	8				
2次元CAD利用技術者試験2級 [旧: CAD利用技術者2級]	2			4	
2次元CAD利用技術者試験1級 [旧: CAD利用技術者1級]	4				
ビジネス能力検定 (B検) ジョブパス2級	2			4	
ビジネス能力検定 (B検) ジョブパス1級	4				
文部科学省後援 色彩検定2級	2			4	
文部科学省後援 色彩検定1級	4				
建設業経理事務士検定3級	2			4	
建設業経理事務士検定2級	2				
建設業経理事務士検定1級	4				
情報活用試験1級	2			4	
情報システム試験プログラマ認定					
情報システム試験システムエンジニア認定					

学修の種類等	認定単位数 (上限)	授業科目(単位数)
販売士検定2級	2	ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)
販売士検定1級	4	
秘書技能検定2級・準1級	2	
秘書技能検定1級	4	
簿記検定(日商)3級・2級	2	
簿記検定(日商)1級	4	
法学検定スタンダード(中級)コース	2	
法学検定アドバンスト(上級)コース	4	
経済学検定「EREミクロ・マクロ」Bランク	2	
経済学検定「EREミクロ・マクロ」B+ランク	4	
経済学検定「EREミクロ・マクロ」Aランク	6	
経済学検定「EREミクロ・マクロ」A+Sランク	8	
通訳技能検定(通検)2級(2008年10月まで)	6	
通訳技能検定(通検)準1級・1級(2008年10月まで)	8	
世界遺産検定2級	2	
世界遺産検定準1級	4	
世界遺産検定1級	6	
世界遺産検定マイスター	8	
管理業務主任者試験	各2	
不動産コンサルティング技能試験		
国内旅行業務取扱管理者試験		
初級システムアドミニストレータ試験(AD)(2009年5月まで)		
税務会計能力検定2級(2012年2月まで)		
所得税法能力検定1級		
法人税法能力検定1級		
消費税法能力検定1級		
相続税法能力検定1級		
福祉住環境コーディネーター3級・2級		
東京シティガイド検定		
ボランティア通訳検定(V通検)A級(2008年10月まで)		
総合旅行業務取扱管理者試験		
基本情報技術者試験		
行政書士	各4	
宅地建物取引士		
通関士		
測量士補		
ITパスポート試験		
マンション管理士		
司法書士		
社会保険労務士	各6	
税理士(科目合格を含む。)		
測量士		
中小企業診断士		
土地家屋調査士		
福祉住環境コーディネーター1級		
証券アナリスト		
日本語教育能力検定	各8	
公認会計士試験(論文試験合格)(科目合格を含む。)(2006年1月から)		
公認会計士		
司法試験		
不動産鑑定士		
全国通訳案内士試験【旧:通訳案内士(ガイド)試験】		
備考	1 資格取得に係る学修については、当該資格を得るための所要資格(試験の合格及び実務経験等)を有する者を含みます。 2 申請時において修得済み及び履修中の授業科目については、認定を受けることができません。 3 学修の種類等(資格)の名称等が変更されている場合でも、認定を受けられることがありますので、学事課(教務担当)で確認してください。 4 実用英語技能検定は、(公財)日本英語検定協会が実施するものとします。 5 簿記検定は、日本商工会議所が実施するものとします。 6 情報活用試験及び情報システム試験は、(一財)職業教育・キャリア教育財団【日: (財)専修学校教育振興会】が実施するものとします。 7 中国語検定試験は、(一財)日本中国語検定協会が実施するものとします。 8 次の語学等試験については、当該言語を母語とする学生は申請できません。 (1) TOEFL iBT (2) TOEIC Listening & Reading Test (3) 実用英語技能検定 (4) 中国語検定試験 (5) 漢語水平考試(HSK) (6) 中国語コミュニケーション能力検定(TECC) (7) BJT ビジネス日本語能力テスト (8) 実践日本語コミュニケーション検定	

(合計8単位)

認定申請できる科目と単位数

中国語学科

学修の種類等	認定単位数 (上限)			授業科目 (単位数)
TOEFL iBT 52点以上63点未満	2	4	6	英語文化研究A (2) 英語文化研究B (2) ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2) 英語 I-a (1) 英語 I-b (1) 英語 II-a (1) 英語 II-b (1) Preparation for TOEIC I-a (1) Preparation for TOEIC I-b (1) Preparation for TOEIC II-a (1) Preparation for TOEIC II-b (1)
TOEIC Listening & Reading Test 500点以上600点未満				
実用英語技能検定準1級				
TOEFL iBT 63点以上76点未満	4	6		
TOEIC Listening & Reading Test 600点以上700点未満				
TOEFL iBT 76点以上89点未満	6			
TOEIC Listening & Reading Test 700点以上800点未満				
実用英語技能検定1級	8			
TOEFL iBT 89点以上				
TOEIC Listening & Reading Test 800点以上				
中国語検定試験4級	4	6	8	中国語基礎演習B (4) 中国語基礎演習A (4) ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)
中国語検定試験3級	4			
中国語検定試験2級・準1級	6			
中国語検定試験1級	8			
漢語水平考試 (HSK) 4級 (2010年6月から)	4	6	8	中国語基礎演習B (4) ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)
漢語水平考試 (HSK) 5級 (2010年6月から)	6			
漢語水平考試 (HSK) 6級 (2010年6月から)	8			
中国語コミュニケーション能力検定 (TECC) 500点以上700点未満	2	4	8	合計20単位
中国語コミュニケーション能力検定 (TECC) 700点以上800点未満	4			
中国語コミュニケーション能力検定 (TECC) 800点以上	8			
日本漢字能力検定 (漢検) 2級・準1級	2	4	4	
日本漢字能力検定 (漢検) 1級	4			
日本語教師検定C・B	2	6	6	
日本語教師検定A	6			
BJTビジネス日本語能力テスト J2	2	8	8	
BJTビジネス日本語能力テスト J1・J1+	8			
実践日本語コミュニケーション検定 B+	2	4	6	
実践日本語コミュニケーション検定 A-	4			
実践日本語コミュニケーション検定 A+	6			
日本語検定 3級	2	4	6	
日本語検定 準2級	4			
日本語検定 2級・準1級	6			
日本語検定 1級	8			
日商PC検定 (文書作成) 2級	2	4	4	
日商PC検定 (文書作成) 1級	4			
日商PC検定 (データ活用) 2級	2	4	4	
日商PC検定 (データ活用) 1級	4			
日本語文章能力検定 (文検) 準2級・2級 (2009年7月まで)	2	8	8	
日本語文章能力検定 (文検) 準1級・1級 (2009年7月まで)	8			
ファイナンシャル・プランニング技能士3級	2	4	8	
ファイナンシャル・プランニング技能士2級	4			
ファイナンシャル・プランニング技能士1級	8			
2次元CAD利用技術者試験2級 [旧: CAD利用技術者2級]	2	4	4	
2次元CAD利用技術者試験1級 [旧: CAD利用技術者1級]	4			
ビジネス能力検定 (B検) ジョブパス2級	2	4	4	
ビジネス能力検定 (B検) ジョブパス1級	4			
文部科学省後援 色彩検定2級	2	4	4	
文部科学省後援 色彩検定1級	4			
建設業経理事務士検定3級	2	4	4	
建設業経理事務士検定2級	2			
建設業経理事務士検定1級	4			
情報活用試験1級	2	4	4	
情報システム試験プログラマ認定	2			
情報システム試験システムエンジニア認定	4			
販売士検定2級	2	4	4	
販売士検定1級	4			
秘書技能検定2級・準1級	2	4	4	
秘書技能検定1級	4			

学修の種類等	認定単位数 (上限)		授業科目(単位数)	
簿記検定(日商)3級・2級	2	4	ビジネススキルA(2) ビジネススキルB(2) ビジネススキルC(2) ビジネススキルD(2)	
簿記検定(日商)1級	4			
法学検定スタンダード(中級)コース	2	4		
法学検定アドバンスト(上級)コース	4			
経済学検定「EREミクロ・マクロ」Bランク	2	4		
経済学検定「EREミクロ・マクロ」B+ランク	4			
経済学検定「EREミクロ・マクロ」Aランク	6	8		
経済学検定「EREミクロ・マクロ」A+・Sランク	8			
通訳技能検定(通検)2級(2008年10月まで)	6	8		
通訳技能検定(通検)準1級・1級(2008年10月まで)	8			
世界遺産検定2級	2	4		
世界遺産検定準1級	4			
世界遺産検定1級	6	6		
世界遺産検定マイスター	8			
管理業務主任者試験	各2			
不動産コンサルティング技能試験				
国内旅行業務取扱管理者試験				
初級システムアドミニストラータ試験(AD)(2009年5月まで)				
税務会計能力検定2級(2012年2月まで)				
所得税法能力検定1級				
法人税法能力検定1級				
消費税法能力検定1級				
相続税法能力検定1級				
福祉住環境コーディネーター3級・2級				
東京シティガイド検定				
ボランティア通訳検定(V通検)A級(2008年10月まで)			各4	
総合旅行業務取扱管理者試験				
基本情報技術者試験				
行政書士				
宅地建物取引士				
通関士				
測量士補				
ITパスポート試験				
マンション管理士	各6			
司法書士				
社会保険労務士				
税理士(科目合格を含む。)				
測量士				
中小企業診断士				
土地家屋調査士				
福祉住環境コーディネーター1級				
証券アナリスト	各8			
日本語教育能力検定				
公認会計士試験(論文試験合格)(科目合格を含む。)(2006年1月から)				
公認会計士				
司法試験				
不動産鑑定士				
全国通訳案内士試験【旧:通訳案内士(ガイド)試験】				
備考	<p>1 資格取得に係る学修については、当該資格を得るための所要資格(試験の合格及び実務経験等)を有する者を含みます。</p> <p>2 申請時において修得済み及び履修中の授業科目については、認定を受けることができません。</p> <p>3 学修の種類等(資格)の名称等が変更されている場合でも、認定を受けられることがありますので、学事課(教務担当)で確認してください。</p> <p>4 英語科目の単位認定は、低年次に開講されている授業科目を優先します。</p> <p>5 実用英語技能検定は、(公財)日本英語検定協会が実施するものとします。</p> <p>6 簿記検定は、日本商工会議所が実施するものとします。</p> <p>7 情報活用試験及び情報システム試験は、(一財)職業教育・キャリア教育財団【旧:(財)専修学校教育振興会】が実施するものとします。</p> <p>8 中国語検定試験は、(一財)日本中国語検定協会が実施するものとします。</p> <p>9 中国語検定試験及び漢語水平考試(HSK)により単位認定する授業科目は、中国語基礎演習を優先します。</p> <p>10 次の語学等試験については、当該言語を母語とする学生は申請できません。(中国語基礎演習A及び中国語基礎演習Bを除く。)</p> <p>(1) TOEFL iBT</p> <p>(2) TOEIC Listening & Reading Test</p> <p>(3) 実用英語技能検定</p> <p>(4) 中国語検定試験</p> <p>(5) 漢語水平考試(HSK)</p> <p>(6) 中国語コミュニケーション能力検定(TECC)</p> <p>(7) BJT ビジネス日本語能力テスト</p> <p>(8) 実践日本語コミュニケーション検定</p>			

対象・申請方法等

対 象	入学前に行った学修	入学後に行った学修		
	2025年度入学の1年のみ	1～4年	4年（8学期）	1～4年（7学期）
申 請 期 間	3月28日（金） ～4月5日（土）	第1回 前年度2月25日（火） ～8月22日（金）	第2回 8月25日（月） ～1月29日（木） 8月25日（月） ～2月20日（金）	
提 出 書 類	① 申請書類 a 入学前に行った学修（2025年度入学の1年のみ） 単位認定申請書兼単位認定通知書（本学所定様式） b 入学後に行った学修 単位認定申請書（本学所定様式） ② 知識及び技能に係る審査の成果に関する証明書（原本） 以下の項目が記載されている合格証明書等（原本）を提出してください。 ●氏名 ●合格・級数・取得スコア等（学修の種類等で指定された要件） ●合格又は試験の年月日 ＊原則、インターネットからダウンロードした合格証明書等では申請できません。各自、試験実施団体が発行する公式の証明書（原本）を取得し、提出してください。ただし、デジタル合格証のみの発行の場合は、当該合格証を印刷したものを提出してください。原本提出の場合は、手続終了後に返却します。			
所定様式配布及び申請書類等提出先	学事課（教務担当）			
単 位 認 定 発 表	4月11日（金） 学事課（教務担当）で単位認定通知書を直接本人へ交付します。	学期末の成績発表をもって単位認定発表に代えます。第1回申請期間に申請のあったものについては、前学期に単位を修得したものと前学期成績表に記載します。また、第2回申請期間に申請のあったものについては、後学期に単位を修得したものと後学期成績表に記載します。		
備 考	入学後に行った学修のうち、第1回申請期間に申請のあったものについては9月の進級及び卒業の要件に、第2回申請期間に申請のあったものについては3月の進級及び卒業の要件に反映されますので、該当者は留意してください。			

[3] 派遣留学生
（約半年～1年間）
の海外留学

各学科の留学先と留学年次等

学科等	留学先（国名等）	留学年次	留学期間	認定される単位数の上限
英米語	シーキューユニバーシティ（オーストラリア）	3	約10か月	40
	アルバータ大学（カナダ）	3	約9か月	
中国語	北京師範大学（中国）	3	約12か月	40
	復旦大学（中国）	3	約12か月	
	浙江大学（中国）	3	約12か月	20
	東呉大学（台湾）	3	約6か月	
北京師範大学（中国）	3	約6か月		
日本語・英米語・中国語 〔グローバル・スタディーズ専攻のみ〕	北京師範大学（中国）	3	約6か月	20

※右記の留学先や留学期間はこれまでの実績に基づくものであり、国際情勢やその他の影響により、変更又は中止となることがあります。

認定申請できる科目及び手続等

別途開催されるオリエンテーション等で説明があります。希望者は、必ず出席してください。

なお、留学を検討する際は、自身の在籍年次や単位修得状況と、帰国時期及び単位認定申請期限等を十分確認してください。

[4] 派遣留学生 (短期海外研修)

※右記の研修先や研修期間はこれまでの実績に基づくものであり、国際情勢やその他の影響により、変更又は中止となることがあります。

各学科の研修先と研修時期等

学科等	研修先 (国名等)	対象 年次	研修期間	認定される 単位数の上限	備考
日本語	釜山外国語大学校 (韓国)	2～4	約2週間 (夏季)	2	日本語教育実習
英米語	ハワイ大学 (アメリカ)	2・3	約3週間 (夏季)	2	英語研修
	カンタベリークライストチャーチ大学 (イギリス)	1～4	約3週間 (夏季)	2	
	シーキューユニバーシティ (オーストラリア)	1～4	約4週間 (春季)	2	
中国語	北京師範大学 (中国)	2～4	約4週間 (夏季)	2	中国語研修
	北京語言大学 (中国)			2	
日本語・英米語・ 中国語 〔グローバル・スタ ディーズ専攻のみ〕	JTBシンガポール支店他 (シンガポール)	2～4	約1週間 (夏季)	2	現地企業研修

認定申請できる科目及び手続等

別途開催されるオリエンテーション等で説明があります。希望者は、必ず出席してください。

なお、留学を検討する際は、自身の在籍年次や単位修得状況と、帰国時期及び単位認定申請期限等を十分確認してください。

単位認定発表について

夏季休暇中に実施したのものについては、実施年度の前学期に単位を修得したものととして実施年度の後学期成績表に記載します。また、春季休暇中に実施したのものについては、実施年度の後学期に単位を修得したものととして翌年度の前学期成績表に記載します。

〔千葉県私立大学（短期大学を含む。）及び放送大学間の単位互換制度〕

[5] 派遣学生 (国内)

協 定 校

① 大学（26大学）

敬愛大学	和洋女子大学	麗澤大学	千葉商科大学
千葉工業大学	中央学院大学	淑徳大学	帝京平成大学
神田外語大学	千葉経済大学	東京情報大学	秀明大学
国際武道大学	川村学園女子大学	江戸川大学	聖徳大学
東京基督教大学	城西国際大学	二松学舎大学	清和大学
愛国学園大学	開智国際大学	植草学園大学	三育学院大学
国際医療福祉大学			
放送大学*			

※第2学期（後学期）のみ

② 短期大学（8短期大学）

千葉明德短期大学	千葉経済大学短期大学部	敬愛短期大学
昭和学院短期大学	清和大学短期大学部	聖徳大学短期大学部
東京経営短期大学	植草学園短期大学	

注意 開放されている授業科目等については、各協定校の「特別聴講学生募集要項」に掲載されます。

認定申請できる科目と単位数等

科目区分		授業科目名 (単位数)	認定される単位数の上限
共通科目	キャリア形成教育	特別聴講科目A (2) 特別聴講科目B (2) 特別聴講科目C (2) 特別聴講科目D (2)	8

諸 手 続 等

出願資格、出願手続及び単位認定申請の手続等に関する詳細は、学事課（教務担当）で配布される「千葉県私立大学（短期大学を含む。）及び放送大学間の単位互換に関する包括協定に基づく派遣学生出願要項」及び各協定校の「特別聴講学生募集要項」に掲載されます。

[6] インターンシップ

本学が定める企業等における実習・研修的な就業体験（インターンシップ）の成果に対して単位の認定を行います。

インターンシップの実施機関、参加手続及び単位認定申請手続等については、キャリアサポートセンターで確認してください。

認定申請できる科目と単位数等

科目区分		授業科目名 (単位数)	認定される単位数の上限
共通科目	キャリア形成教育	インターンシップA (2) インターンシップB (2) インターンシップC (2) インターンシップD (2)	8

単位認定発表について

夏季休暇中に実施したものについては、実施年度の前学期に単位を修得したものととして実施年度の後学期成績表に記載します。また、春季休暇中に実施したものについては、実施年度の後学期に単位を修得したものととして翌年度の前学期成績表に記載します。

[7] GSMインターンシップ

外国語学部グローバル・スタディーズ専攻が実施する企業等における実習・研修的な就業体験（インターンシップ）の成果に対して単位の認定を行います。

インターンシップの実施機関、参加手続及び単位認定申請手続等については、別途掲示にてお知らせします。

認定申請できる科目と単位数等

科目区分		授業科目名（単位数）	認定される 単位数の上限
専門科目	グローバル・スタディーズ 関連科目 フィールドワーク	GSMインターンシップⅠ（2） GSMインターンシップⅡ（2）	4

単位認定発表について

夏季休暇中に実施したものについては、実施年度の前学期に単位を修得したものとして実施年度の後学期成績表に記載します。また、春季休暇中に実施したものについては、実施年度の後学期に単位を修得したものとして翌年度の前学期成績表に記載します。

注意 GSMインターンシップⅠ：国内活動
GSMインターンシップⅡ：海外活動

[8] ボランティア活動

本学が定める社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位の認定を行います。ボランティアの受入機関、参加手続及び単位認定申請手続等については、学生支援課（学生支援担当）で確認してください。

認定申請できる科目と単位数等

科目区分			授業科目名（単位数）	認定される 単位数の上限
共通科目	人間力 形成教育	人間形成	ボランティア活動A（2） ボランティア活動B（2）	4

単位認定発表について

7月に開催されるボランティア活動報告会に参加した場合は、前学期に単位を修得したものとして前学期成績表に記載します。また、1月に開催されるボランティア活動報告会に参加した場合は、後学期に単位を修得したものとして後学期成績表に記載します。

注意 ボランティア活動A：国内活動
ボランティア活動B：海外活動

[9] GSM ボランティア

外国語学部グローバル・スタディーズ専攻が実施するボランティア活動の成果に対して単位の認定を行います。

ボランティアの受入機関、参加手続及び単位認定申請手続等については、外国語学部担当教員に確認してください。

認定申請できる科目と単位数等

科目区分		授業科目名（単位数）	認定される 単位数の上限
専門科目	グローバル・スタディーズ 関連科目 フィールドワーク	GSMボランティアⅠ（2） GSMボランティアⅡ（2）	4

単位認定発表について

実施年度の後学期に単位を修得したものとして後学期成績表に記載します。

注意 GSMボランティアⅠ：国内活動
GSMボランティアⅡ：海外活動

5 学籍

1 修業年限と在学期間

修業年限とは、本学の教育課程を修了するために必要な期間で、通算4年（8学期）と定めています。また、在学期間とは、本学に在籍することができる期間で、上限を通算8年（16学期）と定めています。

修業年限 通算4年（8学期）

在学期間 通算8年（16学期）以内

参照→編入学生・学士入学生の修業年限と在学期間
→P.123「修業年限と在学期間」

2 学籍の異動

[1] 休学

傷病その他やむを得ない事由により、引き続き3か月以上出席することができない者は、許可を得て休学することができます。

	概要			
休学単位	学期			
休学期間	(1) 休学できる期間は、3か月以上で学期の期間（1学期）以内又は1年（2学期）以内とします。 ※年度を越えて1年（2学期）にわたる休学の場合は、各学期ごとに休学の願い出を行い、許可を得ること。 (2) 休学の継続は、1年（2学期）以内〔連続して休学できる期間の上限は2年（4学期）〕とします。 ※あらためて休学の願い出を行い、許可を得ること。 (3) 休学期間は、通算して3年（6学期）を超えることはできません。			
休学期間満了日	当該年度の前学期末の9月30日又は当該年度の後学期末の3月31日			
休学期間と修業年限・在学期間	休学期間は修業年限及び在学期間に算入されません。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td>修業年限 通算4年(8学期)</td> <td>在学期間 通算8年(16学期)以内</td> </tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>休学期間 3年(6学期)以内</td> </tr> </table>	修業年限 通算4年(8学期)	在学期間 通算8年(16学期)以内	休学期間 3年(6学期)以内
修業年限 通算4年(8学期)	在学期間 通算8年(16学期)以内			
休学期間 3年(6学期)以内				
提出書類	保証人連署の「休学願」（所定様式・自署） ※傷病による休学は、診断書を添付してください。			
手続期限	休学開始希望日の1か月前			
休学の許可	休学が許可された場合、「休学許可書」が交付されます。			
休学による授業料等の免除	3月31日以前または9月30日以前に休学を願い出て許可された者は、休学が許可された学期に納付すべき授業料、施設維持費及び教育充実費が免除されます。			
在籍料	休学を許可された者は、在籍料として1学期当たり5万円を納付してください。			
学期の途中からの休学	学期の途中からの休学は1学期として換算します。 (1) 当該学期に開講されている授業科目の単位は認定されません。 (2) 当該学期に納入すべき学生納付金が完納されていない場合は、休学は許可されません。			
取扱窓口	学生支援課（学生支援担当）			

参考：休学期間一覧

休学期間		備考
開始日	満了日	
4月1日	9月30日	前学期の1学期間休学
	年度末の3月31日	前学期と後学期の1年（2学期）間休学
前学期の途中	9月30日	前学期の1学期間休学
	年度末の3月31日	前学期と後学期の1年（2学期）間休学
10月1日	年度末の3月31日	後学期の1学期間休学
	翌年度9月30日	後学期と翌年度前学期の1年（2学期）間休学 ※各学期ごとに休学手続が必要
後学期の途中	年度末の3月31日	後学期の1学期間休学
	翌年度9月30日	後学期と翌年度前学期の1年（2学期）間休学 ※各学期ごとに休学手続が必要

[2] 復学

休学の事由が解消し復学を希望する者は、許可を得て復学することができます。

ア 復学の時期

復学の時期は、休学期間満了日の翌日とし、休学開始時と同じ学期へ復学するものとします。

復学するには、自分の在籍する学期（年次）をよく確認し、学修計画を立ててください。

イ 復学手続

提出書類	保証人連署の「復学願」（所定様式・自署） ※傷病の回復による復学は、診断書を添付してください。
手続期限	復学希望日の1か月前
復学の許可	復学が許可された場合、「復学許可書」が交付されます。
取扱窓口	学生支援課（学生支援担当）

[3] 退学

傷病その他やむを得ない事由により退学を希望する者は、許可を得て退学することができます。

なお、退学希望日の属する学期に納入すべき学生納付金が完納されていない場合、退学は許可されません。

提出書類	保証人連署の「退学願」（所定様式・自署） ※傷病による退学は、極力、診断書を添付してください。
手続期限	退学希望日の1か月前
退学の許可	退学が許可された場合、「退学許可書」が交付されます。
取扱窓口	学生支援課（学生支援担当）

※学生証を退学日までに返却してください。

※退学後に再入学を希望する場合は、学事課（教務担当）へ相談してください。

[4] 除籍

次のいずれかに該当する者は、除籍となります。

- 学生納付金の納入を怠り、督促を受けてもなお納入しない者

納入期限	前学期	4月末日
	後学期	10月末日

- 学則に定められた在学期間を超えた者
- 学則に定められた休学期間を超えた者

※傷病その他の事由により、卒業の見込みがないと認められる者は、除籍とすることがあります。

※学生証を返却してください。

[5] 復籍

学生納付金等の納入を怠り、督促を受けてもなお納入せずに除籍となった者が、除籍日の翌日から起算して2年以内に願い出た場合は、復籍を許可する場合があります。復籍を希望する場合は、学生支援課（学生支援担当）に相談してください。

[6] 転学部・ 転学科

転学部・転学科を志望する者があるときは、異動を希望する学部・学科に欠員がある場合に限り、選考の上、許可することがあります。

当該選考の有無並びに選考を行う場合の出願資格、受験手続及び日程等の詳細については、12月頃掲示で発表します。

異動区分	他学部・他学科（2年次）への異動
対象者	転学部・転学科する年度の4月1日現在で、本学に1年以上在学（休学期間は除く。）する者 ※各学科の条件等は、「転学部・転学科試験要項」で確認してください。
選考方法	出願書類、試験の成績、単位の修得状況及び成績等を総合判定
出願・選考の時期	2～3月頃

6 その他

1 明海多言語コミュニケーションcommons(MLACC)

明海多言語コミュニケーションcommons〔Meikai Multilingual And Communication Commons 通称MLACC（エムラック）〕は、建学の精神に則り、幅広い教養に裏打ちされたコミュニケーション能力を身につけ、主体的に異文化コミュニケーションを実践できるよう、支援する場所です。MLACCは、日本語・英語・中国語の個別言語ゾーンと、プレゼンテーションやグループワーク等で使用する多目的ゾーンで構成されます。日本語ゾーンでは、ライティングサポート及び留学生のための目的別日本語学習指導を行っています。英語ゾーンでは、英語ネイティブ教員や他の学生たちと親しく交わりながら、英語によるコミュニケーションのスキルアップを図ったり、英語に関する質問をしたりすることができます。フレンドリーな雰囲気の中、日常会話やゲームなどを通じて自然に英語が身につけ、キャンパスにいながらにして留学生生活を体験できます。

明海多言語コミュニケーションcommons (MLACC) の利用について

対象 学部・学科を問わず、誰でも利用できます。
場所 第2管理・研究棟2階
※利用時間等の詳細については、掲示等で確認してください。

2 コンピュータ・コンサルティング・サロン (CCS)

コンピュータ・コンサルティング・サロン (CCS) では、コンピュータを使った授業の分からないところを質問したり、レポートをまとめる際の集計や分析の手法を相談するなどコンピュータのスキルアップを図ることができます。

また、上級者はホームページの作成やプログラミングなどのより高度なスキルを学ぶこともできます。

コンピュータ・コンサルティング・サロン (CCS) の利用について

対象 学部・学科を問わず、誰でも利用できます。
実施期間 前学期・後学期の授業期間内
利用時間 サロンに掲示します。
利用方法 予約の必要はありません。
時間内はいつでも気軽に参加してください。
場所 30周年記念館（図書館）2階

3 科目等履修生

本学では、高等学校を卒業した者、通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は文部科学省の定めるところにより高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、授業科目の一又は複数の科目について履修することにより、教養を高め、理論を深める目的を持つ者を科目等履修生として受け入れる制度があります。

科目等履修生は、履修を許可された授業科目の実授業回数の5分の4以上出席し、かつ所定の試験に合格した場合は、単位を認定します。

選考方法等詳細は、「科目等履修生出願要項」に掲載します。

注意 在学中は、本学の科目等履修生になることができません。

4 研究生

本学では、特定の課題について研究することを目的とした者を研究生として受け入れる制度があります。

出願資格は、本学の大学院への入学を希望し、かつ、その他「研究生出願要項」に掲載されている条件に該当する者としてします。

入学を希望する者は、指導を受けようとする本学教員の許可を得た上で出願しなければなりません。また、研究修了時には、研究成果の概要等を記載した「研究修了届」を提出しなければなりません。

出願方法等詳細については、「研究生出願要項」に掲載しますので、出願を希望する者は、事前に学事課（教務担当）に問い合わせてください。

7

教務事務

1 証明書

成績及び学籍等の諸証明書は、その種類に応じてS.I.S.(Student Information Services / 自動証明書発行機) 又は学事課(教務担当) 若しくは学生支援課(学生支援担当) で交付します。

S.I.S.以外の窓口での発行は、「証明書交付願」(所定の証紙を貼付) に必要事項を記入し申し込んでください。

証明書の種類によって交付に要する日数が異なり、また、証明書の申込みが集中する時期には、所定以上の日数を要することもありますので、時間に余裕をもって申し込んでください。

教務関係証明書

対象	証明書	取扱窓口	交付所要日数	手数料	備考
在 学 生	☆成績証明書	S. I. S.	即時	300円	成績証明書には、単位を修得した科目のみ記載されます。
	☆卒業見込証明書				卒業要件を満たす履修登録がされている4年(9月卒業見込者を含む。)のみ発行します。ただし、後学期に4年7学期の者を除きます。
	単位修得証明書	学事課 (教務担当)	2日	300円 〔所定の証紙を購入〕	
	単位修得見込証明書				
	調査書・推薦書等 (大学院受験用)		7日		ゼミ担当教員又は学科主任等が必要事項(学習の所見、在学中の状況、記載責任者署名等)を記入したものを窓口へ提出し、申し込んでください。
卒 業 生 等	☆成績証明書	学事課 (教務担当)	2日	300円 〔所定の証紙を購入〕	成績証明書には、単位を修得した科目のみ記載されます。
	単位修得証明書				
	☆卒業証明書				
	☆在学期間証明書				
	調査書・推薦書等 (大学院受験用)	7日	ゼミ担当教員又は学科主任等が必要事項(学習の所見、在学中の状況、記載責任者署名等)を記入したものを窓口へ提出し、申し込んでください。		
教 職 課 程 履 修 者	学力に関する証明書	学事課 (教務担当)	7日	300円 〔所定の証紙を購入〕	
	教育職員免許状 取得見込証明書				免許状取得見込年度のみ発行します。
	人物調査書・ 身上調査書等				各学科の教職科目担当教員又は学科主任等が必要事項を記入したものを窓口へ提出し、申し込んでください。

※☆印は英文発行可能な証明書です。申込みは学事課(教務担当)で、交付所要日数は2日です。

※卒業生に限り郵便による申込みを受け付けます。手続方法等は、明海大学公式ホームページで確認してください。

※その他定型以外の証明書の発行については、学事課(教務担当)へ問い合わせてください。

注意 学事課(教務担当)で申し込んだ証明書の保管期限は、申込日から3か月までとします。この期限を過ぎた証明書は、受領の意思がないものとみなし廃棄します。なお、この場合の証明書発行手数料は返還しません。

学生生活関係証明書

対象	証明書	取扱窓口	交付所要日数	手数料	備考
在 学 生	☆健康診断証明書	S.I.S.	即時 (窓口発行 は3日後)	300円	定期健康診断を受診又は医療機関の健康診断書を提出し、本学が指定した全受診科目において診断結果が異常なしの学生に発行します。 ※歯科検診結果については記載されません。
	☆在学証明書		即時 (窓口発行 は翌日)		
	学割証	学生支援課 (学生支援 担当)	即時	無料	年度内10枚まで発行可能。発行日から3か月間有効
	通学証明書				通学定期券を学生証の提示のみで購入できない ときにのみ発行します。

※☆印は英文発行可能な証明書です。申込みは学生支援課（学生支援担当）で、交付所要日数は、在学証明書は翌日、健康診断証明書は7日です。

※上記証明書は、原則S.I.S.又は窓口で発行します。特別な事情がない限り、郵送対応はしません。

注意 窓口で申し込んだ証明書の保管期限は、申込日から3か月までとします。この期限を過ぎた証明書は、受領の意思がないものとみなし廃棄します。なお、この場合の証明書発行手数料は返還しません。

2 事務取扱時間

教務関係の事務取扱は、管理・研究棟2階の学事課（教務担当）において行います。窓口取扱時間は、次のとおりとなっていますので時間を厳守してください。

区 分		窓口取扱時間
授業期間	月～金	9:00～18:30
	土	9:00～13:00
試験期間	月～金	9:00～17:30
	土	9:00～13:00
その他 (夏季・冬季・春季休暇中等)	月～金	9:00～17:00
	土	9:00～13:00

注意 日曜日及び祝日（休日授業実施日を除く。）は休業となり、窓口取扱は一切行いません。また、入学試験及び大学行事等による休業や窓口取扱時間の変更については、掲示及び浦安キャンパス公式ホームページで告知します。

3 問い合わせ

- (1) 行事予定、休講、その他授業や試験・成績等についての電話での問い合わせには、一切応じません。
- (2) 教員の個人情報（住所、電話番号及びメールアドレス等）に関する問い合わせには、一切応じません。

4 学生への連絡

大学では、学生への告知、発表、諸手続等の連絡は、Webポータルシステムによる掲示配信又は掲示板への掲示で行います。Webポータルシステムや掲示板の掲示を見ないことを理由にしての諸手続の遅延や免責は認められませんので、十分注意してください。Webポータルシステムを毎日こまめに確認するとともに、登下校時には、必ず掲示板を見る習慣を身につけてください。

なお、Webポータルシステムは、パソコン及びスマートフォン等で利用できます。

[1] Webポータルシステムによる掲示配信

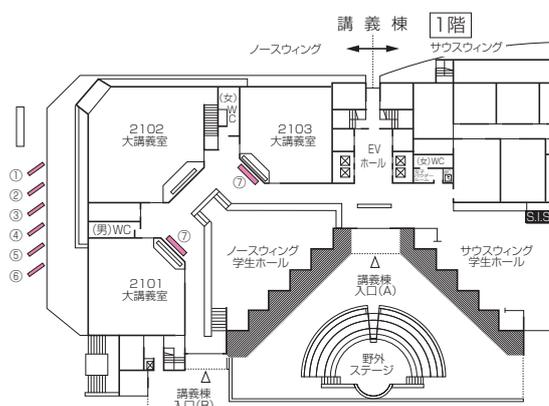
参照▶「Webポータルシステム利用マニュアル」

大学からの緊急連絡、休講・補講・教室変更・学生呼出し等の諸連絡については、Webポータルシステムによる掲示配信で行いますので、こまめに確認してください。

また、パソコン・スマートフォン・携帯電話等のメールアドレスを登録すると各種掲示情報がメール配信されますので、必ず登録してください。

[2] 掲示板の場所と掲示内容

掲示板の場所及び掲示内容は、原則として次のとおりです。



NO.	掲 示 板	掲 示 内 容
①	外国語学部掲示板	各学部の授業（休講、補講）やレポート、平常授業時に行われる試験、留学等の内容に関すること。
②	経済学部掲示板	
③	不動産学部掲示板	
④	ホスピタリティ・ツーリズム学部掲示板	
⑤	呼び出し掲示板	呼び出し（履修、成績等の内容に関すること。）
⑥	全学共通掲示板	その他学生生活に関すること。
⑦	2101・2103大講義室横掲示板	履修関連、授業時間割、教室変更、定期試験、進級・卒業等に関すること。

5 メールアカウントの付与

授業等において、講義資料の受領やレポート提出をスムーズに行えるようにするため、学生全員にメールアカウント（G-mail）を付与しています。メールアドレス及びパスワードについては、次のとおりです。

メールアドレス	s学籍番号@meikai.ac.jp (注：学籍番号は、学生証に記載されている8桁の番号です。)	
初期パスワード 確認方法	手順①	Webポータルシステムにログインする。
	手順②	ログイン後、「個人情報」の中の「学籍情報照会」を選択する。
	手順③	「学内LANパスワード」欄に記載されているパスワードを使用する。

※メールアドレスの付与に当たっては、CAMPUS GUIDE巻末資料に記載されている「明海大学浦安キャンパスネットワーク利用規則（学生用）」を確認してください。

6 シラバス

『シラバス』には、各授業科目の授業の概要、到達目標、履修条件、評価基準・方法及び教科書等が記載されています。受講計画を立てる際の授業科目選択の手引きとして、また、学修を進めていく上でも『シラバス』を確認し、授業の目標達成のために活用してください。

『シラバス』は、明海大学浦安キャンパス公式ホームページから閲覧できます。

※授業科目によっては授業の進捗等により授業計画を変更することがあります。

<URL>

<https://syllabus.meikai.sugawara-p.co.jp/web/show.php>

<QRコード>



<パソコン版Webサイト画面>

明海大学
MEIKAI UNIVERSITY

Syllabus 2025

Home | 学部 | 大学院 | School of Hospitality & Tourism Management GLOBAL MANAGEMENT MAJOR (PDF) | 実務経験のある教員等による授業科目 | 年度: 選択してください | 年度

自 シラバスの見方について

科目検索

はじめに

この「シラバス」には、2025年度に開講される授業科目の概要、到達目標及び授業内容等が掲載されています。1年間の学修計画を立てるに当たっての科目選択の手引として、さらには、日々の学修の参考にここに掲載された情報を活用してください。

なお、授業科目によっては、受講者数又は授業の進捗等により授業計画を変更することがあります。また、若干の授業科目については掲載されていないものもありますが、これらについては、別途掲示又は初回の授業時に担当教員から説明があります。

シラバスの見方について

各ページの始めには授業科目名、開講学科等、開講年次その科目を学修することによって得られる単位数及び授業担当教員名等が一目で分かるよう表示しています。

【(例) 参照】

ディプロマ・ポリシーの対応番号を記載
※ ディプロマ・ポリシーの内容は「履修の手引」で確認できます。

履修可能な最低年次を記載

前 1 : 前学期に通 1 回授業が行われます。
前 2 : 前学期に通 2 回授業が行われます。
後 1 : 後学期に通 1 回授業が行われます。
後 2 : 後学期に通 2 回授業が行われます。
前/後 : 前学期に通 1 回、後学期に通 1 回同一内容の授業が行われます。(履修できるのは、前学期又は後学期のいずれかです。)
通 : 1 年間を通して通 1 回授業が行われます。
集中 : ある一定期間に連続して授業が行われます。

学修の基礎 1
開講学科等: 日英年制行修 開講年次: 1年次 2年次 開講期: 前 後 2024年度入学生のみ履修可能
別途申込

履修の範囲
この科目は、主修時・対応時・深い学びの実践によって、自己を理解し、大学を、留学生選択科目: 外国人留学生のみが履修可能な科目

<スマートフォン版サイト画面>

WEBシラバス
明海大学 2025

見方 検索

学部/大学院

学部 >

大学院 >

School of Hospitality & Tourism Management
GLOBAL MANAGEMENT MAJOR (PDF)

実務経験のある教員等による授業科目

年度を選択

2024年度 >

2023年度 >

7 manaba

本学では、e-Learning実施のプラットフォームとなる学習管理システム〔Learning Management System (LMS)〕として「manaba (マナバ)」を導入しています。

「manaba」は、インターネットを利用し、講義資料の配布、レポートの提出、小テスト及びグループワーク等が行えるクラウド型の授業支援システムです。

「manaba」利用方法等の詳細については、利用マニュアル等を確認してください。

8 学修ポートフォリオ

本学では、学生一人ひとりの大学における学びの成果を分かりやすく目に見える形で表すシステムとして「学修ポートフォリオ (START)」を導入しています。

「START」では、自身が力を入れて学んだ分野や伸びた力をレーダーチャートなどで確認し、学修の改善につなげることができます。また、入学から卒業までのさまざまな活動をポートフォリオ (活動記録) として蓄積し、学修の振り返りをすることができます。

「START」利用方法の詳細については、利用マニュアル等を確認してください。

9 交通機関の運休又は自然災害等による休講措置

1 交通機関が運休した場合

JR京葉線 (東京ー蘇我) が運転を中止した場合 (一時的な運転見合わせを除く。) は休講とする。ただし、運行を開始した場合は、次のとおりとする。

- (1) 午前6時30分までに運行を開始した場合…1時限から平常通り授業を開始する。
- (2) 午前10時30分までに運行を開始した場合…3時限から平常通り授業を開始する。
- (3) 午前10時30分を過ぎても運休している場合…当日の授業を全て休講とする。

2 暴風警報または暴風雪警報が発令された場合

千葉県全域又は千葉県北西部に上記の警報が発令された場合は休講とする。ただし、警報が解除された場合は次のとおりとする。

- (1) 午前6時30分までに警報が解除された場合…1時限から平常通り授業を開始する。
- (2) 午前10時30分までに警報が解除された場合…3時限から平常通り授業を開始する。
- (3) 午前10時30分を過ぎても警報が解除されない場合…当日の授業を全て休講とする。

3 自然災害や大規模な事故の発生等で学長が必要と判断した場合

上記1または2の取扱いに関わらず、学長が必要と判断した場合は、休講措置を講ずる場合がある。

4 その他

- (1) 事前に被害が予想される場合は、前日までに休講措置を講ずる場合がある。
- (2) 休講に関する情報は、浦安キャンパス公式ホームページ、Webポータルシステム、学内掲示等により周知する。
- (3) 定期試験期間及び追再試験期間に同様の状況が発生した場合は、これらの措置を準用する。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

8

教育課程の構成

1 授業科目の構成

本学の授業科目は、大きく分けて「共通科目」と「専門科目」の2つの学修区分から編成されています。「共通科目」は、基礎教育〔特別科目〕、人間力形成教育、キャリア形成教育から構成され、「専門科目」では、専攻又は履修モデルにより目的に応じたより専門性の高い知識やスキルを、一定のルールと自らの選択により4年間で系統的かつ計画的に学修します。

各年次の学修テーマと学修区分ごとの科目配当は、おおむね次のとおりです。



各学修区分にはそれぞれの目的があり、その内容は次のとおりです。

共通科目

全学部・学科共通科目

基礎教育 〔特別科目※〕	学修の基礎Ⅰ	<スタディプロモーション> 自分自身の特性を知り、自分が学ぶ環境である大学を知り、4年間でどのように自分づくりをするか、目標を定めるための授業です。30～40人程度のクラス編成で少人数グループワーク等を実施します。自分自身の夢を探究し、浦安キャンパスの人と出会い、夢を実現するためのロードマップを作成します。
	学修の基礎Ⅱ	<コミュニケーションスキル> コミュニケーションができるとは、相手の話を的確に理解し、自分の意見を正確に表現・伝達できることを意味します。本学教員が作成した教材で、コミュニケーションスキルの向上を図ります。
	学修の基礎Ⅲ-a	<データリテラシー 数理・推論> 正解のない課題に対して最善解を求めていく力、さらにそこから自分の創造性と合理性を高めるロジカルシンキング（推論）の基本を身につけることをめざします。データサイエンスが重視される現代社会においてデータを正しく読み取り、論理的推論に基づいて判断する力を高めるトレーニングを行います。
	学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)	<情報リテラシー> ビッグデータのAIによる活用が進むSociety 5.0に向けて、データサイエンスの入り口として、データを扱うための情報通信技術（ICT）の基礎、情報リテラシーを習得します。データの読み方をはじめとする分析スキルを習得し、現代社会における情報化の現状と情報倫理について理解することをめざします。

※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。

人間力形成教育	人間形成	幅広い分野の学問から自発的に学修計画を立てることによって、実社会の様々な場面で自ら課題を発見し解決していくことを可能にする力—明海大学の「建学の精神」にある、社会性・創造性・合理性からなる人間力—を育成します。
	国際理解	
	社会生活	

キャリア形成教育	キャリアプランニングⅠ	社会に出て働くことを考えることを通して、大学生活の目標を設定し、さらに、実際に仕事を進めていく上で重要な実践力「基礎力（ジェネリックスキル）」を修得します。
	キャリアプランニングⅡ	
	キャリアプランニングⅢ	
	キャリアデザイン	キャリア形成に関連する他学部・他学科専門科目の履修、企業との連携による教育プログラム等の学修、資格取得及び企業研修（インターンシップ）等を通じて、将来の目標に向けた幅広い知識とスキルを身につけます。
	単位認定科目	
	他学部・他学科開放科目	
産学連携教育プログラム		

専門科目

実学を中心とする目的別専門教育（専攻、履修モデル）

専門教育	専門領域について、高度な知識や技術を体系的に修得します。
	<他学部・他学科開放科目> 自分の専門分野にプラスして、他学部・他学科の専門性の高い知識・スキルを修得します。

2 専門科目

専門科目では、将来の目的に応じた実学専門知識を修得することができるよう、2年次から専攻別に分かれて、学修していくことになります。

専攻の選択に当たっては、各専攻の概要及び教育課程表等を基に慎重に行うのはもちろんのこと、所定の時期に登録を完了しない場合、当該年度（学期）の履修は認められませんので注意してください。

[1] 専攻概要

日本語学科

専攻名	狙い・進路・カリキュラムの特徴等
日本語専攻	日本語教育と国語教育の教員を目指します。また、大学院進学も視野にあります。 日本語教育：日本語を母語としない児童生徒、学生、成人の心豊かな生活を支える日本語教育を目指す学生、海外で日本語を教える、日本語・日本文化の理解を広める仕事を目指す学生が対象です。 国語教育：国語科教員（中学校・高等学校）として、日本文化・日本語・国語を客観的にとらえて教える、外国人生徒を指導する仕事を目指す学生が対象です。 高度な日本語力が活かせる仕事に就きたい学生も対象です。
グローバル・スタディーズ専攻	グローバル時代に生き、グローバル化社会で活躍することを目指す学生が対象です。世界の民族、文化、宗教、言語、経済、人間等についての学修、英語・中国語・日本語でのコミュニケーション力の修得を通じ、状況に応じて柔軟に対処できる力、世代の違う人や外国人など異文化を背景とする人と適切に対応できる力、世界に貢献するための専門的な知識・経験を身に付けます。

※教育職員免許状については、日本語専攻のみ取得可能です。

英米語学科

専攻名	狙い・進路・カリキュラムの特徴等
英米語専攻	英米語専攻は、特に、「外国語（英語）」と「語学教育」と「欧米の文化・社会」について深く学びたい学生のための専攻です。ただし、ビジネスシーンで活かせる中国語を身につけるための科目や「グローバル・スタディーズ関連科目（の一部）」が必修若しくは選択必修となっており、この専攻にあっても、ビジネスに関する専門知識を高めることができます。 この専攻の学生は、教員のアドバイス（履修ガイダンス）を参考に、自分の卒業後の進路に特化した科目履修計画を立てることができます。 なお、教員免許の取得を目指す学生は、この専攻に所属すると同時に、所定の手続を行って教職課程科目を履修することになります。
グローバル・スタディーズ専攻	英米語学科におけるグローバル・スタディーズ専攻は、「外国語（英語）」とビジネスの専門知識を兼ね備えた「グローバル人材」を目指す学生のための専攻です。この専攻の学生は、実践的英語運用能力を高めながら、主として英米語圏の文化とビジネスを中心に、幅広く国際教養を学んでいくことになります。卒業後の進路として、諸外国・地域と関連の深い商社、企業、国際協力に関する政府機関やNGO、その他幅広い業種への就職を考えている学生に相応しい専攻です。 この専攻の学生は、専門科目として、「グローバル・スタディーズ関連科目（ビジネス経済学、社会統計学などのコア科目、北アメリカ研究、ヨーロッパ研究などのグローバル科目及びフィールドワーク科目からなる）」を履修し、これからのグローバル社会でたくましく生き抜く知識とスキルを身につけることができます。

※教育職員免許状については、英米語専攻のみ取得可能です。

中国語学科

専攻名	狙い・進路・カリキュラムの特徴等
中国語専攻	<p>中国語専攻（CLM：Chinese Language Major）では、中国語運用能力を高めるとともに、言語を通じて幅広く中国の文化・歴史・社会を理解し、現代・古典を問わず豊かな教養を身につけ、中国に精通した人材の育成を目指しています。</p> <p>思想、文学など、言語の奥に横たわる中国の文化を知ることで、現在の中国社会の特質をより深く理解できるほか、今後国際未来社会で生きていく上で自分のよりどころになる智恵を身につけられます。</p> <p>通訳・翻訳の授業や中国・台湾への長期留学の機会も用意されており、中国語運用能力を向上させることができます。</p> <p>また、教職課程を履修して中国語教員を目指したり、より高度な学びを極めるために大学院進学を目指す学生にも対応しています。</p> <p>卒業後は一般企業への就職や教員、通訳、大学院進学などを想定しています。</p>
グローバル・スタディーズ専攻	<p>グローバル・スタディーズ専攻（GSM：Global Studies Major）では、国際的教養を身につけると同時に、グローバル時代に対応した柔軟な発想と時代の変化に適応可能な人材の育成を目指しています。</p> <p>異文化コミュニケーションのベースとなる中国語と英語の学修の上に、コア科目としてビジネス経済学、経営学総論、会計学総論、社会統計学、マーケティング論など、ビジネスに必須の社会系科目を学び、時代の変化に迅速に対応できる能力を身につけます。</p> <p>グローバル科目には北アメリカ研究やASEAN研究などの地域研究や文化講義なども設置され、国際的視野を大きく広げることが可能です。</p> <p>フィールドワーク科目では、社会との結びつきを肌で感じることができます。</p> <p>卒業後は国内企業はもちろんのこと、国際機関や多国籍企業への就職を想定しています。</p>

※教育職員免許状については、中国語専攻のみ取得可能です。

[2] 専攻登録

専攻の登録に当たっては、各学科において手続等の詳細な説明や希望調査が行われますので、必ず出席してください。

学 科	日本語学科	英米語学科	中国語学科
専攻定員	定員は定められていません。		
専攻希望調査の時期	1年の後学期に行います。		
選抜方法	フレッシュパーソンセミナーⅠ・Ⅱの学修状況、面談での意思確認、適性等を踏まえて決定します。	フレッシュパーソンセミナーⅠ・Ⅱの授業等を通じて、本人の希望・適性を見極めつつ指導を行い、専攻を決定します。一方の専攻に人数が集中した場合は、調整することもあります。	専攻希望調査に従って専攻分けを行います。特定の専攻に人数が集中した場合は、調整することもあります。
専攻発表・決定	1年の1月末		

※詳細については、別途掲示等で指示します。

[3] 専攻変更

学 科	日本語学科	英米語学科	中国語学科
専 攻 変 更 時 期	3年進級時	3年進級時 ※2年終了時に必要な 手続を取ること	2年4学期時 ※原則として学期開始時
注意事項・ 特記事項	専攻の変更は、変更を希望する学生が、学科主任及び教務委員に変更理由等を申し添えて申請し、許可された場合に限りです。		

※詳細については、別途掲示等にてお知らせします。

[4] 日本語教員 養成課程 修了証明書

日本語学科日本語専攻

外国語学部日本語学科日本語専攻の卒業要件を満たし、以下の科目を修得した者に対して、日本語教員養成課程修了証明書を発行します。

証明書の交付に係る詳細については、掲示等で告知します。

2021年度以降入学生

授業科目名 〔 () の数字は単位数〕			
日本語学概論 (2)	⑤	検定対策Ⅳ (2)	⑤
日本語史Ⅰ (2)	⑤	音声指導法研究 (2)	⑤
敬語表現法 (2)	②	文型指導法研究 (2)	④
表記法概論 (2)	⑤	評価法研究 (2)	④
言語学概論 (2)	⑤	教案作成研究 (2)	④
社会言語学 (2)	②	日本語教育事情 (2)	①
対照言語学 (2)	⑤	第二言語習得論 (2)	③
日本語教育概論 (2)	④	日本語教育実習 (4)	④
日本語教授法 (2)	④	文化講義Ⅱ (異文化理解) (2)	①
日本語教材論 (2)	④	年少者日本語教育概説 (2)	④
検定対策Ⅰ (2)	⑤	児童生徒のための日本語教育論 (2)	④
検定対策Ⅱ (2)	①	日本語学習支援・実地研究 (2)	④
検定対策Ⅲ (2)	③④		
合計単位数 52単位			

※本養成課程は、文化審議会国語分科会が平成31年3月4日に取りまとめた「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改訂版」において示された「日本語教師〔養成〕における教育内容」に掲げられた必須の教育内容を全て含むものであり、①～⑤の数字については、同報告にて示された5つの区分です。① 社会・文化・地域 ② 言語と社会 ③ 言語と心理 ④ 言語と教育 ⑤ 言語

2017～2020年度入学生

授業科目名			
〔() の数字は単位数〕			
日本語学概論 (2)	⑤	検定対策Ⅱ (2)	⑤
日本語史Ⅰ (2)	⑤	検定対策Ⅲ (2)	③ ④
敬語表現法 (2)	②	検定対策Ⅳ (2)	⑤
表記法概論 (2)	⑤	音声指導法研究Ⅰ (2)	⑤
言語学概論 (2)	⑤	文型指導法研究Ⅰ (2)	④
社会言語学Ⅰ (2)	②	評価法研究 (2)	④
社会言語学Ⅱ (2)	②	教案作成研究 (2)	④
日本語教育概論 (2)	④	日本語教育事情 (2)	①
日本語教授法 (2)	④	第二言語習得論 (2)	③
日本語教材論 (2)	④	日本語教育実習 (4)	④
検定対策Ⅰ (2)	①	文化講義Ⅱ (異文化理解) (2)	①
合計単位数 46単位			

※①～⑤の数字については、文化庁に設置された「日本語教員の養成に関する調査研究協力者会議」が平成12年3月30日に取りまとめた「日本語教育のための教員養成について」において示された「日本語教員養成において必要とされる教育内容」の5つの区分です。

① 社会・文化・地域 ② 言語と社会 ③ 言語と心理 ④ 言語と教育 ⑤ 言語

※本養成課程は、文化審議会国語分科会が平成31年3月4日に取りまとめた「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改訂版」において示された「日本語教師〔養成〕における教育内容」に掲げられた必須の教育内容を全て含むものです。

3 履修のガイドライン

2021年度以降入学生

日本語学科

国語教育、日本語教育、ビジネスなどの世界で活躍することを目指す学生諸君、日本語学科では、諸君の希望や専攻を配慮して、4年間の学修を系統的かつ効果的に行えるように専門科目を配置しています。下記の例を参考に学修計画を立ててください。

専攻共通

授業科目区分	1年	2年	3年	4年
専門科目 専門基礎	外国語研究概論 フレッシュパーソンセミナーI・II	課題探求セミナーI・II 日本語基礎演習	現代社会事情	

日本語専攻（JLM）履修登録の例

太字は必修科目

授業科目区分	1年	2年	3年	4年
ILP	英語I-a・b 英語II-a・b	英語III-a・b		
専門科目 日本語・日本文化 関連科目	日本語教育概論 日本語教授法 日本語学概論 日本語表現研究I・II	日本語学基礎演習 音声学概論 日本語音声学 日本語文法論I・II 敬語表現法 日本語方言学 言語学概論 日本文学概論 漢文学概論 日本語教育演習 日本語教材論 検定対策I 評価法研究 教案作成研究 日本語教育事情 第二言語習得論	日本語講読I・II 応用言語学 日本語学講義I 社会言語学 言語研究法 日本文学史 近現代文学 古典概説 音声指導法研究 文型指導法研究 年少者日本語教育概説 児童生徒のための日本語教育論 日本語学習支援・実地研修	日本語史I 表記法概論 コンピュータ言語学 漢文学演習I・II 日本語教育実習 対照言語学
グローバル・スタディーズ 関連科目	Preparation for TOEIC I-a・b	文化講義I・II		Preparation for TOEIC II-a・b など
卒業研究			専門領域研究講座	卒業研究
他学部・他学科 開放科目	*履修できる授業科目等については、他学部・他学科開放科目一覧を参照してください。			

*教育職員免許状については日本語専攻のみ取得可能です。具体的な科目名称等は「教職課程表」を参照してください。→P.115

グローバル・スタディーズ専攻（GSM）履修登録の例

太字は必修科目

授業科目区分	1年	2年	3年	4年
ILP (母語以外の1言語を 選択必修)	英語I-a・b 英語II-a・b	英語III-a・b 中国語I-a・b 中国語II-a・b	※留学生は「日本語I-a」～「日本語II-b」の4単位を修得しなくてはならないので注意してください。	
専門科目 グローバル・スタディーズ 関連科目	Preparation for TOEIC I-a・b	ビジネス経済学 経営学総論 日本研究 東アジア研究 中国ビジネス入門 北アメリカ研究	会計学総論 社会統計学 マーケティング論 国際関係概論 時事英語a・b ビジネスキャリア特講a・b	文化講義II Advanced Business English a・b Preparation for TOEIC II-a・b
日本語・日本文化 関連科目	日本語学概論 日本語教育概論 日本語教授法 日本語表現研究I	日本語音声学 日本語文法論I 敬語表現法 言語学概論 日本文学概論	日本語学講義I 社会言語学 日本文学史	日本語史I 表記法概論 コンピュータ言語学
卒業研究			専門領域研究講座	卒業研究
他学部・他学科 開放科目	*履修できる授業科目等については、他学部・他学科開放科目一覧を参照してください。			

*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は「日本語I-a」～「日本語II-b」の4単位を修得してください。

注意 上記の表は、履修のガイドラインの概要を示したもので、全科目を列挙せず、その専攻に特色ある科目を掲載しています。卒業要件単位数及び履修方法の詳細については、「教育課程表」等によく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

英米語学科

英米語学科では、4年間の学修を系統的かつ効果的に行えるように、専門科目の履修条件を専攻ごとに定めています。履修科目の選択に当たっては、このカリキュラムの概要を参考に学修計画を立ててください。〔* = 必修科目、(*) = 特殊条件付き選択必修〕

区分	専攻	1年	2年	3年	4年
専攻共通	専攻共通	1年次専門基礎科目 *外国語研究概論 (2) 必修ゼミクラス *フレッシュパーソンセミナーI (1)、II (1)	2年次専門基礎科目 *英米語基礎演習 (4) *課題探求セミナーI (1)、II (1)	3年次専門基礎科目 *現代社会事情 (2) *専門領域研究講座 (4)	科目配置上は、「卒業研究」 *卒業研究 (4)
		ILP 1年次必修科目 *Integrated English I (2) *Integrated English II (2) *Grammar a (1)、b (1) *Reading I-a (1)、I-b (1) *Writing I-a (1)、I-b (1) *Listening I-a (1)、I-b (1) *Preparation for TOEIC I-a (1)、I-b (1)	ILP 2年次必修科目 *Integrated English III (2) *Integrated English IV (2) *Reading II-a (1)、II-b (1) *Reading III-a (1)、III-b (1) *Writing II-a (1)、II-b (1) *Listening II-a (1)、II-b (1) *Preparation for TOEIC II-a (1)、II-b (1)	科目配置上は、「グローバル・スタディーズ関連科目」	母語以外の1言語4科目を1年次に選択必修
		(*) 中国語 I-a (1)、I-b (1) (*) 日本語 I-a (1)、I-b (1) (*) 中国語 II-a (1)、II-b (1) (*) 日本語 II-a (1)、II-b (1)			
専門科目	英米語専攻	概論科目 ※2分野8単位選択必修。1、2年次の修得が原則。 (*) 異文化コミュニケーション概論a (2)、b (2) (*) 英語学概論 a (2)、b (2) (*) 英米文学概論 a (2)、b (2) (*) 英語教育学概論 a (2)、b (2)			
		1年次以降の専攻基礎科目 TOEFL対策講座 (2)	2年次以降の専攻基礎科目 英語音声学 a (2)、b (2)、英語史 (2) 英文法研究 a (2)、b (2)、対照言語研究 a (2)、b (2)		※8単位選択必修
			グローバル・スタディーズ関連科目 (Preparation for TOEIC I、IIを除く) 時事英語 a (2)、b (2)、その他		※2単位選択必修
				SKILL科目、特講科目、特殊研究科目 ※18単位選択必修 Interpreting Skills a (2)、b (2)、Discussion & Debate a (2)、b (2)、英語学特講 I-a (2)、I-b (2)、文学特講 I-a (2)、I-b (2)、他 ※ELMのコアとなる科目群。自分の進路に相応しい科目を教員のアドバイスを参考に選択履修する。	
グローバル・スタディーズ専攻	グローバル・スタディーズ専攻	1年次以降の専攻基礎科目 TOEFL対策講座 (2)	2年次以降の専攻基礎科目 英語音声学 a (2)、b (2)、英語史 (2) 英文法研究 a (2)、b (2)、対照言語研究 a (2)、b (2)		※2単位選択必修
			グローバル・スタディーズ関連科目 (Preparation for TOEIC I、IIを除く)：※28単位 (必修18単位含) ※GSMのコアとなる科目群。「コア科目」〔ビジネス経済学 (2)、社会統計学 (2)、他〕、「グローバル科目」〔北アメリカ研究 (2)、ヨーロッパ研究 (2)、他〕、「フィールドワーク科目」〔GSMインターンシップ I (2)、II (2)、他〕からなる。必修科目が多いので、計画的な履修が必要。		
		概論科目 異文化コミュニケーション概論 a (2)、b (2) 英語学概論 a (2)、b (2) 英米文学概論 a (2)、b (2) 英語教育学概論 a (2)、b (2)	※その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】の2単位に含めることができる。	SKILL科目、特講科目 ※8単位選択必修 Interpreting Skills a (2)、b (2)、コミュニケーション特講 I-a (2)、I-b (2)、他。必要に応じて選択履修する。	

注意 上記の表は、カリキュラムの概要を視覚的に示したものです。卒業要件単位数及び履修方法の詳細については、「教育課程表」等でよく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

中国語学科

中国語学科では、グローバル社会に必要なスキルを身につけ、将来、日中関係の各分野で活躍しうる人材の養成を目的として、まず実践的中国語能力を習得し、その上で、各分野に特化した中国語運用能力、英語力、専門知識の修得が可能となるようカリキュラムを編成しています。

1・2年次では、聞く・話す・読む・書くという4技能を、「明海メソッド」を用いて徹底的に訓練し、身につけていきます。2年次には中国語専攻（CLM）とグローバル・スタディーズ専攻（GSM）に分かれ、3・4年次からは各専攻で専門的な知識を学んでいきます。CLMでは中国語学科目、中国文化科目、中国文学科目等が用意されており、主に3年次から修得が可能です。GSMではコア科目、グローバル科目、フィールドワーク科目等が用意されており、一部は2年次から修得が可能です。

3年次の長期留学では、留学先で修得した単位の一部を互換により修得することが可能です。自分の将来に向けて、計画的かつ意欲的に学習に取り組んでください。

		1 年	2 年	3 年	4 年	
専攻共通		外国語研究概論 フレッシュパーソンセミナー I・II	課題探求セミナー I・II 中国語基礎演習 A 又は 中国語基礎演習 B	現代社会事情 専門領域研究講座	卒業研究	
	専攻共通	I L P 漢語基礎 I・II 漢語会話 I・II 漢語実践 I・II 漢語作文 I・II 英語 I-a・I-b 英語 II-a・II-b 日本語 I-a・I-b 日本語 II-a・II-b *母語以外の1言語4科目選択必修	CLM 中国語・中国文化関連科目 中国思想研究入門 中国文学研究入門 中国歴史研究入門 中国語学研究入門 中国語検定対策講座 I・II	I L P 漢語基礎 III・IV 漢語会話 III・IV 漢語実践 III・IV 中級漢語 I・II	中国語史 I・II 日中言語対照 I・II 現当代文学 I・II 古典文学 I・II 東アジア比較思想論 I・II 中国宗教・文化論 I・II	
グローバル・スタディーズ関連科目 東アジア研究 ASEAN研究						中国経済 I・II 日中観光実務 I・II 時事中国語演習 I・II
GSM 中国社会研究入門 中国現代史研究入門	中国語・中国文化関連科目 中国語検定対策講座 I・II	日中通訳基礎演習 I・II 日中翻訳基礎演習 I・II 中国現代史 I・II				

注意 上記の表は、履修のガイドラインを示したもので、専攻ごとに特色のある科目のみを掲載しています。卒業要件単位数及び履修方法の詳細については、「教育課程表」等でよく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

2020年度以前入学生

日本語学科

国語教育、日本語教育、ビジネスなどの世界で活躍することを目指す学生諸君、日本語学科では、諸君の希望や専攻を配慮して、4年間の学修を系統的かつ効果的に行えるように専門科目を配置しています。下記の例を参考に学修計画を立ててください。

専攻共通

授業科目区分	1年	2年	3年	4年
専門科目 専門基礎	外国語研究概論 フレッシュパーソンセミナーI・II	課題探求セミナーI・II 日本語基礎演習	現代社会事情	

日本語専攻（JLM）履修登録の例

太字は必修科目

授業科目区分	1年	2年	3年	4年	
専門科目	ILP (母語以外の2言語を 選択必修)	英語I-a・b 英語II-a・b 中国語I-a・b 中国語II-a・b	英語III-a・b	※留学生は「日本語I-a」～「日本語III-b」の6単位を修得しなくてはならないので注意してください。	
	日本語・ 日本文化 関連科目	日本語教育概論 日本語教授法 日本語学概論 日本語表現研究I・II	日本語学基礎演習 音声学概論 日本語音声学 日本語文法論I・II 敬語表現法 日本語方言学 言語学概論 日本文学概論 漢文学概論 日本語教育演習 日本語教材論 検定対策I 評価法研究 授業作成研究 日本語教育事情 第二言語習得論 など		日本語講読I・II 応用言語学 日本語学講義I 社会言語学I 日本文学史 近現代文学 古典概説 音声指導法研究I 文型指導法研究I など
	グローバル・ スタディーズ 関連科目	Preparation for TOEIC I-a・b	文化講義I・II	比較文化論	Preparation for TOEIC II-a・b など
	卒業研究			専門領域研究講座	卒業研究
	他学部・他学科 開放科目	*履修できる授業科目等については、他学部・他学科開放科目一覧を参照してください。			

※1 教育職員免許状については日本語専攻のみ取得可能です。具体的な科目名称等は「教職課程表」を参照してください。→P.115
 ※2 外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は「日本語I-a」～「日本語III-b」の6単位を修得してください。

グローバル・スタディーズ専攻（GSM）履修登録の例

太字は必修科目

授業科目区分	1年	2年	3年	4年	
専門科目	ILP (母語以外の2言語を 選択必修)	英語I-a・b 英語II-a・b 中国語I-a・b 中国語II-a・b	英語III-a・b	※留学生は「日本語I-a」～「日本語III-b」の6単位を修得しなくてはならないので注意してください。	
	グローバル・ スタディーズ 関連科目	Preparation for TOEIC I-a・b	ビジネス経済学 経営学総論 日本研究 東アジア研究 中国ビジネス入門 北アメリカ研究 など		会計学総論 社会統計学 マーケティング論 国際関係概論 国際ビジネス論a・b 時事英語a・b ビジネスキャリア特講a・b など
	日本語・ 日本文化 関連科目	日本語学概論 日本語教育概論 日本語教授法 日本語表現研究I など	日本語音声学 日本語文法論I 敬語表現法 言語学概論 日本文学概論 など	日本語学講義I 社会言語学I 日本文学史 など	日本語史I 表記法概論 コンピュータ言語学I など
	卒業研究			専門領域研究講座	卒業研究
	他学部・他学科 開放科目	*履修できる授業科目等については、他学部・他学科開放科目一覧を参照してください。			

※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は「日本語I-a」～「日本語III-b」の6単位を修得してください。

注意 上記の表は、履修のガイドラインの概要を示したもので、全科目を列挙せず、その専攻に特色ある科目を掲載しています。卒業要件単位数及び履修方法の詳細については、「教育課程表」等でよく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

英米語学科

英米語学科では、4年間の学修を系統的かつ効果的に行えるように、専門科目の履修条件を専攻ごとに定めています。履修科目の選択に当たっては、このカリキュラムの概要を参考に学修計画を立ててください。〔* = 必修科目、(*) = 特殊条件付き選択必修〕

区分	専攻	1年	2年	3年	4年
専攻共通	専攻共通	1年次専門基礎科目 *外国語研究概論 (2) 必修ゼミクラス *フレッシュパーソンセミナーI (1)、II (1)	2年次専門基礎科目 *英米語基礎演習 (4) *課題探求セミナーI (1)、II (1)	3年次専門基礎科目 *現代社会事情 (2) *専門領域研究講座 (4)	科目配置上は、「卒業研究」 *卒業研究 (4)
		ILP 1年次必修科目 *Integrated English I (2) *Integrated English II (2) *Grammar a (1)、b (1) *Reading I-a (1)、I-b (1) *Writing I-a (1)、I-b (1) *Listening I-a (1)、I-b (1) *Preparation for TOEIC I-a (1)、I-b (1)	ILP 2年次必修科目 *Integrated English III (2) *Integrated English IV (2) *Reading II-a (1)、II-b (1) *Reading III-a (1)、III-b (1) *Writing II-a (1)、II-b (1) *Listening II-a (1)、II-b (1) *Preparation for TOEIC II-a (1)、II-b (1)	科目配置上は、「グローバル・スタディーズ関連科目」 母語以外の1言語4科目を1年次に選択必修	
		(*中国語 I-a (1)、I-b (1)) (*中国語 II-a (1)、II-b (1)) (*日本語 I-a (1)、I-b (1)) (*日本語 II-a (1)、II-b (1))			
専門科目	英米語専攻	概論科目 ※2分野8単位選択必修。1、2年次の修得が原則。 (*異文化コミュニケーション概論a (2)、b (2)) (*英語学概論 a (2)、b (2)) (*英米文学概論 a (2)、b (2)) (*英語教育学概論 a (2)、b (2))			
		1年次以降の専攻基礎科目 TOEFL対策講座 (2)	2年次以降の専攻基礎科目 英語音声学 a (2)、b (2)、英米文学史 (2)、英語圏の文化と社会 (2) 英文法研究 a (2)、b (2) 英語史 (2)、対照言語研究 a (2)、b (2) ※8単位選択必修		
			グローバル・スタディーズ関連科目 (Preparation for TOEIC I、IIを除く) 時事英語 a (2)、b (2)、国際ビジネス論a (2)、b (2)、国際協力論 (2)、その他 ※2単位選択必修	SKILL科目、特講科目、特殊研究科目 ※18単位選択必修 Interpreting Skills a (2)、b (2)、Discussion & Debate a (2)、b (2)、英語学特講 I-a (2)、I-b (2)、文学特講 I-a (2)、I-b (2)、他 ※ELMのコアとなる科目群。自分の進路に相応しい科目を教員のアドバイスを参考に選択履修する。	
グローバル・スタディーズ専攻	グローバル・スタディーズ専攻	1年次以降の専攻基礎科目 TOEFL対策講座 (2)	2年次以降の専攻基礎科目 英語音声学 a (2)、b (2)、英米文学史 (2)、英語圏の文化と社会 (2) 英文法研究 a (2)、b (2) 英語史 (2)、対照言語研究 a (2)、b (2) ※2単位選択必修		
			グローバル・スタディーズ関連科目 (Preparation for TOEIC I、IIを除く)：※30単位(必修20単位含) ※GSMのコアとなる科目群。「コア科目」〔ビジネス経済学 (2)、社会統計学 (2)、他〕、「グローバル科目」〔北アメリカ研究 (2)、ヨーロッパ研究 (2)、他〕、「フィールドワーク科目」(GSMインターンシップ I (2)、II (2)、他)からなる。必修科目が多いので、計画的な履修が必要。	SKILL科目、特講科目 ※8単位選択必修 English for Current Issues a (2)、b (2)、コミュニケーション特講 I-a (2)、I-b (2)、他。必要に応じて選択履修する。	
		概論科目 ※卒業要件には算入されません。 異文化コミュニケーション概論 a (2)、b (2) 英語学概論 a (2)、b (2) 英米文学概論 a (2)、b (2) 英語教育学概論 a (2)、b (2)			

注意 上記の表は、カリキュラムの概要を視覚的に示したものです。卒業要件単位数及び履修方法の詳細については、「教育課程表」等でよく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

4 カリキュラムマップ（履修系統図）

2021年度以降入学生

日本語学科 日本語専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シークェンス…学修経験の順次性と垂直的統合	共通科目	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	<p>【DPM1/M2/M3】共通科目にあつては、全学のディプロマ・ポリシーに基づく次の項目を学位授与の基礎要件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会性：社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断することができる。 2 創造性：夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現することができる。 3 合理性：知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用することができる。 <p>基礎教育（特別科目を含む。）、人間力形成教育（人間形成、国際理解、社会生活）、キャリア形成教育</p>			
	専門科目	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	<p>[DPJ1] 日本と世界の文化・社会・歴史の多面性を把握することができる。</p>	<p>[DPJ2] 日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力が身についている。</p>	<p>[DPJ3] 日本語（国語）、日本語教育、国語教育を理解し、応用できる。</p>	<p>[DPG1] 日本語、英語、中国語を用い、適切に情報を集約・分析し、表現することができる。</p> <p>[DPG2] 自己の主張をグローバル的視野での確に表現できる。</p> <p>[DPG3] 多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる。</p> <p>[DPG4] 対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。</p>
	4年次履修			対照言語学(2)	日本語教育実習(4) ●卒業研究(4)	
	3年次履修	日本文学史(2) 近現代文学(2) 古典概説(2) 漢文学概論(2) 漢文学講義(2)	日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2) 日本語史Ⅰ(2) 日本語史Ⅱ(2) 表記法概論(2) 応用言語学(2) 社会言語学(2) 言語研究法(2) コンピュータ言語学(2) 音声指導法研究(2) 文型指導法研究(2) 年少者日本語教育概説(2) 児童生徒のための日本語教育論(2) 日本語学習支援・実地研究(2)	●現代社会事情(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 古典演習(2) 漢文学演習Ⅰ(2) 漢文学演習Ⅱ(2) ●専門領域研究講座(4)		
	2年次履修	日本文学概論(2)	日本語方言学(2) 音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2) 敬語表現法(2) 言語学概論(2) 日本語教材論(2) 検定対策Ⅰ(2) 検定対策Ⅱ(2) 検定対策Ⅲ(2) 検定対策Ⅳ(2) 評価法研究(2) 日本語教育事情(2) 第二言語習得論(2)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4) 日本語学基礎演習(2) 日本語教育演習(2) 教案作成研究(2)	●英語Ⅲ-a(1) ●英語Ⅲ-b(1) 文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)	
1年次履修		●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2) ●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)	●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●外国語研究概論(2) ●英語Ⅰ-a(1) ●英語Ⅰ-b(1) ●英語Ⅱ-a(1) ●英語Ⅱ-b(1) 中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1) 日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1) Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)	<p>日本人学生</p> <p>外国人留学生</p>	

※ 「●」=必修科目

共通科目	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	<p>【DPM1/M2/M3】共通科目にあつては、全学のディプロマ・ポリシーに基づく次の項目を学位授与の基礎要件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会性：社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断することができる。 2 創造性：夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現することができる。 3 合理性：知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用することができる。 <p>基礎教育（特別科目を含む。）、人間力形成教育（人間形成、国際理解、社会生活）、キャリア形成教育</p>				
	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	<p>[DPG1] 日本語、英語、中国語を用い、適切に情報を集約・分析し、表現することができる。</p>	<p>[DPG2] 自己の主張をグローバル的視野で的確に表現できる。</p>	<p>[DPG3] 多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる。</p>	<p>[DPG4] 対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。</p>	<p>[DPJ1] 日本と世界の文化・社会・歴史の多面性を把握することができる。 [DPJ2] 日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力が身につけている。 [DPJ3] 日本語（国語）、日本語教育、国語教育を理解し、応用できる。</p>
	4年次履修	Advanced Business English a (2) Advanced Business English b (2)	●卒業研究(4)	文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2)		日本語Ⅰ(2) 日本語Ⅱ(2) 対照言語学(2)
	3年次履修	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) 通訳の基礎 a (2) 通訳の基礎 b (2) 時事英語 a (2) 時事英語 b (2)	●専門領域研究講座(4)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2) 国際関係概論(2) ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2)	日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2) GSM海外留学(4) GSMインターンシップⅡ(2) GSMボランティアⅡ(2)	●現代社会事情(2) 日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2) 表記法概論(2) 応用言語学(2) 社会言語学(2) 言語研究法(2) コンピュータ言語学(2) 日本文学史(2) 近現代文学(2)
	2年次履修	●英語Ⅲ-a(1) ●英語Ⅲ-b(1) 中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1) 日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)		●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2) ●日本研究(2) 北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) ●東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2) 中国ビジネス入門(2)	GSM/海外研修(2) GSMインターンシップⅠ(2) GSMボランティアⅠ(2)	●日本語基礎演習(4) 音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2) 敬語表現法(2) 言語学概論(2) 日本文学概論(2)
1年次履修	●外国語研究概論(2) ●英語Ⅰ-a(1) ●英語Ⅰ-b(1) ●英語Ⅱ-a(1) ●英語Ⅱ-b(1) Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)				●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) ●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2) ●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)	

※ 「●」=必修科目

シーケンス…学修経験の順次性と垂直的統合

← スコープ：学修経験の範囲と水平的統合 →

共通科目	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	<p>【DPM1/M2/M3】共通科目にあつては、全学のディプロマ・ポリシーに基づく次の項目を学位授与の基礎要件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会性：社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断することができる。 2 創造性：夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現することができる。 3 合理性：知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用することができる。 <p>基礎教育（特別科目を含む。）、人間力形成教育（人間形成、国際理解、社会生活）、キャリア形成教育</p>			
	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	<p>【DP1】国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力が身についている。</p>	<p>【DP2】言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力が身についている。</p>	<p>【DP3】社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格が身についている。</p>	<p>【DP4】教育・研究の分野で活躍できる能力が身についている。</p>
専門科目	4年次履修	<p>●卒業研究(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】</p>			
	3年次履修	<p>●専門領域研究講座(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】</p>			
	2年次履修	<ul style="list-style-type: none"> ●Integrated English III (2) ●Integrated English IV (2) ●Reading II - a (1) ●Reading II - b (1) ●Reading III - a (1) ●Reading III - b (1) ●Writing II - a (1) ●Writing II - b (1) ●Listening II - a (1) ●Listening II - b (1) 英文法研究 a (2) 英文法研究 b (2) 通訳の基礎 a (2) 通訳の基礎 b (2) ●Preparation for TOEIC II - a (1) ●Preparation for TOEIC II - b (1) 	<p>日本研究(2)</p> <p>北アメリカ研究(2)</p> <p>南アメリカ研究(2)</p> <p>ヨーロッパ研究(2)</p> <p>オセアニア研究(2)</p> <p>東アジア研究(2)</p> <p>ASEAN研究(2)</p> <p>中東研究(2)</p> <p>中国ビジネス入門(2)</p> <p>文化講義 I (日本) (2)</p> <p>文化講義 II (異文化理解) (2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●課題探求セミナー I (1) ●課題探求セミナー II (1) ●英米語基礎演習(4) 特殊研究 I (4) 特殊研究 II (4) 海外実地研修(2) 国際関係概論(2) 時事英語 a (2) 時事英語 b (2) 	<p>英語学音声 a (2)</p> <p>英語学音声 b (2)</p> <p>英語史(2)</p> <p>対照言語研究 a (2)</p> <p>対照言語研究 b (2)</p>
	1年次履修	<ul style="list-style-type: none"> ●Integrated English I (2) ●Integrated English II (2) ●Grammar a (1) ●Grammar b (1) ●Reading I - a (1) ●Reading I - b (1) ●Writing I - a (1) ●Writing I - b (1) ●Listening I - a (1) ●Listening I - b (1) 異文化コミュニケーション概論 a (2) 異文化コミュニケーション概論 b (2) 英米文学概論 a (2) 英米文学概論 b (2) TOEFL対策講座(2) ●Preparation for TOEIC I - a (1) ●Preparation for TOEIC I - b (1) 		<ul style="list-style-type: none"> ●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナー I (1) ●フレッシュパーソンセミナー II (1) 中国語 I - a (1) 中国語 I - b (1) 中国語 II - a (1) 中国語 II - b (1) 日本語 I - a (1) 日本語 I - b (1) 日本語 II - a (1) 日本語 II - b (1) <p>日本人学生</p> <p>外国人留学生</p>	<p>英語学概論 a (2)</p> <p>英語学概論 b (2)</p> <p>英語教育学概論 a (2)</p> <p>英語教育学概論 b (2)</p>

※ 「●」 = 必修科目

シーケンス…学修経験の順次性と垂直的統合

共通科目	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	<p>【DPM1/M2/M3】共通科目にあつては、全学のディプロマ・ポリシーに基づく次の項目を学位授与の基礎要件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会性：社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断することができる。 2 創造性：夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現することができる。 3 合理性：知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用することができる。 <p>基礎教育（特別科目を含む）、人間力形成教育（人間形成、国際理解、社会生活）、キャリア形成教育</p>			
	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	<p>【DP1】国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力が身についている。</p>	<p>【DP2】言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力が身についている。</p>	<p>【DP3】社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格が身についている。</p>	<p>【DP4】教育・研究の分野で活躍できる能力が身についている。</p>
専門科目	4年次履修	<p>●卒業研究(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】</p>			
	3年次履修	<p>●専門領域研究講座(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】</p>			
	2年次履修	<ul style="list-style-type: none"> ●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1) ●英文法研究a(2) ●英文法研究b(2) ●通訳の基礎a(2) ●通訳の基礎b(2) ●Preparation for TOEICⅡ-a(1) ●Preparation for TOEICⅡ-b(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ●北アメリカ研究(2) ●南アメリカ研究(2) ●ヨーロッパ研究(2) ●中国ビジネス入門(2) ●文化講義Ⅰ(日本)(2) ●文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4) ●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2) ●時事英語a(2) ●時事英語b(2) ●GSMインターンシップⅠ(2) ●GSMインターンシップⅡ(2) ●GSMボランティアⅠ(2) ●GSMボランティアⅡ(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●英語音声学a(2) ●英語音声学b(2) ●英語史(2) ●対照言語研究a(2) ●対照言語研究b(2)
	1年次履修	<ul style="list-style-type: none"> ●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1) ●異文化コミュニケーション概論a(2) ●異文化コミュニケーション概論b(2) ●英米文学概論a(2) ●英米文学概論b(2) ●TOEFL対策講座(2) ●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1) 		<ul style="list-style-type: none"> ●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) ●中国語Ⅰ-a(1) ●中国語Ⅰ-b(1) ●中国語Ⅱ-a(1) ●中国語Ⅱ-b(1) ●日本語Ⅰ-a(1) ●日本語Ⅰ-b(1) ●日本語Ⅱ-a(1) ●日本語Ⅱ-b(1) <p>日本人学生</p> <p>外国人留学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●英語学概論a(2) ●英語学概論b(2) ●英語教育学概論a(2) ●英語教育学概論b(2)

※ 「●」=必修科目

シーケンス...学修経験の順次性と垂直的統合

シークェンス…学修経験の順次性と垂直的統合	共通科目	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針) 1~4年次	【DPM1/M2/M3】共通科目にあつては、全学のディプロマ・ポリシーに基づく次の項目を学位授与の基礎要件とする。 1 社会性：社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断することができる。 2 創造性：夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現することができる。 3 合理性：知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用することができる。 基礎教育（特別科目を含む。）、人間力形成教育（人間形成、国際理解、社会生活）、キャリア形成教育			
	専門科目	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	【DP1】 中国語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく修得し、中国語による情報収集ができ、中国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。	【DP2】 アジアにおけるグローバル社会に適應する能力として、中国の歴史・文化・経済・社会についての体系的知識を有し、これらの分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論することができる。	【DP3】 多様な文化的背景を持つ人々と協働していくために、コミュニケーションに必要な実践的言語力（中国語・英語・日本語）を有するとともに、主体的に異文化コミュニケーションを実践することができる。	【DP4】 中国語専攻学生は、通訳・翻訳に通じる高度な中国語能力を持ち、中国の文化・社会に対する知識を有し、中国語を必要とする仕事において活躍できる。
	4年次履修	●卒業研究(4)				
	3年次履修	<ul style="list-style-type: none"> ●中級漢語Ⅰ(2) ●中級漢語Ⅱ(2) ●文章表現演習Ⅰ(2) ●文章表現演習Ⅱ(2) ●口頭表現演習Ⅰ(2) ●口頭表現演習Ⅱ(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●専門領域研究講座(4) ●中国経済Ⅰ(2) ●中国経済Ⅱ(2) ●日中観光実務Ⅰ(2) ●日中観光実務Ⅱ(2) ●時事中国語演習Ⅰ(2) ●時事中国語演習Ⅱ(2) ●ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ●ビジネス中国語演習Ⅱ(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●現代社会事情(2) ●日中言語対照Ⅰ(2) ●日中言語対照Ⅱ(2) ●東アジア比較思想論Ⅰ(2) ●東アジア比較思想論Ⅱ(2) ●中国語圏実地研修(2) ●中国現代史Ⅰ(2) ●中国現代史Ⅱ(2) ●Preparation for TOEICⅡ-a(1) ●Preparation for TOEICⅡ-b(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ●日中通訳基礎演習Ⅰ(2) ●日中通訳基礎演習Ⅱ(2) ●日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) ●日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) ●中国方言基礎演習Ⅰ(2) ●中国方言基礎演習Ⅱ(2) ●中国語文法Ⅰ(2) ●中国語文法Ⅱ(2) ●中国語史Ⅰ(2) ●中国語史Ⅱ(2) ●現代文学Ⅰ(2) ●現代文学Ⅱ(2) ●古典文学Ⅰ(2) ●古典文学Ⅱ(2) ●中国宗教・文化論Ⅰ(2) ●中国宗教・文化論Ⅱ(2) 	
	2年次履修	<ul style="list-style-type: none"> ●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●中国語基礎演習A(4) ●漢語基礎Ⅲ(2) ●漢語基礎Ⅳ(2) ●漢語会話Ⅲ(2) ●漢語会話Ⅳ(2) ●漢語実践Ⅲ(2) ●漢語実践Ⅳ(2) ●中国語検定対策講座Ⅰ(2) ●中国語検定対策講座Ⅱ(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●中国思想研究入門(2) ●中国文学研究入門(2) ●中国歴史研究入門(2) ●中国語学研究入門(2) ●中国語音声学入門(2) ●東アジア研究(2) ●ASEAN研究(2) ●中国ビジネス入門(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1) 		
1年次履修	<ul style="list-style-type: none"> ●漢語基礎Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2) ●漢語実践Ⅰ(2) ●漢語実践Ⅱ(2) ●漢語作文Ⅰ(2) ●漢語作文Ⅱ(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) ●中国社会研究入門(2) ●中国現代史研究入門(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語研究概論(2) ●英語Ⅰ-a(1) ●英語Ⅰ-b(1) ●英語Ⅱ-a(1) ●英語Ⅱ-b(1) ●日本語Ⅰ-a(1) ●日本語Ⅰ-b(1) ●日本語Ⅱ-a(1) ●日本語Ⅱ-b(1) 			

※ 「●」=必修科目

中国語学科 グローバル・スタディーズ専攻

← スコープ：学修経験の範囲と水平的統合 →

シークェンス…学修経験の順次性と垂直的統合	共通科目	<p>[DPM1/M2/M3] 共通科目にあつては、全学のディプロマ・ポリシーに基づく次の項目を学位授与の基礎要件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会性：社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断することができる。 2 創造性：夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現することができる。 3 合理性：知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用することができる。 <p>基礎教育（特別科目を含む。）、人間力形成教育（人間形成、国際理解、社会生活）、キャリア形成教育</p>			
	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	<p>[DP1] 中国語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく修得し、中国語による情報収集ができ、中国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>[DP2] アジアにおけるグローバル社会に適応する能力として、中国の歴史・文化・経済・社会についての体系的知識を有し、これらの分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論することができる。</p>	<p>[DP3] 多様な文化的背景を持つ人々と協働していくために、コミュニケーションに必要な実践的言語力（中国語・英語・日本語）を有するとともに、主体的に異文化コミュニケーションを実践することができる。</p>	<p>[DP5] グローバル・スタディーズ専攻学生は、経済・経営・会計・統計などビジネスに必要な知識を持ち、グローバル社会で活躍できる。</p>
	4年次履修	●卒業研究(4)			
	3年次履修	<p>中級漢語Ⅰ(2) 中級漢語Ⅱ(2) 文章表現演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2) 口頭表現演習Ⅰ(2) 口頭表現演習Ⅱ(2)</p>	<p>●専門領域研究講座(4) 日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) 中国方言基礎演習Ⅰ(2) 中国方言基礎演習Ⅱ(2) 中国語文法Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2) 中国語史Ⅰ(2) 中国語史Ⅱ(2) 現当代文学Ⅰ(2) 現当代文学Ⅱ(2) 古典文学Ⅰ(2) 古典文学Ⅱ(2) 中国宗教・文化論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2)</p>	<p>●現代社会事情(2) 日中言語対照Ⅰ(2) 日中言語対照Ⅱ(2) 東アジア比較思想論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2) 中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)</p>	<p>●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2) 日本研究(2) 北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) 中東研究(2) 国際関係概論(2) ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2) 時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2) Advanced Business English a(2) Advanced Business English b(2) 文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) GSM海外留学(4)</p>
	2年次履修	<p>●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) 中国語基礎演習A(4) 中国語基礎演習B(4) 漢語基礎Ⅲ(2) 漢語基礎Ⅳ(2) 漢語会話Ⅲ(2) 漢語会話Ⅳ(2) ●漢語実践Ⅲ(2) ●漢語実践Ⅳ(2) 中国語検定対策講座Ⅰ(2) 中国語検定対策講座Ⅱ(2)</p>	<p>中国思想研究入門(2) 中国文学研究入門(2) 中国歴史研究入門(2) 中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2)</p>	<p>●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)</p>	<p>●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2) ●東アジア研究(2) ●ASEAN研究(2) ●中国ビジネス入門(2) GSM海外研修(2) GSMインターンシップⅠ(2) GSMインターンシップⅡ(2) GSMボランティアⅠ(2) GSMボランティアⅡ(2)</p>
1年次履修	<p>●漢語基礎Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2) ●漢語実践Ⅰ(2) ●漢語実践Ⅱ(2) ●漢語作文Ⅰ(2) ●漢語作文Ⅱ(2)</p>	<p>●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) ●中国社会研究入門(2) ●中国現代史研究入門(2)</p>	<p>●外国語研究概論(2) 英語Ⅰ-a(1) 英語Ⅰ-b(1) 英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅱ-b(1) 日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1)</p>		

※ 「●」=必修科目

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

共通科目	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	【DPM1/M2/M3】共通科目にあつては、全学のディプロマ・ポリシーに基づく次の項目を学位授与の基礎要件とする。 1 社会性：社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断することができる。 2 創造性：夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現することができる。 3 合理性：知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用することができる。			
		基礎教育（特別科目を含む。）、人間力形成教育（人間形成、国際理解、社会生活）、キャリア形成教育			
	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	【DPJ1】 日本と世界の文化・社会・歴史に多面的な関心を持つ。	【DPJ2】 日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力を身につける。	【DPJ3】 日本語（国語）、日本語教育、国語教育の問題解決に寄与できる。	【DPG1】 日本語、英語、中国語を用い、情報を適切に集約・分析・表現ができる。 【DPG2】 自己の主張を的確に表現できる。 【DPG3】 多様な文化を理解し自らの文化を発信できる。 【DPG4】 対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。
	4年次履修		日本語教育のための英語(2) 日本語教育のための中国語(2) 日本語教育のための韓国語(2)	日本語教育実習(4) ●卒業研究(4)	
	3年次履修	日本文学史(2) 近現代文学(2) 古典概説(2) 漢文学概論(2) 漢文学講義(2)	日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2) 日本語史Ⅰ(2) 日本語史Ⅱ(2) 表記法概論(2) 応用言語学(2) 社会言語学Ⅰ(2) 社会言語学Ⅱ(2) コンピュータ言語学Ⅰ(2) コンピュータ言語学Ⅱ(2) 音声指導法研究Ⅰ(2) 音声指導法研究Ⅱ(2) 文型指導法研究Ⅰ(2) 文型指導法研究Ⅱ(2)	●現代社会事情(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 古典演習(2) 漢文学演習Ⅰ(2) 漢文学演習Ⅱ(2) ●専門領域研究講座(4)	
専門科目	2年次履修	日本文学概論(2)	日本語方言学(2) 音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2) 敬語表現法(2) 言語学概論(2) 日本語教材論(2) 検定対策Ⅰ(2) 検定対策Ⅱ(2) 検定対策Ⅲ(2) 検定対策Ⅳ(2) 評価法研究(2) 日本語教育事情(2) 第二言語習得論(2)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4) 日本語学基礎演習(2) 日本語教育演習(2) 教案作成研究(2)	英語Ⅲ-a(1) 英語Ⅲ-b(1) 日本語Ⅲ-a(1) 日本語Ⅲ-b(1) } 外国人留学生 文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) 比較文化論(2) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)
	1年次履修		●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2) ●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)	●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●外国語研究概論(2) 英語Ⅰ-a(1) 英語Ⅰ-b(1) 英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅱ-b(1) 中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1) } 日本人学生 日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1) } 外国人留学生 Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)

シーケンス…学修経験の順次性と垂直的統合

※1 「●」=必修科目

※2 他学部・他学科開放科目については、履修する科目によってDPが異なる。

日本語学科 グローバル・スタディーズ専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

共通科目		[DPM1/M2/M3] 共通科目にあつては、全学のディプロマ・ポリシーに基づく次の項目を学位授与の基礎要件とする。 1 社会性：社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断することができる。 2 創造性：夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現することができる。 3 合理性：知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用することができる。				
1~4年次		基礎教育（特別科目を含む）、人間力形成教育（人間形成、国際理解、社会生活）、キャリア形成教育				
ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)		[DPG1] 日本語、英語、中国語を用い、情報を適切に集約・分析・表現ができる。	[DPG2] 自己の主張を的確に表現できる。	[DPG3] 多様な文化を理解し自らの文化を発信できる。	[DPG4] 対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。	[DPJ1] 日本と世界の文化・社会・歴史に多面的な関心を持つ。 [DPJ2] 日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力を身につける。 [DPJ3] 日本語（国語）、日本語教育、国語教育の問題解決に寄与できる。
シークェンス…学修経験の順次性と垂直的統合	4年次履修	Advanced Business English a (2) Advanced Business English b (2)	●卒業研究(4)	文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) 比較文化論(2)		日本語Ⅰ(2) 日本語Ⅱ(2)
	3年次履修	日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2) 通訳の基礎 a (2) 通訳の基礎 b (2) 時事英語 a (2) 時事英語 b (2)	●専門領域研究講座(4)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2) 国際関係概論(2) 国際協力論(2) 国際ビジネス論a(2) 国際ビジネス論b(2) ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2)	日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2) GSM海外留学(4) GSMインターンシップⅡ(2) GSMボランティアⅡ(2)	●現代社会事情(2) 日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2) 表記法概論(2) 応用言語学(2) 社会言語学Ⅰ(2) 社会言語学Ⅱ(2) コンピュータ言語学Ⅰ(2) コンピュータ言語学Ⅱ(2) 日本文学史(2) 近現代文学(2)
	2年次履修	英語Ⅲ-a(1) 英語Ⅲ-b(1) 日本語Ⅲ-a(1) } 外国人 日本語Ⅲ-b(1) } 留学生 Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)		●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2) ●日本研究(2) 北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) ●東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2) 中国ビジネス入門(2)	GSM海外研修(2) GSMインターンシップⅠ(2) GSMボランティアⅠ(2)	●日本語基礎演習(4) 音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2) 敬語表現法(2) 言語学概論(2) 日本文学概論(2)
	1年次履修	●外国語研究概論(2) 英語Ⅰ-a(1) 英語Ⅰ-b(1) 英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅱ-b(1) 中国語Ⅰ-a(1) } 中国語Ⅰ-b(1) } 日本人 中国語Ⅱ-a(1) } 中国語Ⅱ-b(1) } 学生 日本語Ⅰ-a(1) } 日本語Ⅰ-b(1) } 外国人 日本語Ⅱ-a(1) } 日本語Ⅱ-b(1) } 留学生 Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)				●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) ●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2) ●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)

※ 「●」=必修科目

共通科目	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	<p>【DPM1/M2/M3】共通科目にあつては、全学のディプロマ・ポリシーに基づく次の項目を学位授与の基礎要件とする。</p> <p>1 社会性：社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断することができる。</p> <p>2 創造性：夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現することができる。</p> <p>3 合理性：知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用することができる。</p> <p>基礎教育（特別科目を含む）、人間力形成教育（人間形成、国際理解、社会生活）、キャリア形成教育</p>			
	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	<p>【DP1】</p> <p>国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力を身につけていると判断できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎教養（主として共通科目で涵養） 英語力 コミュニケーション能力 	<p>【DP2】</p> <p>言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力を身につけていると判断できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ELMに求められる幅広い専門知識（言語、文化、歴史、社会、教育、etc.） 	<p>【DP3】</p> <p>社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格を身につけていると判断できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実学、実社会で役立つ能力、行動力、資格 	<p>【DP4】</p> <p>教育・研究の分野で活躍できる能力を身につけていると判断できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語教育 大学院進学
	4年次履修	<p>●卒業研究(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】</p>			
	3年次履修	<p>●専門領域研究講座(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】</p>			
	2年次履修	<p>●Integrated English III (2)</p> <p>●Integrated English IV (2)</p> <p>●Reading II - a (1)</p> <p>●Reading II - b (1)</p> <p>●Reading III - a (1)</p> <p>●Reading III - b (1)</p> <p>●Writing II - a (1)</p> <p>●Writing II - b (1)</p> <p>●Listening II - a (1)</p> <p>●Listening II - b (1)</p> <p>英文法研究 a (2)</p> <p>英文法研究 b (2)</p> <p>通訳の基礎 a (2)</p> <p>通訳の基礎 b (2)</p> <p>●Preparation for TOEIC II - a (1)</p> <p>●Preparation for TOEIC II - b (1)</p>			
1年次履修	<p>●Integrated English I (2)</p> <p>●Integrated English II (2)</p> <p>●Grammar a (1)</p> <p>●Grammar b (1)</p> <p>●Reading I - a (1)</p> <p>●Reading I - b (1)</p> <p>●Writing I - a (1)</p> <p>●Writing I - b (1)</p> <p>●Listening I - a (1)</p> <p>●Listening I - b (1)</p> <p>異文化コミュニケーション概論 a (2)</p> <p>異文化コミュニケーション概論 b (2)</p> <p>英米文学概論 a (2)</p> <p>英米文学概論 b (2)</p> <p>TOEFL対策講座(2)</p> <p>●Preparation for TOEIC I - a (1)</p> <p>●Preparation for TOEIC I - b (1)</p>				

シーケンス・学修経験の順次性と垂直的統合

※1 「●」=必修科目

※2 他学部・他学科開放科目については、履修する科目によってDPが異なる。

共通科目 1～4年次	<p>[DPM1/M2/M3] 共通科目にあつては、全学のディプロマ・ポリシーに基づく次の項目を学位授与の基礎要件とする。</p> <p>1 社会性：社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断することができる。</p> <p>2 創造性：夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現することができる。</p> <p>3 合理性：知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用することができる。</p> <p>基礎教育（特別科目を含む）、人間力形成教育（人間形成、国際理解、社会生活）、キャリア形成教育</p>				
	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	<p>[DP1] 国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力を身につけていると判断できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎教養（主として共通科目で涵養） 英語力 コミュニケーション能力 	<p>[DP2] 言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力を身につけていると判断できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> GSMに求められる幅広い専門知識（ビジネス、経済、言語、文化、歴史、社会、etc.） 	<p>[DP3] 社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格を身につけていると判断できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実学、実社会で役立つ能力、行動力、資格 	<p>[DP4] 教育・研究の分野で活躍できる能力を身につけていると判断できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語教育 大学院進学
	4年次履修	<p>●卒業研究(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】</p>			
	3年次履修	<p>●専門領域研究講座(4)【選択する研究分野によって、該当するDPが異なる】</p>			
	2年次履修	<ul style="list-style-type: none"> Integrated English III (2) Integrated English IV (2) Reading II - a (1) Reading II - b (1) Reading III - a (1) Reading III - b (1) Writing II - a (1) Writing II - b (1) Listening II - a (1) Listening II - b (1) 英文法研究 a (2) 英文法研究 b (2) 通訳の基礎 a (2) 通訳の基礎 b (2) Preparation for TOEIC II - a (1) Preparation for TOEIC II - b (1) 	<ul style="list-style-type: none"> 英語圏の文化と社会(2) 英米文学史(2) 北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) 中国ビジネス入門(2) 文化講義 I (日本)(2) 文化講義 II (異文化理解)(2) 比較文化論(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会事情(2) ビジネス英語特講 a (2) ビジネス英語特講 b (2) 国際関係概論(2) 会計学総論(2) 社会統計学(2) マーケティング論(2) 中国経済 I (2) 中国経済 II (2) 日中観光実務 I (2) 日中観光実務 II (2) 日中通訳基礎演習 I (2) 日中通訳基礎演習 II (2) GSM海外留学(4) GSM海外研修(2) GSMインターンシップ II (2) GSMボランティア II (2) 	<ul style="list-style-type: none"> Advanced Research & Presentation Skills (2) 英語学特講 III - a (2) 英語学特講 III - b (2) 文学特講 III - a (2) 文学特講 III - b (2) Advanced Writing Skills a(2) Advanced Writing Skills b(2) 英語学特講 I - a (2) 英語学特講 I - b (2) 英語学特講 II - a (2) 英語学特講 II - b (2) 文学特講 I - a (2) 文学特講 I - b (2) 文学特講 II - a (2) 文学特講 II - b (2) 英語音声学 a (2) 英語音声学 b (2) 英語史(2) 対照言語研究 a (2) 対照言語研究 b (2)
1年次履修	<ul style="list-style-type: none"> Integrated English I (2) Integrated English II (2) Grammar a (1) Grammar b (1) Reading I - a (1) Reading I - b (1) Writing I - a (1) Writing I - b (1) Listening I - a (1) Listening I - b (1) 異文化コミュニケーション概論 a (2) 異文化コミュニケーション概論 b (2) 英米文学概論 a (2) 英米文学概論 b (2) TOEFL対策講座(2) Preparation for TOEIC I - a (1) Preparation for TOEIC I - b (1) 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語研究概論(2) フレッシュパーソンセミナー I (1) フレッシュパーソンセミナー II (1) 中国語 I - a (1) 中国語 I - b (1) 中国語 II - a (1) 中国語 II - b (1) 日本語 I - a (1) 日本語 I - b (1) 日本語 II - a (1) 日本語 II - b (1) <p>日本人学生 外国人留学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> 英語学概論 a (2) 英語学概論 b (2) 英語教育学概論 a (2) 英語教育学概論 b (2) 		

シーケンス・学修経験の順次性と垂直的統合

※ 「●」 = 必修科目

5 クラス担任制

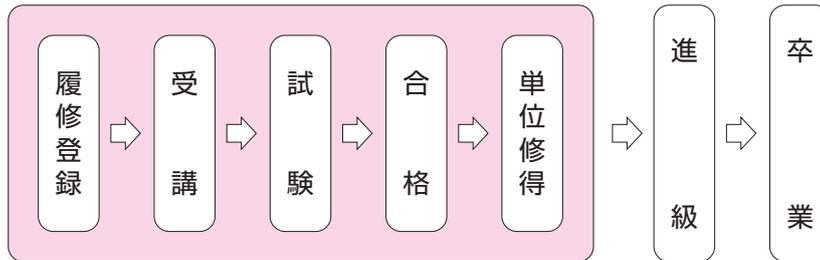
専任教員による担任制度を設け、履修指導、進路指導及び生活指導等を含め幅広くきめ細かい指導・相談体制を構築しています。

9

進級・卒業

卒業するためには、各学部・学科で定めている授業科目を一定の規則に従い習い修め、進級・卒業の要件を満たすことが必要となります。

在学中はこれらの要件を常に念頭に置き、無理や無駄のない履修登録を行い、確実に単位を修得するよう心がけてください。



1 進級

[1] 進級要件

2年から3年へ進級する際に、以下の要件が定められています。この要件を満たせない場合、3年（5学期）に進級することができません。

- 入学後2年（4学期）以上在籍していること。（休学期間を除く。）
- 次の単位数を修得していること。

日本語学科

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「日本語基礎演習（4単位）」を含む。） ※英語を除く。	14単位
「専門科目」のILP科目 ※英語を含む。	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	12単位
合計	44単位

英米語学科

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」及び「英米語基礎演習（4単位）」を含む。）	20単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	10単位
合計	44単位

中国語学科

〈中国語専攻〉

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」及び「中国語基礎演習A（4単位）」を含む。）	22単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	8単位
合 計	44単位

〈グローバル・スタディーズ専攻〉

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」及び「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」を含む。）	18単位
「専門科目」の「中国語基礎演習A（4単位）」又は「中国語基礎演習B（4単位）」のいずれか4単位	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	8単位
合 計	44単位

（社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生）

日本語学科

授業科目等	必要単位数
「専門科目」の必修科目（日本語基礎演習（4単位）を含む。） ※英語を除く。	14単位
「専門科目」のILP科目 ※英語を含む。	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	26単位
合 計	44単位

英米語学科

授業科目等	必要単位数
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」及び「英米語基礎演習（4単位）」を含む。）	20単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	24単位
合 計	44単位

中国語学科

〈中国語専攻〉

授業科目等	必要単位数
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」及び「中国語基礎演習A（4単位）」を含む。）	22単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	22単位
合 計	44単位

〈グローバル・スタディーズ専攻〉

授業科目等	必要単位数
「専門科目」の必修科目（「フレッシュパーソンセミナーⅠ（1単位）」及び「フレッシュパーソンセミナーⅡ（1単位）」を含む。）	18単位
「専門科目」の「中国語基礎演習A（4単位）」又は「中国語基礎演習B（4単位）」のいずれか4単位	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	22単位
合 計	44単位

参照→具体的な授業科目
名称等
→「教育課程表」

[2] 進級発表

進級要件を満たした者を、次のとおり発表します。

進級要件を満たした者は、翌学期から3年（5学期）に進級します。

発表日時	3月12日（木）9：00
発表場所	2101・2103大講義室横掲示板

※9月進級

9月に進級する者を対象に、9月8日（月）に履修登録修正方法や今後の学修計画についてのオリエンテーションを実施しますので、必ず出席してください。（オリエンテーションの実施時間・場所は別途通知します。）

発表日時	9月4日（木）9：00
発表場所	2101・2103大講義室横掲示板

2 卒業

[1] 卒業要件

本学において4年（通算8学期）以上在学（休学期間を除く。）し、学則に定められた卒業所要単位を修得した者は、卒業が認定されます。

卒業に必要な単位数（最低）は、次のとおりです。

日本語学科

2021年度以降入学生

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

科目区分 専攻	共通科目							専門科目				合計
	基礎教育 [特別科目※]	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計	
	必修	人間形成	国際理解	社会生活								
日本語専攻	8	4	4	4	6	6	32	32	46	14	92	124
グローバル・スタディーズ専攻	8	4	4	4	6	6	32	46	40	6	92	124

日本語専攻

共通科目（32単位）

- ① 基礎教育から必修8単位
※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
- ② 人間力形成教育の人間形成から4単位
- ③ 人間力形成教育の国際理解から4単位
- ④ 人間力形成教育の社会生活から4単位
- ⑤ キャリア形成教育から必修6単位
- ⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位以上【他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。】

専門科目（92単位）

- ① 専門基礎から必修12単位
- ② ILPの英語から必修6単位
- ③ 日本語・日本文化関連科目の日本語学から必修2単位を含めて18単位
- ④ 日本語・日本文化関連科目の言語学から8単位
- ⑤ 日本語・日本文化関連科目の文学・文化から8単位
- ⑥ 日本語・日本文化関連科目の日本語教育から必修4単位を含めて18単位
- ⑦ 卒業研究から必修8単位
- ⑧ ①から⑦によるもののほか、ILP、日本語・日本文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から14単位以上【他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。】

グローバル・スタディーズ専攻

共通科目（32単位）

- ① 基礎教育から必修8単位
※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
- ② 人間力形成教育の人間形成から4単位
- ③ 人間力形成教育の国際理解から4単位
- ④ 人間力形成教育の社会生活から4単位
- ⑤ キャリア形成教育から必修6単位
- ⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位以上【他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。】

専門科目（92単位）

- ① 専門基礎から必修12単位
- ② ILPの英語から必修6単位
- ③ ILPの中国語又は日本語から母語以外の1言語4単位
- ④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位
- ⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修4単位を含めて20単位
- ⑥ 日本語・日本文化関連科目から必修6単位を含めて26単位
- ⑦ 卒業研究から必修8単位
- ⑧ ①から⑦によるもののほか、グローバル・スタディーズ関連科目及び日本語・日本文化関連科目から6単位以上【他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。】

参照1 ➡ 具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等 ➡ 「教育課程表」

参照2 ➡ 編入学生・学士入学生の卒業要件等 ➡ P.125 「卒業要件」

(社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生)

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

専攻	科目区分	共通科目						専門科目				合計	
		基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択		計
			人間形成	国際理解	社会生活								
日本語専攻	—	4	4	4	—	20	32	32	46	14	92	124	
グローバル・スタディーズ専攻	—	4	4	4	—	20	32	46	40	6	92	124	

日本語専攻	共通科目 (32単位) ① 人間力形成教育の人間形成から4単位 ② 人間力形成教育の国際理解から4単位 ③ 人間力形成教育の社会生活から4単位 ④ ①から③によるもののほか、共通科目全体(基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育)から20単位以上〔他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)で修得した単位を含む。〕
	専門科目 (92単位) ① 専門基礎から必修12単位 ② ILPの英語から必修6単位 ③ 日本語・日本文化関連科目の日本語学から必修2単位を含めて18単位 ④ 日本語・日本文化関連科目の言語学から8単位 ⑤ 日本語・日本文化関連科目の文学・文化から8単位 ⑥ 日本語・日本文化関連科目の日本語教育から必修4単位を含めて18単位 ⑦ 卒業研究から必修8単位 ⑧ ①から⑦によるもののほか、ILP、日本語・日本文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から14単位以上〔他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。〕

グローバル・スタディーズ専攻	共通科目 (32単位) ① 人間力形成教育の人間形成から4単位 ② 人間力形成教育の国際理解から4単位 ③ 人間力形成教育の社会生活から4単位 ④ ①から③によるもののほか、共通科目全体(基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育)から20単位以上〔他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)で修得した単位を含む。〕
	専門科目 (92単位) ① 専門基礎から必修12単位 ② ILPの英語から必修6単位 ③ ILPの中国語又は日本語から母語以外の1言語4単位 ④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位 ⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修4単位を含めて20単位 ⑥ 日本語・日本文化関連科目から必修6単位を含めて26単位 ⑦ 卒業研究から必修8単位 ⑧ ①から⑦によるもののほか、グローバル・スタディーズ関連科目及び日本語・日本文化関連科目から6単位以上〔他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。〕

参照→具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

2020年度以前入学生

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

専攻	科目区分	共通科目						専門科目				合計	
		基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択		計
		特別科目※	人間形成	国際理解	社会生活								
日本語専攻	8	4	4	4	6	6	32	26	48	18	92	124	
グローバル・スタディーズ専攻	8	4	4	4	6	6	32	40	48	4	92	124	

日本語専攻	共通科目 (32単位) ① 基礎教育から必修8単位 ※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。 ② 人間力形成教育の人間形成から4単位 ③ 人間力形成教育の国際理解から4単位 ④ 人間力形成教育の社会生活から4単位 ⑤ キャリア形成教育から必修6単位 ⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位以上【他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。】 専門科目 (92単位) ① 専門基礎から必修12単位 ② ILPの英語、中国語又は日本語から母語以外の2言語10単位 ③ 日本語・日本文化関連科目の日本語学から必修2単位を含めて16単位 ④ 日本語・日本文化関連科目の言語学から4単位 ⑤ 日本語・日本文化関連科目の文学・文化から4単位 ⑥ 日本語・日本文化関連科目の日本語教育から必修4単位を含めて16単位 ⑦ 卒業研究から必修8単位 ⑧ 他学部・他学科開放科目（専門科目）から4単位 ⑨ ①から⑧によるもののほか、日本語・日本文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から18単位以上【他学部・他学科開放科目（専門科目）で4単位を超えて修得した単位を含む。】
	グローバル・スタディーズ専攻

参照→具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

英米語学科

2021年度以降入学生

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

専攻	科目区分	共通科目						専門科目				合計	
		基礎教育 [特別科目※]	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択		計
			人間形成	国際理解	社会生活								
英米語専攻	必修	8	4	4	4	6	6	32	48	40	4	92	124
グローバル・スタディーズ専攻	必修	8	4	4	4	6	6	32	66	24	2	92	124

英米語専攻	<p>共通科目 (32単位)</p> <p>① 基礎教育から必修8単位 ※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。</p> <p>② 人間力形成教育の人間形成から4単位 ③ 人間力形成教育の国際理解から4単位 ④ 人間力形成教育の社会生活から4単位 ⑤ キャリア形成教育から必修6単位 ⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位以上【他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。】</p> <p>専門科目 (92単位)</p> <p>① 専門基礎から必修12単位 ② ILPの英語から必修24単位 ③ ILPの中国語又は日本語から母語以外の1言語4単位 ④ 英米語・英米文化関連科目の概論科目から2分野8単位 （「異文化コミュニケーション」、「英語学」、「英米文学」及び「英語教育学」の4分野のうち2分野） ⑤ 英米語・英米文化関連科目の専攻基礎科目から8単位 ⑥ 英米語・英米文化関連科目のSKILL科目から8単位 ⑦ 英米語・英米文化関連科目の特講科目及び特殊研究科目から10単位 ⑧ グローバル・スタディーズ関連科目から必修4単位含めて6単位 ⑨ 卒業研究から必修8単位 ⑩ ①から⑨によるもののほか、英米語・英米文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から4単位以上【他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。】</p>

グローバル・スタディーズ専攻	<p>共通科目 (32単位)</p> <p>① 基礎教育から必修8単位 ※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。</p> <p>② 人間力形成教育の人間形成から4単位 ③ 人間力形成教育の国際理解から4単位 ④ 人間力形成教育の社会生活から4単位 ⑤ キャリア形成教育から必修6単位 ⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位以上【他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。】</p> <p>専門科目 (92単位)</p> <p>① 専門基礎から必修12単位 ② ILPの英語から必修24単位 ③ ILPの中国語又は日本語から母語以外の1言語4単位 ④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位 ⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修12単位を含めて22単位 ⑥ 英米語・英米文化関連科目の専攻基礎科目から2単位 ⑦ 英米語・英米文化関連科目のSKILL科目から4単位 ⑧ 英米語・英米文化関連科目の特講科目から4単位 ⑨ 卒業研究から必修8単位 ⑩ ①から⑨によるもののほか、グローバル・スタディーズ関連科目及び英米語・英米文化関連科目から2単位以上【他学部・他学科開放科目（専門科目）で修得した単位を含む。】</p>

参照1 ➡ 具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等 ➡ 「教育課程表」

参照2 ➡ 編入学生・学士入学生の卒業要件等 ➡ P.125 「卒業要件」

(社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生)

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

専攻	科目区分	共通科目						専門科目				合計	
		基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択		計
			人間形成	国際理解	社会生活								
英米語専攻		-	4	4	4	-	20	32	48	40	4	92	124
グローバル・スタディーズ専攻		-	4	4	4	-	20	32	66	24	2	92	124

英米語専攻	<p>共通科目 (32単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人間力形成教育の人間形成から4単位 ② 人間力形成教育の国際理解から4単位 ③ 人間力形成教育の社会生活から4単位 ④ ①から③によるもののほか、共通科目全体(基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育)から20単位以上〔他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)で修得した単位を含む。〕 <p>専門科目 (92単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 専門基礎から必修12単位 ② ILPの英語から必修24単位 ③ ILPの中国語又は日本語から母語以外の1言語4単位 ④ 英米語・英米文化関連科目の概論科目から2分野8単位 〔「異文化コミュニケーション」、「英語学」、「英米文学」及び「英語教育学」の4分野のうち2分野〕 ⑤ 英米語・英米文化関連科目の専攻基礎科目から8単位 ⑥ 英米語・英米文化関連科目のSKILL科目から8単位 ⑦ 英米語・英米文化関連科目の特講科目及び特殊研究科目から10単位 ⑧ グローバル・スタディーズ関連科目から必修4単位含めて6単位 ⑨ 卒業研究から必修8単位 ⑩ ①から⑨によるもののほか、英米語・英米文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から4単位以上〔他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。〕

グローバル・スタディーズ専攻	<p>共通科目 (32単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人間力形成教育の人間形成から4単位 ② 人間力形成教育の国際理解から4単位 ③ 人間力形成教育の社会生活から4単位 ④ ①から③によるもののほか、共通科目全体(基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育)から20単位以上〔他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)で修得した単位を含む。〕 <p>専門科目 (92単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 専門基礎から必修12単位 ② ILPの英語から必修24単位 ③ ILPの中国語又は日本語から母語以外の1言語4単位 ④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位 ⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修12単位を含めて22単位 ⑥ 英米語・英米文化関連科目の専攻基礎科目から2単位 ⑦ 英米語・英米文化関連科目のSKILL科目から4単位 ⑧ 英米語・英米文化関連科目の特講科目から4単位 ⑨ 卒業研究から必修8単位 ⑩ ①~⑨によるもののほか、グローバル・スタディーズ関連科目及び英米語・英米文化関連科目から2単位以上〔他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。〕

参照→具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

2020年度以前入学生

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

科目区分 専攻	共通科目						専門科目				合計	
	基礎教育 [特別科目※]	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択		計
	人間形成	国際理解	社会生活	必修	選択							
英米語専攻	8	4	4	4	6	6	32	48	44		92	124
グローバル・スタディーズ専攻	8	4	4	4	6	6	32	68	24		92	124

英米語専攻	共通科目 (32単位) ① 基礎教育から必修8単位 ※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。 ② 人間力形成教育の人間形成から4単位 ③ 人間力形成教育の国際理解から4単位 ④ 人間力形成教育の社会生活から4単位 ⑤ キャリア形成教育から必修6単位 ⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位以上〔他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。〕
	専門科目 (92単位) ① 専門基礎から必修12単位 ② ILPの英語から必修24単位 ③ ILPの中国語又は日本語から母語以外の1言語4単位 ④ 英米語・英米文化関連科目の概論科目から2分野8単位 （「異文化コミュニケーション」、「英語学」、「英米文学」及び「英語教育学」の4分野のうち2分野） ⑤ 英米語・英米文化関連科目の専攻基礎科目から8単位 ⑥ 英米語・英米文化関連科目のSKILL科目から8単位 ⑦ 英米語・英米文化関連科目の特講科目及び特殊研究科目から10単位 ⑧ グローバル・スタディーズ関連科目から必修4単位含めて6単位 ⑨ 卒業研究から必修8単位 ⑩ 他学部・他学科開放科目（専門科目）から4単位

グローバル・スタディーズ専攻	共通科目 (32単位) ① 基礎教育から必修8単位 ※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。 ② 人間力形成教育の人間形成から4単位 ③ 人間力形成教育の国際理解から4単位 ④ 人間力形成教育の社会生活から4単位 ⑤ キャリア形成教育から必修6単位 ⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位以上〔他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。〕
	専門科目 (92単位) ① 専門基礎から必修12単位 ② ILPの英語から必修24単位 ③ ILPの中国語又は日本語から母語以外の1言語4単位 ④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位 ⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修14単位を含めて22単位 ⑥ グローバル・スタディーズ関連科目のフィールドワークから2単位 ⑦ 英米語・英米文化関連科目の専攻基礎科目から2単位 ⑧ 英米語・英米文化関連科目のSKILL科目から4単位 ⑨ 英米語・英米文化関連科目の特講科目から4単位 ⑩ 卒業研究から必修8単位

参照→具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

中国語学科

2021年度以降入学生

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

専攻	科目区分	共通科目						専門科目				合計	
		基礎教育 [特別科目※]	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択		計
			人間形成	国際理解	社会生活								
中国語専攻	必修	8	4	4	4	6	6	32	64	24	4	92	124
グローバル・スタディーズ専攻	必修	8	4	4	4	6	6	32	58	30	4	92	124

中国語専攻	<p>共通科目 (32単位)</p> <p>① 基礎教育から必修8単位 ※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。</p> <p>② 人間力形成教育の人間形成から4単位 ③ 人間力形成教育の国際理解から4単位 ④ 人間力形成教育の社会生活から4単位 ⑤ キャリア形成教育から必修6単位 ⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位以上 [他学部・他学科開放科目 (キャリア形成教育) で修得した単位を含む。]</p> <p>専門科目 (92単位)</p> <p>① 専門基礎から必修12単位 ② ILPの中国語から必修32単位 ③ ILPの英語又は日本語から母語以外の1言語4単位 ④ 中国語・中国文化関連科目の中国研究から必修12単位 ⑤ 中国語・中国文化関連科目のSKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から20単位 ⑥ 卒業研究から必修8単位 ⑦ ①から⑥によるもののほか、中国語・中国文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から4単位以上 [他学部・他学科開放科目 (専門科目) で修得した単位を含む。]</p>

グローバル・スタディーズ専攻	<p>共通科目 (32単位)</p> <p>① 基礎教育から必修8単位 ※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。</p> <p>② 人間力形成教育の人間形成から4単位 ③ 人間力形成教育の国際理解から4単位 ④ 人間力形成教育の社会生活から4単位 ⑤ キャリア形成教育から必修6単位 ⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位以上 [他学部・他学科開放科目 (キャリア形成教育) で修得した単位を含む。]</p> <p>専門科目 (92単位)</p> <p>① 専門基礎から必修8単位を含めて12単位 ② ILPの中国語から必修20単位 ③ ILPの英語又は日本語から母語以外の1言語4単位 ④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位 ⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修8単位を含めて18単位 ⑥ 中国語・中国文化関連科目の中国研究から必修4単位を含めて8単位 ⑦ 中国語・中国文化関連科目のSKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から8単位 ⑧ 卒業研究から必修8単位 ⑨ ①から⑧によるもののほか、グローバル・スタディーズ関連科目及び中国語・中国文化関連科目から4単位以上 [他学部・他学科開放科目 (専門科目) で修得した単位を含む。]</p>

参照1 ➡ 具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等 ➡ 「教育課程表」

参照2 ➡ 編入学生・学士入学生の卒業要件等 ➡ P.125 「卒業要件」

(社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生)

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

専攻	科目区分	共通科目						専門科目				合計	
		基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択		計
			人間形成	国際理解	社会生活								
中国語専攻		-	4	4	4	-	20	32	64	24	4	92	124
グローバル・スタディーズ専攻		-	4	4	4	-	20	32	58	30	4	92	124

中国語専攻	共通科目 (32単位) ① 人間力形成教育の人間形成から4単位 ② 人間力形成教育の国際理解から4単位 ③ 人間力形成教育の社会生活から4単位 ④ ①から③によるもののほか、共通科目全体(基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育)から20単位以上【他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)で修得した単位を含む。】
	専門科目 (92単位) ① 専門基礎から必修12単位 ② ILPの中国語から必修32単位 ③ ILPの英語又は日本語から母語以外の1言語4単位 ④ 中国語・中国文化関連科目の中国研究から必修12単位 ⑤ 中国語・中国文化関連科目のSKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から20単位 ⑥ 卒業研究から必修8単位 ⑦ ①から⑥によるもののほか、中国語・中国文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から4単位以上【他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。】

グローバル・スタディーズ専攻	共通科目 (32単位) ① 人間力形成教育の人間形成から4単位 ② 人間力形成教育の国際理解から4単位 ③ 人間力形成教育の社会生活から4単位 ④ ①から③によるもののほか、共通科目全体(基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育)から20単位以上【他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)で修得した単位を含む。】
	専門科目 (92単位) ① 専門基礎から必修8単位を含めて12単位 ② ILPの中国語から必修20単位 ③ ILPの英語又は日本語から母語以外の1言語4単位 ④ グローバル・スタディーズ関連科目のコアから必修10単位 ⑤ グローバル・スタディーズ関連科目のグローバルから必修8単位を含めて18単位 ⑥ 中国語・中国文化関連科目の中国研究から必修4単位を含めて8単位 ⑦ 中国語・中国文化関連科目のSKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から8単位 ⑧ 卒業研究から必修8単位 ⑨ ①から⑧によるもののほか、グローバル・スタディーズ関連科目及び中国語・中国文化関連科目から4単位以上【他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。】

参照→具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

[2]

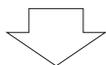
卒業単位充足者・卒業予定者発表

卒業要件を満たした者を、次のとおり発表します。

卒業単位充足者発表

2月9日（月）9：00
発表場所：2101・2103大講義室横掲示板

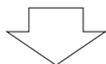
※卒業単位充足者：後学期定期試験終了時までの成績で卒業の要件を満たした者



卒業予定者発表

2月26日（木）9：00
発表場所：2101・2103大講義室横掲示板

※卒業予定者：後学期追・再試験終了時までの成績で卒業の要件を満たし、当該年度末に卒業が認定される予定の者



卒業式・学位記授与式

3月10日（火）

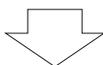
※9月卒業

2025年度前学期に4年（8学期）に在籍する者は、9月卒業を希望する・しないにかかわらず、9月卒業対象者となりますので、諸手続の日程（成績表交付、成績調査等）に十分注意してください。

卒業単位充足者発表

8月18日（月）9：00
発表場所：2101・2103大講義室横掲示板

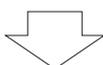
※卒業単位充足者：前学期定期試験終了時までの成績で卒業の要件を満たした者



卒業予定者発表

9月4日（木）9：00
発表場所：2101・2103大講義室横掲示板

※卒業予定者：前学期追・再試験終了時までの成績で卒業の要件を満たし、前学期末に卒業が認定される予定の者



卒業式・学位記授与式

9月12日（金）

卒業要件を満たした者には、次のとおり学士の学位が授与されます。

[3] 学位

学 科	学 位
日 本 語 学 科	学士（日本語学）
英 米 語 学 科	学士（英米語学）
中 国 語 学 科	学士（中国語学）

3 年次（学期）別基準単位数

年次（学期）別基準単位数は、4年（8学期）間で卒業要件単位数（最低）を充足するために、各年次終了時までまでに修得しておくことが望ましい単位数の目安を科目区分別に示しています。4年（8学期）間の学修計画を立てる際の参考として活用してください。また、修得単位数がこの年次（学期）別基準単位数を著しく下回っている場合は、今後の修学を滞りなく行うためにも、早い時期に指導教員又は学事課（教務担当）へ相談するようにしてください。

なお、この年次（学期）別基準単位数は、あくまでも最低限修得しておくことが望ましい単位数の目安を提示しているもので、進級や卒業を保証するものではありません。

年次（学期）別基準単位数の見方

自分が入学した年度及び在籍する専攻の年次（学期）別基準単位数を確認してください。

卒業に必要な単位数（最低）を授業科目区分ごとに表示

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育 [特別科目*] 必修	人間力形成教育			キャリア形成教育 必修	人間力形成教育・ キャリア形成教育 選択	計	必修	選択 必修	選択	計		学期	年間
		人間 形成	国際 理解	社会 生活										
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	32	46	14	92	124		
1年（1学期）	4	※（4～）					8	7	2		9	17	17	36
1年（2学期）	8	※（8～）			2		18	14	4		18	36	19	

修得しておくことが望ましい単位数の目安を学年（学期）毎に累計で表示
 * 修得単位数とは、成績評価の結果、合格（S～C）又は認定（N）となった単位数

留意点

修得単位数は、単位が認定される学期に計上されますので、通年科目については注意してください。

例		前学期科目（2単位）	後学期科目（2単位）	通年科目（4単位）
修得単位数	前学期	2	—	0
	後学期	—	2	4

2021年度以降入学生

日本語学科 日本語専攻

	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育 特別科目*	人間力形成教育			キャリア 形成教育	人間力形成教育・ キャリア形成教育	計	必修	選択 必修	選択				計
		人間 形成	国際 理解	社会 生活										
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	32	46	14	92	124		

1年（1学期）	4	※（4～）					8	7	2		9	17	17	36
1年（2学期）	8	※（8～）			2		18	14	4		18	36	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計36単位を目安とする。
 <留意点> ① 1年次の必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
 ② 選択必修科目（※印）は、各自の履修計画に従い、上表の（ ）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）	8	※（8～）			4		20	16	18		34	54	18	36
2年（4学期）	8	4	4	4	6		26	22	24		46	72	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計72単位を目安とする。
 <留意点> ① 2年次までの必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
 ② 選択必修科目（※印）は、各自の履修計画に従い、上表の（ ）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）	8	4	4	4	6	2	28	22	38		60	88	16	36
3年（6学期）	8	4	4	4	6	6	32	28	46	2	76	108	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計108単位を目安とする。

4年（7学期）	8	4	4	4	6	6	32	28	46	8	82	114	6	16
4年（8学期）	8	4	4	4	6	6	32	32	46	14	92	124	10	

日本語学科 グローバル・スタディーズ専攻

	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育 特別科目*	人間力形成教育			キャリア 形成教育	人間力形成教育・ キャリア形成教育	計	必修	選択 必修	選択				計
		人間 形成	国際 理解	社会 生活										
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	46	40	6	92	124		

1年（1学期）	4	※（2～）					6	7	4		11	17	17	36
1年（2学期）	8	※（4～）			2		14	14	8		22	36	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計36単位を目安とする。
 <留意点> ① 1年次の必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
 ② 選択必修科目（※印）は、各自の履修計画に従い、上表の（ ）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年（3学期）	8	※（8～）			4		20	20	14		34	54	18	36
2年（4学期）	8	4	4	4	6		26	30	16		46	72	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計72単位を目安とする。
 <留意点> ① 2年次までの必修科目（基礎教育、キャリア形成教育、専門科目）は必ず修得する。
 ② 選択必修科目（※印）は、各自の履修計画に従い、上表の（ ）内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年（5学期）	8	4	4	4	6	2	28	34	26		60	88	16	36
3年（6学期）	8	4	4	4	6	6	32	42	34		76	108	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計108単位を目安とする。

4年（7学期）	8	4	4	4	6	6	32	42	40		82	114	6	16
4年（8学期）	8	4	4	4	6	6	32	46	40	6	92	124	10	

(社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生)

日本語学科 日本語専攻

卒業要件単位数	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間	
		人間形成	国際理解	社会生活										
		4	4	4		20	32	32	46	14	92	124		
1年(1学期)		※(2~)				※(4~)	6	7	4		11	17	17	36
1年(2学期)		※(4~)				※(10~)	14	14	8		22	36	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計36単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)		※(8~)				※(12~)	20	16	18		34	54	18	36
2年(4学期)		4	4	4		※(14~)	26	22	24		46	72	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計72単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)		4	4	4		※(16~)	28	24	36		60	88	16	36
3年(6学期)		4	4	4		20	32	28	46	2	76	108	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計108単位を目安とする。

4年(7学期)		4	4	4		20	32	28	46	8	82	114	6	16
4年(8学期)		4	4	4		20	32	32	46	14	92	124	10	

日本語学科 グローバル・スタディーズ専攻

卒業要件単位数	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間	
		人間形成	国際理解	社会生活										
		4	4	4		20	32	46	40	6	92	124		
1年(1学期)		※(2~)				※(4~)	6	7	4		11	17	17	36
1年(2学期)		※(4~)				※(10~)	14	14	8		22	36	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計36単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)		※(8~)				※(12~)	20	20	14		34	54	18	36
2年(4学期)		4	4	4		※(14~)	26	30	16		46	72	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計72単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)		4	4	4		※(16~)	28	34	26		60	88	16	36
3年(6学期)		4	4	4		20	32	42	34		76	108	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計108単位を目安とする。

4年(7学期)		4	4	4		20	32	42	40		82	114	6	16
4年(8学期)		4	4	4		20	32	46	40	6	92	124	10	

英米語学科 英米語専攻

	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育 特別科目 *	人間力形成教育			キャリア 形成教育	人間力形成教育・ キャリア形成教育	計	必修	選択 必修	選択		計	学期	年間
		人間 形成	国際 理解	社会 生活										
		必修	選択必修		必修	選択								
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	48	40	4	92	124		
1年(1学期)	4	※(0~2)					4	10	2~4		12	16	16	32
1年(2学期)	8	※(0~4)			2		10	18	4~8		22	32	16	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計32単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ~Ⅳ」の単位を修得してください。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)	8	※(4~)			4		16	26	8		34	50	18	36
2年(4学期)	8	※(8~)			6		22	38	8		46	68	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計68単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)	8	4	4	4	6	2	28	40	18		58	86	18	38
3年(6学期)	8	4	4	4	6	6	32	44	30		74	106	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計106単位を目安とする。

4年(7学期)	8	4	4	4	6	6	32	44	38		82	114	8	18
4年(8学期)	8	4	4	4	6	6	32	48	40	4	92	124	10	

英米語学科 グローバル・スタディーズ専攻

	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育 特別科目 *	人間力形成教育			キャリア 形成教育	人間力形成教育・ キャリア形成教育	計	必修	選択 必修	選択		計	学期	年間
		人間 形成	国際 理解	社会 生活										
		必修	選択必修		必修	選択								
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	66	24	2	92	124		
1年(1学期)	4	※(0~4)					4	10	2		12	16	16	32
1年(2学期)	8	※(0~8)			2		10	18	4		22	32	16	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計32単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ~Ⅳ」の単位を修得してください。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)	8	※(2~)			4		14	30	6		36	50	18	36
2年(4学期)	8	※(2~)			6		16	46	6		52	68	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計68単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)	8	4	4	4	6		26	52	8		60	86	18	38
3年(6学期)	8	4	4	4	6	6	32	62	12		74	106	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計106単位を目安とする。

4年(7学期)	8	4	4	4	6	6	32	62	20		82	114	8	18
4年(8学期)	8	4	4	4	6	6	32	66	24	2	92	124	10	

(社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生)

英米語学科 英米語専攻

卒業要件単位数	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間	
		人間形成	国際理解	社会生活										
		4	4	4		20	32	48	40	4	92	124		
1年(1学期)		※(2~)				※(2~)	4	10	2~4		12	16	16	32
1年(2学期)		※(4~)				※(6~)	10	18	4~8		22	32	16	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計32単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)		※(4~)				※(12~)	16	26	8		34	50	18	36
2年(4学期)		※(8~)				※(14~)	22	38	8		46	68	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計68単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)		4	4	4		※(16~)	28	40	18		58	86	18	38
3年(6学期)		4	4	4		20	32	44	30		74	106	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計106単位を目安とする。

4年(7学期)		4	4	4		20	32	44	38		82	114	8	18
4年(8学期)		4	4	4		20	32	48	40	4	92	124	10	

英米語学科 グローバル・スタディーズ専攻

卒業要件単位数	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間	
		人間形成	国際理解	社会生活										
		4	4	4		20	32	66	24	2	92	124		
1年(1学期)		※(4~)					4	10	2		12	16	16	32
1年(2学期)		※(8~)				※(2~)	10	18	4		22	32	16	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計32単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)		※(8~)				※(6~)	14	30	4		36	50	18	36
2年(4学期)		※(8~)				※(8~)	16	46	4		52	68	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計68単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)		4	4	4		※(14~)	26	52	8		60	86	18	38
3年(6学期)		4	4	4		20	32	62	12		74	106	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計106単位を目安とする。

4年(7学期)		4	4	4		20	32	62	20		82	114	8	18
4年(8学期)		4	4	4		20	32	66	24	2	92	124	10	

中国語学科 中国語専攻

	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育 [特別科目] *	人間力形成教育			キャリア 形成教育	人間力形成教育・ キャリア形成教育	計	必修	選択 必修	選択		計	学期	年間
		人間 形成	国際 理解	社会 生活										
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	64	24	4	92	124		

1年(1学期)	4	※(0~2)					4	13	2		15	19	19	38
1年(2学期)	8	※(0~4)			2		10	24	4		28	38	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計38単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ~Ⅳ」の単位を修得してください。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)	8	※(4~)			4		16	35	6		41	57	19	36
2年(4学期)	8	※(4~)			6		18	50	6		56	74	17	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計74単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)	8	4	4	4	6		26	52	12		64	90	16	36
3年(6学期)	8	4	4	4	6	6	32	60	18		78	110	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計110単位を目安とする。

4年(7学期)	8	4	4	4	6	6	32	60	22	2	84	116	6	14
4年(8学期)	8	4	4	4	6	6	32	64	24	4	92	124	8	

中国語学科 グローバル・スタディーズ専攻

	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育 [特別科目] *	人間力形成教育			キャリア 形成教育	人間力形成教育・ キャリア形成教育	計	必修	選択 必修	選択		計	学期	年間
		人間 形成	国際 理解	社会 生活										
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	58	30	4	92	124		

1年(1学期)	4	※(0~2)					4	13	2		15	19	19	38
1年(2学期)	8	※(0~4)			2		10	24	4		28	38	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計38単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ~Ⅳ」の単位を修得してください。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)	8	※(4~)			4		16	30	6		36	52	14	36
2年(4学期)	8	※(8~)			6		22	42	10		52	74	22	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計74単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)	8	4	4	4	6		26	46	18		64	90	16	36
3年(6学期)	8	4	4	4	6	6	32	54	24		78	110	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計110単位を目安とする。

4年(7学期)	8	4	4	4	6	6	32	54	28	2	84	116	6	14
4年(8学期)	8	4	4	4	6	6	32	58	30	4	92	124	8	

(社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生)

中国語学科 中国語専攻

卒業要件単位数	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間	
		人間形成	国際理解	社会生活										
		4	4	4		20	32	64	24	4	92	124		
1年(1学期)		※(0~2)				※(4~)	4	13	2		15	19	19	38
1年(2学期)		※(0~4)				※(10~)	10	24	4		28	38	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計38単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)		※(4~)				※(12~)	16	35	6		41	57	19	36
2年(4学期)		※(4~)				※(14~)	18	50	6		56	74	17	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計74単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)		4	4	4		※(14~)	26	52	12		64	90	16	36
3年(6学期)		4	4	4		20	32	60	18		78	110	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計110単位を目安とする。

4年(7学期)		4	4	4		20	32	60	22	2	84	116	6	14
4年(8学期)		4	4	4		20	32	64	24	4	92	124	8	

中国語学科 グローバル・スタディーズ専攻

卒業要件単位数	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間	
		人間形成	国際理解	社会生活										
		4	4	4		20	32	58	30	4	92	124		
1年(1学期)		※(0~2)				※(4~)	4	13	2		15	19	19	38
1年(2学期)		※(0~4)				※(10~)	10	24	4		28	38	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計38単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)		※(4~)				※(12~)	16	30	6		36	52	14	36
2年(4学期)		※(8~)				※(14~)	22	42	10		52	74	22	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計74単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)		4	4	4		※(14~)	26	46	18		64	90	16	36
3年(6学期)		4	4	4		20	32	54	24		78	110	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計110単位を目安とする。

4年(7学期)		4	4	4		20	32	54	28	2	84	116	6	14
4年(8学期)		4	4	4		20	32	58	30	4	92	124	8	

2020年度以前入学生

日本語学科 日本語専攻

卒業要件単位数	共通科目						専門科目				合計	小計	
	基礎教育 特別科目*	人間力形成教育			キャリア 形成教育	人間力形成教育・ キャリア形成教育	計	必修	選択 必修	選択		計	学期
	必修	人間 形成	国際 理解	社会 生活							必修		
	8	4	4	4	6	6	32	26	48	18	92	124	

1年(1学期)	4	※(2~)					6	5	6		11	17	17	36
1年(2学期)	8	※(4~)			2		14	10	12		22	36	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計36単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)	8	※(8~)			4		20	11	23		34	54	18	36
2年(4学期)	8	4	4	4	6		26	16	30		46	72	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計72単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)	8	4	4	4	6	2	28	18	42		60	88	16	36
3年(6学期)	8	4	4	4	6	6	32	22	48	6	76	108	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計108単位を目安とする。

4年(7学期)	8	4	4	4	6	6	32	22	48	12	82	114	6	16
4年(8学期)	8	4	4	4	6	6	32	26	48	18	92	124	10	

日本語学科 グローバル・スタディーズ専攻

卒業要件単位数	共通科目						専門科目				合計	小計	
	基礎教育 特別科目*	人間力形成教育			キャリア 形成教育	人間力形成教育・ キャリア形成教育	計	必修	選択 必修	選択		計	学期
	必修	人間 形成	国際 理解	社会 生活							必修		
	8	4	4	4	6	6	32	40	48	4	92	124	

1年(1学期)	4	※(2~)					6	5	6		11	17	17	36
1年(2学期)	8	※(4~)			2		14	10	12		22	36	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計36単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)	8	※(8~)			4		20	15	19		34	54	18	36
2年(4学期)	8	4	4	4	6		26	24	22		46	72	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計72単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)	8	4	4	4	6	2	28	28	32		60	88	16	36
3年(6学期)	8	4	4	4	6	6	32	36	40		76	108	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計108単位を目安とする。

4年(7学期)	8	4	4	4	6	6	32	36	46		82	114	6	16
4年(8学期)	8	4	4	4	6	6	32	40	48	4	92	124	10	

英米語学科 英米語専攻

	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育 特別科目 *	人間力形成教育			キャリア 形成教育	人間力形成教育・ キャリア形成教育	計	必修	選択 必修	選択		計	学期	年間
		人間 形成	国際 理解	社会 生活										
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	48	44		92	124		

1年(1学期)	4	※(0~2)					4	10	2~4		12	16	16	32
1年(2学期)	8	※(0~4)			2		10	18	4~8		22	32	16	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計32単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ~Ⅳ」の単位を修得してください。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)	8	※(4~)			4		16	26	8		34	50	18	36
2年(4学期)	8	※(8~)			6		22	38	8		46	68	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計68単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)	8	4	4	4	6	2	28	40	18		58	86	18	38
3年(6学期)	8	4	4	4	6	6	32	44	30		74	106	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計106単位を目安とする。

4年(7学期)	8	4	4	4	6	6	32	44	38		82	114	8	18
4年(8学期)	8	4	4	4	6	6	32	48	44		92	124	10	

英米語学科 グローバル・スタディーズ専攻

	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育 特別科目 *	人間力形成教育			キャリア 形成教育	人間力形成教育・ キャリア形成教育	計	必修	選択 必修	選択		計	学期	年間
		人間 形成	国際 理解	社会 生活										
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	68	24		92	124		

1年(1学期)	4	※(0~4)					4	10	2		12	16	16	32
1年(2学期)	8	※(0~8)			2		10	18	4		22	32	16	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計32単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ~Ⅳ」の単位を修得してください。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)	8	※(2~)			4		14	32	4		36	50	18	36
2年(4学期)	8	※(2~)			6		16	48	4		52	68	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計68単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)	8	4	4	4	6		26	54	6		60	86	18	38
3年(6学期)	8	4	4	4	6	6	32	64	10		74	106	20	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計106単位を目安とする。

4年(7学期)	8	4	4	4	6	6	32	64	18		82	114	8	18
4年(8学期)	8	4	4	4	6	6	32	68	24		92	124	10	

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

10

教育課程表

I

共通事項(全学生共通)

10

教育課程表

外国語学部 日本語学科 日本語専攻 教育課程表 (2021年度以降入学生用)

2025年度版 (21-25日-日)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件 単位数 (最低)		
		1年次	2年次	3年次	4年次			
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。		8		
	人間形成	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心 理 学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) からだと健康(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2)	美とは何か(2) 性格とは何か(2) ボランティア講義(2)	記号と論理(2) 生命と遺伝子(2)	4
	国際理解	日本の歴史(2) 日本語と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランス語とフランス文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	民族と宗教(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 中国語と中国文化A(2)	異文化コミュニケーション論(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) 中国語と中国文化B(2)	日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2) 英語文化研究A(2)	4
	社会生活	法 学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	日本国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 自然環境論(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 都市と生活(2) 現代物理のはなし(2)	政治のしくみ(2) 生活と安全(2) 身近な化学(2)	社会思想史(2) 行動科学(2) 科学技術と社会(2)	4
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)		6		
	<単位認定科目>		インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)	インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)		
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>		*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106					
	<産学連携教育プログラム>		*「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111					
	ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム 日経・ビジネスプログラム		ビジネスコミュニケーションプログラム サイマル・アカデミー-通訳者養成特別プログラム		野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)			
	専門科目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12	
英語		●英語Ⅰ-a(1) ●英語Ⅰ-b(1)	●英語Ⅱ-a(1) ●英語Ⅱ-b(1)	●英語Ⅲ-a(1) ●英語Ⅲ-b(1)		6		
ILP		中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)	中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1)	<ILP(中国語及び日本語)の履修上の注意点> 各言語(中国語または日本語)を母語とする者は、当該科目を履修できません。				
日本語		日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)	日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1)					
日本語学		●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2)	日本語学基礎演習(2) 日本語方言学(2) 音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2) 敬語表現法(2)	日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 日本語講義Ⅰ(2) 日本語講義Ⅱ(2)	日本語史Ⅰ(2) 日本語史Ⅱ(2) 表記法概論(2)	18		
言語学			言語学概論(2)	応用言語学(2) 社会言語学(2) 対照言語学(2)	言語研究法(2) コンピュータ言語学(2)	8		
文学・文化			日本文学概論(2) 漢文学概論(2) 漢文学講義(2)	日本文学史(2) 近現代文学(2) 古典概説(2) 古典演習(2)	漢文学演習Ⅰ(2) 漢文学演習Ⅱ(2)	8		
日本語教育		●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)	日本語教育演習(2) 日本語教材論(2) 検定対策Ⅰ(2) 検定対策Ⅱ(2) 検定対策Ⅲ(2) 検定対策Ⅳ(2) 評価法研究(2) 教案作成研究(2) 日本語教育事情(2) 第二言語習得論(2)	音声指導法研究(2) 文型指導法研究(2) 日本語教育実習(4)	年少者日本語教育概説(2) 児童生徒のための日本語教育論(2) 日本語学習支援・実地研究(2)	18		
グローバル・スタディーズ 関連科目		Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)		文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2)	Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)			
卒業研究				●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
<他学部・他学科開放科目(専門科目)>		*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106						
合計卒業要件単位数(最低)						124		

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)		履修方法			
			社会人*		社会人*		
共通科目	基礎教育 〔特別科目〕	⑧	—	必修	全4科目8単位修得 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	(*修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	人間力形成教育	人間形成	4	4	選択必修	人間形成の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
		国際理解	4	4	選択必修	国際理解の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
		社会生活	4	4	選択必修	社会生活の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	キャリア形成教育	⑥	—	必修	全3科目6単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	(*修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】	6	20	選択	上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	選択 上記共通科目12単位のほかに、共通科目から20単位修得	
	計	32	—				
専門科目	専門基礎	⑫	—	必修	全7科目12単位修得		
	ILP	英語	⑥	—	必修	全6科目6単位修得	
		中国語	—	—		各言語(中国語または日本語)を母語とする者は、当該科目を履修できません。 (*修得した単位→「その他【ILP、日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
		日本語	—	—			
	日本語・日本文化関連科目	日本語学	18	—	選択必修	日本語学から必修2単位を含め18単位修得 (*18単位を超えて修得した単位→「その他【ILP、日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
		言語学	8	—	選択必修	言語学から8単位修得 (*8単位を超えて修得した単位→「その他【ILP、日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
		文学・文化	8	—	選択必修	文学・文化から8単位修得 (*8単位を超えて修得した単位→「その他【ILP、日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
		日本語教育	18	—	選択必修	日本語教育から必修4単位を含め18単位修得 (*18単位を超えて修得した単位→「その他【ILP、日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
	グローバル・スタディーズ関連科目	—	—		(*修得した単位→「その他【ILP、日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)		
	卒業研究	⑧	—	必修	全2科目8単位修得		
その他【ILP、日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】	14	—	選択	上記専門科目78単位のほかに、ILP、日本語・日本文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から14単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。			
計	92	—					
合計	124	—					

*社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生

■ 進級要件

2年(4学期)から3年(5学期)への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目(「日本語基礎演習(4単位)」を含む。) ※英語を除く。	14単位
「専門科目」のILP科目 ※英語を含む。	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	12単位
合計	44単位

(社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生)

授業科目等	必要単位数
「専門科目」の必修科目(「日本語基礎演習(4単位)」を含む。) ※英語を除く。	14単位
「専門科目」のILP科目 ※英語を含む。	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	26単位
合計	44単位

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件 単位数 (最低)		
		1年次	2年次	3年次	4年次			
共通 科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。		8		
	人間形成	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心 理 学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) からだと健康(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2)	美とは何か(2) 性格とは何か(2) 記号と論理(2) 生命と遺伝子(2)	4	
	国際理解	日本の歴史(2) 日本語と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランス語とフランス文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	民族と宗教(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 中国語と中国文化A(2)	異文化コミュニケーション論(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) 中国語と中国文化B(2) 英語文化研究A(2)	日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2) 英語文化研究A(2)	4
	社会生活	法 学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	日本国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 自然環境論(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 都市と生活(2) 現代物理のななし(2)	政治のしくみ(2) 生活と安全(2) 身近な化学(2)	社会思想史(2) 行動科学(2) 科学技術と社会(2)	4
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)		6		
	<単位認定科目>		インターンシップA(2)	インターンシップB(2)	インターンシップC(2)	インターンシップD(2)		
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>		ビジネススキルA(2)		ビジネススキルB(2)	ビジネススキルC(2)	ビジネススキルD(2)	
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>		特別聴講科目A(2)		特別聴講科目B(2)	特別聴講科目C(2)	特別聴講科目D(2)	
	<産学連携教育プログラム>		ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム		ビジネスコミュニケーションプログラム	野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)		
	<産学連携教育プログラム>		日経・ビジネスプログラム		サイマル・アカデミー-通訳者養成特別プログラム			
専 門 科 目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12		
	ILP	英語	●英語Ⅰ-a(1) ●英語Ⅰ-b(1)	●英語Ⅱ-a(1) ●英語Ⅱ-b(1)			6	
		中国語	中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)	中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1)			4	
		日本語	日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)	日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1)			4	
	<ILP(中国語及び日本語)の履修上の注意点> 各言語(中国語または日本語)を母語とする者は、当該科目を履修できません。							
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア		●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)		10	
		グローバル		中国ビジネス入門(2) ●日本研究(2) ●北アメリカ研究(2) ●南アメリカ研究(2) ●ヨーロッパ研究(2) ●オセアニア研究(2) ●東アジア研究(2) ●ASEAN研究(2) ●中東研究(2)	国際関係概論(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2)	文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)	20	
		フィールドワーク	Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)		ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) Advanced Business English a(2) Advanced Business English b(2)	92	
	日本語・日本文化関連科目	日本語学	●日本語学概論(2) ●日本語表現研究Ⅰ(2) ●日本語表現研究Ⅱ(2)	音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2) 敬語表現法(2)	日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2)	日本語史Ⅰ(2) 日本語史Ⅱ(2) 表記法概論(2)	26	
		言語学		言語学概論(2)	応用言語学(2) 社会言語学(2) 対照言語学(2)	言語研究法(2) コンピュータ言語学(2)		
文学			日本文学概論(2)	日本文学史(2) 近現代文学(2)				
卒業研究		●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)		●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
<他学部・他学科開放科目(専門科目)>		*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106						
合計卒業要件単位数(最低)						124		

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)		履修方法			
			社会人*		社会人*		
共通科目	基礎教育 [特別科目]	8	—	必修	全4科目8単位修得 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語I~IV」の単位を修得してください。	(*修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	人間力形成教育	人間形成	4	4	選択必修	人間形成の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
		国際理解	4	4	選択必修	国際理解の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
		社会生活	4	4	選択必修	社会生活の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	キャリア形成教育	6	—	必修	全3科目6単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	(*修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】	6	20	選択	上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	選択 上記共通科目12単位のほかに、共通科目から20単位修得	
	計		32				
専門科目	専門基礎	12		必修	全7科目12単位修得		
	ILP	英語	6		必修	全6科目6単位修得	
		中国語	4			母語以外の1言語4科目4単位修得 (*選択した言語以外は、履修できません。)	
		日本語					
	デグロイーズバ関連科目	コア	10		必修	全5科目10単位修得	
		グローバル	20		選択必修	グローバルから必修4単位を含め20単位修得 (*20単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入)	
		フィールドワーク	—			(*修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入)	
	日本語・日本文化関連科目	26		選択必修	必修科目6単位を含め26単位修得 (*26単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入)		
	卒業研究	8		必修	全2科目8単位修得		
	その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】	6		選択	上記専門科目86単位のほかに、グローバル・スタディーズ関連科目及び日本語・日本文化関連科目から6単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。		
計		92					
合計		124					

*社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生

■ 進級要件

2年(4学期)から3年(5学期)への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目(「日本語基礎演習(4単位)」を含む。)*英語を除く。	14単位
「専門科目」のILP科目 *英語を含む。	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	12単位
合計	44単位

(社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生)

授業科目等	必要単位数
「専門科目」の必修科目(「日本語基礎演習(4単位)」を含む。)*英語を除く。	14単位
「専門科目」のILP科目 *英語を含む。	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	26単位
合計	44単位

外国語学部 日本語学科 日本語専攻 教育課程表 (2016 ~ 2020年度入学生用)

2025年度版 (16-20日-日)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件 単位数 (最低)		
		1年次	2年次	3年次	4年次			
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ~Ⅳ」の単位を修得してください。		8		
	人間形成	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心理学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) からだと健康(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2)	美とは何か(2) 性格とは何か(2) ボランティア講義(2)	記号と論理(2) 生命と遺伝子(2)	4
	国際理解	日本の歴史(2) 日本語と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランス語とフランス文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	民族と宗教(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 中国語と中国文化A(2)	異文化コミュニケーション論(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) 中国語と中国文化B(2)	日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2) 英語文化研究A(2)	4
	社会生活	法学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	日本国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 自然環境論(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 都市と生活(2) 現代物理のはなし(2)	政治のしくみ(2) 生活と安全(2) 身近な化学(2)	社会思想史(2) 行動科学(2) 科学技術と社会(2)	4
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)		6		
	<単位認定科目>		インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)	インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)		
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>		*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106					
	<産学連携教育プログラム>		*「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム ビジネスコミュニケーションプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム 野村証券ファイナンスプログラム(寄附講座)※ 日経・ビジネスプログラム					
	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12		
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
専門科目	ILP	日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-b(1)	日本語Ⅲ-a(1) 日本語Ⅲ-b(1)	<ILP科目の履修上の注意点> (母語以外の2言語) 母語以外の2言語のみ履修することができます。 なお、日本語と英語を履修した場合、10単位を超えて修得した単位は卒業要件には算入されません。 ・日本人学生=英語+中国語 ・外国人留学生=日本語6単位+母語以外(英語又は中国語)		124		
		英語Ⅰ-a(1) 英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1) 英語Ⅱ-b(1)	英語Ⅲ-a(1) 英語Ⅲ-b(1)					
		中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-b(1)						
	日本語学	●日本語学概論(2) ●日本語表現研究Ⅰ(2) ●日本語表現研究Ⅱ(2)	日本語学基礎演習(2) 日本語方言学(2) 音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2) 敬語表現法(2)	日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2)	日本語Ⅰ(2) 日本語Ⅱ(2) 表記法概論(2)	16		
		言語学	言語学概論(2)	応用言語学(2) 社会言語学Ⅰ(2) 社会言語学Ⅱ(2)	コンピュータ言語学Ⅰ(2) コンピュータ言語学Ⅱ(2)	4		
		文学・文化	日本文学概論(2) 漢文学概論(2) 漢文学講義(2)	日本文学史(2) 近現代文学(2) 古典概説(2) 古典演習(2)	漢文学演習Ⅰ(2) 漢文学演習Ⅱ(2)	4		
		日本語教育	●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)	日本語教育演習(2) 日本語教材論(2) 検定対策Ⅰ(2) 検定対策Ⅱ(2) 検定対策Ⅲ(2) 検定対策Ⅳ(2) 評価法研究(2) 教案作成研究(2) 日本語教育事情(2) 第二言語習得論(2)	音声指導法研究Ⅰ(2) 音声指導法研究Ⅱ(2) 文型指導法研究Ⅰ(2) 文型指導法研究Ⅱ(2)	日本語教育実習(4) 日本語教育のための英語(2) 日本語教育のための中国語(2) 日本語教育のための韓国語(2)	16	
	グローバル・スタディーズ 関連科目	Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)	文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) 比較文化論(2)	Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)				
	他学部・他学科 開放科目	<他学部・他学科開放科目(専門科目)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106				4		
	合計卒業要件単位数(最低)					124		

※ 2022年度から「野村証券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの「[資本市場の役割と証券投資(2単位)]」及び「証券投資シミュレーション(2単位)」の単位を修得している場合、「野村証券ファイナンスプログラム(寄附講座)」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)	履修方法	
共通科目	基礎教育 〔特別科目〕	⑧	必修 全4科目8単位修得 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	
	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修 人間形成の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
		国際理解	4	選択必修 国際理解の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
		社会生活	4	選択必修 社会生活の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
	キャリア形成教育	⑥	必修 全3科目6単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】	6	選択 上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	
	計	32	—	
専門科目	専門基礎	⑫	必修 全7科目12単位修得	
	卒業研究	⑧	必修 全2科目8単位修得	
	ILP	日本語	10	選択必修 母語以外の2言語10科目10単位修得 ・日本人学生＝英語＋中国語 ・外国人留学生＝日本語6単位＋母語以外(英語又は中国語) (*母語以外の2言語のみ履修することができます。なお、日本語と英語を履修した場合、10単位を超えて修得した単位は卒業要件には算入されません。)
		英語		
		中国語		
	日本語・日本文化関連科目	日本語学	16	選択必修 日本語学から必修2単位を含め16単位修得 (*16単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)
		言語学	4	選択必修 言語学から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)
		文学・文化	4	選択必修 文学・文化から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)
		日本語教育	16	選択必修 日本語教育から必修4単位を含め16単位修得 (*16単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)
	グローバル・スタディーズ関連科目	—	(*修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
	他学部・他学科開放科目	4	選択必修 他学部・他学科開放科目(専門科目)から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】	18	選択 上記専門科目74単位のほかに、日本語・日本文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から18単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で4単位を超えて修得した単位を含む。		
計	92	—		
合計	124	—		

■ 進級要件

2年(4学期)から3年(5学期)への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目(「日本語基礎演習(4単位)」を含む。)	14単位
「専門科目」のILP科目	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	12単位
合計	44単位

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件 単位数 (最低)	
		1年次	2年次	3年次	4年次		
共通 科目	基礎教育	<ul style="list-style-type: none"> ●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)(2) 		特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)		*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ~Ⅳ」の単位を修得してください。	8
		人間形成	人間存在の課題(2) 社会生活と倫理(2) 文学の世界(2) 人類と文化(2) 美とは何か(2) 記号と論理(2) コミュニケーション論(2) 心理学(2) からだと健康(2) 日本人の生活意識(2) 性格とは何か(2) 生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2) スポーツ科学講義B(2) スポーツ科学演習A(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2) <単位認定科目> ボランティア活動A(2) ボランティア活動B(2)				4
	国際理解	人間の歴史(2) 国際関係論(2) 国際貢献論(2) 民族と宗教(2) 異文化コミュニケーション論(2) 日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B(留)(2) フランス語とフランス文化A(2) フランス語とフランス文化B(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2) 中国語と中国文化A(2) 中国語と中国文化B(2) 英語文化研究A(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目> 異文化実地研修A(2) 異文化実地研修B(2)				4	
	社会生活	法学(2) 日本国憲法(2) 経済のしくみ(2) 社会と生活(2) 政治のしくみ(2) 社会思想史(2) 日本企業論(2) 地理と環境(2) 自然環境論(2) 都市と生活(2) 生活と安全(2) 行動科学(2) データのまとめ方(2) 数理の世界(2) 身近な物理(2) 現代物理のはなし(2) 身近な化学(2) 科学技術と社会(2)				4	
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)		●キャリアプランニングⅡ(2)		キャリアデザイン(4) インターンシップA(2) インターンシップB(2) インターンシップC(2) インターンシップD(2) ビジネススキルA(2) ビジネススキルB(2) ビジネススキルC(2) ビジネススキルD(2) 特別聴講科目A(2) 特別聴講科目B(2) 特別聴講科目C(2) 特別聴講科目D(2)	6
		<単位認定科目>					
		<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>		*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106			
		<産学連携教育プログラム>		*「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111			
	専門基礎	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) 		<ul style="list-style-type: none"> ●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4) 		●現代社会事情(2)	12
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)		●卒業研究(4)	8
専門 科目	ILP	日本語	日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-b(1)	日本語Ⅲ-a(1) 日本語Ⅲ-b(1)	<ILP科目の履修上の注意点> (母語以外の2言語) 母語以外の2言語のみ履修することができます。 なお、英語と日本語を履修した場合、10単位を超えて修得した単位は卒業要件には算入されません。 ・日本人学生=英語+中国語 ・外国人留学生=日本語6単位+母語以外(英語又は中国語)		124
		英語	英語Ⅰ-a(1) 英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1) 英語Ⅱ-b(1)	英語Ⅲ-a(1) 英語Ⅲ-b(1)			
		中国語	中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-b(1)				
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア	●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)		●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)		10
		A	中国ビジネス入門(2)		中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2)		12
			●日本研究(2) ●東アジア研究(2) ●ASEAN研究(2) ●中東研究(2)		国際関係概論(2) 国際協力論(2) 国際ビジネス論a(2) 国際ビジネス論b(2)		
		B	Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)		ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)		8
	フィールドワーク	<単位認定科目> GSM海外留学(4) GSM海外研修(2)		GSMインターンシップⅠ(2) GSMインターンシップⅡ(2)		GSMボランティアⅠ(2) GSMボランティアⅡ(2)	2
	日本語・日本文化関連科目	日本語学	●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2)		音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法Ⅰ(2) 日本語文法Ⅱ(2) 敬語表現法(2)		26
		言語学			言語学概論(2)		
文学文化				日本文学概論(2)			
日本語教育		●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)					
他学部・他学科開放科目	<他学部・他学科開放科目(専門科目)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106						
合計卒業要件単位数(最低)						124	

* 2022年度から「野村證券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの「[資本市場の役割と証券投資(2単位)]」及び「証券投資シミュレーション(2単位)」の単位を修得している場合、「野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)」は履修できません。

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)	履修方法		
共通科目	基礎教育 〔特別科目〕	⑧	必修	全4科目8単位修得 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	
	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修	人間形成の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
		国際理解	4	選択必修	国際理解の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
		社会生活	4	選択必修	社会生活の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
	キャリア形成教育	⑥	必修	全3科目6単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】	6	選択	上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	
	計	32		—	
専門科目	専門基礎	⑫	必修	全7科目12単位修得	
	卒業研究	⑧	必修	全2科目8単位修得	
	ILP	日本語	10	選択必修	母語以外の2言語10科目10単位修得 ・日本人学生＝英語＋中国語 ・外国人留学生＝日本語6単位＋母語以外(英語又は中国語) (*母語以外の2言語のみ履修することができます。なお、日本語と英語を履修した場合、10単位を超えて修得した単位は卒業要件には算入されません。)
		英語			
		中国語			
	スタディーズ関連科目	コア	⑩	必修	全5科目10単位修得
		グローバル	A	選択必修	グローバルのA分野から必修4単位を含め12単位修得 (*12単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入)
			B	選択必修	グローバルのB分野から8単位修得 (*8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入)
		フィールドワーク	2	選択必修	フィールドワークから2単位修得 (*2単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入)
	日本語・日本文化関連科目	26	選択必修	必修科目6単位を含め26単位修得 (*26単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入)	
その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】	4	選択	上記専門科目88単位のほかに、グローバル・スタディーズ関連科目及び日本語・日本文化関連科目から4単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。		
計	92		—		
合計	124		—		

■ 進級要件

2年(4学期)から3年(5学期)への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目(「日本語基礎演習(4単位)」を含む。)	14単位
「専門科目」のILP科目	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	12単位
合計	44単位

外国語学部 英米語学科 英米語専攻 教育課程表 (2021年度以降入学生用)

2025年度版 (21-25英-英)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件 単位数 (最低)		
		1年次	2年次	3年次	4年次			
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。		8		
	人間形成	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心 理 学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) からだと健康(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2)	記号と論理(2) 生命と遺伝子(2)	4	
		国際理解	日本の歴史(2) 日本語と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランス語とフランス文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	民族と宗教(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 中国語と中国文化A(2)	異文化コミュニケーション論(2) 日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2) 中国語と中国文化B(2)	4
	社会生活	法 学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	日本国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 自然環境論(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 都市と生活(2) 現代物理のはなし(2)	政治のしくみ(2) 生活と安全(2) 身近な化学(2)	社会思想史(2) 行動科学(2) 科学技術と社会(2)	4
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)		6		
		<単位認定科目>	インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)	インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)		
		特別聴講科目A(2)		特別聴講科目B(2)	特別聴講科目C(2)	特別聴講科目D(2)		
		<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106						
		<産学連携教育プログラム> *「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム ビジネスコミュニケーションプログラム 野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座) 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
	専門科目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12	
ILP		英語	●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1)	●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1)			24	
		中国語	中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-b(1)			母語以外の1語4単位		
		日本語	日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-b(1)					
概論科目		[異文化コミュニケーション分野] 異文化コミュニケーション概論a(2) 異文化コミュニケーション概論b(2)	[英語学分野] 英語学概論a(2) 英語学概論b(2)			2分野6単位		
		[英米文学分野] 英米文学概論a(2) 英米文学概論b(2)	[英語教育学分野] 英語教育学概論a(2) 英語教育学概論b(2)					
専攻基礎科目		TOEFL対策講座(2)	英語音声学a(2) 英語音声学b(2)	対照言語研究a(2) 対照言語研究b(2)	英文法研究a(2) 英文法研究b(2)	英語史(2)	8	
SKILL科目		Interpreting Skills a(2) Interpreting Skills b(2) Translation Skills a(2) Translation Skills b(2) Advanced Writing Skills a(2) Advanced Writing Skills b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Research & Presentation Skills(2)		Advanced Listening Skills a(2) Advanced Listening Skills b(2) Discussion & Debate a(2) Discussion & Debate b(2)		8		
		特講科目	コミュニケーション特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2) コミュニケーション特講Ⅱ-a(2) コミュニケーション特講Ⅱ-b(2) 英語学特講Ⅰ-a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2) 英語学特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅱ-b(2)		文学特講Ⅰ-a(2) 文学特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅱ-a(2) 文学特講Ⅱ-b(2) 英語教育特講Ⅰ-a(2) 英語教育特講Ⅰ-b(2) 英語教育特講Ⅱ-a(2) 英語教育特講Ⅱ-b(2)		10	
			特設科目	<単位認定科目> 特殊研究Ⅰ(4) 特殊研究Ⅱ(4) 海外実地研修(2)				

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等 (●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)				卒業要件 単位数 (最低)	
		1年次	2年次	3年次	4年次		
専門科目	グローバル・スタディーズ 関連科目	●Preparation for TOEIC I-a (1) ●Preparation for TOEIC I-b (1)	中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEIC II-a (1) ●Preparation for TOEIC II-b (1)	ビジネスキャリア特講 a (2) ビジネスキャリア特講 b (2) 中国経済 I (2) 中国経済 II (2) 日中観光実務 I (2) 日中観光実務 II (2)	時事中国語演習 I (2) 時事中国語演習 II (2) ビジネス中国語演習 I (2) ビジネス中国語演習 II (2) Advanced Business English a (2) Advanced Business English b (2)	6 (92) (124)	
			日本研究(2) 北アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) 南アメリカ研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2)	中東研究(2) 国際関係概論(2) 通訳の基礎 a (2) 通訳の基礎 b (2) 時事英語 a (2) 時事英語 b (2) 文化講義 I (日本) (2)	文化講義 II (異文化理解) (2)		
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8	
<他学部・他学科開放科目(専門科目)> * 「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106							
合計卒業要件単位数(最低)						124	

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)		履修方法		
			社会人*		社会人*	
共通科目	基礎教育 【特別科目】	8	-	必修	全4科目8単位修得 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語 I~IV」の単位を修得してください。	
	人間力形成教育	人間形成	4	4	選択必修	人間形成の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
		国際理解	4	4	選択必修	国際理解の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
		社会生活	4	4	選択必修	社会生活の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
	キャリア形成教育	6	-	必修	全3科目6単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】	6	20	選択	上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	
計		32		-		
専門科目	専門基礎	12	-	必修	全7科目12単位修得	
	ILP	英語	24	-	必修	全20科目24単位修得
		中国語	4	-	選択必修	母語以外の1言語4科目4単位修得 (*選択した言語以外は履修できません。)
		日本語	4	-	選択必修	母語以外の1言語4科目4単位修得 (*選択した言語以外は履修できません。)
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	8	-	選択必修	概論科目から2分野8単位修得 (「異文化コミュニケーション」、「英語学」、「英米文学」及び「英語教育学」の4分野のうち2分野) (*8単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)
		専攻基礎科目	8	-	選択必修	専攻基礎科目から8単位修得 (*8単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)
		SKILL科目	8	-	選択必修	SKILL科目から8単位修得 (*8単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)
		特講科目／特殊研究科目	10	-	選択必修	特講科目・特殊研究科目から10単位修得 (*10単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)
	グローバル・スタディーズ関連科目	6	-	選択必修	グローバル・スタディーズ関連科目から必修4単位を含め6単位修得 (*6単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
	卒業研究	8	-	必修	全2科目8単位修得	
その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】	4	-	選択	上記専門科目88単位のほかに、英米語・英米文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から4単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。		
計		92		-		
合計		124		-		

*社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生

■ 進級要件

2年(4学期)から3年(5学期)への進級については、「進級要件」を参照してください。→ P.63

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件 単位数 (最低)		
		1年次	2年次	3年次	4年次			
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。			8	
		人間形成	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) スペイン語とスペイン文化B(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心理学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) からだと健康(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2)	美とは何か(2) 性格とは何か(2) ボランティア講義(2)	記号と論理(2) 生命と遺伝子(2)
	国際理解	日本の歴史(2) 日本と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランス語とフランス文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	民族と宗教(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 中国語と中国文化A(2)	異文化コミュニケーション論(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) 中国語と中国文化B(2)	日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2)	4
	社会生活	法学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	日本国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 自然環境論(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 都市と生活(2) 現代物理のなし(2)	政治のしくみ(2) 生活と安全(2) 身近な化学(2)	社会思想史(2) 行動科学(2) 科学技術と社会(2)	4
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)		6		
	<単位認定科目>		インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)	インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)		
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>		*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106					
	<産学連携教育プログラム>		*「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111					
	ANAツアーシステム・ホスピタリティプログラム 日経・ビジネスプログラム		ビジネスコミュニケーションプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム 野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)					
	専門科目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12	
ILP		英語	●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1)	●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1)			24	
		中国語	中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-b(1)			母語外の語学単位		
		日本語	日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-b(1)					
コア			●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)	10			
グローバル・スタディーズ関連科目		グローバル	●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)	中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEICⅡ-a(1) ●Preparation for TOEICⅡ-b(1)	ビジネスキャリア特講 a(2) ビジネスキャリア特講 b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) ●Advanced Business English a(2) ●Advanced Business English b(2)	92	
		フィールドワーク		日本研究(2) ●北アメリカ研究(2) ●ヨーロッパ研究(2) 南アメリカ研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2)	国際関係概論(2) 通訳の基礎 a(2) 通訳の基礎 b(2) 時事英語 a(2) 時事英語 b(2) 文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2)	22		
英米語・英米文化関連科目		異文化コミュニケーション概論 a(2) 異文化コミュニケーション概論 b(2) 英米文学概論 a(2) 英米文学概論 b(2)	英語学概論 a(2) 英語学概論 b(2) 英語教育学概論 a(2) 英語教育学概論 b(2)					
専攻基礎科目		TOEFL対策講座(2)	英語音声学 a(2) 英語音声学 b(2)	対照言語研究 a(2) 対照言語研究 b(2)	英文法研究 a(2) 英文法研究 b(2)	英語史(2)	2	
SKILL科目				Interpreting Skills a(2) Interpreting Skills b(2) Translation Skills a(2) Translation Skills b(2) Advanced Writing Skills a(2) Advanced Writing Skills b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Research & Presentation Skills(2)	Advanced Listening Skills a(2) Advanced Listening Skills b(2) Discussion & Debate a(2) Discussion & Debate b(2)	4		

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等 (○は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)				卒業要件 単位数 (最低)
		1年次	2年次	3年次	4年次	
専 門 科 目	英米語・英米文化関連科目 特講科目			コミュニケーション特講Ⅰ-a(2) 文学特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅰ-b(2) コミュニケーション特講Ⅰ-a(2) 文学特講Ⅱ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅱ-b(2) 英語学特講Ⅰ-a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2) 英語学特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅱ-b(2)		4 (92) (124)
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8
<他学部・他学科開放科目(専門科目)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106 合計卒業要件単位数(最低)						124

履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数(○は必修)		履修方法		
			社会人*		社会人*	
共 通 科 目	基礎教育 [特別科目]	8	-	必修 全4科目8単位修得 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	(*修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	人間力形成教育	人間形成	4	4	選択必修 人間形成の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
		国際理解	4	4	選択必修 国際理解の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
		社会生活	4	4	選択必修 社会生活の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	キャリア形成教育	6	-	必修 全3科目6単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	(*修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】	6	20	選択 上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	選択 上記共通科目12単位のほかに、共通科目から20単位修得	
計	32					
専 門 科 目	専門基礎	12		必修 全7科目12単位修得		
	ILP	英語	24		必修 全20科目24単位修得	
		中国語		4	選択必修 母語以外の1言語4科目4単位修得 (*選択した言語以外は履修できません。)	
		日本語				
	スタディーズ関連科目	コア	10		必修 全5科目10単位修得	
		グローバル	22		選択必修 グローバルから必修12単位を含め22単位修得 (*22単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入)	
		フィールドワーク			(修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入)	
		概論科目			(修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入)	
	英米語・英米文化関連科目	専攻基礎科目	2		選択必修 専攻基礎科目から2単位修得 (*2単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入)	
		SKILL科目	4		選択必修 SKILL科目から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入)	
		特講科目	4		選択必修 特講科目から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入)	
卒業研究		8		必修 全2科目8単位修得		
その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】		2	選択 上記専門科目90単位のほかに、グローバル・スタディーズ関連科目及び英米語・英米文化関連科目から2単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。			
計	92					
合計	124					

*社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生

進級要件

2年(4学期)から3年(5学期)への進級については、「進級要件」を参照してください。→P.63

外国語学部 英米語学科 英米語専攻 教育課程表 (2016 ~ 2020年度入学生用)

2025年度版 (16-20英-英)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件 単位数 (最低)		
		1年次	2年次	3年次	4年次			
共通科目	基礎教育	<ul style="list-style-type: none"> ●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2) 		特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)		*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ~Ⅳ」の単位を修得してください。	8	
		人間形成教育	人間存在の課題(2)	社会生活と倫理(2)	文学の世界(2)		人類と文化(2)	美とは何か(2)
	コミュニケーション論(2)		心 理 学(2)	からだと健康(2)	日本人の生活意識(2)	性格とは何か(2)	生命と遺伝子(2)	
	スポーツ科学講義A(2)		スポーツ科学講義B(2)	スポーツ科学演習A(2)	スポーツ科学演習B(2)	ポランティア講義(2)		
	国際理解	日本の歴史(2)	国際関係論(2)	国際貢献論(2)	民族と宗教(2)	異文化コミュニケーション論(2)	日本語と日本文化A(留)(2)	
	社会生活	日本語と日本文化B(留)(2)	フランス語とフランス文化A(2)	フランス語とフランス文化B(2)	ドイツ語とドイツ文化A(2)	ドイツ語とドイツ文化B(2)	スペイン語とスペイン文化A(2)	
	キャリア形成教育	スペイン語とスペイン文化B(2)	韓国語と韓国文化A(2)	韓国語と韓国文化B(2)	中国語と中国文化A(2)	中国語と中国文化B(2)		
	法学(2)	日本国憲法(2)	経済のしくみ(2)	社会と生活(2)	政治のしくみ(2)	社会思想史(2)		
	日本企業論(2)	地理と環境(2)	自然環境論(2)	都市と生活(2)	生活と安全(2)	行動科学(2)		
	データのまとめ方(2)	数理の世界(2)	身近な物理(2)	現代物理のはなし(2)	身近な化学(2)	科学技術と社会(2)		
●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2)	●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)			6		
<単位認定科目>		インターンシップA(2)	インターンシップB(2)	インターンシップC(2)	インターンシップD(2)			
		ビジネススキルA(2)	ビジネススキルB(2)	ビジネススキルC(2)	ビジネススキルD(2)			
		特別聴講科目A(2)	特別聴講科目B(2)	特別聴講科目C(2)	特別聴講科目D(2)			
<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>		*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106						
<産学連携教育プログラム>		*「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111						
		ANAツアーリズム・ホスピタリティプログラム	ビジネスコミュニケーションプログラム	野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)*	日経・ビジネスプログラム			
専門科目	専門基礎	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) 		<ul style="list-style-type: none"> ●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4) 		●現代社会事情(2)	12	
		ILP	<ul style="list-style-type: none"> ●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1) 		<ul style="list-style-type: none"> ●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1) 			24
	中国語		中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅱ-a(1)	中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-b(1)			母語以外の1語4単位	
	日本語		日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅱ-a(1)	日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-b(1)				
	概論科目	【異文化コミュニケーション分野】 異文化コミュニケーション概論a(2) 異文化コミュニケーション概論b(2)		【英語学分野】 英語学概論a(2) 英語学概論b(2)			2分野6単位	
		【英米文学分野】 英米文学概論a(2) 英米文学概論b(2)		【英語教育学分野】 英語教育学概論a(2) 英語教育学概論b(2)				
	専攻基礎科目	TOEFL対策講座(2)		英語音声学a(2)	対照言語研究a(2)	英文法研究a(2)	英語史(2) 英語圏の文化と社会(2)	8
	SKILL科目			英語音声学b(2)	対照言語研究b(2)	英文法研究b(2)	英米文学史(2)	
				Interpreting Skills a(2)		Advanced Listening Skills a(2)		
				Interpreting Skills b(2)		Advanced Listening Skills b(2)		
特講科目			Translation Skills a(2)		Discussion & Debate a(2)			
			Translation Skills b(2)		Discussion & Debate b(2)			
特講科目			Advanced Writing Skills a(2)		English for Current Issues a(2)			
			Advanced Writing Skills b(2)		English for Current Issues b(2)			
特講科目			Advanced Reading Skills a(2)		Advanced Reading Skills b(2)			
			Advanced Reading Skills b(2)		Advanced Research & Presentation Skills(2)			
特講科目			コミュニケーション特講Ⅰ-a(2)		英語学特講Ⅱ-a(2)		文学特講Ⅲ-a(2)	
			コミュニケーション特講Ⅰ-b(2)		英語学特講Ⅱ-b(2)		文学特講Ⅲ-b(2)	
特講科目			コミュニケーション特講Ⅱ-a(2)		英語学特講Ⅲ-a(2)		英語教育特講Ⅰ-a(2)	
			コミュニケーション特講Ⅱ-b(2)		英語学特講Ⅲ-b(2)		英語教育特講Ⅰ-b(2)	
特講科目			コミュニケーション特講Ⅲ-a(2)		文学特講Ⅰ-a(2)		英語教育特講Ⅱ-a(2)	
			コミュニケーション特講Ⅲ-b(2)		文学特講Ⅰ-b(2)		英語教育特講Ⅱ-b(2)	
特講科目			英語学特講Ⅰ-a(2)		文学特講Ⅱ-a(2)		ビジネス英語特講a(2)	
			英語学特講Ⅰ-b(2)		文学特講Ⅱ-b(2)		ビジネス英語特講b(2)	
特設科目			<単位認定科目> 特殊研究Ⅰ(4) 特殊研究Ⅱ(4) 海外実地研修(2)					

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等 (●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)				卒業要件 単位数 (最低)	
		1年次	2年次	3年次	4年次		
専門科目	グローバル・スタディーズ 関連科目	●Preparation for TOEIC I-a (1) ●Preparation for TOEIC I-b (1)	中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEIC II-a (1) ●Preparation for TOEIC II-b (1)	ビジネスキャリア特講 a (2) ビジネスキャリア特講 b (2) 中国経済 I (2) 中国経済 II (2) 日中観光実務 I (2)	日中観光実務 II (2) 日中通訳基礎演習 I (2) 日中通訳基礎演習 II (2) Advanced Business English a (2) Advanced Business English b (2)	6 (92) (124)	
			日本研究(2) 北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2)	中東研究(2) 国際関係概論(2) 国際協力論(2) 国際ビジネス論 a (2) 国際ビジネス論 b (2) 通訳の基礎 a (2) 通訳の基礎 b (2)	時事英語 a (2) 時事英語 b (2) 文化講義 I (日本) (2) 文化講義 II (異文化理解) (2) 比較文化論 (2)		
		卒業研究		●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)		
	他学部・他学科 開放科目	<他学部・他学科開放科目(専門科目)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106				4	
合計卒業要件単位数(最低)						124	

* 2022年度から「野村証券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの「[資本市場の役割と証券投資 (2単位)]」及び「証券投資シミュレーション (2単位)」の単位を修得している場合、「野村証券ファイナンスプログラム (寄附講座)」は履修できません。

履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)	履修方法	
共通科目	基礎教育 [特別科目]	⑧	必修 全4科目8単位修得 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語 I~IV」の単位を修得してください。	
	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修 人間形成の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
		国際理解	4	選択必修 国際理解の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
		社会生活	4	選択必修 社会生活の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
	キャリア形成教育	⑥	必修 全3科目6単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】	6	選択 上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	
	計	32	-	
専門科目	専門基礎	⑫	必修 全7科目12単位修得	
	ILP	英語	⑫	必修 全20科目24単位修得
		中国語	4	選択必修 母語以外の1言語4科目4単位修得 (*選択した言語以外は履修できません。)
		日本語	4	
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	8	選択必修 概論科目から2分野8単位修得 (「異文化コミュニケーション」、「英語学」、「英米文学」及び「英語教育学」の4分野のうち2分野)
		専攻基礎科目	8	選択必修 専攻基礎科目から8単位修得
		SKILL科目	8	選択必修 SKILL科目から8単位修得
		特講科目／特殊研究科目	10	選択必修 特講科目・特殊研究科目から10単位修得
	グローバル・スタディーズ 関連科目	6	選択必修 グローバル・スタディーズ関連科目から必修4単位を含め6単位修得	
	卒業研究	⑧	必修 全2科目8単位修得	
他学部・他学科 開放科目	4	選択必修 他学部・他学科開放科目(専門科目)から4単位修得		
計	92	-		
合計	124	-		

進級要件

2年(4学期)から3年(5学期)への進級については、「進級要件」を参照してください。→ P.63

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件 単位数 (最低)		
		1年次	2年次	3年次	4年次			
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ~Ⅳ」の単位を修得してください。		8		
	人間形成	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) スペイン語とスペイン文化B(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心理学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) からだと健康(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2)	記号と論理(2) 生命と遺伝子(2)	4	
	国際理解	日本の歴史(2) 日本語と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランス語とフランス文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	民族と宗教(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 中国語と中国文化A(2)	異文化コミュニケーション論(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) 中国語と中国文化B(2)	日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2)	4
	社会生活	法学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	日本国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 自然環境論(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 都市と生活(2) 現代物理のなし(2)	政治のしくみ(2) 生活と安全(2) 身近な化学(2)	社会思想史(2) 行動科学(2) 科学技術と社会(2)	4
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)		6		
	<単位認定科目>		インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)	インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)		
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>		*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106					
	<産学連携教育プログラム>		*「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111					
	ANAツアーシステム・ホスピタリティプログラム 日経・ビジネスプログラム		ビジネスコミュニケーションプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム		野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)*			
	専門科目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		12	
英語		●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1)	●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1)			24		
中国語		中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-b(1)			母国語の語学単位			
日本語		日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-b(1)						
コア			●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)		10		
グローバル・スタディーズ関連科目		●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)	中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEICⅡ-a(1) ●Preparation for TOEICⅡ-b(1)	ビジネスキャリア特講 a(2) ビジネスキャリア特講 b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2) ●Advanced Business English a(2) ●Advanced Business English b(2)	92		
グローバル			日本研究(2) ●北アメリカ研究(2) ●南アメリカ研究(2) ●ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2)	国際関係概論(2) 国際協力論(2) 国際ビジネス論 a(2) 国際ビジネス論 b(2) 通訳の基礎 a(2) 通訳の基礎 b(2) 時事英語 a(2) 時事英語 b(2)	文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) 比較文化論(2)	22		
フィールドワーク			<単位認定科目> GSM海外留学(4) GSM海外研修(2)	GSMインターンシップⅠ(2) GSMインターンシップⅡ(2)	GSMボランティアⅠ(2) GSMボランティアⅡ(2)	2		
英米語・英米文化関連科目		概論科目 異文化コミュニケーション概論 a(2) 異文化コミュニケーション概論 b(2) 英米文学概論 a(2) 英米文学概論 b(2)	英語学概論 a(2) 英語学概論 b(2) 英語教育学概論 a(2) 英語教育学概論 b(2)			-		
専攻基礎科目		TOEFL対策講座(2)	英語音声学 a(2) 英語音声学 b(2)	対照言語研究 a(2) 対照言語研究 b(2)	英文法研究 a(2) 英文法研究 b(2)	英語史(2) 英語圏の文化と社会(2) 英米文学史(2)	2	
SKILL科目			Interpreting Skills a(2) Interpreting Skills b(2) Translation Skills a(2) Translation Skills b(2) Advanced Writing Skills a(2) Advanced Writing Skills b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Research & Presentation Skills(2)	Advanced Listening Skills a(2) Advanced Listening Skills b(2) Discussion & Debate a(2) Discussion & Debate b(2) English for Current Issues a(2) English for Current Issues b(2)	4			

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等 (●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)				卒業要件 単位数 (最低)	
		1年次	2年次	3年次	4年次		
専 門 科 目	英米語・英米文化関連科目 特講科目			コミュニケーション特講Ⅰ-a(2) 英語学特講Ⅱ-a(2) 文学特講Ⅲ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2) 英語学特講Ⅱ-b(2) 文学特講Ⅲ-b(2) コミュニケーション特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅲ-a(2) ビジネス英語特講 a(2) コミュニケーション特講Ⅱ-b(2) 英語学特講Ⅲ-b(2) ビジネス英語特講 b(2) コミュニケーション特講Ⅲ-a(2) 文学特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅲ-b(2) 文学特講Ⅰ-b(2) コミュニケーション特講Ⅳ-a(2) 文学特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅱ-b(2)	4	(92)	(124)
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8	
合計卒業要件単位数(最低)						124	

※ 2022年度から「野村証券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの「[資本市場の役割と証券投資 (2単位)]」及び「証券投資シミュレーション (2単位)」の単位を修得している場合、「野村証券ファイナンスプログラム (寄附講座)」は履修できません。

注意 <他学部・他学科開放科目(専門科目)>の単位を修得した場合、その単位数は卒業要件に算入されません。→P.106

履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)	履修方法	
共 通 科 目	基礎教育 [特別科目]	8	必修 全4科目8単位修得 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	
	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修 人間形成の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
		国際理解	4	選択必修 国際理解の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
		社会生活	4	選択必修 社会生活の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
	キャリア形成教育	6	必修 全3科目6単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】	6	選択 上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	
	計	32	-	
専 門 科 目	専門基礎	12	必修 全7科目12単位修得	
	ILP	英語	24	必修 全20科目24単位修得
		中国語	4	選択必修 母語以外の1言語4科目4単位修得 (*選択した言語以外は履修できません。)
		日本語		
	スタディーズグローバル・関連科目	コア	10	必修 全5科目10単位修得
		グローバル	22	選択必修 グローバルから必修14単位を含め22単位修得
		フィールドワーク	2	選択必修 フィールドワークから2単位修得
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	-	(卒業要件には算入されません。)
		専攻基礎科目	2	選択必修 専攻基礎科目から2単位修得
		SKILL科目	4	選択必修 SKILL科目から4単位修得
特講科目		4	選択必修 特講科目から4単位修得	
卒業研究	8	必修 全2科目8単位修得		
計	92	-		
合計	124	-		

進級要件

2年(4学期)から3年(5学期)への進級については、「進級要件」を参照してください。→P.63

外国語学部 中国語学科 中国語専攻 教育課程表 (2021年度以降入学生用)

2025年度版 (21-25中-中)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件 単位数 (最低)			
		1年次	2年次	3年次	4年次				
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。		8			
	人間形成	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心理学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) からだと健康(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2)	美とは何か(2) 性格とは何か(2) ボランティア講義(2)	記号と論理(2) 生命と遺伝子(2)	4	
	国際理解	日本の歴史(2) 日本語と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランス語とフランス文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	民族と宗教(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 英語文化研究A(2)	異文化コミュニケーション論(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) 英語文化研究B(2)	日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2)	国際理解ゼミナール(2)	4
	社会生活	法学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	日本国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 自然環境論(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 都市と生活(2) 現代物理のはなし(2)	政治のしくみ(2) 生活と安全(2) 身近な化学(2)	社会思想史(2) 行動科学(2) 科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)	4
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)		6			
	<単位認定科目>		インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)	インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)	特別聴講科目D(2)	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106	
	<産学連携教育プログラム>		*「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111						
	ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム		ビジネスコミュニケーションプログラム		野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)				
	日経・ビジネスプログラム		サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
	専門科目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュバージョンセミナーⅠ(1) ●フレッシュバージョンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●中国語基礎演習A(4)	●現代社会事情(2)		12		
I P		中国語	●漢語基礎Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2)	●漢語実践Ⅰ(2) ●漢語実践Ⅱ(2) ●漢語作文Ⅰ(2) ●漢語作文Ⅱ(2)	●漢語基礎Ⅲ(2) ●漢語基礎Ⅳ(2) ●漢語会話Ⅲ(2) ●漢語会話Ⅳ(2)	●漢語実践Ⅲ(2) ●漢語実践Ⅳ(2)	●中級漢語Ⅰ(2) ●中級漢語Ⅱ(2)	32	
		英語	英語Ⅰ-a(1) 英語Ⅰ-b(1)	英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅱ-b(1)			母語以外の 1語4単位		
日本語		日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)	日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1)						
中国語・中国 文化関連科目		中国研究	●中国社会研究入門(2) ●中国現代史研究入門(2)	●中国思想研究入門(2) ●中国文学研究入門(2) ●中国歴史研究入門(2) ●中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2)			12		
		SKILL		中国語検定対策講座Ⅰ(2) 中国語検定対策講座Ⅱ(2)	文章表現演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2) 口頭表現演習Ⅰ(2) 口頭表現演習Ⅱ(2) 日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2)	日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) 中国方言基礎演習Ⅰ(2) 中国方言基礎演習Ⅱ(2)	92		
		中国語学			中国語文法Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2) 中国語史Ⅰ(2) 中国語史Ⅱ(2)	日中言語対照Ⅰ(2) 日中言語対照Ⅱ(2)	20		
		中国文学			現当代文学Ⅰ(2) 現当代文学Ⅱ(2)	古典文学Ⅰ(2) 古典文学Ⅱ(2)			
		中国文化			東アジア比較思想論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2)	中国宗教・文化論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2)			
		中国史			中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2)				
グローバル スタディーズ 関連科目		<単位認定科目> 中国語圏実地研修(2)	中国ビジネス入門(2) Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)	中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2)				
卒業研究		東アジア研究(2) ASEAN研究(2)	Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)	●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8			
<他学部・他学科開放科目(専門科目)>		*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106							
合計卒業要件単位数(最低)						124			

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)		履修方法			
			社会人*		社会人*		
共通科目	基礎教育 〔特別科目〕	⑧	-	必修	全4科目8単位修得 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	(※修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	人間力形成教育	人間形成	4	4	選択必修	人間形成の分野から4単位修得 (※4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
		国際理解	4	4	選択必修	国際理解の分野から4単位修得 (※4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
		社会生活	4	4	選択必修	社会生活の分野から4単位修得 (※4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	キャリア形成教育	⑥	-	必修	全3科目6単位修得 (※必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	(※修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】	6	20	選択	上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	選択 上記共通科目12単位のほかに、共通科目から20単位修得	
	計	32			-		
専門科目	専門基礎	⑫		必修	全7科目12単位修得		
	ILP	中国語	⑮		必修	中国語から16科目32単位修得	
		英語	4		選択必修	母語以外の1言語4科目4単位修得 (※選択した言語以外は履修できません。)	
		日本語					
	中国語・中国文化関連科目	中国研究	⑫		必修	中国研究から6科目12単位修得 (※12単位を超えて修得した単位→「その他【中国語・中国文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
		SKILL					
		中国語学	20		選択必修	SKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から20単位修得 (※20単位を超えて修得した単位→「その他【中国語・中国文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
		中国文学					
		中国文化					
	中国社会						
グローバル・スタディーズ関連科目		-			(※修得した単位→「その他【中国語・中国文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)		
卒業研究	⑧		必修	全2科目8単位修得			
その他 【中国語・中国文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】	4		選択	上記専門科目88単位のほかに、中国語・中国文化関連科目及びグローバル・スタディーズ関連科目から4単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。			
計	92			-			
合計	124			-			

*社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生

■ 進級要件

2年(4学期)から3年(5学期)への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目(「フレッシュパーソンセミナーⅠ(1単位)」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ(1単位)」及び「中国語基礎演習A(4単位)」を含む。)	22単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	8単位
合計	44単位

(社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生)

授業科目等	必要単位数
「専門科目」の必修科目(「フレッシュパーソンセミナーⅠ(1単位)」、「フレッシュパーソンセミナーⅡ(1単位)」及び「中国語基礎演習A(4単位)」を含む。)	22単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	22単位
合計	44単位

外国語学部 中国語学科 グローバル・スタディーズ専攻 教育課程表 (2021年度以降入学生用)

2025年度版 (21-25中-ウ)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件 単位数 (最低)	
		1年次	2年次	3年次	4年次		
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。		8	
	人間形成	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心理学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) からだと健康(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2)	4	
	国際理解	日本の歴史(2) 日本語と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランス語とフランス文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	民族と宗教(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 英語文化研究A(2)	異文化コミュニケーション論(2) 日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2)	4
	社会生活	法学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	日本国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 自然環境論(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 都市と生活(2) 現代物理のはなし(2)	政治のしくみ(2) 生活と安全(2) 身近な化学(2)	4
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)		6	
	<単位認定科目>		インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)	インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)	
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>		*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106				
	<産学連携教育プログラム>		*「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111				
	ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム		ビジネスコミュニケーションプログラム				
	日経・ビジネスプログラム		サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム				
専門科目	専門基礎	A ●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1)	●現代社会事情(2)		8	
	B		中国語基礎演習A(4) 中国語基礎演習B(4)			4	
	中国語	●漢語基礎Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2)	●漢語実践Ⅰ(2) ●漢語実践Ⅱ(2) ●漢語作文Ⅰ(2) ●漢語作文Ⅱ(2)	漢語基礎Ⅲ(2) 漢語基礎Ⅳ(2) 漢語会話Ⅲ(2) 漢語会話Ⅳ(2)	●漢語実践Ⅲ(2) ●漢語実践Ⅳ(2)	中級漢語Ⅰ(2) 中級漢語Ⅱ(2)	20
	英語	英語Ⅰ-a(1) 英語Ⅰ-b(1)	英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅱ-b(1)			4	
	日本語	日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)	日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1)			4	
	コア		●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)			10
	グローバル		●中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)	ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) Advanced Business English a(2) Advanced Business English b(2)	18	
	フィールドワーク		日本研究(2) 北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) ●東アジア研究(2) ●ASEAN研究(2)	中東研究(2) 国際関係概論(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2)	文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)	92	
	中国研究	●中国社会研究入門(2) ●中国現代史研究入門(2)	中国思想研究入門(2) 中国文学研究入門(2) 中国歴史研究入門(2) 中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2)			8	
	中国語・中国文化関連科目		中国語検定対策講座Ⅰ(2) 中国語検定対策講座Ⅱ(2)	文章表現演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2) 口頭表現演習Ⅰ(2) 口頭表現演習Ⅱ(2) 日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2)	日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2) 中国方言基礎演習Ⅰ(2) 中国方言基礎演習Ⅱ(2)	8	
中国語学			中国語文法Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2)	中国語史Ⅰ(2) 中国語史Ⅱ(2)	日中言語対照Ⅰ(2) 日中言語対照Ⅱ(2)	8	
中国文学			現代文学Ⅰ(2) 現代文学Ⅱ(2)	古典文学Ⅰ(2) 古典文学Ⅱ(2)			
中国文化			東アジア比較思想論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2)	中国宗教・文化論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2)			
中国社会			中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2)				
卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	8		
<他学部・他学科開放科目(専門科目)>		*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106					
合計卒業要件単位数(最低)					124		

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)		履修方法			
			社会人*		社会人*		
共通科目	基礎教育 [特別科目]	8	-	必修	全4科目8単位修得 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	(*修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	人間力形成教育	人間形成	4	4	選択必修	人間形成の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
		国際理解	4	4	選択必修	国際理解の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
		社会生活	4	4	選択必修	社会生活の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	キャリア形成教育	6	-	必修	全3科目6単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	(*修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】	6	20	選択	上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	上記共通科目12単位のほかに、共通科目から20単位修得	
	計	32					
専門科目	専門基礎	A	8	必修	専門基礎のA分野から全6科目8単位修得		
		B	4	選択必修	専門基礎のB分野から「中国語基礎演習A」又は「中国語基礎演習B」のいずれか4単位 (*4単位を超えて修得した単位→卒業要件には算入されません。)		
	ILP	中国語	20	必修	中国語から10科目20単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→卒業要件には算入されません。)		
		英語	4	選択必修	母語以外の1言語4科目4単位修得 (*選択した言語以外は履修できません。)		
		日本語	4	選択必修	母語以外の1言語4科目4単位修得 (*選択した言語以外は履修できません。)		
	スタンディング・グローバル・スタディーズ関連科目	コア	10	必修	全5科目10単位修得		
		グローバル	18	選択必修	グローバルから必修8単位を含め18単位修得 (*18単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入)		
		フィールドワーク	-			(*修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入)	
	中国語・中国文化関連科目	中国研究	8	選択必修	中国研究から必修4単位を含め8単位修得 (*8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入)		
		SKILL	8	選択必修	SKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から8単位修得 (*8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入)		
		中国語学					
		中国文学					
		中国文化					
中国社会							
卒業研究	8	必修	全2科目8単位修得				
その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】	4	選択	上記専門科目88単位のほかに、グローバル・スタディーズ関連科目及び中国語・中国文化関連科目から4単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。				
計	92						
合計	124						

*社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生

■ 進級要件

2年(4学期)から3年(5学期)への進級

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の必修科目(「フレッシュパーソンセミナーⅠ(1単位)」及び「フレッシュパーソンセミナーⅡ(1単位)」を含む。)	18単位
「専門科目」の「中国語基礎演習A」又は「中国語基礎演習B」のいずれか4単位	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	8単位
合計	44単位

(社会人を対象とする入学試験制度によって入学した学生)

授業科目等	必要単位数
「専門科目」の必修科目(「フレッシュパーソンセミナーⅠ(1単位)」及び「フレッシュパーソンセミナーⅡ(1単位)」を含む。)	18単位
「専門科目」の「中国語基礎演習A」又は「中国語基礎演習B」のいずれか4単位	4単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	22単位
合計	44単位

11

他学部・他学科開放科目 産学連携教育プログラム

他学部・他学科開放科目の履修

専門領域にとらわれない幅広い分野の中から、目的や興味に応じた学修を通して、より幅広い知識を修得することを目的として、他学部・他学科において開放されている授業科目（開放科目）を履修することができます。

1 履修方法

開放科目一覧から自分の履修したい授業科目を選び、授業担当教員の許可を得た上で履修登録してください。

履修上の注意点

- ① 授業科目によっては、一定の条件を満たさなければ履修できない科目がありますので、授業担当教員の説明や『シラバス』の「履修条件」欄で確認してください。
なお、他学部の『シラバス』は浦安キャンパス公式ホームページ上で閲覧することができます。
- ② 履修に当たっては、必ず授業担当教員の許可を得てください。授業担当教員に無断で登録した場合、単位が認定されないことがあります。
- ③ 下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。
- ④ 学部・学科・専攻・コース・メジャー等により、他学部・他学科開放科目の履修が認められない場合があります。卒業要件単位数に算入される区分等を含め、詳細は教育課程表を確認してください。
- ⑤ 今年度開講されない授業科目については、授業時間割等で確認してください。

2 共通科目【キャリア形成教育】に含めることができる開放科目

開講学科	開放科目 〔 () の数字は単位数〕	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可		
			2025年度	2021～ 2024年度	2020年度 以前
日本語学科	日本研究(2)	2・3・4	●	●	
	東アジア研究(2)	2・3・4	●	●	
	文化講義 I (日本) (2)	2・3・4	●	●	
	文化講義 II (異文化理解) (2)	2・3・4	●	●	
	応用言語学(2)	3・4	●	●	
	社会言語学(2)	3・4	●	●	
	比較文化論(2)	2			●
	日本語教育のための英語(2)	3・4			●
	日本語教育のための中国語(2)	3・4			●
	日本語教育のための韓国語(2)	3・4			●
英米語学科	英語圏の文化と社会(2)	2			●
	英語史(2)	2	●	●	●
	対照言語研究 a (2)	2	●	●	●
	対照言語研究 b (2)	2	●	●	●
	英文法研究 a (2)	2	●	●	●
	英文法研究 b (2)	2	●	●	●
	英米文学史(2)	2			●
	時事英語 a (2)	2	●	●	●
	時事英語 b (2)	2	●	●	●

開講学科	開放科目 〔 () の数字は単位数〕	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可		
			2025年度	2021～ 2024年度	2020年度 以前
英米語学科	Interpreting Skills a (2)	3・4	●	●	●
	Interpreting Skills b (2)	3・4	●	●	●
	Translation Skills a (2)	3・4	●	●	●
	Translation Skills b (2)	3・4	●	●	●
	Advanced Writing Skills a (2)	3・4	●	●	●
	Advanced Writing Skills b (2)	3・4	●	●	●
	Advanced Reading Skills a (2)	3・4	●	●	●
	Advanced Reading Skills b (2)	3・4	●	●	●
	Advanced Listening Skills a (2)	3・4	●	●	●
	Advanced Listening Skills b (2)	3・4	●	●	●
	Discussion & Debate a (2)	3・4	●	●	●
	Discussion & Debate b (2)	3・4	●	●	●
	English for Current Issues a (2)	3・4			●
	English for Current Issues b (2)	3・4			●
	Advanced Business English a (2)	3・4	●	●	●
	Advanced Business English b (2)	3・4	●	●	●
Advanced Research & Presentation Skills(2)	3・4	●	●	●	
中国語学科	中国社会研究入門(2)	1	●	●	●
	中国現代史研究入門(2)	1	●	●	●
	中国思想研究入門(2)	2	●	●	●
	中国文学研究入門(2)	2	●	●	●
	中国歴史研究入門(2)	2	●	●	●
	中国ビジネス入門(2)	2	●	●	●
	中国現代史 I (2)	3・4	●	●	●
	中国現代史 II (2)	3・4	●	●	●
	中国経済 I (2)	3・4	●	●	●
	中国経済 II (2)	3・4	●	●	●
	日中観光実務 I (2)	3・4	●	●	●
	日中観光実務 II (2)	3・4	●	●	●
経済学科	キャリア講座 I (2)	1～4	●	●	●
	キャリア講座 II (2)	1～4	●	●	●
不動産学科	ライフプランと資産形成(2)	1	●		
	不動産実務演習 I (2)	1～4		●	●
	不動産実務演習 II (2)	1～4		●	●

※外国語学部の学科・専攻によっては「共通科目【キャリア形成教育】に含めることができる開放科目」の対象外となる科目があります。詳細は教育課程表等で確認してください。

3 専門科目に含めることができる開放科目

開講学科	開放科目 (()の数字は単位数)	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可		
			2025年度	2021～ 2024年度	2020年度 以前
日本語学科	日本語学概論(2)	1	●	●	●
	日本語表現研究Ⅰ(2)	1	●	●	●
	日本語表現研究Ⅱ(2)	1	●	●	●
	日本語教授法(2)	1	●	●	●
	音声学概論(2)	2	●	●	●
	日本語音声学(2)	2	●	●	●
	日本語文法論Ⅰ(2)	2	●	●	●
	日本語文法論Ⅱ(2)	2	●	●	●
	言語学概論(2)	2	●	●	●
	日本語教材論(2)	2	●	●	●
	検定対策Ⅰ(2)	2	●	●	●
	検定対策Ⅱ(2)	2	●	●	●
	検定対策Ⅲ(2)	2	●	●	●
	検定対策Ⅳ(2)	2	●	●	●
	評価法研究(2)	2	●	●	●
	教案作成研究(2)	2	●	●	●
	日本語教育事情(2)	2	●	●	●
	第二言語習得論(2)	2	●	●	●
	日本語史Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	日本語史Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
日本語教育実習(4)	3・4	●	●	●	
英米語学科	異文化コミュニケーション概論a(2)	1・2	●	●	●
	異文化コミュニケーション概論b(2)	1・2	●	●	●
	英語学概論a(2)	1・2	●	●	●
	英語学概論b(2)	1・2	●	●	●
	英米文学概論a(2)	1・2	●	●	●
	英米文学概論b(2)	1・2	●	●	●
	英語教育学概論a(2)	1・2	●	●	●
	英語教育学概論b(2)	1・2	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅰ-a(2)	3・4	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅰ-b(2)	3・4	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅱ-a(2)	3・4	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅱ-b(2)	3・4	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅲ-a(2)	3・4	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅲ-b(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅰ-a(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅰ-b(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅱ-a(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅱ-b(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅲ-a(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅲ-b(2)	3・4	●	●	●
	文学特講Ⅰ-a(2)	3・4	●	●	●
	文学特講Ⅰ-b(2)	3・4	●	●	●
	文学特講Ⅱ-a(2)	3・4	●	●	●
	文学特講Ⅱ-b(2)	3・4	●	●	●
	文学特講Ⅲ-a(2)	3・4	●	●	●
	文学特講Ⅲ-b(2)	3・4	●	●	●
	中国語学科	中国方言基礎演習Ⅰ(2)	3・4	●	●
中国方言基礎演習Ⅱ(2)		3・4	●	●	●
中国語文法Ⅰ(2)		3・4	●	●	●
中国語文法Ⅱ(2)		3・4	●	●	●
中国語史Ⅰ(2)		3・4	●	●	●
中国語史Ⅱ(2)		3・4	●	●	●
日中言語対照Ⅰ(2)		3・4	●	●	●
日中言語対照Ⅱ(2)	3・4	●	●	●	

開講学科	開放科目 〔 () の数字は単位数〕	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可		
			2025年度	2021～ 2024年度	2020年度 以 前
中国語学科	現当代文学 I (2)	3・4	●	●	●
	現当代文学 II (2)	3・4	●	●	●
	古典文学 I (2)	3・4	●	●	●
	古典文学 II (2)	3・4	●	●	●
	東アジア比較思想論 I (2)	3・4	●	●	●
	東アジア比較思想論 II (2)	3・4	●	●	●
	中国宗教・文化論 I (2)	3・4	●	●	●
	中国宗教・文化論 II (2)	3・4	●	●	●
	中国芸術論 I (2)	3・4			●
	中国芸術論 II (2)	3・4			●
	中国文化体験(2)	3・4			●
経済学科	日本経済論 I (2)	1			●
	日本経済論 II (2)	1			●
	日本経済史(2)	1	●	●	●
	経営史 I (2)	1			●
	経営史 II (2)	1			●
	東洋経済史(2)	1	●	●	●
	経済学史 I (2)	1	●	●	●
	経済学史 II (2)	1	●	●	●
	民法(2)	1	●	●	●
	西洋経済史 I (2)	1	●	●	●
	西洋経済史 II (2)	1	●	●	●
	日本経済論 I (2)	2	●	●	
	日本経済論 II (2)	2	●	●	
	社会保障論 I (2)	2	●	●	●
	社会保障論 II (2)	2	●	●	●
	経営戦略論 I (2)	2	●	●	
	経営戦略論 II (2)	2	●	●	
	環境経済論 I (2)	2			●
	環境経済論 II (2)	2			●
	会社法 I (2)	2	●	●	●
	会社法 II (2)	2	●	●	●
	税法総論(2)	2	●	●	●
	アメリカ経済論 I (2)	2	●	●	●
	アメリカ経済論 II (2)	2	●	●	●
	ヨーロッパ経済論 I (2)	2	●	●	●
	ヨーロッパ経済論 II (2)	2	●	●	●
	アジア経済論 I (2)	2	●	●	●
	アジア経済論 II (2)	2	●	●	●
	サービス経済論 I (2)	2	●	●	●
	サービス経済論 II (2)	2	●	●	●
	地方財政論 I (2)	3・4	●	●	●
	地方財政論 II (2)	3・4	●	●	●
交通経済論 I (2)	3・4	●	●	●	
交通経済論 II (2)	3・4	●	●	●	
マーケティング論 I (2)	3・4	●	●	●	
マーケティング論 II (2)	3・4	●	●	●	
生産管理論 I (2)	3・4	●	●		
生産管理論 II (2)	3・4	●	●		
不動産学科	法と社会 a(2)	2	●		
	法と社会 b(2)	2	●		
	経済と社会 a(2)	2	●		
	経済と社会 b(2)	2	●		
	工学と社会 a(2)	2	●		
	工学と社会 b(2)	2	●		
	不動産の統計(2)	2	●		
	都市と不動産の歴史(2)	2	●		

開講学科	開放科目 〔 () の数字は単位数〕	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可		
			2025年度	2021～ 2024年度	2020年度 以 前
不動産学科	財産法の基礎(2)	1		●	●
	ミクロ経済学(2)	1		●	●
	都市計画の基礎(2)	1～4	●	●	●
	建築一般構造論(2)	1～4	●	●	●
	不動産公法(2)	1		●	●
	不動産学のための数学と統計(2)	2		●	●
	担保物権法(2)	2		●	●
	債権法(4)	2		●	●
	マクロ経済学(2)	2		●	●
	土地と住宅の経済学(2)	2		●	●
	会計学の基礎(2)	2		●	●
	経営分析(2)	2		●	●
	都市計画(2)	2・3・4	●	●	●
	測量と地図(2)	2		●	●
	地籍と不動産登記(2)	2		●	●
	ハウジング論(2)	2・3・4	●	●	●
	物権法(2)	2		●	●
	都市と建築の基本法(2)	2・3・4	●	●	●
	不動産政策史(2)	2		●	●
	建築史(2)	2・3・4	●	●	●
	住宅計画(2)	2・3・4	●	●	●
	不動産数理(2)	2		●	●
	都市と環境の経済学(2)	2		●	●
	不動産鑑定評価論(4)	2		●	●
	借地借家法・区分所有法(2)	3		●	●
	開発行政法(2)	3		●	●
	会社法(2)	3		●	●
	家族法(2)	3		●	●
	不動産トラブルと法(2)	3		●	●
	不動産金融法・不動産税法(2)	3		●	●
	環境法(2)	3・4	●	●	●
	都市と環境の経済学(2)	3		●	●
	不動産金融論(4)	3		●	●
	不動産鑑定評価論(4)	3		●	●
	不動産会計財務論(2)	3		●	●
	不動産ファイナンス(4)	3		●	●
	法と政策の経済学(2)	3		●	●
	不動産経営戦略(2)	3		●	●
	集合住宅管理論(2)	3・4	●	●	●
	不動産経営計画(2)	3・4	●	●	●
	都市開発と社会基盤(2)	3・4	●	●	●
	都市環境と防災(2)	3・4	●	●	●
建築計画(2)	3・4	●	●	●	
建築環境計画(2)	3・4	●	●	●	
建築材料学(2)	3・4	●	●	●	
建築構造計画(2)	3・4	●	●	●	
建築環境デザイン(2)	3・4	●	●	●	
建築設備(2)	3・4	●	●	●	
構造力学Ⅰ(2)	3・4	●	●	●	
構造力学Ⅱ(2)	3・4	●	●	●	
建築生産(2)	4	●	●	●	
HT学科	日本文化論(2)	1～4	●	●	●
	世界遺産論(2)	1～4	●	●	●
	デスティネーション研究A(日本)(2)	1～4	●	●	●
	デスティネーション研究B(ヨーロッパ)(2)	1～4	●	●	●
	デスティネーション研究C(南北アメリカ)(2)	1～4	●	●	●
	デスティネーション研究D(アジア)(2)	1～4	●	●	●
	デスティネーション研究E(オセアニア、太平洋地域)(2)	1～4	●	●	●
	デスティネーション研究F(アフリカ、中東地域等)(2)	1～4	●	●	●
	国際ビジネス関係論(2)	3・4	●	● ^注	●

※グローバル・マネジメント専攻（メジャー）専門科目は、他学部・他学科開放科目の対象外です。
注：2022年度以降入学生のみ

産学連携教育プログラムの履修

産学連携教育プログラムとは、社会との接点、いわば大学教育と企業等社会とのパイプとなるもので、本学の美学教育の一環として開設する美学・実践的なプログラムです。

履修希望者は、必ず4月1日（火）の産学連携教育プログラム履修ガイダンスに出席してください。履修が許可されたプログラムについては、やむを得ない理由を除き、原則として途中で辞退することはできません。

なお、修得単位は、共通科目の「キャリア形成教育」の卒業要件単位に算入されます。詳細は、産学連携教育プログラム履修ガイダンス時に配布される資料及び『シラバス』で確認してください。

1 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム

株式会社ANA総合研究所との連携によるプログラムです。国際的な視野に立ったツーリズム、CS（顧客満足）及びサービスに関する美学知識・スキルを修得することを目的としています。

授業科目名（単位数）		年次
ツーリズム（観光）	ツーリズム概論(2)	2
	航空サービス論(2)	2
	フライトアテンダント・グラウンドスタッフ研究(2)	2
	エアライン概論(2) *2025年度新規開講	2
CS（顧客満足）・サービス	ホスピタリティ論Ⅰ（ホスピタリティ基礎・マナー演習）(2) *2025年度新規開講	2
	ホスピタリティ論Ⅱ（ホスピタリティと産業）(2)	2

【履修方法】

- 1 産学連携教育プログラム履修ガイダンスに出席し、「履修希望カード」を提出する。
- 2 履修希望科目の初回授業に出席する。
- 3 履修登録期間中にWebポータルシステムで履修登録を行う。

注意 2025年度から「ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。2024年度まで開講していた科目「ホスピタリティ論Ⅰ（ホスピタリティ基礎）」及び「ホスピタリティ論Ⅲ（ホスピタリティ・マナー演習）」の単位を既に修得している場合、2025年度新規開講科目「ホスピタリティ論Ⅰ（ホスピタリティ基礎・マナー演習）」は履修できません。

2 ビジネスコミュニケーションプログラム

【先着順／定員各回20名】

本プログラムは、人間関係構築の視点からマナーと日本語によるコミュニケーションについて学び、人間が人間らしく生き、日常生活をスムーズに送り、そしてビジネスの世界においては安心と信頼から成る人間関係を構築するためのスキルを修得することを目的としたプログラムです。

授業科目名（単位数）	年次
ビジネスコミュニケーションA(1)	1
ビジネスコミュニケーションB(1)	1

【履修方法】

- 1 手続期間等（前学期）
第1・2回 4月5日（土）から先着順
第3回 7月4日（金）から先着順
※各回の日程等の詳細については、掲示等で確認してください。
- 2 取扱窓口
学事課（教務担当）窓口

注意 1 後学期開講スケジュール等については、後学期の授業開始前に掲示します。

注意 2 授業内容はA・B同一で、2科目2単位（2回）まで受講できます。

注意 3 本プログラムの単位数は、履修単位数の上限には含まれません。

注意 4 スケジュール上、4年（8学期）の学生は単位の認定を受けることができない回がありますので掲示等をよく確認してください。

3 野村証券ファイナンスプログラム（寄附講座）

【選抜／定員50名】

野村証券株式会社との連携による寄附講座です。日常生活を取り巻く環境が著しく変化している中、「自己責任の原則」の下、一般生活者・消費者又は貯蓄・投資者として賢くふるまうためのファイナンスに関する実践的な知識を修得することができます。野村証券株式会社の現役スタッフが証券市場の話題を中心に授業を行います。

授業科目名（単位数）	年次
資本市場の役割と証券投資（2）	2

【履修方法】

- 1 産学連携教育プログラム履修ガイダンスに出席し、「履修希望カード」を提出する。
- 2 履修希望科目の初回授業に出席する。
- 3 履修登録期間中にWebポータルシステムで履修登録を行う。

参考 野村証券ファイナンスプログラム【2021年度まで】

授業科目名（単位数）	年次
〈野村証券提供科目〉 資本市場の役割と証券投資（2）	2
〈明海大学開設科目〉 証券投資シミュレーション（2）	2

注意 2022年度から「野村証券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資（2単位）」及び「証券投資シミュレーション（2単位）」〕の単位を修得している場合、「野村証券ファイナンスプログラム（寄附講座）」は履修できません。

4 日経・ビジネスプログラム

日経メディアプロモーション株式会社との連携によるプログラムです。

授業科目名（単位数）	年次
日経・ビジネスプログラム（4）	2

5 サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム

【選抜／定員2名】

株式会社サイマル・インターナショナルとの連携による英語通訳者養成のプログラムです。同社が開設しているサイマル・アカデミーの通訳コースに入り本格的な通訳スキルを修得するもので、サイマル・アカデミーの授業料等の減免及び本学からの奨学金の給付制度があります。また、本プログラムを履修する希望者は、通訳業務に関連したインターンシップを行うことができます。

なお、2025年度については、10月入学（履修）の募集となります。詳細については、掲示を確認してください。

サイマルにおける対応コース及びクラス等（英語コース）	本学における単位認定科目名（単位数）	
サイマル・インターナショナルにおける通訳補助業務研修	サイマル・インターンシップ（2）	
通訳コース （それぞれ週4時間 半年）	通訳Ⅰ	通訳入門Ⅰ（英語）（4）
	通訳Ⅱ	通訳入門Ⅱ（英語）（4）
	通訳Ⅲ	逐次通訳基礎Ⅰ（英語）（4）
	通訳Ⅳ	逐次通訳基礎Ⅱ（英語）（4）

12 教職課程

1 趣 旨

教育職員として、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校において教育に携わろうとする者は、教育職員免許法に基づき、教育職員免許状を有していなければなりません。

本学部には、卒業後教育職員を志望する者のために教職課程が設置されています。

2 取得できる免許状の種類

学 科	取得できる免許状	免許教科
日 本 語 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国 語 国 語
英 米 語 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語 英 語
中 国 語 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	中国語 中国語

3 免許状の授与条件

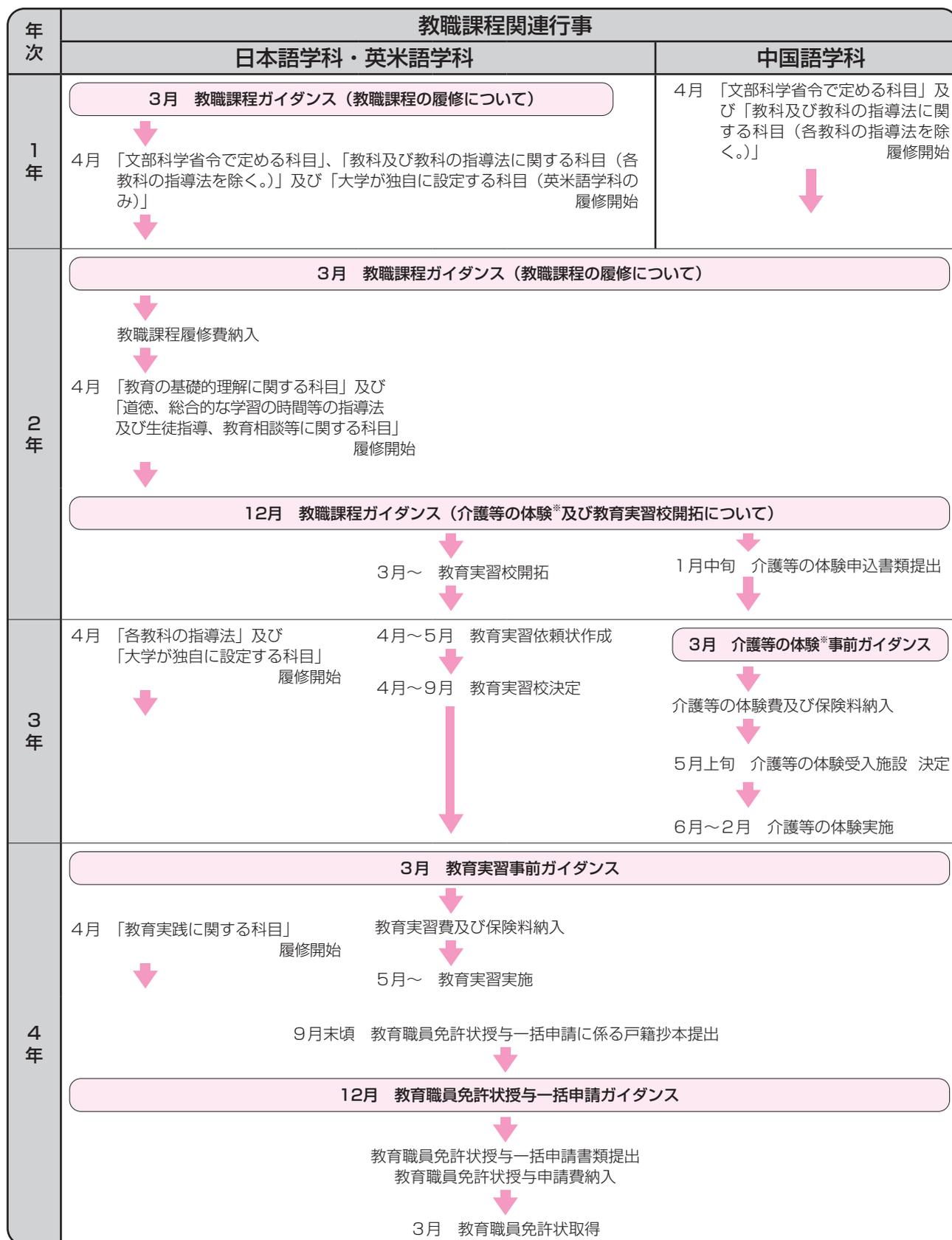
本学部において免許状を取得するためには、卒業に必要な単位のほかに、取得希望する免許状に応じた教職課程科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。

参照→「教職課程表」

4 教職課程の履修

教職課程は、入学年度や所属する学科によって履修方法等が異なります。履修希望者は、該当する学年の「教職課程ガイダンス」に出席し、「教職課程表」を確認の上、学修の負担等を考えながら計画的に履修してください。
※免許状を取得するためには、2年次の専攻選択において日本語専攻、英米語専攻及び中国語専攻を選択する必要があります。

5 教職課程の履修開始から教育職員免許状取得まで



※中学校教諭一種免許状取得希望者のみ

注意1 教職課程ガイダンスでは、教職課程を履修する上で重要な事項の説明がありますので、履修者（履修希望者）は必ず出席してください。なお、詳しい日程等については、教職課程履修の手引及び掲示等で確認してください。

注意2 教育職員免許状を取得するために、教育職員免許状一括申請ガイダンスに先立ち、4年次の9月末頃に戸籍抄本を提出する必要があります。詳しい日程等については掲示で確認してください。

6 教職課程表

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			本学で定める授業科目等							履修方法等					
		単位数		授業科目	単位数	配当年次				最低修得単位数					
		中	高			必修	選択	1	2	3	4		中	高	
文部科学省令で定める科目	日本国憲法	2	2	日本国憲法	2		○	○	○	○	2	2	次のとおり修得しなければならない。 1 日本国憲法2単位 2 体育から2単位 3 外国語コミュニケーションから2単位 4 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作2単位		
	体育	2	2	スポーツ科学講義A	2	○	○	○	○		2	2			
				スポーツ科学講義B	2	○	○	○	○		2	2			
				スポーツ科学演習A	2	○	○	○	○						
				スポーツ科学演習B	2	○	○	○	○						
外国語コミュニケーション	2	2	英語Ⅰ-a	1	○										
			英語Ⅰ-b	1	○										
			英語Ⅱ-a	1	○										
			英語Ⅱ-b	1	○										
			英語Ⅲ-a	1		○									
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	2	学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)	2		○									
教科及び教科の専門的指導法に関する科目	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	1以上	1以上	日本語表現研究Ⅰ	2	○							1 中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり54単位以上修得しなければならない。 (1) 国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。) から必修6単位を含め22単位以上 (2) 国文学 (国文学史を含む。) から必修2単位を含め8単位以上 (3) 漢文学から必修2単位を含め4単位以上 (4) 書道4単位 (5) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目8単位 (6) 各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。) 8単位 2 高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり48単位以上修得しなければならない。 (1) 国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。) から必修6単位を含め22単位以上 (2) 国文学 (国文学史を含む。) から必修2単位を含め8単位以上 (3) 漢文学から必修2単位を含め6単位以上 (4) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目8単位 (5) 各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。) から国語科教育法Ⅰ及び国語科教育法Ⅱの2科目、計4単位		
				日本語表現研究Ⅱ	2	○									
				日本語学概論	2	○									
				日本語文法論Ⅰ	2		○								
				日本語文法論Ⅱ	2		○								
				日本語教育概論	2	○									
				日本語史Ⅰ	2			○	○					22	22
				音声学概論	2			○							
				日本語音声学	2			○							
				日本語学基礎演習	2			○							
	言語学概論	2			○										
	敬語表現法	2			○										
	表記法概論	2			○										
	日本文学史	2					○	○							
	国文学 (国文学史を含む。)	1以上	1以上	近現代文学	2			○	○					8	8
古典概説				2			○	○							
古典演習				2			○	○							
漢文学	1以上	1以上	漢語講義	2			○								
			漢文学演習Ⅰ	2			○	○					4	6	
			漢文学演習Ⅱ	2			○	○							
書道 (書写を中心とする。)	1以上	-	▲書道Ⅰ	2			○						4	-	
			▲書道Ⅱ	2			○								
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	-	-	教職基礎セミナーⅠ (国語科)	2		○									
			教職基礎セミナーⅡ (国語科)	2		○									
			教職基礎セミナーⅢ (国語科)	2		○									
			教職基礎セミナーⅣ (国語科)	2		○									
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	8以上	4以上	国語科教育法Ⅰ	2				○							
			国語科教育法Ⅱ	2				○							
			▲国語科教育法Ⅲ	2				○							
			▲国語科教育法Ⅳ	2				○							
教科及び教科の指導法に関する科目最低修得単位数			28	24							54	48			
教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2			○							1 中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり31単位修得しなければならない。 (1) 教育の基礎的理解に関する科目12単位 (2) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目12単位 (3) 教育実践に関する科目7単位	
			教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	2			○								
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	2				○							
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2				○							
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2					○						
			教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	2					○						
道徳、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	10	8	▲道徳教育の理論と実践	2			○						2 高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり27単位修得しなければならない。 (1) 教育の基礎的理解に関する科目12単位 (2) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目から、「総合的な学習の時間」の指導法、特別活動論、教育方法論、生徒指導・進路指導論、教育相談の5科目、計10単位 (3) 教育実践に関する科目から、教育実習Ⅰ及び教職実践演習 (中・高) の2科目、計5単位		
			「総合的な学習の時間」の指導法	2				○							
			特別活動論	2				○							
			教育方法論	2					○						
			生徒指導・進路指導論	2						○					
			教育相談	2							○				
教育実践に関する科目	7	5	教育実習Ⅰ	3					○						
			▲教育実習Ⅱ	2						○					
			教職実践演習 (中・高)	2							○				
大学が独自に設定する科目			4	12	教職インターンシップ	4				○	-	-	教育職員免許法施行規則に規定する大学が独自に設定する科目の必要単位数 (中：4単位、高：12単位) は、本学で定める授業科目等の教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数の修得をもってこれに充てる。		
備考	▲：中学校教諭一種免許状取得希望者は必修 中：中学校教諭一種免許状 高：高等学校教諭一種免許状 注1：下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。 注2：必修・選択の区分及び最低修得単位数は卒業要件とは異なります。 注3：中・高両方の免許状取得希望者は、両方の取得要件を満たすよう履修してください。														

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			本学で定める授業科目等								履修方法等		
		単位数		授業科目	単位数	配当年次				最低修得単位数			
		中	高			1	2	3	4	中	高		
文部科学省令で定める科目	日本国憲法	2	2	日本国憲法	2		○	○	○	○	2	2	次のとおり修得しなければならない。 1 日本国憲法2単位 2 体育から2単位 3 外国語コミュニケーションから2単位 4 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作2単位
	体育	2	2	スポーツ科学講義A	2	○	○	○	○				
				スポーツ科学講義B	2	○	○	○	○				
				スポーツ科学演習A	2	○	○	○	○				
				スポーツ科学演習B	2	○	○	○	○				
外国語コミュニケーション	2	2	英語Ⅰ-a	1	○								
			英語Ⅰ-b	1	○								
			英語Ⅱ-a	1	○								
			英語Ⅱ-b	1	○								
			英語Ⅲ-a	1		○							
英語Ⅲ-b	1		○										
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	2	学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)	2		○							
教科に 関する 専門的 指導的 事項 に関する 科目	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	1 以上	1 以上	日本語表現研究Ⅰ	2	○							1 中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり54単位以上修得しなければならない。 (1) 国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。) から必修6単位を含め22単位以上 (2) 国文学 (国文学史を含む。) から必修2単位を含め8単位以上 (3) 漢文学から必修2単位を含め4単位以上 (4) 書道4単位 (5) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目8単位 (6) 各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。) 8単位 2 高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり48単位以上修得しなければならない。 (1) 国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。) から必修6単位を含め22単位以上 (2) 国文学 (国文学史を含む。) から必修2単位を含め8単位以上 (3) 漢文学から必修2単位を含め6単位以上 (4) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目8単位 (5) 各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。) から国語科教育法Ⅰ及び国語科教育法Ⅱの2科目、計4単位
				日本語表現研究Ⅱ	2	○							
				日本語学概論	2	○							
				日本語文法論Ⅰ	2		○						
				日本語文法論Ⅱ	2		○						
				日本語教育概論	2	○							
				日本語史Ⅰ	2			○	○				
				音声学概論	2			○					
				日本語音声学	2			○					
				日本語学基礎演習	2			○					
	言語学概論	2			○								
	敬語表現法	2			○								
	表記法概論	2			○	○							
	日本文学史	2					○	○					
	近現代文学	2					○	○					
国文学 (国文学史を含む。)	1 以上	1 以上	古典概説	2			○	○					
			古典演習	2			○	○					
			日本語講読Ⅰ	2			○	○					
			日本語講読Ⅱ	2			○	○					
漢文学	1 以上	1 以上	漢文学概論	2			○						
			漢文学講義	2			○						
			漢文学演習Ⅰ	2			○	○					
			漢文学演習Ⅱ	2			○	○					
書道 (書写を中心とする。)	1 以上	-	▲書道Ⅰ	2			○						
			▲書道Ⅱ	2			○						
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	-	-	教職基礎セミナーⅠ (国語科)	2		○							
			教職基礎セミナーⅡ (国語科)	2		○							
			教職基礎セミナーⅢ (国語科)	2			○						
			教職基礎セミナーⅣ (国語科)	2			○						
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	8 以上	4 以上	国語科教育法Ⅰ	2				○					
			国語科教育法Ⅱ	2					○				
			▲国語科教育法Ⅲ	2						○			
			▲国語科教育法Ⅳ	2							○		
教科及び教科の指導法に関する科目最低修得単位数			28	24							54	48	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	2		○						1 中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり31単位修得しなければならない。 (1) 教育の基礎的理解に関する科目12単位 (2) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目12単位 (3) 教育実践に関する科目7単位
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)			教師論	2		○						
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行政学	2			○					
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2			○					
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	2				○				
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	2			○					
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法			▲道徳教育の理論と実践	2			○					
生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	10	8	「総合的な学習の時間」の指導法	2			○				2 高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり27単位修得しなければならない。 (1) 教育の基礎的理解に関する科目12単位 (2) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目から、「総合的な学習の時間」の指導法、特別活動論、教育方法論、生徒指導・進路指導論、教育相談の5科目、計10単位 (3) 教育実践に関する科目から、教育実習Ⅰ及び教職実践演習 (中・高) の2科目、計5単位	
	特別活動の指導法			特別活動論	2			○					
	教育の方法及び技術			教育方法論	2			○					
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			生徒指導・進路指導論	2				○				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			教育相談	2					○			
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法			教育実習Ⅰ	3					○			
	教育実習			▲教育実習Ⅱ	2					○			
教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2					○						
大学が独自に設定する科目	4	12	教職インターンシップ	4			○	○	-	-	教育職員免許法施行規則に規定する大学が独自に設定する科目の必要単位数 (中: 4単位、高: 12単位) は、本学で定める授業科目等の教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数の修得をもってこれに充てる。		
備考	▲: 中学校教諭一種免許状取得希望者は必修 注1: 下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。 注2: 必修・選択の区分及び最低修得単位数は卒業要件とは異なります。 注3: 中・高両方の免許状取得希望者は、両方の取得要件を満たすよう履修してください。												

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			本学で定める授業科目等										履修方法等	
			単位数		授業科目	配当年次				最低修得単位数				
中	高	2	2	必修		選択	1	2	3	4	中	高		
					文部科学省令で定める科目								日本国憲法	2
体育	2	2	スポーツ科学講義A	2		○	○	○	○	2	2			
			スポーツ科学講義B	2		○	○	○	○					
			スポーツ科学演習A	2		○	○	○	○					
			スポーツ科学演習B	2		○	○	○	○					
外国語コミュニケーション	2	2	英語Ⅰ-a	1		○				2	2			
			英語Ⅰ-b	1	○									
			英語Ⅱ-a	1	○									
			英語Ⅱ-b	1	○									
			英語Ⅲ-a	1	○									
情報機器の操作	2	2	学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)	2	○				2	2				
教科及び教科の専門的指導法に関する科目	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	1以上	1以上	日本語表現研究Ⅰ	2	○				22	22	1 中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり54単位以上修得しなければならない。 (1) 国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)から必修6単位を含め22単位以上 (2) 国文学(国文学史を含む。)から必修2単位を含め8単位以上 (3) 漢文学から必修2単位を含め4単位以上 (4) 書道4単位 (5) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目8単位 (6) 各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)8単位 2 高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり48単位以上修得しなければならない。 (1) 国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)から必修6単位を含め22単位以上 (2) 国文学(国文学史を含む。)から必修2単位を含め8単位以上 (3) 漢文学から必修2単位を含め6単位以上 (4) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目8単位 (5) 各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)から国語科教育法Ⅰ及び国語科教育法Ⅱの2科目、計4単位		
				日本語表現研究Ⅱ	2	○								
				日本語学概論	2	○								
				日本語文法論Ⅰ	2	○								
				日本語文法論Ⅱ	2	○								
				日本語教育概論	2	○								
				日本語史Ⅰ	2		○	○						
				音声学概論	2		○							
				日本語音声学	2		○							
				日本語学基礎演習	2		○							
	言語学概論	2		○										
	敬語表現法	2		○										
	表記法概論	2			○	○								
	日本文学史	2			○	○								
	近現代文学	2			○	○								
	古典概説	2			○	○								
	古典演習	2			○	○								
	日本語講読Ⅰ	2			○	○								
	日本語講読Ⅱ	2			○	○								
	国文学 (国文学史を含む。)	1以上	1以上	漢文学概論	2		○			8	8			
漢文学講義				2		○								
漢文学演習Ⅰ				2			○	○						
漢文学演習Ⅱ				2			○	○						
漢文学	1以上	1以上	▲書道Ⅰ	2		○			4	6				
			▲書道Ⅱ	2		○								
書道 (書写を中心とする。)	1以上	-	教職基礎セミナーⅠ(国語科)	2		○			8	8				
			教職基礎セミナーⅡ(国語科)	2		○								
			教職基礎セミナーⅢ(国語科)	2			○							
			教職基礎セミナーⅣ(国語科)	2			○							
			国語科教育法Ⅰ	2			○							
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	-	-	国語科教育法Ⅱ	2			○		8	8				
			▲国語科教育法Ⅲ	2			○							
			▲国語科教育法Ⅳ	2			○							
			国語科教育法Ⅱ	2			○							
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8以上	4以上	国語科教育法Ⅱ	2			○		8	4				
			▲国語科教育法Ⅲ	2			○							
教科及び教科の指導法に関する科目最低修得単位数			28	24							54	48		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	10	教育原理	2		○			12	12	1 中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり31単位修得しなければならない。 (1) 教育の基礎的理解に関する科目12単位 (2) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目12単位 (3) 教育実践に関する科目7単位 2 高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり27単位修得しなければならない。 (1) 教育の基礎的理解に関する科目12単位 (2) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目から、「総合的な学習の時間」の指導法、特別活動論、教育方法論、生徒指導・進路指導論、教育相談の5科目、計10単位 (3) 教育実践に関する科目から、教育実習Ⅰ及び教職実践演習(中・高)の2科目、計5単位		
				教師論	2		○							
				教育行政学	2			○						
				教育心理学	2			○						
				特別支援教育論	2				○					
				教育課程論	2			○						
				道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	10	8	▲道徳教育の理論と実践	2					○
「総合的な学習の時間」の指導法	2							○						
特別活動論	2							○						
教育方法論	2							○						
生徒指導・進路指導論	2								○					
教育相談	2								○					
教育実践に関する科目	教育実習 教職実践演習	7	5	教育実習Ⅰ	3				○	7	5			
				▲教育実習Ⅱ	2				○					
				教職実践演習(中・高)	2				○					
大学が独自に設定する科目			4	12	教職インターンシップ	4		○	○	-	-	教育職員免許法施行規則に規定する大学が独自に設定する科目の必要単位数(中:4単位、高:12単位)は、本学で定める授業科目等の教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数の修得をもってこれに充てる。		
備考			▲: 中学校教諭一種免許状取得希望者は必修 中: 中学校教諭一種免許状 高: 高等学校教諭一種免許状 注1: 下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。 注2: 必修・選択の区分及び最低修得単位数は卒業要件とは異なります。 注3: 中・高両方の免許状取得希望者は、両方の取得要件を満たすよう履修してください。											

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			本学で定める授業科目等								履修方法等			
		単位数		授業科目	単位数	配当年次				最低修得単位数				
		中	高			必修	選択	1	2	3	4		中	高
文部科学省で定める科目	日本国憲法	2	2	日本国憲法	2		○	○	○	○	2	2	次のとおり修得しなければならない。 1 日本国憲法2単位 2 体育から2単位 3 外国語コミュニケーションから2単位 4 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作2単位	
	体育	2	2	スポーツ科学講義A	2	○	○	○	○					
				スポーツ科学講義B	2	○	○	○	○					
				スポーツ科学演習A	2	○	○	○	○					
外国語コミュニケーション	2	2	Integrated English I	2	○									
			Listening I-a	1	○									
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	2	Listening I-b	1	○									
			学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)	2	○									
教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	1以上	1以上	英語学概論 a	2	○	○						1 中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり42単位以上修得しなければならない。 (1) 英語学から必修12単位を含め16単位以上 (2) 英語文学から英米文学概論a又は英米文学概論bのいずれか2単位を含め4単位以上 (3) 英語コミュニケーション4単位 (4) 異文化理解から2単位以上 (5) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目8単位 (6) 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)8単位 2 高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり38単位以上修得しなければならない。 (1) 英語学から必修12単位を含め16単位以上 (2) 英語文学から英米文学概論a又は英米文学概論bのいずれか2単位を含め4単位以上 (3) 英語コミュニケーション4単位 (4) 異文化理解から2単位以上 (5) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目8単位 (6) 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)から英語科教育法Ⅰ及び英語科教育法Ⅱの2科目、計4単位	
				英語学概論 b	2	○	○							
				英語教育学概論 a	2	○	○							
				英語教育学概論 b	2	○	○							
				英語音声学 a	2		○	○	○					
				英語音声学 b	2		○	○	○					
	英語文学	1以上	1以上	英語史	2		○	○	○					
				英米文学概論 a	2	○	○							
	英語コミュニケーション	1以上	1以上	英米文学概論 b	2	○	○							
				文学特講Ⅱ-a	2			○	○					
	異文化理解	1以上	1以上	文学特講Ⅱ-b	2			○	○					
				Integrated English IV	2			○	○					
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	1	1	Writing Ⅱ-a	1			○	○						
			Writing Ⅱ-b	1			○	○						
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8以上	4以上	異文化コミュニケーション概論 a	2	○	○								
			異文化コミュニケーション概論 b	2	○	○								
教科及び教科の指導法に関する科目最低修得単位数	28	24	教職基礎セミナーⅠ(英語科)	2	○									
			教職基礎セミナーⅡ(英語科)	2	○									
			教職基礎セミナーⅢ(英語科)	2			○							
			教職基礎セミナーⅣ(英語科)	2			○							
英語科教育法Ⅰ	2		英語科教育法Ⅱ	2			○							
			▲英語科教育法Ⅲ	2			○							
▲英語科教育法Ⅳ	2		▲英語科教育法Ⅳ	2			○							
教科及び教科の指導法に関する科目最低修得単位数			28	24								42	38	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	10	教育原理	2		○						1 中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり31単位修得しなければならない。 (1) 教育の基礎的理解に関する科目12単位 (2) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目12単位 (3) 教育実践に関する科目7単位 2 高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり27単位修得しなければならない。 (1) 教育の基礎的理解に関する科目12単位 (2) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目から、「総合的な学習の時間」の指導法、特別活動論、教育方法論、生徒指導・進路指導論、教育相談の5科目、計10単位 (3) 教育実践に関する科目から、教育実習Ⅰ及び教職実践演習(中・高)の2科目、計5単位	
				教師論	2		○							
				教育行政学	2			○						
				教育心理学	2		○							
				特別支援教育論	2			○						
				教育課程論	2		○							
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習(探究)の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリング)に関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	10	8	▲道徳教育の理論と実践	2	○								
				「総合的な学習の時間」の指導法	2		○							
				特別活動論	2		○							
				教育方法論	2		○							
				生徒指導・進路指導論	2		○							
				教育相談	2			○						
教育実践に関する科目	教育実習 教職実践演習	7	5	教育実習Ⅰ	3			○						
				▲教育実習Ⅱ	2			○						
大学が独自に設定する科目		4	12	教職インターンシップ	4				○					
				Four Skills for Teaching a	2			○	○					
				Four Skills for Teaching b	2			○	○	○				
				小学校英語基礎概論Ⅰ	2	○	○	○	○					
				小学校英語基礎概論Ⅱ	2	○	○	○	○					
備考	▲：中学校教諭一種免許状取得希望者は必修 中：中学校教諭一種免許状 高：高等学校教諭一種免許状 注1：下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。 注2：必修・選択の区分及び最低修得単位数は卒業要件とは異なります。 注3：中・高両方の免許状取得希望者は、両方の取得要件を満たすよう履修してください。													

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			本学で定める授業科目等							履修方法等					
	単位数	中 高	授 業 科 目	単位数	配当年次				最低修得単位数						
					必修	選択	1	2	3		4	中	高		
文部科学省で定める科目	日本国憲法	2	2	日本国憲法	2			○	○	○	○	2	2	次のとおり修得しなければならない。 1 日本国憲法2単位 2 体育から2単位 3 外国語コミュニケーションから2単位 4 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作2単位	
	体育	2	2	スポーツ科学講義A	2			○	○	○	○				
				スポーツ科学講義B	2			○	○	○	○				
				スポーツ科学演習A	2			○	○	○	○				
				スポーツ科学演習B	2			○	○	○	○				
外国語コミュニケーション	2	2	Integrated English I	2			○								
			Listening I-a		1	○									
			Listening I-b		1	○									
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	2	2	2			○								
教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	1以上	1以上	英語学概論 a	2			○	○			16	16	1 中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり42単位以上修得しなければならない。 (1) 英語学から必修12単位を含め16単位以上 (2) 英語文学から英米文学概論a又は英米文学概論bのいずれか2単位を含め4単位以上 (3) 英語コミュニケーション4単位 (4) 異文化理解から2単位以上 (5) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目8単位 (6) 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)8単位 2 高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり38単位以上修得しなければならない。 (1) 英語学から必修12単位を含め16単位以上 (2) 英語文学から英米文学概論a又は英米文学概論bのいずれか2単位を含め4単位以上 (3) 英語コミュニケーション4単位 (4) 異文化理解から2単位以上 (5) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目8単位 (6) 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)から英語科教育法I及び英語科教育法IIの2科目、計4単位	
				英語学概論 b	2			○	○						
				英語教育学概論 a	2			○	○						
				英語教育学概論 b	2			○	○						
				英語音声学 a	2			○	○	○	○				
				英語音声学 b	2			○	○	○	○				
	英語文学	1以上	1以上	英語史	2			○	○	○		4	4		
				英米文学概論 a	2			○	○						
				英米文学概論 b	2			○	○						
	英語コミュニケーション	1以上	1以上	英語教育特講 I-a	2				○	○		4	4		
				英語教育特講 I-b	2				○	○					
	異文化理解	1以上	1以上	異文化コミュニケーション概論 a	2			○	○			2	2		
				異文化コミュニケーション概論 b	2			○	○						
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	—	—	—	—										
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8以上	4以上	—	—										
教科及び教科の指導法に関する科目最低修得単位数	28	24	—	—								42	38		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	2			○				12	12	1 中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり31単位修得しなければならない。 (1) 教育の基礎的理解に関する科目12単位 (2) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目12単位 (3) 教育実践に関する科目7単位	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教師論	2			○							
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行政学	2				○						
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2				○						
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	2					○					
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	2				○						
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	▲道徳教育の理論と実践	2			○			12	10	2 高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり27単位修得しなければならない。 (1) 教育の基礎的理解に関する科目12単位 (2) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目から、「総合的な学習の時間」の指導法、特別活動論、教育方法論、生徒指導・進路指導論、教育相談の5科目、計10単位 (3) 教育実践に関する科目から、教育実習I及び教職実践演習(中・高)の2科目、計5単位		
	総合的な学習の時間の指導法			「総合的な学習の時間」の指導法	2				○						
	特別活動の指導法			特別活動論	2				○						
	教育の方法及び技術			教育方法論	2				○						
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			生徒指導・進路指導論	2					○					
	生徒指導の理論及び方法			教育相談	2					○					
教育実践に関する科目	教育実習	7	5	教育実習 I	3					○	7	5			
	教職実践演習			▲教育実習 II	2					○					
	教職実践演習(中・高)			2						○					
大学が独自に設定する科目	4	12	教職インターンシップ	4				○	○		4	4	教育職員免許法施行規則に規定する大学が独自に設定する科目の必要単位数(中:4単位、高:12単位)は、本学で定める授業科目等の教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数の修得をもってこれに充てる。 さらに、Four Skills for Teaching a及びFour Skills for Teaching bの必修2科目、計4単位以上修得しなければならない。		
			Four Skills for Teaching a	2					○	○					
			Four Skills for Teaching b	2						○				○	
			小学校英語基礎概論 I	2				○	○	○				○	
			小学校英語基礎概論 II	2					○	○				○	
備 考	▲: 中学校教諭一種免許状取得希望者は必修 中: 中学校教諭一種免許状 高: 高等学校教諭一種免許状 注1: 下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。 注2: 必修・選択の区分及び最低修得単位数は卒業要件とは異なります。 注3: 中・高両方の免許状取得希望者は、両方の取得要件を満たすよう履修してください。														

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			本学で定める授業科目等							履修方法等				
	単位数		授業科目	単位数	配当年次				最低修得単位数					
	中	高			必修	選択	1	2	3		4	中	高	
文部科学省令で定める科目	日本国憲法	2	2	日本国憲法	2		○	○	○	○	○	2	2	次のとおり修得しなければならない。 1 日本国憲法2単位 2 体育から2単位 3 外国語コミュニケーションから2単位 4 情報機器の操作2単位
	体育	2	2	スポーツ科学講義A	2		○	○	○	○				
				スポーツ科学講義B	2		○	○	○	○				
				スポーツ科学演習A	2		○	○	○	○				
				スポーツ科学演習B	2		○	○	○	○				
外国語コミュニケーション	2	2	Integrated English I	2		○								
			Listening I-a	1		○								
			Listening I-b	1		○								
情報機器の操作	2	2	2	学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)	2		○							
教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	1以上	1以上	英語学概論 a	2		○	○						1 中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり42単位以上修得しなければならない。 (1) 英語学から必修12単位を含め16単位以上 (2) 英語文学から英米文学概論a又は英米文学概論bのいずれか2単位を含め4単位以上 (3) 英語コミュニケーション4単位 (4) 異文化理解から2単位以上 (5) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目8単位 (6) 各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)8単位 2 高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり38単位以上修得しなければならない。 (1) 英語学から必修12単位を含め16単位以上 (2) 英語文学から英米文学概論a又は英米文学概論bのいずれか2単位を含め4単位以上 (3) 英語コミュニケーション4単位 (4) 異文化理解から2単位以上 (5) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目8単位 (6) 各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)から英語科教育法Ⅰ及び英語科教育法Ⅱの2科目、計4単位
				英語学概論 b	2		○	○						
				英語教育学概論 a	2		○	○						
				英語教育学概論 b	2		○	○						
				英語音声学 a	2				○	○	○			
				英語音声学 b	2				○	○	○			
	英語文学	1以上	1以上	英語史	2			○	○	○				
				英語教育特講Ⅰ-a	2				○	○				
				英語教育特講Ⅰ-b	2				○	○				
				英米文学概論 a	2		○	○						
英語コミュニケーション	1以上	1以上	英米文学概論 b	2		○	○							
			文学特講Ⅱ-a	2				○	○					
異文化理解	1以上	1以上	文学特講Ⅱ-b	2				○	○					
			Integrated EnglishⅣ	2				○						
教科及び教科の指導法に関する科目	1以上	1以上	WritingⅡ-a	1				○						
			WritingⅡ-b	1				○						
教科及び教科の指導法に関する科目	1以上	1以上	異文化コミュニケーション概論 a	2		○	○							
			異文化コミュニケーション概論 b	2		○	○							
教科及び教科の指導法に関する科目	1以上	1以上	教職基礎セミナーⅠ(英語科)	2		○								
			教職基礎セミナーⅡ(英語科)	2		○								
教科及び教科の指導法に関する科目	1以上	1以上	教職基礎セミナーⅢ(英語科)	2			○							
			教職基礎セミナーⅣ(英語科)	2			○							
教科及び教科の指導法に関する科目	1以上	1以上	英語科教育法Ⅰ	2				○						
			英語科教育法Ⅱ	2				○						
教科及び教科の指導法に関する科目	1以上	1以上	▲英語科教育法Ⅲ	2				○						
			▲英語科教育法Ⅳ	2				○						
教科及び教科の指導法に関する科目最低修得単位数			28	24					42	38				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	10	教育原理	2			○						1 中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり31単位修得しなければならない。 (1) 教育の基礎的理解に関する科目12単位 (2) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目12単位 (3) 教育実践に関する科目7単位 2 高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり27単位修得しなければならない。 (1) 教育の基礎的理解に関する科目12単位 (2) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目から、「総合的な学習の時間」の指導法、特別活動論、教育方法論、生徒指導・進路指導論、教育相談の5科目、計10単位 (3) 教育実践に関する科目から、教育実習Ⅰ及び教職実践演習(中・高)の2科目、計5単位
				教師論	2			○						
				教育行政学	2				○					
				教育心理学	2			○						
				特別支援教育論	2					○				
				教育課程論	2			○						
道徳、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	10	8	▲道徳教育の理論と実践	2		○							
				「総合的な学習の時間」の指導法	2			○						
				特別活動論	2			○						
				教育方法論	2			○						
				生徒指導・進路指導論	2				○					
				教育相談	2					○				
教育実践に関する科目	教育実習 教職実践演習	7	5	教育実習Ⅰ	3				○					
				▲教育実習Ⅱ	2					○				
				教職実践演習(中・高)	2						○			
大学が独自に設定する科目		4	12	教職インターンシップ	4			○	○				教育職員免許法施行規則に規定する大学が独自に設定する科目の必要単位数(中:4単位、高:12単位)は、本学で定める授業科目等の教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数の修得をもってこれに充てる。 さらに、Four Skills for Teaching a及びFour Skills for Teaching bの必修2科目、計4単位以上修得しなければならない。	
				Four Skills for Teaching a	2				○	○				
				Four Skills for Teaching b	2					○	○			
				小学校英語基礎概論Ⅰ	2		○	○	○	○				
				小学校英語基礎概論Ⅱ	2		○	○	○	○				
備考	▲:中学校教諭一種免許状取得希望者は必修 中:中学校教諭一種免許状 高:高等学校教諭一種免許状 注1:下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。 注2:必修・選択の区分及び最低修得単位数は卒業要件とは異なります。 注3:中・高両方の免許状取得希望者は、両方の取得要件を満たすよう履修してください。													

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			本学で定める授業科目等								履修方法等		
		単位数		授業科目	単位数	配当年次				最低修得単位数			
		中	高			1	2	3	4	中	高		
文部科学省令で定める科目	日本国憲法	2	2	日本国憲法	2		○	○	○	○	2	2	次のとおり修得しなければならない。 1 日本国憲法2単位 2 体育から2単位 3 外国語コミュニケーションから2単位 4 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作2単位
	体育	2	2	スポーツ科学講義A	2	○	○	○	○		2	2	
				スポーツ科学講義B	2	○	○	○	○		2	2	
				スポーツ科学演習A	2	○	○	○	○				
				スポーツ科学演習B	2	○	○	○	○				
外国語コミュニケーション	2	2	漢語基礎Ⅰ	2	○								
			漢語基礎Ⅱ	2	○							2	2
			漢語基礎Ⅲ	2									
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	2	漢語基礎Ⅳ	2		○							
			学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)	2		○						2	2
教科及び教科に関する専門的事項	中国語学	1以上	1以上	中国語音声学入門	2			○					1 中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり44単位以上修得しなければならない。 (1) 中国語学から必修4単位を含め8単位以上 (2) 中国文学から必修4単位を含め8単位以上 (3) 中国語コミュニケーション16単位 (4) 異文化理解から必修2単位を含め4単位以上 (5) 各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。) 8単位 2 高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり40単位以上修得しなければならない。 (1) 中国語学から必修4単位を含め8単位以上 (2) 中国文学から必修4単位を含め8単位以上 (3) 中国語コミュニケーション16単位 (4) 異文化理解から必修2単位を含め4単位以上 (5) 各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。) から、中国語科教育法Ⅰ及び中国語科教育法Ⅱの2科目、計4単位
				中国語学研究入門	2			○					
				中国語文法Ⅰ	2				○	○			
				中国語文法Ⅱ	2				○	○			
				中国語史Ⅰ	2					○	○		
	中国文学	1以上	1以上	中国語史Ⅱ	2				○	○			
				日中言語対照Ⅰ	2				○	○			
				日中言語対照Ⅱ	2				○	○			
				中国思想研究入門	2				○				
	中国語コミュニケーション	1以上	1以上	中国文学研究入門	2			○					
				古典文学Ⅰ	2				○	○			
				古典文学Ⅱ	2				○	○			
				現代文学Ⅰ	2				○	○			
				現代文学Ⅱ	2				○	○			
	異文化理解	1以上	1以上	漢語会話Ⅰ	2		○						
漢語会話Ⅱ				2		○							
漢語会話Ⅲ				2			○						
漢語会話Ⅳ				2			○						
漢語実践Ⅰ				2		○							
漢語実践Ⅱ				2		○							
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	8以上	4以上	漢語実践Ⅲ	2			○						
			漢語実践Ⅳ	2			○						
			東アジア比較思想論Ⅰ	2				○	○				
			東アジア比較思想論Ⅱ	2				○	○				
教科及び教科の指導法に関する科目最低修得単位数	8以上	4以上	中国宗教・文化論Ⅰ	2				○	○				
			中国宗教・文化論Ⅱ	2				○	○				
			中国現代史Ⅰ	2				○	○				
			中国現代史Ⅱ	2				○	○				
			中国語科教育法Ⅰ	2				○					
			中国語科教育法Ⅱ	2				○					
			▲中国語科教育法Ⅲ	2				○					
			▲中国語科教育法Ⅳ	2				○					
			44								40		
教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育原理	2			○						1 中学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり31単位修得しなければならない。 (1) 教育の基礎的理解に関する科目12単位 (2) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目12単位 (3) 教育実践に関する科目7単位 2 高等学校教諭一種免許状取得の所要資格を得ようとする者は、次のとおり27単位修得しなければならない。 (1) 教育の基礎的理解に関する科目12単位 (2) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目から、「総合的な学習の時間」の指導法、特別活動論、教育方法論、生徒指導・進路指導論、教育相談の5科目、計10単位 (3) 教育実践に関する科目から、教育実習Ⅰ及び教職実践演習 (中・高) の2科目、計5単位
			教師論	2			○						
			教育行政学	2				○					
			教育心理学	2			○						
			特別支援教育論	2				○					
			教育課程論	2			○						
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	▲道徳教育の理論と実践	2		○							
			「総合的な学習の時間」の指導法	2			○						
			特別活動論	2			○						
			教育方法論	2			○						
			生徒指導・進路指導論	2				○					
			教育相談	2					○				
教育実習	7	5	教育実習Ⅰ	3					○				
			▲教育実習Ⅱ	2					○				
			教職実践演習 (中・高)	2						○			
大学が独自に設定する科目			4	12	教職インターンシップ	4				○	-	-	教育職員免許法施行規則に規定する大学が独自に設定する科目の必要単位数 (中：4単位、高：12単位) は、本学で定める授業科目等の教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数の修得をもってこれに充てる。
備考	▲：中学校教諭一種免許状取得希望者は必修 中：中学校教諭一種免許状 高：高等学校教諭一種免許状 注1：下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。 注2：必修・選択の区分及び最低修得単位数は卒業要件とは異なります。 注3：中・高両方の免許状取得希望者は、両方の取得要件を満たすよう履修してください。												

II

編入学生・学士入学生 特記事項

編入学生・学士入学生を対象とした項目です。

編入学生・学士入学生特記事項

1 修業年限と在学期間

修業年限とは、本学の教育課程を修了するために必要な期間で、3年次に編入学・学士入学した者については通算2年（4学期）と定めています。また、在学期間とは、本学に在籍することができる期間で、上限を通算4年（8学期）と定めています。

修業年限 通算2年（4学期）

在学期間 通算4年（8学期）以内

2 2年間の学修計画

編入学生・学士入学生は、3年次から本学での学修を開始しますが、卒業までの2年間で、個々の興味に応じた体系的な履修を行うためには、既修得単位の取扱いや卒業要件はもちろんのこと、履修上の規則等を十分理解し、綿密な学修計画を立てることが必要です。

3 既修得単位の認定

[1] 包括・弾力認定

編入学・学士入学前の大学・短期大学等において修得した単位は、当該大学・短期大学等における学修を尊重し、その科目の分野等を問わず、62単位を包括・弾力的に本学において修得したものとして認定します。

[2] 個別認定(α)

—英米語学科2025年度編入学生・学士入学生—

英米語学科では、[1] で認定される62単位の他に、編入学・学士入学前に下表の学修の種類等に該当する資格等を取得している者に対して、次のとおり追加認定します。

学修の種類等	認定単位数の上限	授業科目（単位数）
TOEFL iBT 64点以上 70点未満 TOEIC Listening & Reading Test 650点以上 700点未満	2	
実用英語技能検定 準1級 TOEFL iBT 70点以上 76点未満 TOEIC Listening & Reading Test 700点以上 800点未満	4	Integrated EnglishⅢ (2) Integrated EnglishⅣ (2) ReadingⅢ-a (1) ReadingⅢ-b (1)
TOEFL iBT 76点以上 89点未満 TOEIC Listening & Reading Test 800点以上 945点未満	6	Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)
実用英語技能検定 1級 TOEFL iBT 89点以上 TOEIC Listening & Reading Test 945点以上	8	

備考 実用英語技能検定は、(財)日本英語検定協会が実施するものとします。

個別認定申請方法

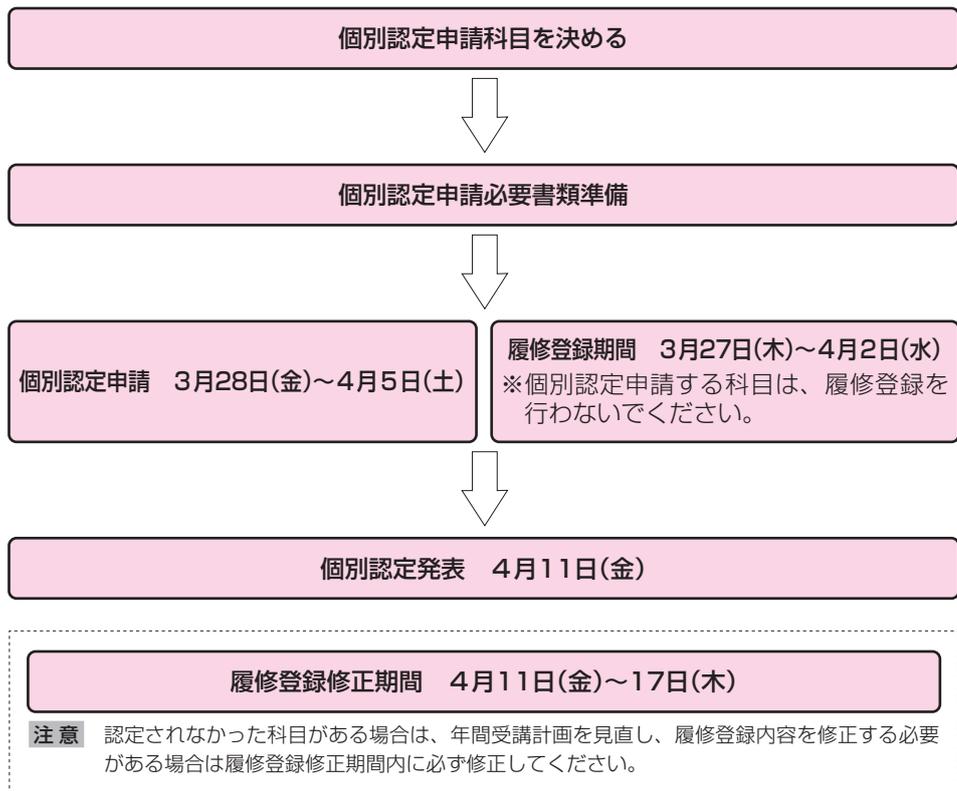
対 象	入学前（2025年度編入学生・学士入学生）
申 請 期 間	3月28日（金）～4月5日（土）
申 請 書 類	① 単位認定申請書兼単位認定通知書（本学所定様式） ② 知識及び技能に関する審査の成果に係る証明書（原本） * 手続終了後、返却します。 a 実用英語技能検定：合格証書 b TOEFL・TOEIC Listening & Reading Test：スコアレポート
所定様式配布及び申請書類提出先	学事課（教務担当）
個別認定発表	4月11日（金） 学事課（教務担当）で単位認定通知書を直接本人へ交付します。

個別認定申請と履修登録

個別認定申請と履修登録手続の流れは、次のとおりです。

年間の受講計画を立てる際は、**申請する科目がすべて認定されることを前提に検討し、履修登録は行わないでください。**

なお、履修登録修正期間は、授業開始から数日が経過しており、学修に支障をきたすことがあるので、認定申請に当たっては、十分に検討し、安易な申請は慎んでください。



4 専攻選択(2025年度編入学生・学士入学生)

2025年度編入学生・学士入学生は、入学時（3年次）から各専攻に分かれて学修していくことになります。専攻選択は、各専攻の概要及び教育課程表等を基に慎重に行ってください。

なお、専攻の登録等詳細については、オリエンテーションでお知らせします。

5 卒業要件

3年次に編入学・学士入学した者は、本学において2年（通算4学期）以上在学（休学期間を除く。）し、学期に定められた卒業所要単位を修得した場合に卒業が認定されます。

卒業に必要な単位数（最低）は、次のとおりです。

日本語学科

●日本語専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入学・学士入学時に認定される単位数	編入学・学士入学後に修得が必要な単位数
共通科目		32	32	—
専門科目	必修	32	22	10
	選択必修	46	4	42
	選択	14	4	10
合計		124	62	62

参照→具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

●グローバル・スタディーズ専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入学・学士入学時に認定される単位数	編入学・学士入学後に修得が必要な単位数
共通科目		32	32	—
専門科目	必修	46	22	24
	選択必修	40	8	32
	選択	6	—	6
合計		124	62	62

参照→具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

英米語学科

●英米語専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入学・学士入学時に認定される単位数	編入学・学士入学後に修得が必要な単位数
共通科目		32	32	—
専門科目	必修	48	26	22
	選択必修	40	4	36
	選択	4	—	4
合計		124	62 (+ α)	62 (- α)

注意 α は個別認定の単位数で上限は8単位。ただし、62単位と合わせて編入学・学士入学前に修得した総単位数を超えてはならない。

参照→具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

●グローバル・スタディーズ専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入学・学士入学時に認定される単位数	編入学・学士入学後に修得が必要な単位数
共通科目		32	32	—
専門科目	必修	66	26	40
	選択必修	24	4	20
	選択	2	—	2
合計		124	62 (+ α)	62 (- α)

注意 α は個別認定の単位数で上限は8単位。ただし、62単位と合わせて編入学・学士入学前に修得した総単位数を超えてはならない。

参照→具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

中国語学科

●中国語専攻

授 業 科 目 区 分		卒業に必要な単位数		編入学・学士入学時に 認定される単位数		編入学・学士入学後に 修得が必要な単位数	
共通科目		32		32		-	
専門科目	必 修	64		26		38	
	選択必修	24	4	4	-	20	4
	選 択						
合 計		124		62		62	

参照→具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

●グローバル・スタディーズ専攻

授 業 科 目 区 分		卒業に必要な単位数		編入学・学士入学時に 認定される単位数		編入学・学士入学後に 修得が必要な単位数	
共通科目		32		32		-	
専門科目	必 修	58		22		36	
	選択必修	30	4	8	-	22	4
	選 択						
合 計		124		62		62	

参照→具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

6 その他

[1] クラス指定

編入学生・学士入学生のクラス分けは行いません。ただし、授業科目の性質から、適正人数（少人数等）で授業を行うためにクラス指定された場合は、授業担当教員の指示に従ってください。

[2] 修得(認定)済 科目の履修

編入学・学士入学時に個別に認定された科目及び編入学・学士入学後に単位を修得又は認定された科目は、履修することができません。

7 教育課程表(編入学生・学士入学生用)

II

編入学生・学士入学生特記事項

編・学

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等 (●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)				編入学・ 学士入学時に 認定される 単位数	編入学・ 学士入学後に 修得が必要な 単位数 (最低)	
		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次			
共通 科目	基礎教育	●学修の基礎 I (2) ●学修の基礎 II (2) ●学修の基礎 III-a (2) ●学修の基礎 III-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語I(留)(2) アカデミック日本語II(留)(2) アカデミック日本語III(留)(2) アカデミック日本語IV(留)(2)				-	
	人間 形成	人間存在の課題(2) 社会生活と倫理(2) 文学の世界(2) 人類と文化(2) 美とは何か(2) 記号と論理(2) コミュニケーション論(2) 心理学(2) からだと健康(2) 日本人の生活意識(2) 性格とは何か(2) 生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2) スポーツ科学講義B(2) スポーツ科学演習A(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2) <単位認定科目> ボランティア活動A(2) ボランティア活動B(2)					-	
		人間形成ゼミナール(2)						
		国際理解	日本の歴史(2) 国際関係論(2) 国際貢献論(2) 民族と宗教(2) 異文化コミュニケーション論(2) 日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B(留)(2) フランス語とフランス文化A(2) フランス語とフランス文化B(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) ス페인語とス페인文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2) 中国語と中国文化A(2) 中国語と中国文化B(2) 英語文化研究A(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目> 異文化実地研修A(2) 異文化実地研修B(2)					-
	国際理解	国際理解ゼミナール(2)						
	社会生活	法学(2) 日本国憲法(2) 経済のしくみ(2) 社会と生活(2) 政治のしくみ(2) 社会思想史(2) 日本企業論(2) 地理と環境(2) 自然環境論(2) 都市と生活(2) 生活と安全(2) 行動科学(2) データのまとめ方(2) 数理の世界(2) 身近な物理(2) 現代物理のはなし(2) 身近な化学(2) 科学技術と社会(2)					-	
	社会生活	社会生活ゼミナール(2)						
	キャリア形成教育	●キャリアプランニング I (2)	●キャリアプランニング II (2) ●キャリアプランニング III (2)				-	
	キャリア形成教育			キャリアデザイン(4)				
	キャリア形成教育	<単位認定科目> インターンシップA(2) インターンシップB(2) インターンシップC(2) インターンシップD(2) ビジネススキルA(2) ビジネススキルB(2) ビジネススキルC(2) ビジネススキルD(2)						
キャリア形成教育	特別聴講科目A(2) 特別聴講科目B(2) 特別聴講科目C(2) 特別聴講科目D(2)							
キャリア形成教育	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106							
キャリア形成教育	<産学連携教育プログラム> *「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム ビジネスコミュニケーションプログラム 野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座) 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム							
専門 科目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナー I (1) ●フレッシュパーソンセミナー II (1)	●課題探求セミナー I (1) ●課題探求セミナー II (1) ●日本語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		10 (編入学・学士入学 弾力認定)	2	
	ILP	英語	●英語 I - a (1) ●英語 II - a (1) ●英語 I - b (1) ●英語 II - b (1)	●英語 III - a (1) ●英語 III - b (1)			6 (編入学・学士入学 弾力認定)	-
		中国語	中国語 I - a (1) 中国語 II - a (1) 中国語 I - b (1) 中国語 II - b (1)				母語以外の 1言語	-
		日本語	日本語 I - a (1) 日本語 II - a (1) 日本語 I - b (1) 日本語 II - b (1)				4 (編入学・学士入学 弾力認定)	-
	日本語・日本文化関連科目	日本語学	●日本語学概論(2) 日本語表現研究 I (2) 日本語表現研究 II (2)	敬語表現法(2) 日本語学基礎演習(2) 日本語方言学(2) 音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論 I (2) 日本語文法論 II (2)	日本語学講義 I (2) 日本語学講義 II (2) 日本語学演習 I (2) 日本語学演習 II (2) 日本語講読 I (2) 日本語講読 II (2)	日本語史 I (2) 日本語史 II (2) 表記法概論(2)	4 (編入学・学士入学 弾力認定)	14
		言語学		言語学概論(2)	応用言語学(2) 社会言語学(2) 対照言語学(2)	言語研究法(2) コンピュータ言語学(2)	-	8
		文学・文化		日本文学概論(2) 漢文学概論(2) 漢文学講義(2)	日本文学史(2) 近現代文学(2) 古典概説(2) 古典演習(2)	漢文学演習 I (2) 漢文学演習 II (2)	2 (編入学・学士入学 弾力認定)	6
		日本語教育	●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)	日本語教育演習(2) 日本語教材論(2) 検定対策 I (2) 検定対策 II (2) 検定対策 III (2) 検定対策 IV (2) 評価法研究(2) 教案作成研究(2) 日本語教育事情(2) 第二言語習得論(2)	音声指導法研究(2) 文型指導法研究(2) 日本語教育実習(4)	年少者日本語教育概説(2) 児童生徒のための日本語教育論(2) 日本語学習支援・実地研究(2)	4 (編入学・学士入学 弾力認定)	14
		グローバル・スタディーズ 関連科目	Preparation for TOEIC I - a (1) Preparation for TOEIC I - b (1)		文化講義 I (日本)(2) 文化講義 II (異文化理解)(2)	Preparation for TOEIC II - a (1) Preparation for TOEIC II - b (1)		-
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)		-	8
卒業研究	<他学部・他学科開放科目(専門科目)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106					-		
合計卒業要件単位数 (最低)						62	62	
						62	124	

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、[教育課程表](#)を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件 単位数 (○は必修)	編入学・学士 入学時に認定 される単位数	編入学・学士 入学後に修得が 必要な単位数	履 修 方 法		
共通 科目	基礎教育 【特別科目】	⑧	32	-	(履修できません。)		
	人間力形成教育	人間形成			4	-	(卒業要件には算入されません。)
		国際理解			4		
		社会生活			4		
	キャリア形成教育	⑥			-	(履修できません。)	
	その他【人間力形成教育・ キャリア形成教育】	6				(卒業要件には算入されません。)	
	計	32			32	-	-
専門 科目	専門基礎	⑫	10	2	必修 「現代社会事情」2単位修得		
	ILP	英語	⑥	6	-	(履修できません。)	
		中国語	-	4	-	(履修できません。)	
		日本語	-	4	-	(履修できません。)	
	日本語・日本文化関連科目	日本語学	18	4	14	選択必修 日本語学から14単位修得 (*14単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
		言語学	8	-	8	選択必修 言語学から8単位修得 (*8単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
		文学・文化	8	2	6	選択必修 文学・文化から6単位修得 (*6単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
		日本語教育	18	4	14	選択必修 日本語教育から14単位修得 (*14単位を超えて修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
	グローバル・スタ ディーズ関連科目	-	-	-	-	(* 修得した単位→「その他【日本語・日本文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
	卒業研究	⑧	-	8	必修 全2科目8単位修得		
	その他 【日本語・日本文化関連 科目、グローバル・ス タディーズ関連科目】	14	-	10	選択 上記専門科目52単位のほかに、日本語・日本文化関連科目及びグローバル・スタ ディーズ関連科目から10単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。		
計	92	30	62	-			
合 計	124	62	62	-			

卒業要件単位数	124単位
編入学・学士入学時認定単位数	62単位
編入学・学士入学後に修得しなければならない単位数	62単位

II

編入学学生・学士入学学生特記事項

編・学

教育課程表

日本語学科

日本語専攻

外国語学部 日本語学科 グローバル・スタディーズ専攻 教育課程表 (2023年度以降編入学生・学士入学生用)

2025年度版 (23-25日編・学・グ)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等 (●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)				編入学・ 学士入学時に 認定される 単位数	編入学・ 学士入学後に 修得が必要な 単位数 (最低)		
		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次				
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)						
	人間形成	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心理学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) からだと健康(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2)	美とは何か(2) 記号と論理(2) 性格とは何か(2) 生命と遺伝子(2)			
		国際理解	日本の歴史(2) 日本と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランス語とフランス文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	異文化コミュニケーション論(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 中国語と中国文化A(2)	日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2) 英語文化研究A(2)		
		社会生活	法学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 自然環境論(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 都市と生活(2) 現代物理のはなし(2)	政治のしくみ(2) 生活と安全(2) 身近な化学(2)	社会思想史(2) 行動科学(2) 科学技術と社会(2)	
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)		●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)					
		<単位認定科目>	インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)	インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)			
		<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>	*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106						
		<産学連携教育プログラム>	*「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム 日経・ビジネスプログラム						
	専門科目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●日本語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		10 (編入学・学士入学 弾力認定)	2	
		ILP	英語	●英語Ⅰ-a(1) ●英語Ⅰ-b(1)	●英語Ⅱ-a(1) ●英語Ⅱ-b(1)	●英語Ⅲ-a(1) ●英語Ⅲ-b(1)		6 (編入学・学士入学 弾力認定)	
中国語			中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)	中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1)			母語以外の 1言語		
日本語			日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)	日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1)			4 (編入学・学士入学 弾力認定)		
コア			●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)			10		
グローバル・スタディーズ関連科目		グローバル		中国ビジネス入門(2) ●日本研究(2) ●北アメリカ研究(2) ●南アメリカ研究(2) ●ヨーロッパ研究(2) ●オセアニア研究(2) ●東アジア研究(2) ●ASEAN研究(2) ●中東研究(2)	国際関係概論(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2)	文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)		20	
		フィールドワーク		<単位認定科目> GSM海外留学(4) GSM海外研修(2)	GSMインターンシップⅠ(2) GSMインターンシップⅡ(2)	ビジネスキャリア特講a(2) ビジネスキャリア特講b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) Advanced Business English a(2) Advanced Business English b(2)		
		日本語・日本文化関連科目	●日本語学概論(2) 日本語表現研究Ⅰ(2) 日本語表現研究Ⅱ(2)	敬語表現法(2) 音声学概論(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論Ⅰ(2) 日本語文法論Ⅱ(2)	日本語学講義Ⅰ(2) 日本語学講義Ⅱ(2) 日本語学演習Ⅰ(2) 日本語学演習Ⅱ(2) 日本語講読Ⅰ(2) 日本語講読Ⅱ(2)	日本語史Ⅰ(2) 日本語史Ⅱ(2) 表記法概論(2)		10 (編入学・学士入学 弾力認定)	16
卒業研究		●日本語教育概論(2) ●日本語教授法(2)		●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)			8	
<他学部・他学科開放科目(専門科目)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106									
合計卒業要件単位数 (最低)						62	62		

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、[教育課程表](#)を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件 単位数 (○は必修)	編入学・学士 入学時に認定 される単位数	編入学・学士 入学後に修得が 必要な単位数	履 修 方 法		
共通 科目	基礎教育 【特別科目】	⑧	32	-	(履修できません。)		
	人間力形成教育	人間形成			4	-	(卒業要件には算入されません。)
		国際理解			4		
		社会生活			4		
	キャリア形成教育	⑥			-	(履修できません。)	
	その他【人間力形成教育・ キャリア形成教育】	6				(卒業要件には算入されません。)	
	計	32			32	-	-
専門 科目	専門基礎	⑫	10	2	必修 「現代社会事情」2単位修得		
	ILP	英語	⑥	6	-	(履修できません。)	
		中国語	4	4	-	(履修できません。)	
		日本語					
	グローバル・ スタディーズ関連科目	コア	⑩	-	10	必修 全5科目10単位修得	
		グローバル	20	-	20	選択必修 グローバルから必修4単位を含め20単位修得 (*20単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入)	
		フィールド ワーク	-	-	-	(*修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入)	
		日本語・日本 文化関連科目	26	10	16	選択必修 日本語・日本文化関連科目から16単位修得 (*16単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、日本語・日本文化関連科目】」へ算入)	
		卒業研究	⑧	-	8	必修 全2科目8単位修得	
		その他 【グローバル・スタディーズ 関連科目、日本語・ 日本文化関連科目】	6	-	6	選択 上記専門科目56単位のほかに、グローバル・スタディーズ関連科目及び日本語・ 日本文化関連科目から6単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。	
	計	92	30	62	-		
合計		124	62	62	-		

卒業要件単位数	124単位
編入学・学士入学時認定単位数	62単位
編入学・学士入学後に修得しなければならない単位数	62単位

授業科目区分	授業科目名称・配当年次等 (●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)				編入学・ 学士入学時に 認定される 単位数	編入学・ 学士入学後に 修得が必要な 単位数 (最低)		
	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次				
共通教育 科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)			-		
	人間形成	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心理学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) からだと健康(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2)	記号と論理(2) 性格とは何か(2) 生命と遺伝子(2)		
	国際理解	日本の歴史(2) 日本語と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランス語とフランス文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	民族と宗教(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 中国語と中国文化A(2)	異文化コミュニケーション論(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) 中国語と中国文化B(2)	日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2)	
	社会生活	法学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	日本国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 自然環境論(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 都市と生活(2) 現代物理のはなし(2)	政治のしくみ(2) 生活と安全(2) 身近な化学(2)	社会思想史(2) 行動科学(2) 科学技術と社会(2)	
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)		キャリアデザイン(4)			
		<単位認定科目>	インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)	インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)		
				特別聴講科目A(2)	特別聴講科目B(2)	特別聴講科目C(2)	特別聴講科目D(2)	
		<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> * 「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106						
		<産学連携教育プログラム> * 「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111						
		ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム ビジネスコミュニケーションプログラム 野村証券ファイナンスプログラム(寄附講座) 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
専門基礎 科目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		10 (編入学・学士入学 弾力認定)	2	
	ILP	●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1)	●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1)			14 (編入学・学士入学 弾力認定)	10	
	中国語	中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1)	中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1)			母語以外の1言語	-	
	日本語	日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1)	日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅱ-b(1)			4 (編入学・学士入学 弾力認定)	-	
	概論科目	【異文化コミュニケーション分野】 異文化コミュニケーション概論a(2) 異文化コミュニケーション概論b(2)	【英語学分野】 英語学概論a(2) 英語学概論b(2)				2分野8単位	
	専攻基礎科目	【英米文学分野】 英米文学概論a(2) 英米文学概論b(2)	【英語教育学分野】 英語教育学概論a(2) 英語教育学概論b(2)				8	
	SKILL科目	TOEFL対策講座(2)	英語音声学a(2) 英語音声学b(2)	対照言語研究a(2) 対照言語研究b(2)	英文法研究a(2) 英文法研究b(2)	英語史(2)		8
	特講科目			Interpreting Skills a(2) Interpreting Skills b(2) Translation Skills a(2) Translation Skills b(2) Advanced Writing Skills a(2) Advanced Writing Skills b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Research & Presentation Skills(2)	Advanced Listening Skills a(2) Advanced Listening Skills b(2) Discussion & Debate a(2) Discussion & Debate b(2)			10
	特殊研究科目			コミュニケーション特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2) コミュニケーション特講Ⅱ-a(2) コミュニケーション特講Ⅱ-b(2) 英語学特講Ⅰ-a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2) 英語学特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅱ-b(2)	文学特講Ⅰ-a(2) 文学特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅱ-a(2) 文学特講Ⅱ-b(2) 英語教育特講Ⅰ-a(2) 英語教育特講Ⅰ-b(2) 英語教育特講Ⅱ-a(2) 英語教育特講Ⅱ-b(2)			
			<単位認定科目>	特殊研究Ⅰ(4)	特殊研究Ⅱ(4)	海外実地研修(2)		

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等 (●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)				編入学・ 学士入学時に 認定される 単位数	編入学・ 学士入学後に 修得が必要な 単位数(最低)
		1年次	2年次	3年次	4年次		
専門科目	グローバル・スタディーズ 関連科目	●Preparation for TOEIC I-a (1) ●Preparation for TOEIC I-b (1)	中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEIC II-a (1) ●Preparation for TOEIC II-b (1)	ビジネスキャリア特講 a (2) ビジネスキャリア特講 b (2) 中国経済 I (2) 中国経済 II (2) 日中観光実務 I (2) 日中観光実務 II (2)	時事中国語演習 I (2) 時事中国語演習 II (2) ビジネス中国語演習 I (2) ビジネス中国語演習 II (2) Advanced Business English a (2) Advanced Business English b (2)	2 (編入学・学士入学) 弾力認定	4 (62)
			日本研究(2) 北アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) 南アメリカ研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2)	中東研究(2) 国際関係概論(2) 通訳の基礎 a (2) 通訳の基礎 b (2) 時事英語 a (2) 時事英語 b (2) 文化講義 I (日本) (2)	文化講義 II (異文化理解) (2)		
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	-	8
<他学部・他学科開放科目(専門科目)> * 「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106						-	
合計卒業要件単位数(最低)						62	62
合計卒業要件単位数(最低)						124	

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件 単位数 (○は必修)	編入学・学士入学 時に認定される 単位数	編入学・学士入学 後に修得が 必要な単位数	履修方法	
共通科目	基礎教育 【特別科目】	8	32	-	(履修できません。)	
	人間力形成教育	人間形成			4	(卒業要件には算入されません。)
		国際理解			4	
		社会生活			4	
	キャリア形成教育	6			(履修できません。)	
	その他【人間力形成教育・ キャリア形成教育】	6			(卒業要件には算入されません。)	
計	32	32	-	-		
専門科目	専門基礎	12	10	2	必修 「現代社会事情」2単位修得	
	ILP	英語	24	14	10	必修 全8科目10単位修得
		中国語	4	4	-	(履修できません。)
		日本語	4	4	-	(履修できません。)
	英米語・英米文化 関連科目	概論科目	8	-	8	選択必修 概論科目から2分野8単位修得 (「異文化コミュニケーション」,「英語学」,「英米文学」及び「英語教育学」の4分野のうち2分野) (*8単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)
		専攻基礎科目	8	-	8	選択必修 専攻基礎科目から8単位修得 (*8単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)
		SKILL科目	8	-	8	選択必修 SKILL科目から8単位修得 (*8単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)
		特講科目/ 特殊研究科目	10	-	10	選択必修 特講科目・特殊研究科目から10単位修得 (*10単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)
	グローバル・スタディーズ 関連科目	6	2	4	選択必修 グローバル・スタディーズ関連科目から必修2単位を含め4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【英米語・英米文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
	卒業研究	8	-	8	必修 全2科目8単位修得	
その他 【英米語・英米文化 関連科目、グ ローバル・スタ ディーズ関連科目】	4	-	4	選択 上記専門科目58単位のほかに、英米語・英米文化関連科目 及びグローバル・スタディーズ関連科目から4単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。		
計	92	30	62	-		
合計	124	62 (+α)	62 (-α)	-		

卒業要件単位数	124単位
編入学・学士入学時認定単位数	62単位 (+α)
編入学・学士入学後に修得しなければならない単位数	62単位 (-α)

<個別認定(α)>

個別認定(α)については、「3 既修得単位の認定 [2] 個別認定(α)」を参照してください。→ P.123

外国語学部 英米語学科 グローバル・スタディーズ専攻 教育課程表 (2023年度以降編入学生・学士入学生用)

2025年度版 (23-25英編・学-グ)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等 (●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)				編入学・ 学士入学時に 認定される 単位数	編入学・ 学士入学後に 修得が必要な 単位数 (最低)	
		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次			
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) 特別科目 ●学修の基礎Ⅱ(2) アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) ●学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)					-	
		人間形成	人間存在の課題(2) 社会生活と倫理(2) 文学の世界(2) 人類と文化(2) 美とは何か(2) 記号と論理(2) コミュニケーション論(2) 心理学(2) からだと健康(2) 日本人の生活意識(2) 性格とは何か(2) 生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2) スポーツ科学講義B(2) スポーツ科学演習A(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2) < 単位認定科目 > ボランティア活動A(2) ボランティア活動B(2)				-	
			国際理解	日本の歴史(2) 国際関係論(2) 国際貢献論(2) 民族と宗教(2) 異文化コミュニケーション論(2) 日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B(留)(2) フランス語とフランス文化A(2) フランス語とフランス文化B(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2) 中国語と中国文化A(2) 中国語と中国文化B(2) < 単位認定科目 > 異文化実地研修A(2) 異文化実地研修B(2)				-
	社会生活	法 学(2) 日本国憲法(2) 経済のしくみ(2) 社会と生活(2) 政治のしくみ(2) 社会思想史(2) 日本企業論(2) 地理と環境(2) 自然環境論(2) 都市と生活(2) 生活と安全(2) 行動科学(2) データのまとめ方(2) 数理の世界(2) 身近な物理(2) 現代物理のはなし(2) 身近な化学(2) 科学技術と社会(2)					-	
		キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)		-	
	< 単位認定科目 >		インターンシップA(2) インターンシップB(2) インターンシップC(2) インターンシップD(2) ビジネススキルA(2) ビジネススキルB(2) ビジネススキルC(2) ビジネススキルD(2)					
	< 他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育) >		* 「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106					
	< 産学連携教育プログラム >		* 「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111					
	ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム		ビジネスコミュニケーションプログラム 野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座) 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム					
	専門科目	専門基礎	●外国語研究概論(2)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●英米語基礎演習(4)	●現代社会事情(2)		10 (編入学・学士入学 弾力認定)	2
ILP			●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1)	●ReadingⅡ-a(1) ●ReadingⅡ-b(1) ●Integrated EnglishⅢ(2) ●Integrated EnglishⅣ(2) ●ReadingⅢ-a(1) ●ReadingⅢ-b(1) ●WritingⅡ-a(1) ●WritingⅡ-b(1) ●ListeningⅡ-a(1) ●ListeningⅡ-b(1)			14 (編入学・学士入学 弾力認定)	10
		中国語	中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-b(1)			母語以外の1言語 4 (編入学・学士入学 弾力認定)	-	
		日本語	日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-b(1)					
グローバル・スタディーズ関連科目		コア	●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)			-	10
		グローバル	●Preparation for TOEICⅠ-a(1) ●Preparation for TOEICⅠ-b(1)	中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEICⅡ-a(1) ●Preparation for TOEICⅡ-b(1)	ビジネスキャリア特講 a(2) ビジネスキャリア特講 b(2) 中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) ●Advanced Business English a(2) ●Advanced Business English b(2)	2 (編入学・学士入学 弾力認定)	62
		ワールド		日本研究(2) ●北アメリカ研究(2) ●ヨーロッパ研究(2) 南アメリカ研究(2) オセアニア研究(2) 東アジア研究(2) ASEAN研究(2) 中東研究(2)	国際関係概論(2) 通訳の基礎 a(2) 通訳の基礎 b(2) 時事英語 a(2) 時事英語 b(2) 文化講義Ⅰ(日本)(2) 文化講義Ⅱ(異文化理解)(2)		-	20
		フィールド		< 単位認定科目 > GSM海外留学(4) GSM海外研修(2)	GSMインターンシップⅠ(2) GSMインターンシップⅡ(2)	GSMボランティアⅠ(2) GSMボランティアⅡ(2)	-	
英米語・英米文化関連科目		概論科目	異文化コミュニケーション概論 a(2) 異文化コミュニケーション概論 b(2) 英米文学概論 a(2) 英米文学概論 b(2)	英語学概論 a(2) 英語学概論 b(2) 英語教育学概論 a(2) 英語教育学概論 b(2)			-	
		専攻基礎科目	TOEFL対策講座(2)	英語音声学 a(2) 対照言語研究 a(2) 英語音声学 b(2) 対照言語研究 b(2)	英文法研究 a(2) 英語史(2) 英文法研究 b(2)		-	2
	SKILL科目			Interpreting Skills a(2) Interpreting Skills b(2) Translation Skills a(2) Translation Skills b(2) Advanced Writing Skills a(2) Advanced Writing Skills b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Research & Presentation Skills(2)	Advanced Listening Skills a(2) Advanced Listening Skills b(2) Discussion & Debate a(2) Discussion & Debate b(2)	-	4	

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

授業科目区分	授業科目名称・配当年次等 (●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)				編入学・ 学士入学時に 認定される 単位数	編入学・ 学士入学後に 修得が必要な 単位数(最低)
	1年次	2年次	3年次	4年次		
専 門 科 目	英米語・英米文化関連科目 特講科目		コミュニケーション特講 I-a(2) コミュニケーション特講 I-b(2) コミュニケーション特講 II-a(2) コミュニケーション特講 II-b(2) 英語学特講 I-a(2) 英語学特講 I-b(2) 英語学特講 II-a(2) 英語学特講 II-b(2)	文学特講 I-a(2) 文学特講 I-b(2) 文学特講 II-a(2) 文学特講 II-b(2)	-	4 (62)
	卒業研究		●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	-	8
<他学部・他学科開放科目(専門科目)> * 「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106					-	
					62	62
合計卒業要件単位数(最低)					124	

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件 単位数 (○は必修)	編入学・学士入学 時に認定される 単位数	編入学・学士入学 後に修得が 必要な単位数	履 修 方 法	
共 通 科 目	基礎教育 【特別科目】	⑧			(履修できません。)	
	人間力形成教育	人間形成	4	32	-	(卒業要件には算入されません。)
		国際理解	4			
		社会生活	4			
	キャリア形成教育	⑥			(履修できません。)	
	その他【人間力形成教育・ キャリア形成教育】	6			(卒業要件には算入されません。)	
計	32	32	-	-		
専 門 科 目	専門基礎	⑫	10	2	必修 「現代社会事情」2単位修得	
	ILP	英語	⑫	14	10	必修 全8科目10単位修得
		中国語				
		日本語	4	4	-	(履修できません。)
	スタディーズ関連科目 グローバル	コア	⑩	-	10	必修 全5科目10単位修得
		グローバル	22	2	20	選択必修 グローバルから必修10単位を含め20単位修得 (*20単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入)
		フィールドワーク	-	-	-	(修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入)
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	-	-	-	(修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入)
		専攻基礎科目	2	-	2	選択必修 専攻基礎科目から2単位修得 (*2単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入)
		SKILL科目	4	-	4	選択必修 SKILL科目から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入)
		特講科目	4	-	4	選択必修 特講科目から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、英米語・英米文化関連科目】」へ算入)
卒業研究	⑧	-	8	必修 全2科目8単位修得		
その他 【グローバル・スタ ディーズ関連 科目、英米語・英 米文化関連科目】	2	-	2	選 択 上記専門科目60単位のほかに、グローバル・スタディーズ 関連科目及び英米語・英米文化関連科目から2単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。		
計	92	30	62	-		
合 計	124	62 (+α)	62 (-α)	-		

卒業要件単位数	124単位
編入学・学士入学時認定単位数	62単位 (+α)
編入学・学士入学後に修得しなければならない単位数	62単位 (-α)

<個別認定(α)>

個別認定(α)については、「3 既修得単位の認定 [2] 個別認定(α)」を参照してください。→ P.123

外国語学部 中国語学科 中国語専攻 教育課程表 (2023年度以降編入学生・学士入学生用)

2025年度版 (23-25中編・学一中)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				編入学・ 学士入学時に 認定される 単位数	編入学・ 学士入学後に 修得が必要な 単位数(最低)
		(●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)					
		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)				-
	人間形成	人間存在の課題(2) 社会生活と倫理(2) コミュニケーション論(2) 心理学(2) スポーツ科学講義A(2) スポーツ科学講義B(2) <単位認定科目> ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) 人類と文化(2) からだと健康(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習A(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア活動B(2)	美とは何か(2) 記号と論理(2) 性格とは何か(2) 生命と遺伝子(2) ボランティア講義(2)			-
	国際理解	日本の歴史(2) 国際関係論(2) 日本語と日本文化(留)(2) フランス語とフランス文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2) <単位認定科目> 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) 民族と宗教(2) フランス語とフランス文化B(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2) 英語文化研究A(2) 異文化実地研修B(2)	異文化コミュニケーション論(2) 日本語と日本文化A(留)(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) ドイツ語とドイツ文化C(2) 英語文化研究B(2)			-
	社会生活	法学(2) 日本国憲法(2) 日本企業論(2) 地理と環境(2) データのまとめ方(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 社会と生活(2) 自然環境論(2) 都市と生活(2) 身近な物理(2) 現代物理のはなし(2)	政治のしくみ(2) 社会思想史(2) 生活と安全(2) 行動科学(2) 身近な化学(2) 科学技術と社会(2)			-
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)		キャリアデザイン(4)		-
		<単位認定科目> インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)	インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)		
			特別聴講科目A(2) 特別聴講科目B(2)	特別聴講科目C(2) 特別聴講科目D(2)			
		<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106					
		<産学連携教育プログラム> *「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111 ANAツアーリズム・ホスピタリティプログラム ビジネスコミュニケーションプログラム 野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座) 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム					
						32 (編入学・学士入学 包括認定)	-
専門科目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1) ●中国語基礎演習A(4)	●現代社会事情(2)		10 (編入学・学士入学 弾力認定)	2
	ILP	●漢語基礎Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅱ(2) ●漢語実践Ⅰ(2)* ●漢語実践Ⅱ(2)* ●漢語作文Ⅰ(2)* ●漢語作文Ⅱ(2)*	●漢語基礎Ⅲ(2) ●漢語基礎Ⅳ(2) ●漢語会話Ⅲ(2) ●漢語会話Ⅳ(2) ●漢語実践Ⅲ(2)* ●漢語実践Ⅳ(2)*	●中級漢語Ⅰ(2) ●中級漢語Ⅱ(2)		8 (編入学・学士入学 弾力認定)	24 **2
	英語	英語Ⅰ-a(1) 英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1) 英語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語 4 (編入学・学士入学 弾力認定)	-
	日本語	日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-b(1)					
	中国研究	●中国社会研究入門(2)* ●中国現代史研究入門(2)*	●中国思想研究入門(2) ●中国文学研究入門(2) ●中国歴史研究入門(2) ●中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2)			[8]**1 (編入学・学士入学 弾力認定)	12 **2
	SKILL		中国語検定対策講座Ⅰ(2) 中国語検定対策講座Ⅱ(2)	文章表現演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2) 口頭表現演習Ⅰ(2) 口頭表現演習Ⅱ(2) 日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2)	日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) 中国方言基礎演習Ⅰ(2) 中国方言基礎演習Ⅱ(2)		
	中国語・中国文化関連科目			中国語文法Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2) 中国語史Ⅰ(2) 中国語史Ⅱ(2)	日中言語対照Ⅰ(2) 日中言語対照Ⅱ(2)		
	中国文学			現代文学Ⅰ(2) 現代文学Ⅱ(2)	古典文学Ⅰ(2) 古典文学Ⅱ(2)		20
	中国文化			東アジア比較思想論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2)	中国宗教・文化論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2)		
	中国社会			中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2)			
関連科目	スタディーズ・卒業研究		<単位認定科目> 中国語圏実地研修(2)				
		中国ビジネス入門(2) Preparation for TOEICⅠ-a(1) Preparation for TOEICⅠ-b(1)	中国経済Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) 日中観光実務Ⅱ(2)	時事中国語演習Ⅰ(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2)			
		東アジア研究(2) ASEAN研究(2)	Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)				
			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)		8	
	<他学部・他学科開放科目(専門科目)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106						
合計卒業要件単位数(最低)						62	62

*1 入学前の学修状況(修得科目等)により、*の付いた必修科目の中から個別に8単位認定する。

*2 編入学・学士入学後に修得が必要な授業科目は、*1で認定される授業科目により異なる。

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件 単位数 (○は必修)	編入学・学士入学 時に認定される 単位数	編入学・学士入学 後に修得が 必要な単位数	履 修 方 法		
共通 科目	基礎教育 【特別科目】	⑧	32	-	(履修できません。)		
	人間力形成教育	人間形成			4	-	(卒業要件には算入されません。)
		国際理解			4		
		社会生活			4		
	キャリア形成教育	⑥			6	-	(履修できません。)
	その他【人間力形成教育・ キャリア形成教育】	6					(卒業要件には算入されません。)
計	32	32	-	-			
専 門 科 目	専門基礎	⑫	10	2	必修 「現代社会事情」2単位修得		
	ILP	中国語	⑮	8*	24*	必修 中国語から12科目24単位修得(認定単位数を含む。)	
		英語	4	4	-	(履修できません。)	
		日本語					
	中国語・中国 文化関連科目	中国研究	⑫	8*	12*	必修 中国研究から6科目12単位修得(認定単位数を含む。) (*12単位を超えて修得した単位→「その他【中国語・中国文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
		SKILL	20	-	20	選択必修 SKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から20単位修得 (*20単位を超えて修得した単位→「その他【中国語・中国文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)	
		中国語学					
		中国文学					
		中国文化 中国社会					
	グローバル・スタ ディーズ関連科目	-	-	-	(*修得した単位→「その他【中国語・中国文化関連科目、グローバル・スタディーズ関連科目】」へ算入)		
卒業研究	⑧	-	8	必修 全2科目8単位修得			
その他 【中国語・中国文 化関連科目、グ ローバル・スタ ディーズ関連科目】	4	-	4	選択必修 上記専門科目58単位のほかに、中国語・中国文化関連科目及びグロー バル・スタディーズ関連科目から4単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。			
計	92	30	62	-			
合計	124	62	62	-			

※入学前の学修状況(修得科目等)により、教育課程表における*の付いた必修科目の中から個別に8単位認定する。したがって、編入学・学士入学後に修得が必要な授業科目は、認定される授業科目により異なる。

卒業要件単位数	124単位
編入学・学士入学時認定単位数	62単位
編入学・学士入学後に修得しなければならない単位数	62単位

外国語学部 中国語学科 グローバル・スタディーズ専攻 教育課程表 (2023年度以降編入学生・学士入学生用)

2025年度版 (23-25中編・学・学)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				編入学・ 学士入学時に 認定される 単位数	編入学・ 学士入学後に 修得が必要な 単位数 (最低)	
		(●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)						
		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次			
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)				-	
	人間形成	人間存在の課題(2) 社会生活と倫理(2) コミュニケーション論(2) 心理学(2) スポーツ科学講義A(2) スポーツ科学講義B(2) <単位認定科目> ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) 人類と文化(2) からだと健康(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習A(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア活動B(2)	美とは何か(2) 記号と論理(2) 性格とは何か(2) 生命と遺伝子(2) ボランティア講義(2)			-	
	国際理解	日本の歴史(2) 国際関係論(2) 日本語と日本文化B(留)(2) フランス語とフランス文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2) <単位認定科目> 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) 民族と宗教(2) フランス語とフランス文化B(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2) 英語文化研究A(2) 異文化実地研修B(2)	異文化コミュニケーション論(2) 日本語と日本文化A(留)(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) ス페인語と스페인文化A(2) 英語文化研究B(2)			-	
	社会生活	法学(2) 日本国憲法(2) 日本企業論(2) 地理と環境(2) データのまとめ方(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 社会と生活(2) 自然環境論(2) 都市と生活(2) 身近な物理(2) 現代物理のはなし(2)	政治のしくみ(2) 社会思想史(2) 生活と安全(2) 行動科学(2) 身近な化学(2) 科学技術と社会(2)			-	
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)			-	
		<単位認定科目> インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)	インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)			
		特別聴講科目A(2) 特別聴講科目B(2) 特別聴講科目C(2) 特別聴講科目D(2)						
		<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106						
		<産学連携教育プログラム> *「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム ビジネスコミュニケーションプログラム 野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座) 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム						
	専門科目	専門基礎	●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1)	●課題探求セミナーⅠ(1) ●課題探求セミナーⅡ(1)	●現代社会事情(2)		6 (編入学・学士入学 弾力認定)	2
			中国語基礎演習A(4) 中国語基礎演習B(4)			4 (編入学・学士入学 弾力認定)	-	
ILP		中国語	●漢語基礎Ⅰ(2) ●漢語会話Ⅰ(2) ●漢語基礎Ⅱ(2) ●漢語会話Ⅱ(2)	漢語基礎Ⅲ(2) 漢語会話Ⅲ(2) 漢語基礎Ⅳ(2) 漢語会話Ⅳ(2)	●中級漢語Ⅰ(2) ●中級漢語Ⅱ(2)		8 (編入学・学士入学 弾力認定)	12 *2
		英語	●漢語実践Ⅰ(2)* ●漢語作文Ⅰ(2)* ●漢語実践Ⅱ(2)* ●漢語作文Ⅱ(2)*	●漢語実践Ⅲ(2)* ●漢語実践Ⅳ(2)*			[8] *1 (編入学・学士入学 弾力認定)	
		英語Ⅰ-a(1) 英語Ⅱ-a(1) 英語Ⅰ-b(1) 英語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語		
		日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-b(1)				4 (編入学・学士入学 弾力認定)	-	
グローバル・スタディーズ関連科目		コア		●ビジネス経済学(2) ●経営学総論(2)	●会計学総論(2) ●社会統計学(2) ●マーケティング論(2)		-	10
		グローバル		●中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEIC I-a(1) ●Preparation for TOEIC I-b(1)	ビジネスキャリア特講a(2) 時事中国語演習Ⅰ(2) ビジネスキャリア特講b(2) 時事中国語演習Ⅱ(2) 中国経済Ⅰ(2) ビジネス中国語演習Ⅰ(2) 中国経済Ⅱ(2) ビジネス中国語演習Ⅱ(2) 日中観光実務Ⅰ(2) Advanced Business English a(2) 日中観光実務Ⅱ(2) Advanced Business English b(2)		-	18
		フィールド		日本研究(2) 北アメリカ研究(2) 南アメリカ研究(2) ヨーロッパ研究(2) オセアニア研究(2) ●東アジア研究(2) ●ASEAN研究(2)	中東研究(2) 国際関係概論(2) 通訳の基礎a(2) 通訳の基礎b(2) 時事英語a(2) 時事英語b(2)			
			<単位認定科目> GSM海外留学(4) GSMインターンシップⅠ(2) GSM海外研修(2) GSMインターンシップⅡ(2)		GSMボランティアⅠ(2) GSMボランティアⅡ(2)			
中国語・中国文化関連科目	中国研究	●中国社会研究入門(2)* ●中国現代史研究入門(2)*	中国思想研究入門(2) 中国文学研究入門(2) 中国歴史研究入門(2) 中国語学研究入門(2) 中国語音声学入門(2)			[8] *1 (編入学・学士入学 弾力認定)	8 *2	
	SKILL		中国語検定対策講座Ⅰ(2) 中国語検定対策講座Ⅱ(2)	文章表現演習Ⅰ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅰ(2) 文章表現演習Ⅱ(2) 日中翻訳基礎演習Ⅱ(2) 口頭表現演習Ⅰ(2) 中国方言基礎演習Ⅰ(2) 口頭表現演習Ⅱ(2) 中国方言基礎演習Ⅱ(2) 日中通訳基礎演習Ⅰ(2) 日中通訳基礎演習Ⅱ(2)				
	中興			中国語文法Ⅰ(2) 中国語史Ⅰ(2) 日中言語対照Ⅰ(2) 中国語文法Ⅱ(2) 中国語史Ⅱ(2) 日中言語対照Ⅱ(2)		-	8	
	文学			現当代文学Ⅰ(2) 古典文学Ⅰ(2) 現当代文学Ⅱ(2) 古典文学Ⅱ(2)				
	文化			東アジア比較思想論Ⅰ(2) 中国宗教・文化論Ⅰ(2) 東アジア比較思想論Ⅱ(2) 中国宗教・文化論Ⅱ(2)				
	書藝			中国現代史Ⅰ(2) 中国現代史Ⅱ(2)				
	卒業研究			●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)		-	8
	<他学部・他学科開放科目(専門科目)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106							
合計卒業要件単位数 (最低)						62	62	
						124		

*1 入学前の学修状況(修得科目等)により、*の付いた必修科目の中から個別に8単位認定する。

*2 編入学・学士入学後に修得が必要な授業科目は、*1で認定される授業科目により異なる。

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、[教育課程表](#)を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件 単位数 (○は必修)	編入学・学士入学 時に認定される 単位数	編入学・学士入学 後に修得が 必要な単位数	履 修 方 法		
共通科目	基礎教育 【特別科目】	⑧	32	-	(履修できません。)		
	人間力形成教育	人間形成			4	-	(卒業要件には算入されません。)
		国際理解			4		
		社会生活			4		
	キャリア形成教育	⑥			-	(履修できません。)	
	その他【人間力形成教育・ キャリア形成教育】	6				(卒業要件には算入されません。)	
計	32	32	-	-			
専門科目	専門基礎	A	⑧	6	2	必修 「現代社会事情」2単位修得	
		B	4	4	-	(履修できません。)	
	ILP	中国語	⑳	8*	12*	必修 中国語から6科目12単位修得(認定単位数を含む。) (必修科目以外で修得した単位→卒業要件には算入されません。)	
		英語	4	4	-	(履修できません。)	
		日本語	4	4	-	(履修できません。)	
	グローバル・スタディーズ関連科目	コア	⑩	-	10	必修 全5科目10単位修得	
		グローバル	18	-	18	選択必修 グローバルから必修8単位を含め18単位修得 (*18単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入)	
		フィールドワーク	-	-	-	(修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入)	
		中国研究	8	8*	8*	選択必修 中国研究から必修4単位を含め8単位修得(認定単位数を含む。) (*8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入)	
		SKILL	8	-	8	選択必修 SKILL、中国語学、中国文学、中国文化及び中国社会から8単位修得 (*8単位を超えて修得した単位→「その他【グローバル・スタディーズ関連科目、中国語・中国文化関連科目】」へ算入)	
		中国語学	8	-	8		
		中国文学	8	-	8		
	中国文化	8	-	8			
中国社会	8	-	8				
卒業研究	⑧	-	8	必修 全2科目8単位修得			
その他 【グローバル・スタディーズ関連科目、 中国語・中国文化関連科目】	4	-	4	選択 上記専門科目58単位のほかに、グローバル・スタディーズ関連科目及び中国語・中国文化関連科目から4単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。			
計	92	30	62	-			
合計	124	62	62	-			

※入学前の学修状況(修得科目等)により、教育課程表における*の付いた必修科目の中から個別に8単位認定する。したがって、編入学・学士入学後に修得が必要な授業科目は、認定される授業科目により異なる。

卒業要件単位数	124単位
編入学・学士入学時認定単位数	62単位
編入学・学士入学後に修得しなければならない単位数	62単位

外国語学部 英米語学科 英米語専攻 教育課程表 (2018 ~ 2022年度編入学生用)

2025年度版 (18-22英編-英)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数(最低)
		1年次	2年次	3年次	4年次		
共通教育科目	基礎教育	<ul style="list-style-type: none"> ●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)(2) 				32 (編入学包括認定)	-
	人間形成	人間存在の課題(2) 社会生活と倫理(2) 文学の世界(2) 人類と文化(2) 美とは何か(2) 記号と論理(2) コミュニケーション論(2) 心理学(2) からだと健康(2) 日本人の生活意識(2) 性格とは何か(2) 生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2) スポーツ科学講義B(2) スポーツ科学演習A(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2)					
	国際理解	人間の歴史(2) 国際関係論(2) 国際貢献論(2) 民族と宗教(2) 異文化コミュニケーション論(2) フランス語とフランス文化(2) フランス語とフランス文化B(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2) 中国語と中国語文化A(2) 中国語と中国語文化B(2) 異文化実地研修A(2) 異文化実地研修B(2)					
	社会生活	法学(2) 日本国憲法(2) 経済のしくみ(2) 社会と生活(2) 政治のしくみ(2) 社会思想史(2) 日本企業論(2) 地理と環境(2) 自然環境論(2) 都市と生活(2) 生活と安全(2) 行動科学(2) データのまとめ方(2) 数理の世界(2) 身近な物理(2) 現代物理のはなし(2) 身近な化学(2) 科学技術と社会(2)					
	キャリア形成教育	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアプランニングⅠ(2) ●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2) キャリアデザイン(4)					
	特別聴講科目	<単位認定科目> インターンシップA(2) インターンシップB(2) インターンシップC(2) インターンシップD(2) ビジネススキルA(2) ビジネススキルB(2) ビジネススキルC(2) ビジネススキルD(2)					
	特別聴講科目	特別聴講科目A(2) 特別聴講科目B(2) 特別聴講科目C(2) 特別聴講科目D(2)					
	他学部・他学科開放科目	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106					
	産学連携教育	<産学連携教育プログラム> *「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.111 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム ビジネスコミュニケーションプログラム 野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)※ 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム					
	特別聴講科目	<単位認定科目> 特別聴講科目A(2) 特別聴講科目B(2) 特別聴講科目C(2) 特別聴講科目D(2)					
専門基礎科目	専門基礎	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語研究概論(2) ●フレッシュパーソンセミナーⅠ(1) ●フレッシュパーソンセミナーⅡ(1) 				10 (編入学弾力認定)	2
	ILP	<ul style="list-style-type: none"> ●Integrated EnglishⅠ(2) ●Integrated EnglishⅡ(2) ●Grammar a(1) ●Grammar b(1) ●ReadingⅠ-a(1) ●ReadingⅠ-b(1) ●WritingⅠ-a(1) ●WritingⅠ-b(1) ●ListeningⅠ-a(1) ●ListeningⅠ-b(1) 				14 (編入学弾力認定)	10
	中国語	中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-b(1)				母語以外の1言語	-
	日本語	日本語Ⅰ-a(1) 日本語Ⅱ-a(1) 日本語Ⅰ-b(1) 日本語Ⅱ-b(1)				4 (編入学弾力認定)	-
	概論科目	【異文化コミュニケーション分野】 異文化コミュニケーション概論a(2) 異文化コミュニケーション概論b(2)				-	2分野8単位
	概論科目	【英米文学分野】 英米文学概論a(2) 英米文学概論b(2)				-	2分野8単位
	概論科目	【英語学分野】 英語学概論a(2) 英語学概論b(2)				-	2分野8単位
	概論科目	【英語教育学分野】 英語教育学概論a(2) 英語教育学概論b(2)				-	2分野8単位
	専攻基礎科目	TOEFL対策講座(2) 英語音声学a(2) 対照言語研究a(2) 英文法研究a(2) 英語史(2) 英語圏の文化と社会(2) 英語音声学b(2) 対照言語研究b(2) 英文法研究b(2) 英米文学史(2)				-	8
	SKILL科目	Interpreting Skills a(2) Advanced Listening Skills a(2) Interpreting Skills b(2) Advanced Listening Skills b(2) Translation Skills a(2) Discussion & Debate a(2) Translation Skills b(2) Discussion & Debate b(2) Advanced Writing Skills a(2) English for Current Issues a(2) Advanced Writing Skills b(2) English for Current Issues b(2) Advanced Reading Skills a(2) Advanced Reading Skills b(2) Advanced Research & Presentation Skills(2)				-	8
特講科目	コミュニケーション特講Ⅰ-a(2) 英語学特講Ⅱ-a(2) 文学特講Ⅲ-a(2) コミュニケーション特講Ⅰ-b(2) 英語学特講Ⅱ-b(2) 文学特講Ⅲ-b(2) コミュニケーション特講Ⅱ-a(2) 英語学特講Ⅲ-a(2) 英語教育特講Ⅰ-a(2) コミュニケーション特講Ⅱ-b(2) 英語学特講Ⅲ-b(2) 英語教育特講Ⅰ-b(2) コミュニケーション特講Ⅲ-a(2) 文学特講Ⅰ-a(2) 英語教育特講Ⅱ-a(2) コミュニケーション特講Ⅲ-b(2) 文学特講Ⅰ-b(2) 英語教育特講Ⅱ-b(2) 英語学特講Ⅰ-a(2) 文学特講Ⅱ-a(2) ビジネス英語特講a(2) 英語学特講Ⅰ-b(2) 文学特講Ⅱ-b(2) ビジネス英語特講b(2)				-	10	
特別聴講科目	<単位認定科目> 特殊研究Ⅰ(4) 特殊研究Ⅱ(4) 海外実地研修(2)				-	-	

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等 (●は必修、()の数字は単位数)				編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数(最低)
		1年次	2年次	3年次	4年次		
専門科目	グローバル・スタディーズ 関連科目	●Preparation for TOEIC I-a (1) ●Preparation for TOEIC I-b (1)	中国ビジネス入門(2) ●Preparation for TOEIC II-a (1) ●Preparation for TOEIC II-b (1)	ビジネスキャリア特講 a (2) ビジネスキャリア特講 b (2) 中国経済 I (2) 中国経済 II (2) 日中観光実務 I (2)	日中観光実務 II (2) 日中通訳基礎演習 I (2) 日中通訳基礎演習 II (2) Advanced Business English a (2) Advanced Business English b (2)	2 (編入学弾力認定)	4 (62)
	卒業研究		●専門領域研究講座(4)	●卒業研究(4)	-		
	他学部・他学科 開放科目	<他学部・他学科開放科目(専門科目)> * 「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.106				-	4
合計卒業要件単位数(最低)						62	62
合計卒業要件単位数(最低)						124	

※ 2022年度から「野村証券ファイナンスプログラム」は、プログラム構成が変更となりました。既に同プログラムの〔「資本市場の役割と証券投資(2単位)」及び「証券投資シミュレーション(2単位)」〕の単位を修得している場合、「野村証券ファイナンスプログラム(寄附講座)」は履修できません。

履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数	履修方法	
共通科目	基礎教育	⑧	32	-	(履修できません。)	
	人間力形成教育	人間形成			4	(卒業要件には算入されません。)
		国際理解			4	
		社会生活			4	
	キャリア形成教育	⑥			(履修できません。)	
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】	6			(卒業要件には算入されません。)	
計	32	32	-	-		
専門科目	専門基礎	⑫	10	2	必修 「現代社会事情」2単位修得	
	ILP	英語	⑫	14	10	必修 全8科目10単位修得
		中国語	4	4	-	(履修できません。)
		日本語	4	4	-	(履修できません。)
	英米語・英米文化関連科目	概論科目	8	-	8	選択必修 概論科目から2分野8単位修得 (「異文化コミュニケーション」、「英語学」、「英米文学」及び「英語教育学」の4分野のうち2分野)
		専攻基礎科目	8	-	8	選択必修 専攻基礎科目から8単位修得
		SKILL科目	8	-	8	選択必修 SKILL科目から8単位修得
		特講科目／特殊研究科目	10	-	10	選択必修 特講科目・特殊研究科目から10単位
	グローバル・スタディーズ 関連科目	6	2	4	選択必修 グローバル・スタディーズ関連科目から必修2単位を含め4単位修得	
	卒業研究	⑧	-	8	必修 全2科目8単位修得	
他学部・他学科 開放科目	4	-	4	選択必修 他学部・他学科開放科目(専門科目)から4単位修得		
計	92	30	62	-		
合計	124	62 (+α)	62 (-α)	-		

卒業要件単位数	124単位
編入学時認定単位数	62単位 (+α)
編入学後に修得しなければならない単位数	62単位 (-α)

<個別認定(α)>

個別認定(α)については、「3 既修得単位の認定 [2] 個別認定(α)」を参照してください。→ P.123

時間割(控)

時限・開講期	月			火			水			木			金			土		
	授業コード	授業科目名 (単位数)	担当教員名 教室															
1 9:00 } 後学期 ・通年		()			()			()			()			()			()	
		()			()			()			()			()			()	
2 10:40 } 後学期 ・通年		()			()			()			()			()			()	
		()			()			()			()			()			()	
3 13:00 } 後学期 ・通年		()			()			()			()			()			()	
		()			()			()			()			()			()	
4 14:40 } 後学期 ・通年		()			()			()			()			()			()	
		()			()			()			()			()			()	
5 16:20 } 後学期 ・通年		()			()			()			()			()			()	
		()			()			()			()			()			()	

記入例1：必修(共通科目)
 学修の基礎 I 明海 太郎
 (2) 2101

※必修科目の場合は、授業コードに丸を付してください。

記入例2：選択必修(共通科目)
 1001 政治のしくみ 浦安 花子
 (2) 2201

1 前年度までに修得した単位数を「A 修得済単位数」欄に記入してください。
 2 今年度履修する「B 必修(共通科目)」、「C 必修(専門科目)」、「D 選択必修・選択(共通・専門科目)」の履修単位数を記入してください。
 3 上記B、C、Dを学期ごとに合計し「E 履修単位数」欄に記入してください。
 4 「A 修得済単位数」と「E 履修中単位数」を合計し、「F 合計単位数」欄に記入してください。

A 修得済単位数	B 必修(共通科目)	C 必修(専門科目)	D 選択必修・選択(共通・専門科目)
	前学期	前学期	前学期
E 履修単位数(※1)	前学期	後学期	
	後学期	後学期	
B+C+D			
↑			
A+E			
↑			
F 合計単位数(※2)			

※1 注意事項
 ・履修単位数を算出する際、通年科目については単位数の1/2を前学期及び後学期にそれぞれ算入してください。
 例：4単位の通年科目 → 2単位(前学期)、2単位(後学期)
 ・履修単位数の上限は学年により異なります。
 1年生：各学期22単位、2年生：各学期24単位、3年生：各学期26単位、4年生：各学期28単位

※2 参考
 合計単位数の学修状況については、「履修の手引」の「年次(学期)別基準単位数」を確認し、学修計画を立てる際の参考にしてください。

教科書の購入について

「シラバス」、「授業時間割」等で授業科目名、担当教員、教科書名をよく確認し、また、授業時における担当教員からの指示に従い、各自必ず販売期間内に購入してください。



<教科書販売期間> 3月25日(火)～4月3日(木) 10:00～15:00
4月4日(金)～4月18日(金) 10:00～16:00
〔土曜日及び日曜日除く。〕

<販売会場> 丸善明海ショップ(売店)

※教科書販売の詳細については、丸善明海ショップ(売店)へお問い合わせください。

2025年度 履修の手引

外国語学部

2025年4月発行

編 集 明海大学浦安キャンパス学務部
学事課(教務担当)

発 行 明海大学
〒279-8550
千葉県浦安市明海1丁目
TEL (047) 350-4993(直通)
<https://www.meikai.ac.jp>



<https://www.meikai.ac.jp>